MICROLINE 9600PS　ユーザーズマニュアル

応用編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

MICROLINE 9600PS

○このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。
　プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
○本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

マニュアルの構成

本製品のユーザーズマニュアルは、次のような4部構成になっています。目的に応じてお読みください。

プリンタ機能編
プリンタの使い方や持っている機能、消耗品の交換方法、紙づまり等のトラブルの対処方法、オプション類の取り付け方が載っています。

セットアップ編ー Windows をお使いの方ー
Windows のコンピュータから印刷できるようにするまでの手順が載っています。
プリンタの設置が終わったら、お読みください。

セットアップ編ー Macintosh、UNIX、Linux をお使いの方ー
Macintosh、UNIX、Linux のコンピュータから印刷できるようにするまでの手順が載っています。
プリンタの設置が終わったら、お読みください。

応用編（本書）
色々な用紙に印刷したい時、便利な機能を使って印刷したい時、添付のユーティリティを使って快適な印刷環境にしたい時、カラーを調整したい時、印刷時にトラブルが起こった時などにお読みください。

本書の表記

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 9600PS → ML9600PS
- Microsoft® Windows® Server 2003 operating system日本語版 → Windows Server 2003
- Microsoft® Windows® XP operating system日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0日本語版 → WindowsNT4.0
- Windows Server 2003、WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0の総称→Windows

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル（本書）をお読みください。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。
	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
	電池は、間違ったタイプと交換した場合、爆発するおそれがあります。本プリンタの電池は交換する必要がありません。電池には手を触れないでください。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発により火災、やけど、ケガのおそれがあります。

⚠注意	
	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。

目次

1 色々な用紙に印刷する

- この章では、Windowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］、Mac OS Xでは［TextEdit］を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

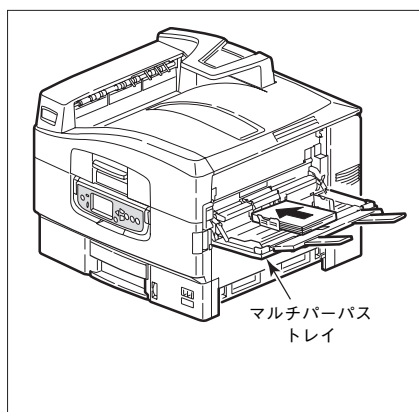
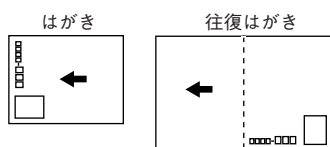
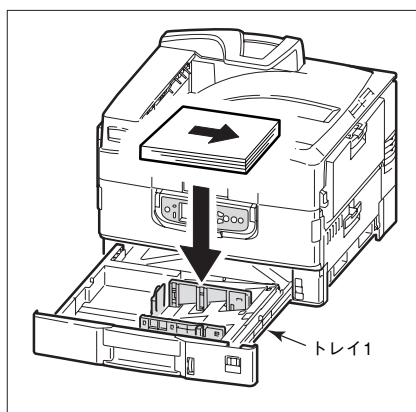
はがき、往復はがきに印刷する

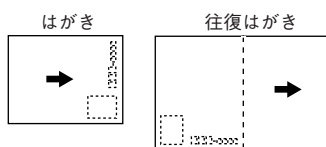
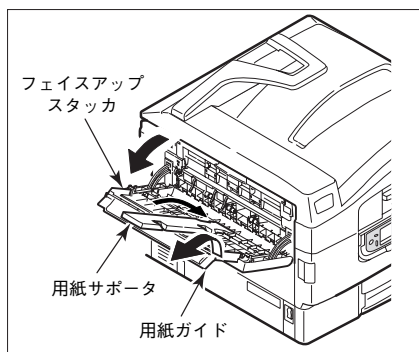
はがき、往復はがきはマルチパーパストレイまたはトレイ１から印刷し、フェイスアップスタッカに排出します。
使用できるはがきは、郵政公社製はがき、折っていない郵政公社製往復はがきです。（ただし、インクジェット用は除きます。）

- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。

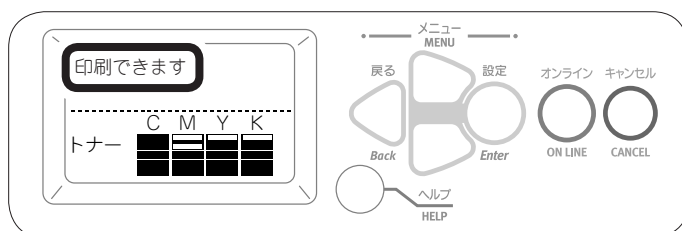
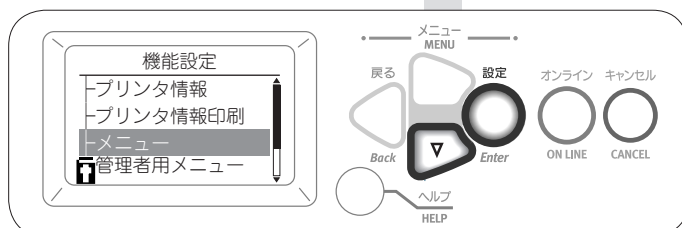
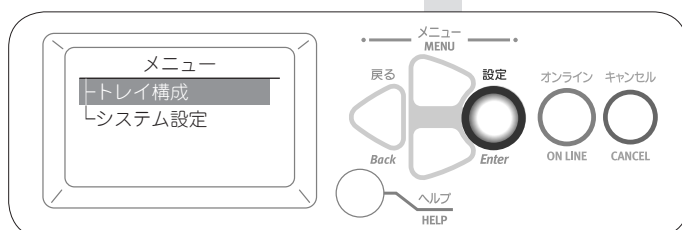
手順（1〜4まであります）

1 はがきをセットします。

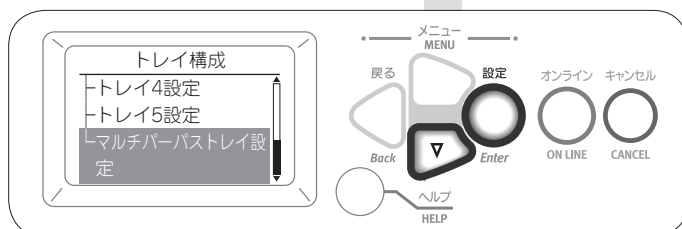
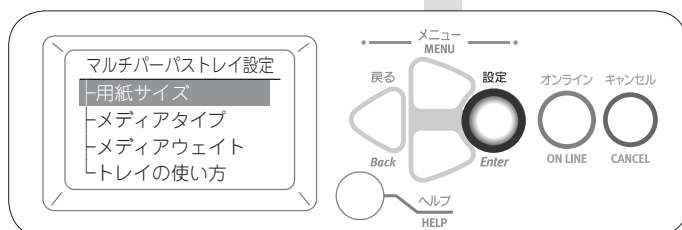
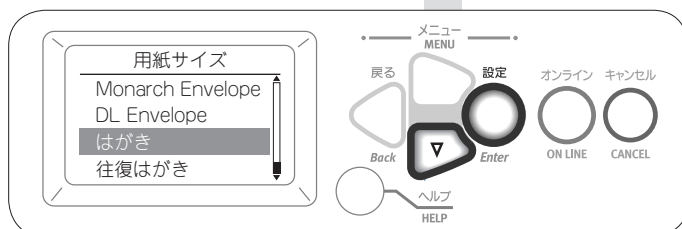
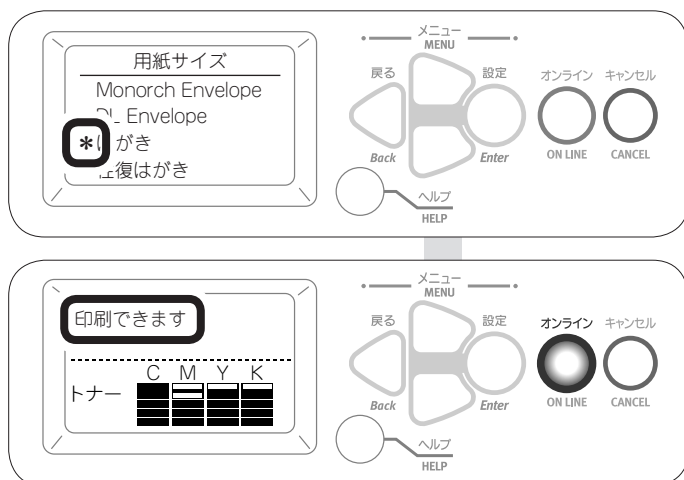
マルチパーパストレイを使う場合

印刷面を上にして、セットします。

トレイ1を使う場合

印刷面を下にして、セットします。

2 「フェイスアップスタッカ」を開きます。

3 プリンタの「操作パネル」で、用紙サイズの設定を確認します。

マルチパーパストレイを使う場合

トレイ1を使う場合は12ページをご覧ください。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、 設定ボタンを押します。

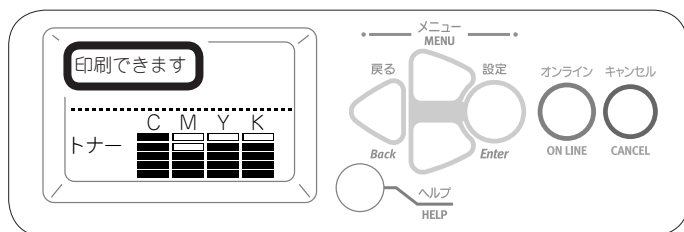
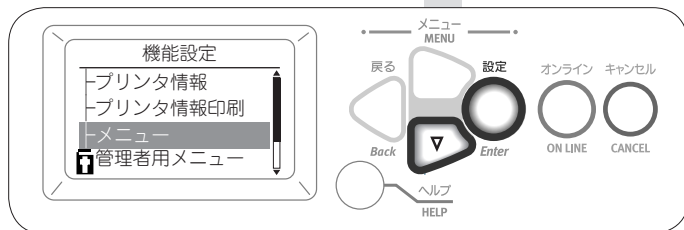
❸ ［トレイ構成］が選択されているので、 設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して［マルチパーパストレイ設定］を選択し、 設定ボタンを押します。

❺ ［用紙サイズ］が選択されているので、 設定ボタンを押します。

❻ ボタンを数回押して［はがき］または［往復はがき］を選択し、 設定ボタンを押します。

❼ ［はがき］または［往復はがき］の左側に［✱］が付いたことを確認します。

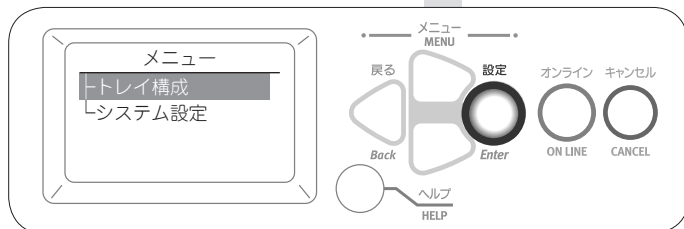
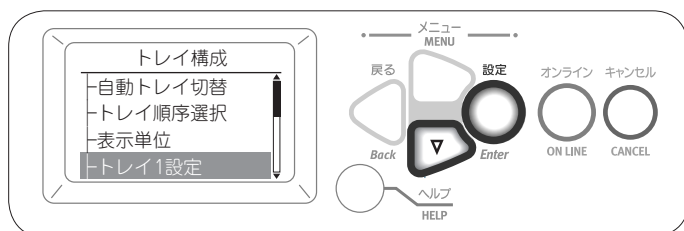
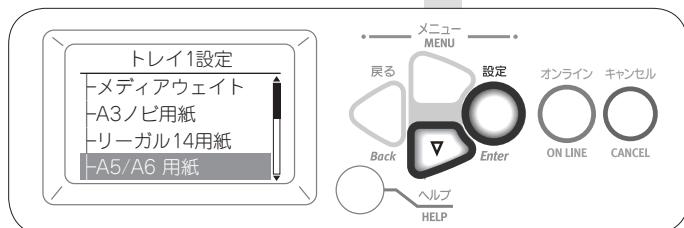
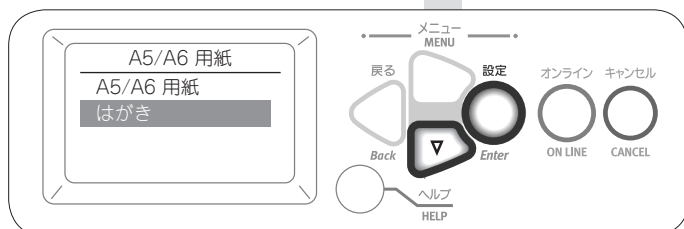
❽ オンラインボタンを押し、［印刷できます］と表示します。

手順4（14ページ）へ進みます。

トレイ1を使う場合

マルチパーパストレイを使う場合は11ページをご覧ください。

工場出荷時の設定では［はがき］になっているため、以下の操作を行う必要はありません。手順4（14ページ）へ進みます。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❸ ［トレイ構成］が選択されているので、設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押して［トレイ1設定］を選択し、 設定ボタンを押します。

❺ ボタンを数回押して［A5/A6 用紙］を選択し、 設定ボタンを押します。

❻ ボタンを数回押して［はがき］を選択し、 設定ボタンを押します。

❼ ［はがき］の左側に［*］が付いたことを確認します。

❽ オンラインボタンを押し、［印刷できます］と表示します。

4 ファイルを開き、印刷します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［はがき］または［往復はがき］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［用紙/品質］タブの［給紙方法］で［トレイ1］または［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。
（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［はがき］または［往復はがき］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、[OK] をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックします。

❺ ［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ1］または［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻ ［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し、[OK] をクリックします。

❼ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

（はがき・往復はがきに印刷する）

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［はがき］または［往復はがき］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、[OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］をクリックします。

❺［詳細］タブの［給紙方法］で［トレイ1］または［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ)］が選択されていることを確認し、[OK］をクリックします。

❼「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［はがき］または［往復はがき］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ1］または［マルチパーパストレイ］を選択します。

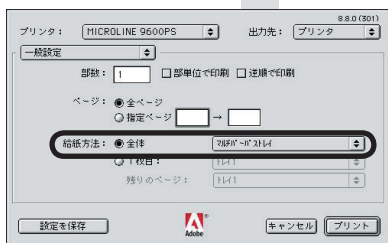
❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。
（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

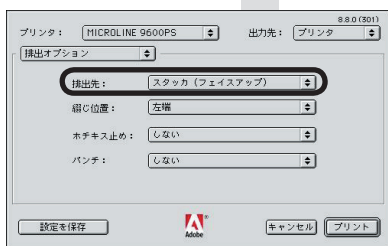
❼「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

（はがき・往復はがきに印刷する）

MacOSをお使いの方　Mac OS Xをお使いの方は19ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷［用紙］で［はがき］または［往復はがき］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙方法］で［トレイ1］または［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺［排出オプション］パネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS Xをお使いの方

MacOSをお使いの方は18ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］（Mac OS X 10.1.5以前では［フォーマット］）でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［はがき］または［往復はがき］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺［給紙］パネルで［トレイ1］または［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［プリンタの機能］パネルの［排出オプション］機能セットの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

注 Mac OS X 10.0〜10.0.4では指定できません。

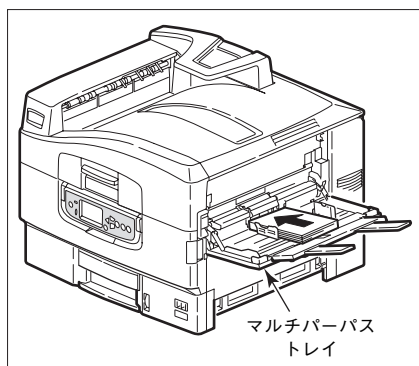
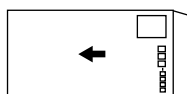
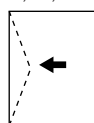
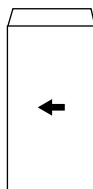
❼［プリント］をクリックし、印刷します。

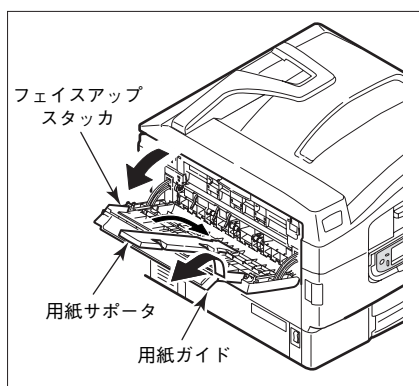
封筒に印刷する

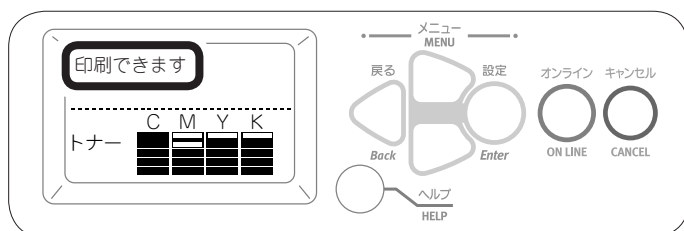
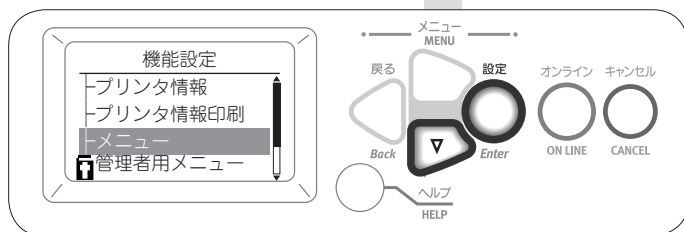
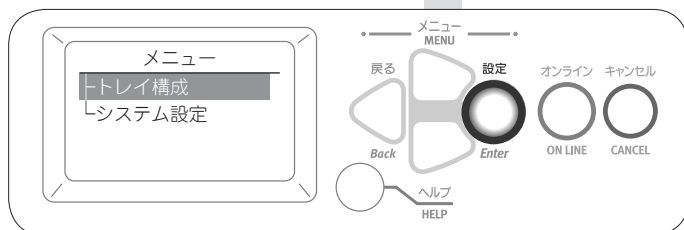
封筒はマルチパーパストレイから印刷し、フェイスアップスタッカに排出します。
印刷できる封筒サイズは長形3号、長形4号、角形2号、角形3号、角形8号、洋形0号、洋形4号、Com-9、Com-10、DL、C4、C5、Monarchです。
必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 封筒の貼り合わせ部分（厚さに段差のある部分）のまわり約5mmは印刷品位が低下することがあります。
- 封筒に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。

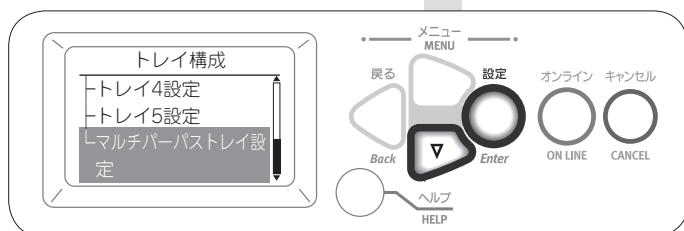
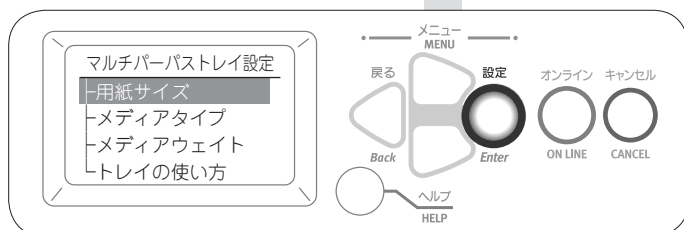
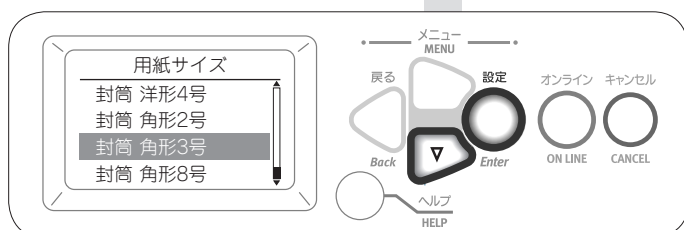
手順（1～4まであります）

1 マルチパーパストレイに、印刷面を上にして封筒をセットします。

角形2号

洋形0号, 洋形4号,Com-9,Com-10,
DL,C4,C5,Monarch

長形3号, 長形4号,
角形3号, 角形8号

角形、長形の封筒は、フラップ部を開いたままセットします。

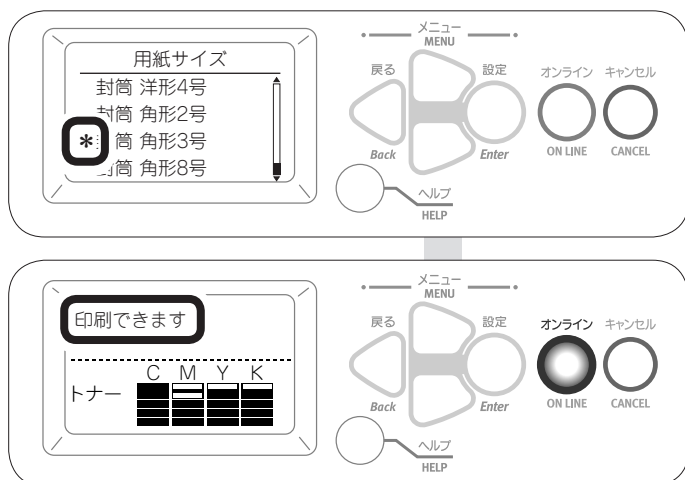
2 プリンタ左側面の「フェイスアップスタッカ」を開きます。

3 プリンタの「操作パネル」で、封筒サイズの設定をします。

工場出荷時の設定では［A4横送り］になっています。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、◯設定ボタンを押します。

❸ ［トレイ構成］が選択されているので、◯設定ボタンを押します。

❹ ▽ボタンを数回押して［マルチパーパストレイ設定］を選択し、◯設定ボタンを押します。

❺ ［用紙サイズ］が選択されているので、◯設定ボタンを押します。

❻ ▽ボタンを数回押して印刷したい封筒のサイズを選択し、◯設定ボタンを押します。

ここでは「封筒 角形3号」を選択した場合を例にしています。

（封筒に印刷する）

❼ 選択した封筒のサイズの左側に［＊］が付いたことを確認します。

❽ オンラインボタンを押し、［印刷できます］と表示します。

4 ファイルを開き、印刷します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［封筒長形3号］～［封筒洋形0号］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［用紙/品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。
（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［封筒長形3号］～［封筒洋形0号］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］をクリックします。

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。

❼「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［封筒長形3号］～［封筒洋形0号］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］をクリックします。

❺［詳細］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。

❼「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

（封筒に印刷する）

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［封筒長形3号］～［封筒洋形0号］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

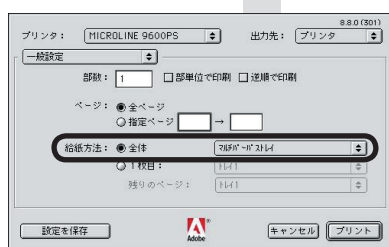
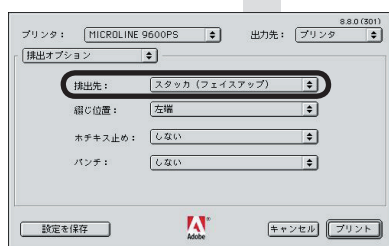
❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。
（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

MacOSをお使いの方 Mac OS Xをお使いの方は28ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷［用紙］で［封筒長形3号］～［封筒洋形0号］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺［排出オプション］パネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

（封筒に印刷する）

Mac OS Xをお使いの方　MacOSをお使いの方は27ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］（Mac OS X 10.1.5以前では［フォーマット］）でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［封筒長形4号］～［封筒洋形0号］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［プリンタの機能］パネルの［排出オプション］機能セットの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

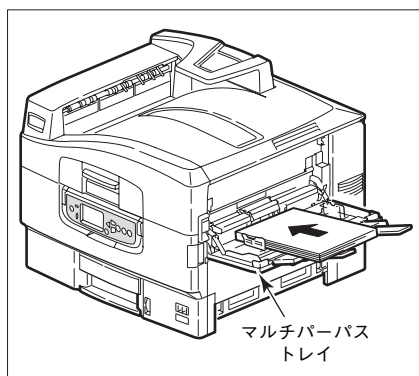
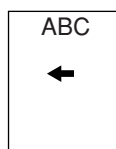
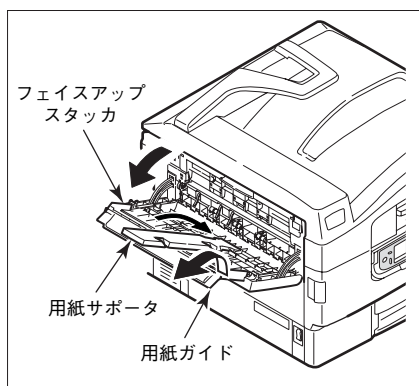
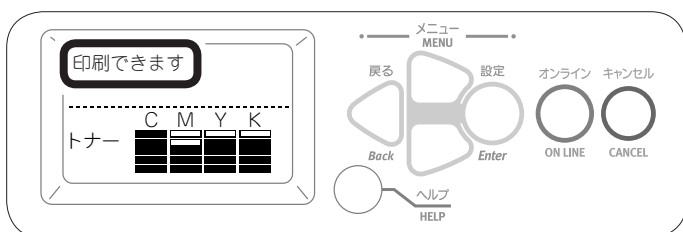
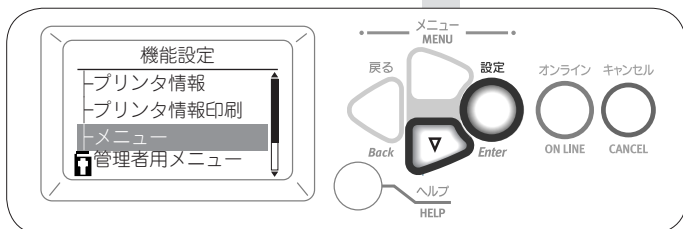
❼［プリント］をクリックし、印刷します。

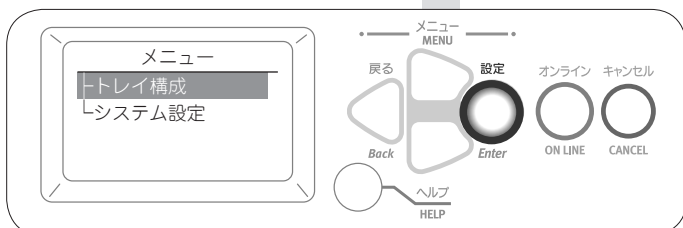
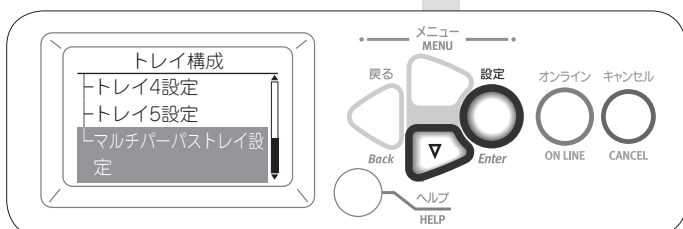
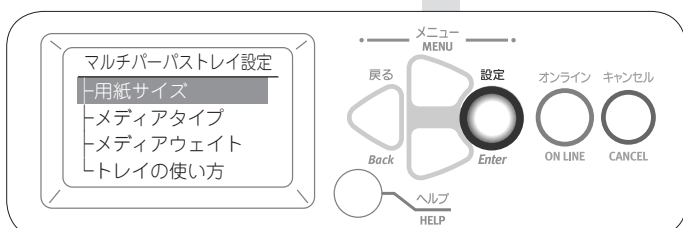
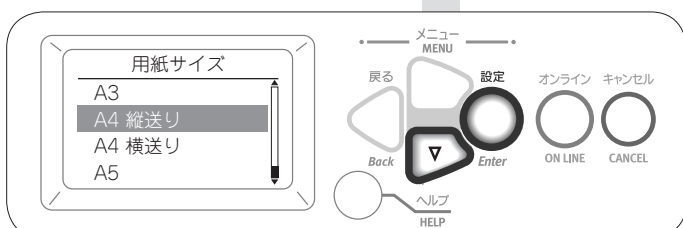
ラベル紙に印刷する

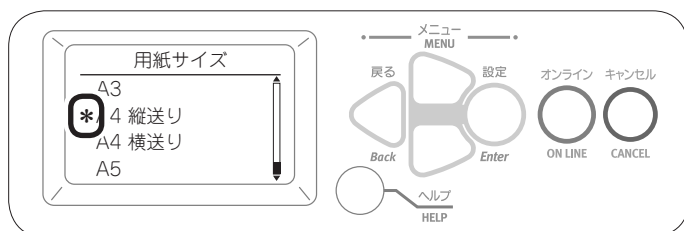
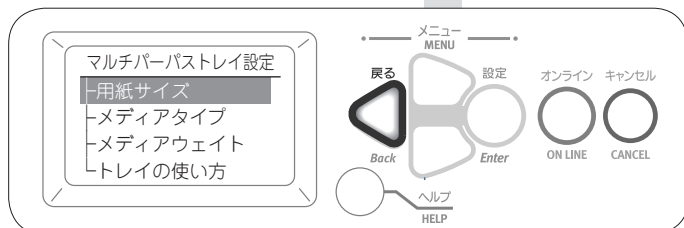
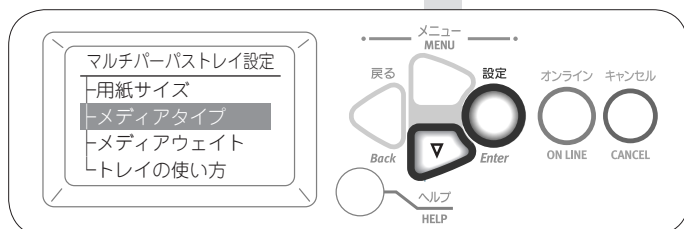
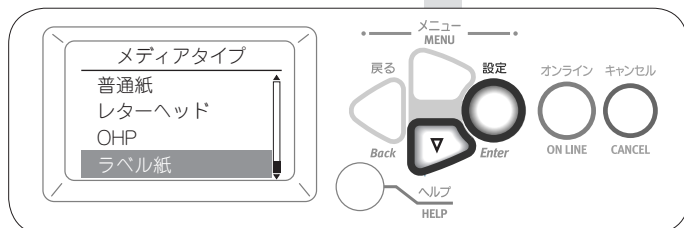
ラベル紙はマルチパーパストレイから印刷し、フェイスアップスタッカに排出します。
印刷できるラベル紙のサイズはA4、レターで、厚さは0.13～0.2mmです。
必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

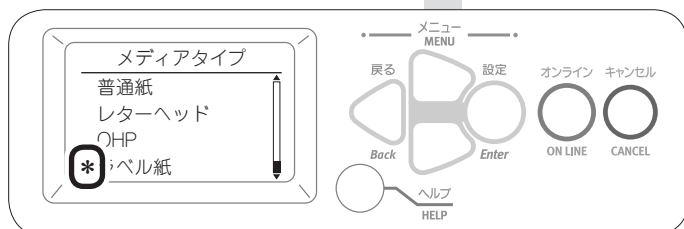
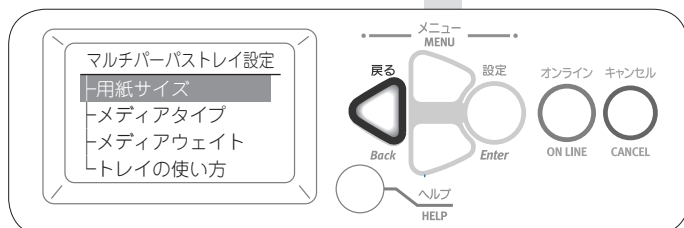
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- ラベル紙の先端に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。

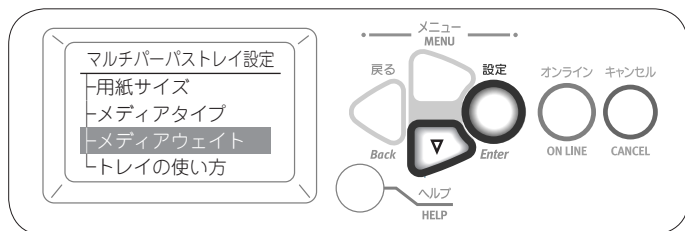
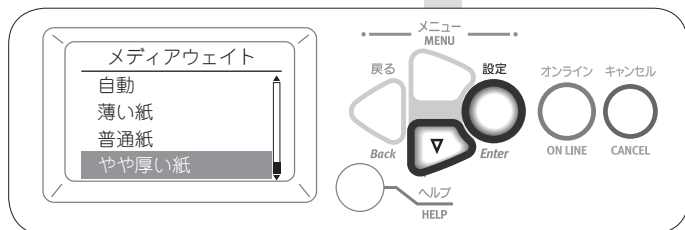
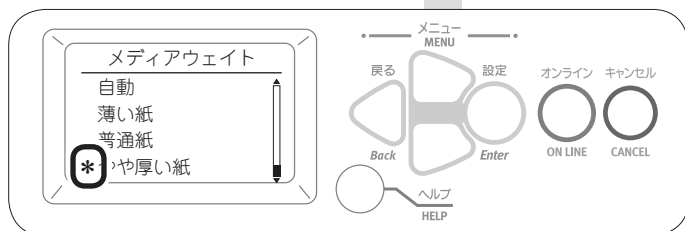
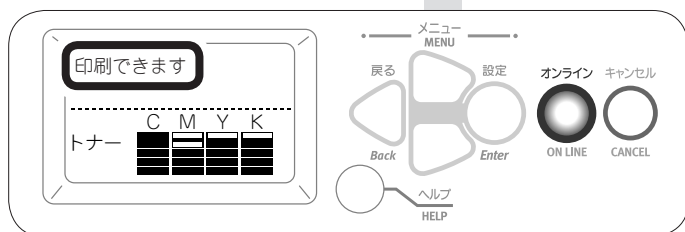
手順（1～4まであります）

1 マルチパーパストレイに、印刷面を上にして用紙をセットします。

2 プリンタの左側面の「フェイスアップスタッカ」を開きます。

3 プリンタの「操作パネル」で、「用紙サイズ」、「メディアタイプ」、「メディアウエイト」を設定します。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❸ ［トレイ構成］が選択されているので、◯ 設定ボタンを押します。

❹ ▽ボタンを数回押して［マルチパーパストレイ設定］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❺ ［用紙サイズ］が選択されているので、◯ 設定ボタンを押します。

❻ ▽ボタンを数回押して手順1で設定した用紙サイズを選択し、◯ 設定ボタンを押します。

ここでは、A4サイズの用紙を縦送りにセットした場合を例にしています。

❼ [A4　縦送り] の左側に [＊] が付いたことを確認します。

❽ 戻るボタンを1回押し、[マルチパーパストレイ設定] 画面を表示します。

❾ ▽ボタンを数回押して [メディアタイプ] を選択し、 設定ボタンを押します。

❿ ▽ボタンを数回押して [ラベル紙] を選択し、 設定ボタンを押します。

通常は「ラベル紙1」を選択してください。「ラベル紙1」で印刷に不具合があった場合は「ラベル紙2」を選択してください。

⓫ [ラベル紙] の左側に [＊] が付いたことを確認します。

⓬ 戻るボタンを1回押し、[マルチパーパストレイ設定] を表示します。

（ラベル紙に印刷する）

⑬ ▽ボタンを数回押して［メディアウェイト］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

⑭ ▽ボタンを数回押して［やや厚い紙］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

⑮ ［やや厚い紙］の左側に［＊］が付いたことを確認します。

⑯ ◯ オンラインボタンを押し、［印刷できます］と表示します。

4 ファイルを開き、印刷します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

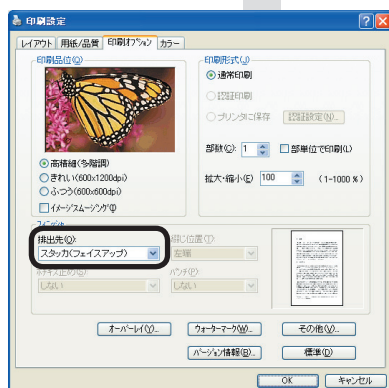
❷［用紙］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

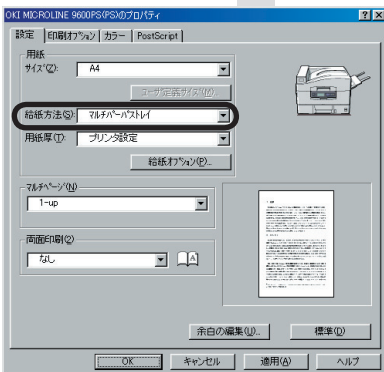
❺［用紙/品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

(ラベル紙に印刷する)

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］をクリックします。

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択し、［OK］をクリックします。

❼「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

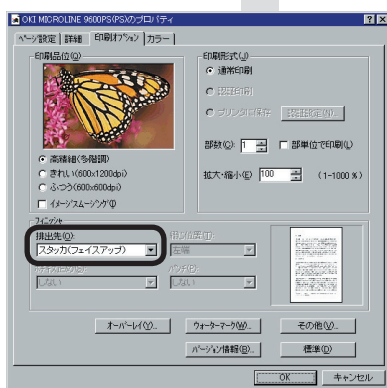
WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］をクリックします。

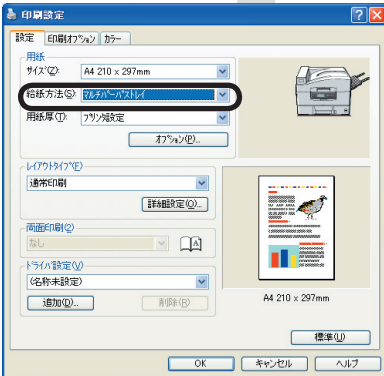
❺［詳細］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択し、［OK］をクリックします。

❼「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

（ラベル紙に印刷する）

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

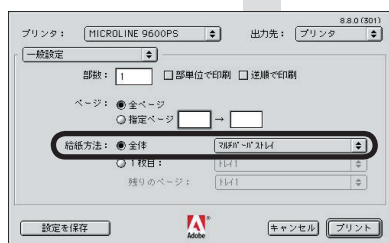
❹［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

MacOSをお使いの方

Mac OS Xをお使いの方は38ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4］または［レター］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺［排出オプション］パネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

（ラベル紙に印刷する）

Mac OS Xをお使いの方　MacOSをお使いの方は37ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］（Mac OS X 10.1.5以前では［フォーマット］）でプリンタの機種名を選択し､［用紙サイズ］で［A4］または［レター］､［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［プリンタの機能］パネルの［排出オプション］機能セットの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

❼［プリント］をクリックし、印刷します。

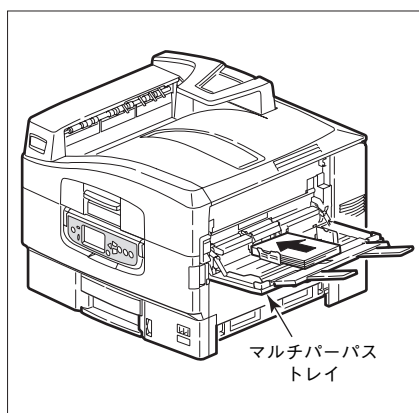
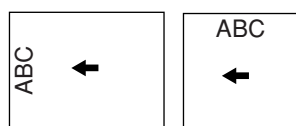
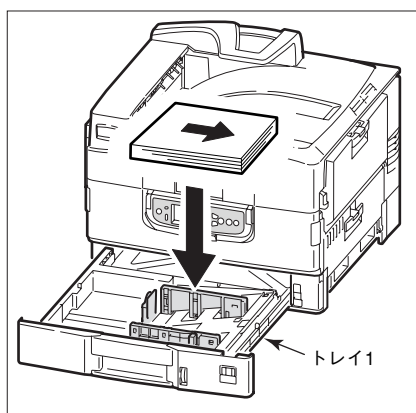
OHPフィルムに印刷する

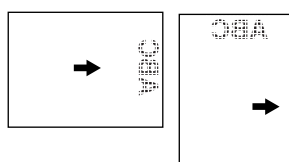
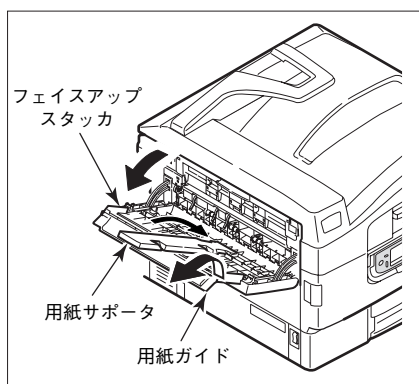
OHPフィルムはマルチパーパストレイまたはトレイ1から印刷し、フェイスアップスタッカに排出します。印刷できるOHPフィルムのサイズは、A4、レターで、厚さは0.1～0.12mmです。

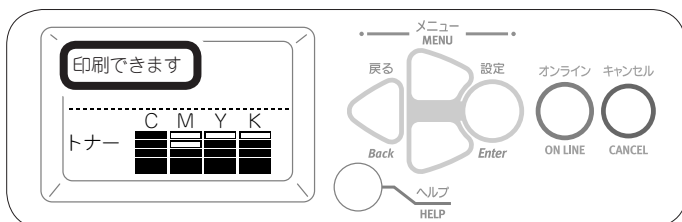
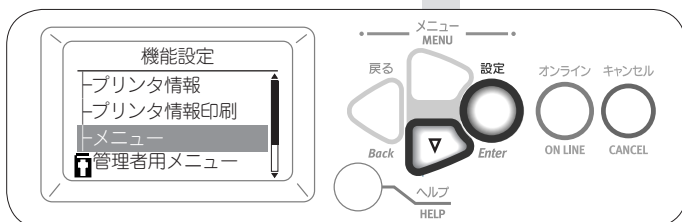
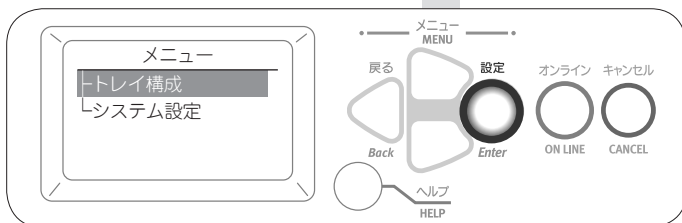
- OHPフィルムは透明なプラスチックでできているため、印刷品位が低下することがあります。
- 印刷後はうねりが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 表面に滑りやすいコーティングをしたOHPフィルムは滑って吸入できないことがあります。
- 推奨紙以外のOHPフィルムを使用すると、種類によっては定着器ユニットのローラーに巻きついたりしてプリンタが故障するおそれがあります。
- OHP装置は透過型を使用してください。反射型では良好な投影が得られないことがあります。

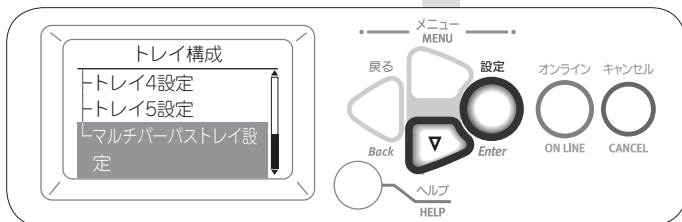
手順（1～4まであります）

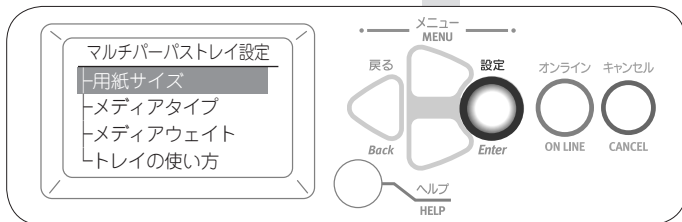
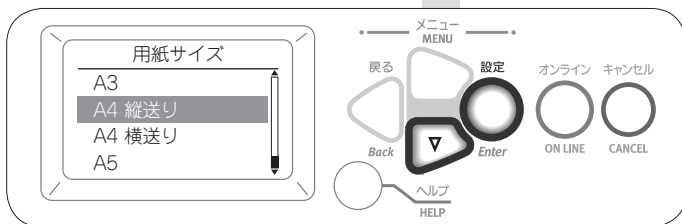
1 OHPフィルムをセットします。

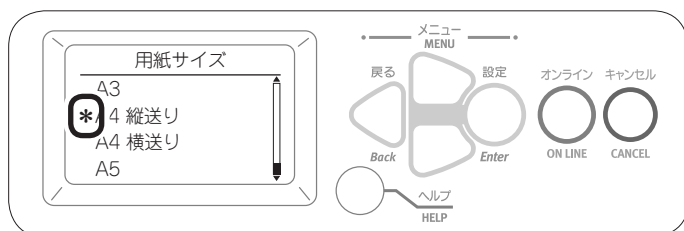
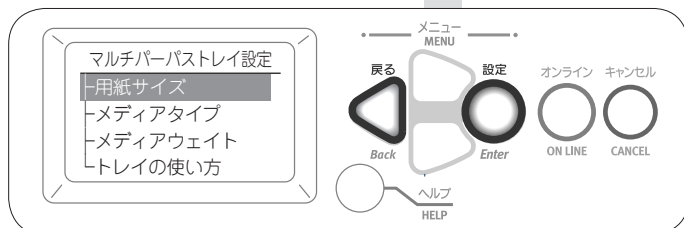
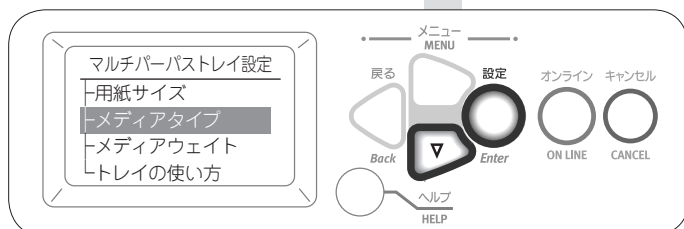
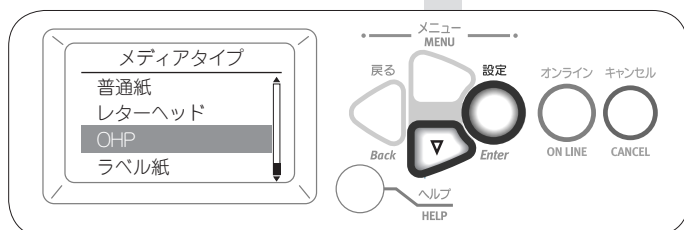
マルチパーパストレイを使う場合

印刷面を上にして、セットします。

トレイ1を使う場合

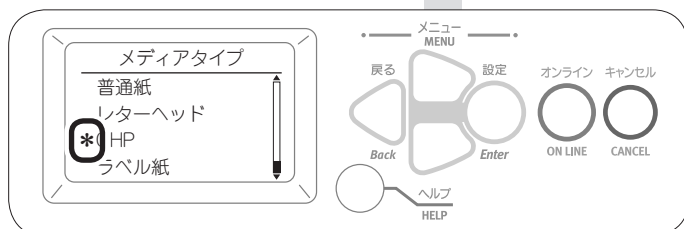
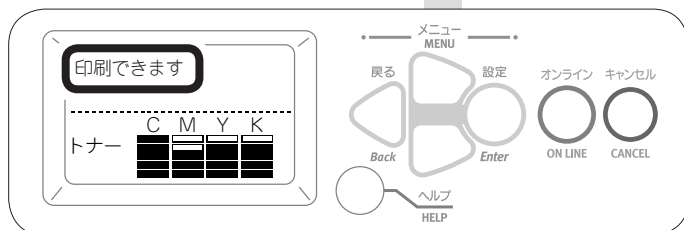
印刷面を下にして、セットします。

2 プリンタの左側面の「フェイスアップスタッカ」を開きます。

3 プリンタの「操作パネル」で、「用紙サイズ」と「メディアタイプ」を設定します。

マルチパーパストレイを使う場合　トレイ1を使う場合は42ページをご覧ください。

❶ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❸［トレイ構成］が選択されているので、◯ 設定ボタンを押します。

❹ ▽ボタンを数回押して［マルチパーパストレイ設定］を選択し、◯ 設定ボタンを押します。

❺［用紙サイズ］が選択されているので、◯ 設定ボタンを押します。

❻ ▽ボタンを数回押して印刷したい用紙サイズを選択し、◯ 設定ボタンを押します。

設定できるサイズは、［A4　縦送り］、［A4　横送り］、［レター　縦送り］、［レター　横送り］です。

❼ 印刷したい用紙サイズの左側に［＊］が付いたことを確認します。

❽ 戻るボタンを1回押し、［マルチパーパストレイ設定］画面を表示し、設定ボタンを押します。

❾ ボタンを数回押して［メディアタイプ］を選択し、設定ボタンを押します。

❿ ボタンを数回押して［OHP］を選択し、設定ボタンを押します。

⓫ ［OHP］の左側に［＊］が付いたことを確認します。

⓬ オンラインボタンを押し、［印刷できます］と表示します。

手順4（44ページ）へ進みます。

（OHPフィルムに印刷する）

トレイ1を使う場合　マルチパーパストレイを使う場合は40ページをご覧ください。

❶ 表示部に[印刷できます]と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、◯設定ボタンを押します。

❸ ［トレイ構成］が選択されているので、◯設定ボタンを押します。

❹ ▽ボタンを数回押して［トレイ1設定］を選択し、◯設定ボタンを押します。

❺ ▽ボタンを数回押して［メディアタイプ］を選択し、◯設定ボタンを押します。

❻ ▽ボタンを数回押して［OHP］を選択し、◯設定ボタンを押します。

❼ [OHP] の左側に [＊] が付いたことを確認します。

❽ オンラインボタンを押し、[印刷できます] と表示します。

4 ファイルを開き、印刷します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［用紙/品質］タブの［給紙方法］で［トレイ1］または［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］をクリックします。

❺［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ1］または［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択し、［OK］をクリックします。

❼「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

（OHPフィルムに印刷する）

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］をクリックします。

❺［詳細］タブの［給紙方法］で［トレイ1］または［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択し、［OK］をクリックします。

❼「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ1］または［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

（OHPフィルムに印刷する）

MacOSをお使いの方　Mac OS Xをお使いの方は49ページをご覧ください。

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［A4］または［レター］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙方法］で［トレイ1］または［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺ ［排出オプション］パネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS Xをお使いの方

MacOSをお使いの方は48ページをご覧ください。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］（Mac OS X 10.1.5以前では［フォーマット］）でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［A4］または［レター］、［方向］で適切な値を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺［給紙］パネルで［トレイ1］または［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［プリンタの機能］パネルの［排出オプション］機能セットの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

注 Mac OS X 10.0〜10.0.4では指定できません。

❼［プリント］をクリックし、印刷します。

長尺紙や任意の用紙サイズに印刷する（カスタムページ）

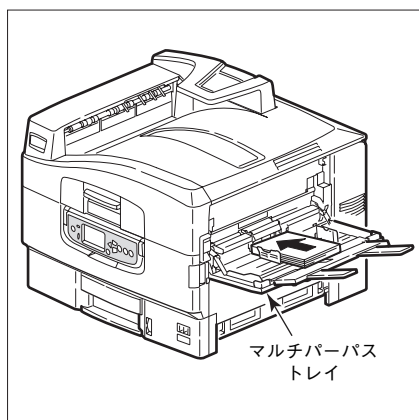
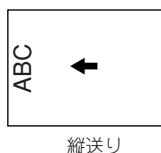
長尺紙や任意のサイズ（幅は76.2〜328mm、長さは90〜1200mm）の用紙に印刷できます。
印刷する用紙はマルチパーパストレイ、またはトレイ1〜5（トレイ2〜5はオプション）にセットし、フェイスアップスタッカへ排出します。但し、長さが457mmを超える用紙、幅が100mm未満の用紙は、マルチパーパストレイにセットします。用紙は縦長（幅<長さ）にセットします。
アプリケーションによっては利用できない場合があります。

- 長さが457.2mmを超える用紙の印刷品位は保証できません。
- 使用できる用紙は連量55〜230kg（64〜268g/m²）の用紙です。ただし、連量187kg（217g/m²）以上の用紙はマルチパーパストレイにセットしてください。長尺紙は連量110kg（128g/m²）の用紙を使用してください。
- 用紙サポータでサポートしきれない長さの用紙は手で支えてください。
- 長尺紙や大きなサイズの用紙に印刷する時、メモリ不足エラーが発生したり、正しく印刷されないことがあります。その場合は、[印刷品位]で「きれい」または「ふつう」を設定して印刷するか、オプションの「増設メモリ」を追加することを推奨します。
- 幅が100mm未満の用紙は、オンラインボタンを押すことにより印刷できます。
- 長尺紙を「グレースケール」で印刷すると、用紙の後部が汚れることがあります。その場合は、カラーモードで印刷してください。

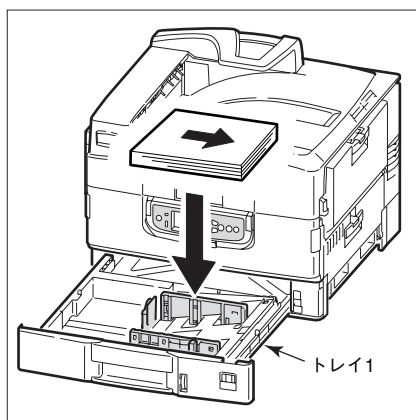
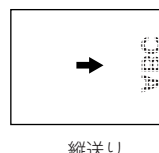
印刷するまでの流れ

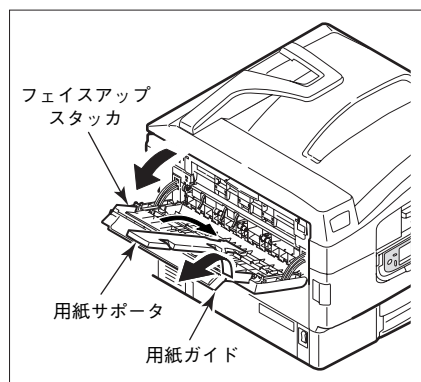
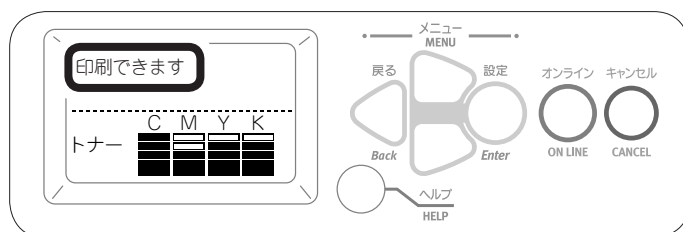
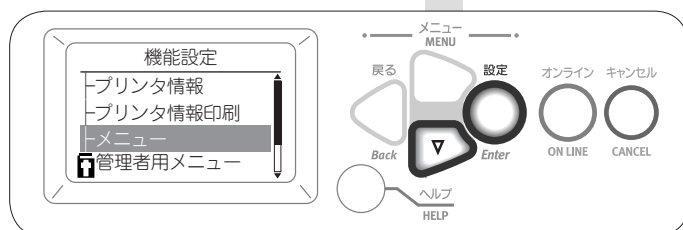
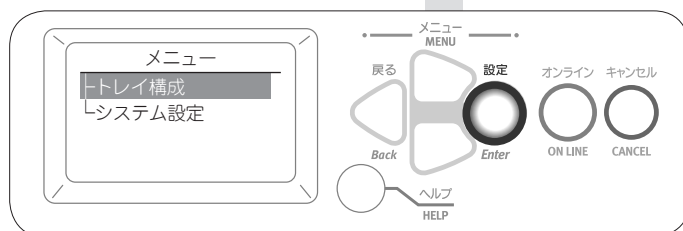
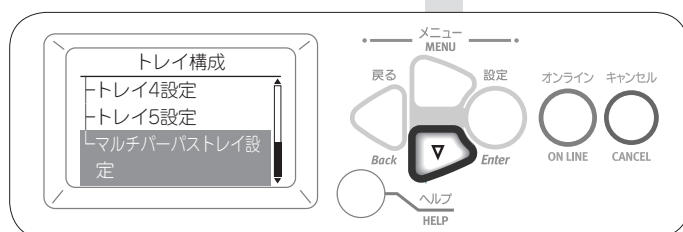
手順（1〜4まであります）

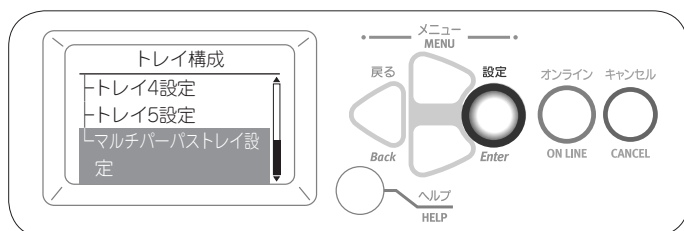
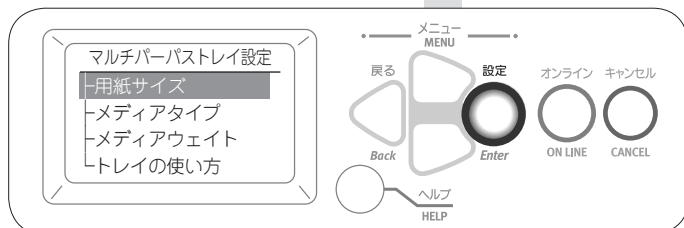
1 プリンタに用紙をセットします。

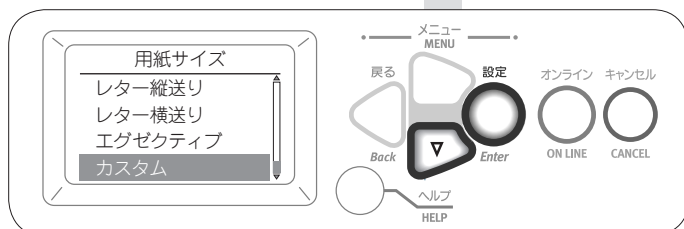
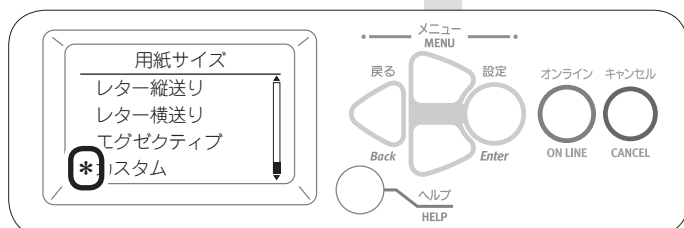
マルチパーパストレイを使う場合

印刷面を上にして、セットします。

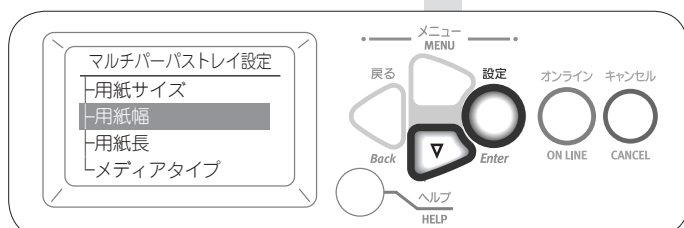
縦送り

トレイ1を使う場合

印刷面を下にして、セットします。

縦送り

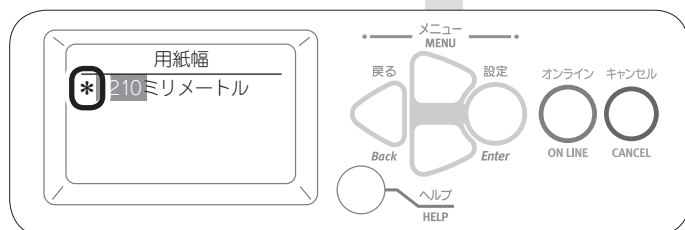
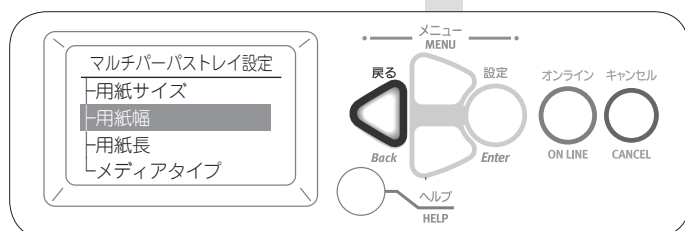
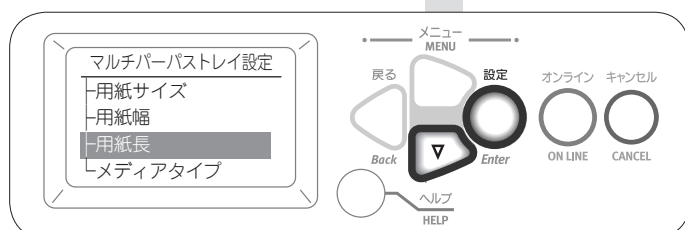
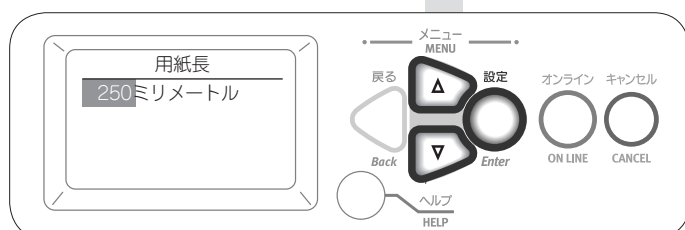
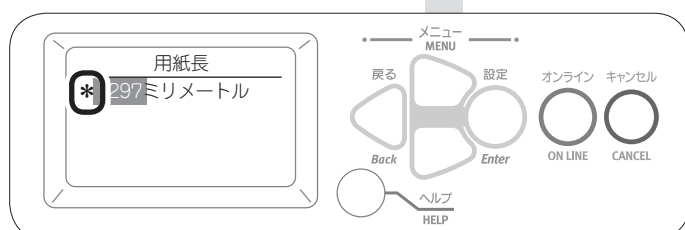
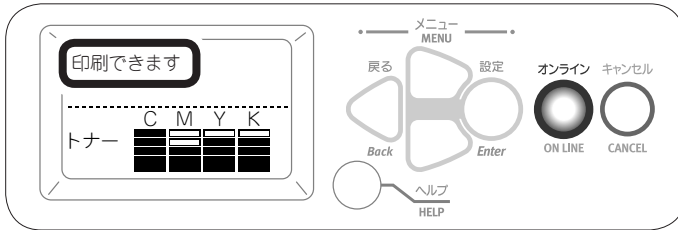
2 プリンタの左側面の「フェイスアップスタッカ」を開きます。

3 プリンタの操作パネルで、「用紙サイズ」、「用紙幅」、「用紙長」を設定します。

❶ 表示部に[印刷できます]と表示していることを確認します。

❷ ボタンを数回押して［メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❸ ［トレイ構成］が選択されているので、設定ボタンを押します。

❹ ボタンを数回押し、マルチパーパストレイに用紙をセットした場合は［マルチパーパストレイ設定］を選択します。
トレイ1に用紙をセットした場合は、［トレイ1設定］を選択します。

ここではマルチパーパストレイに用紙をセットした場合を例にしています。

❺ 設定ボタンを押します。

❻ ［用紙サイズ］が選択されているので、設定ボタンを押します。

❼ ボタンを数回押して［カスタム］を選択し、設定ボタンを押します。

❽ ［カスタム］の左側に［＊］が付いたことを確認します。

❾ 戻るボタンを1回押し、［マルチパーパストレイ設定］を表示します。

❿ ボタンを数回押して［用紙幅］を選択し、設定ボタンを押します。

⑪ ▽ ボタンまたは △ ボタンをを数回押し、印刷する用紙の幅を選択し、○ 設定ボタンを押します。

ここでは［表示単位］が［ミリメートル］の場合を例にしています。

⑫ 数値の左側に［＊］が付いたことを確認します。

⑬ ◁ 戻るボタンを1回押し、［マルチパーパストレイ設定］を表示します。

⑭ ▽ ボタンを1回押して［用紙長］を選択し、○ 設定ボタンを押します。

⑮ ▽ ボタンまたは △ ボタンを数回押し、印刷する用紙の長さを選択し、○ 設定ボタンを押します。

⑯ 数値の左側に［＊］が付いたことを確認します。

⑰ オンラインボタンを押し、[印刷できます] と表示します。

4 プリンタドライバに用紙サイズを登録し、印刷します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ WindowsXPをお使いの方

[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] をクリックします。

Windows2000をお使いの方

[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

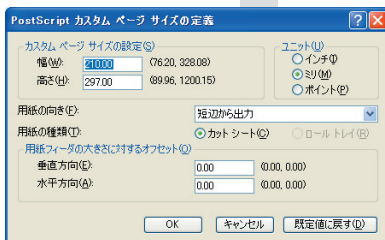
Windows Server 2003をお使いの方

[スタート] - [設定] - [プリンタとFAX] を選択します。

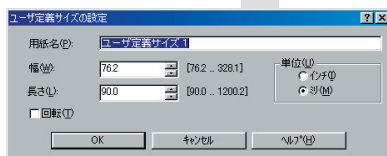
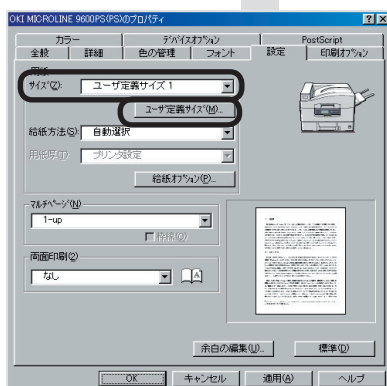
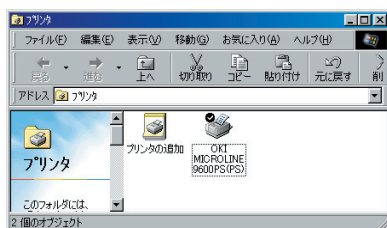
❷ [OKI MICROLINE 9600PS(PS)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

❸ [レイアウト] タブの [詳細設定] をクリックします。

❹ [用紙サイズ]で[PostScriptカスタムページサイズ]を選択します。

❺ 「PostScriptカスタムページサイズの定義」画面で [幅] と [高さ] を入力します。

❻ [OK] をクリックします。

❼ 印刷したいファイルを開き、登録した用紙サイズを指定し、印刷します。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

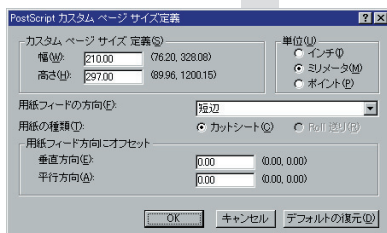
❷ ［OKI MICROLINE 9600PS(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［設定］タブの［サイズ］で［ユーザ定義サイズ1］、［ユーザ定義サイズ2］または、［ユーザ定義サイズ3］を選択し、［ユーザ定義サイズ］をクリックします。
ユーザ定義サイズは3個まで定義できます。

❹ 「ユーザ定義サイズの設定」画面で［用紙名］、［幅］、［長さ］を入力します。

❺ ［OK］をクリックします。
作成した用紙は、［設定］タブの［サイズ］リストの下の方に表示されます。

❻ 印刷したいファイルを開き、登録した用紙サイズを指定し、印刷します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 9600PS(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。

❸ ［詳細］タブの［用紙サイズ］で［PostScriptカスタムページサイズ］を選択します。

❹ ［カスタムページサイズの編集］をクリックします。

❺ 「PostScriptカスタムページサイズ定義」画面で［幅］と［高さ］を入力します。

❻ ［OK］をクリックします。

❼ 印刷したいファイルを開き、登録した用紙サイズを指定し、印刷します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ WindowsXPをお使いの方

[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] をクリックします。
[OKI MICROLINE 9600PS(PCL)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

Windows2000をお使いの方

[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。
[OKI MICROLINE 9600PS(PCL)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

Windows Server 2003をお使いの方

[スタート] - [設定] - [プリンタとFAX] を選択します。
[OKI MICROLINE 9600PS(PCL)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定] を選択します。

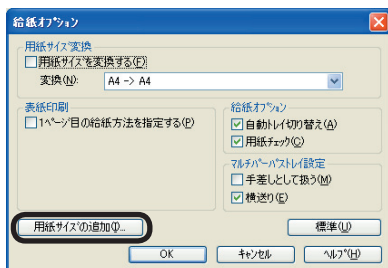
WindowsMe/98/95をお使いの方

[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。
[OKI MICROLINE 9600PS(PCL)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

WindowsNT4.0をお使いの方

[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。
[OKI MICROLINE 9600PS(PCL)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[ドキュメントの既定値] を選択します。

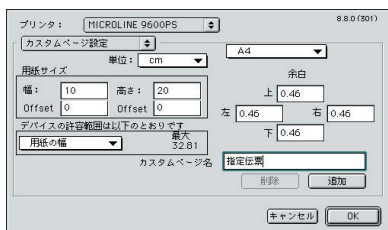
❷ [設定] タブの [オプション] をクリックします。

（長尺紙や任意の用紙サイズに印刷する（カスタムページ））

❸「給紙オプション」画面で［用紙サイズの追加］をクリックします。

❹「用紙サイズの追加」画面で［名称］、［幅］、［長さ］を入力します。

❺［追加］をクリックします。
作成した用紙は、［設定］タブの［サイズ］リストの下の方に表示されます。最大32個まで定義できます。

❻印刷したいファイルを開き、登録した用紙サイズを指定し、印刷します。

MacOSをお使いの方　Mac OS Xをお使いの方は59ページをご覧ください。

❶アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❸［カスタムページ設定］パネルで［幅］と［高さ］、［カスタムページ名］を入力します。

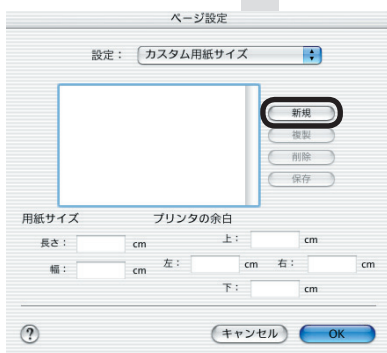
- Offset
  この設定は無効です。
- 余白
  上下左右の余白を設定します。

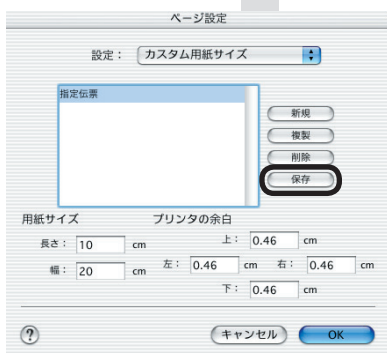
❹［OK］をクリックします。
作成した用紙は、［ページ属性］パネルの［用紙］リストの下の方に表示されます。

Mac OS Xをお使いの方

Mac OS X 10.1～10.2.2では利用できません。

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸［カスタム用紙サイズ］パネルで［新規］をクリックします。

❹「カスタム用紙サイズ編集」画面で、［カスタム用紙サイズの名前］、［幅］、［長さ］を入力します。

❺［保存］をクリックします。
作成した用紙は、［ページ属性］パネルの［用紙］リストの下の方に表示されます。

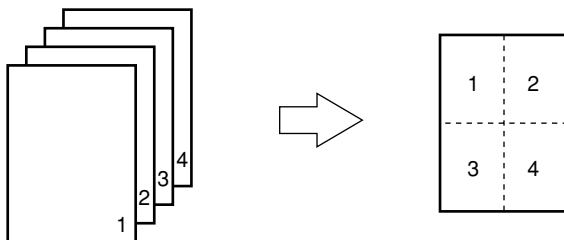
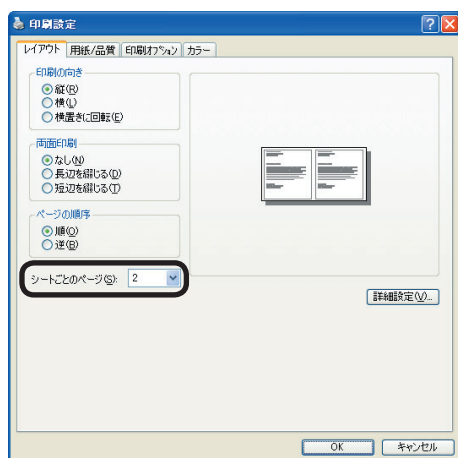
2 色々な機能を使って印刷する

注

- この章では、Windowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］、Mac OS Xでは［TextEdit］を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

複数ページを1枚に印刷する

複数枚のドキュメントを縮小して1枚の用紙に印刷します。両面印刷機能と組み合わせると、より多くのページを1枚の用紙に印刷することができます。

この機能はデータを縮小して印刷する機能なので、用紙の中央が正確に合わない場合があります。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［レイアウト］タブの［シートごとのページ］を選択します。

メモ 枠線を消すことはできません。

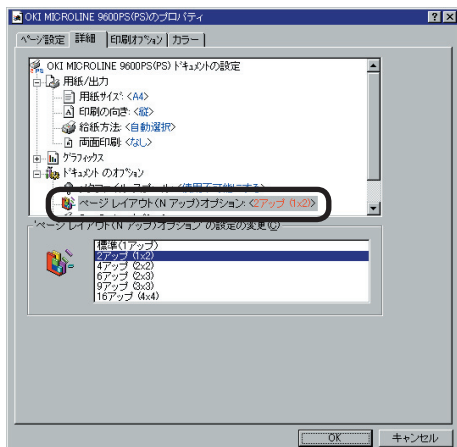
WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 9600PS］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［設定］タブの［マルチページ］、［枠線］を選択します。

メモ
- マルチページ
  割り付けるページ数、配置を選択します。
- 枠線
  各ページを枠線で囲むことができます。

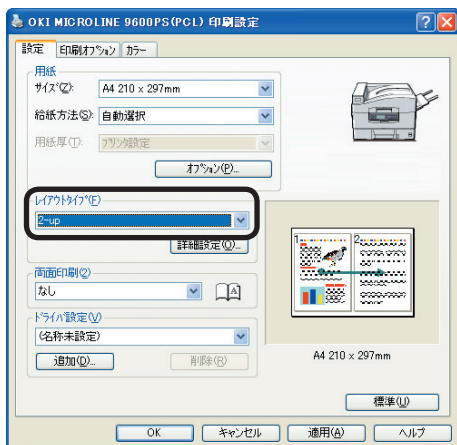
WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［詳細］タブの［ドキュメントのオプション］の［+］をクリックして、［ページレイアウト（Nアップ）オプション］で［nアップ］（nは1枚に印刷するページ数）を選択します。

枠線を消すことはできません。

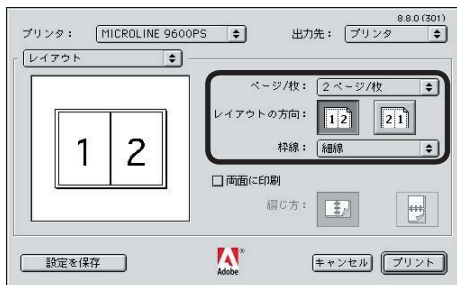
Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［n-up］（nは1枚に印刷するページ数）を選択します。

❺ ［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［枠線］、［ページ配置］、［とじ代］を設定します。とじ代は上下左右に0〜30mmまで設定できます。

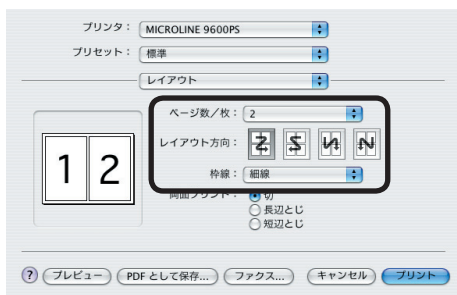
MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［レイアウト］パネルの［ページ/枚］、［レイアウトの方向］、［枠線］を選択します。

・ページ/枚
割り付けるページ数、配置を選択します。
必ず［2ページ/枚］、［4ページ/枚］…を選択してください。［2×2枚/ページ］、［4×4枚/ページ］…は選択しないでください。

・枠線
各ページを枠線で囲むことができます。

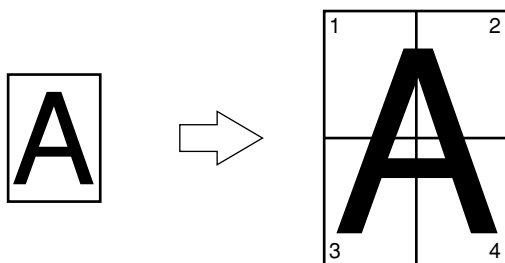
Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［レイアウト］パネルの［ページ数/枚］、［レイアウト方向］、［枠線］を選択します。

・ 枠線
　各ページを枠線で囲むことができます。

複数枚に拡大して印刷（ポスター印刷）

元のデータを拡大し、複数枚の用紙に分割して印刷します。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

利用できません。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

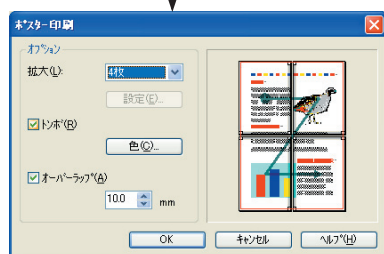
❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［ポスター印刷］を選択します。

❺ ［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［拡大］、［トンボ］、［オーバーラップ］などを設定します。

拡大
　1ページを何ページ分に拡大するかを指定します。

トンボ
　仕上がりの位置を示す目印を印刷します。

オーバーラップ
　重なる部分の幅を設定します。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
❸［レイアウト］パネルの［ページ数/枚］を選択します。

メモ　ページ/枚
　分割する枚数、配置を選択します。
　必ず[2×2枚/ページ]、[4×4枚/ページ]…を選択してください。[2ページ/枚]、[4ページ/枚]…は選択しないでください。

Mac OS Xをお使いの方

利用できません。

用紙の両面に印刷する（両面印刷）

両面印刷できる用紙サイズはA3、A3ワイド、A3ノビ、タブロイド、タブロイドエクストラ、A4、A5、A6、B4、B5、レター、リーガル(13インチ)、リーガル(13.5インチ)、リーガル(14インチ)、エグゼクティブ、カスタムサイズ（幅：100〜328mm、長さ:148〜457.2mm）です。両面印刷できる用紙の厚さは、連量55kg〜103kg（64〜120g/m^2）です。

- オプションの「両面印刷ユニット」が必要です。
- 両面印刷ユニットを取り付けたことを、あらかじめプリンタドライバで設定しておきます。詳しくは、別冊「プリンタ機能編」の「オプションについて」をご覧ください。
- 印刷速度が低下したり、メモリ不足エラーが発生する場合は、[印刷品位]を「きれい」または「ふつう」に設定して印刷するか、オプションの「増設メモリ」の追加を推奨します。

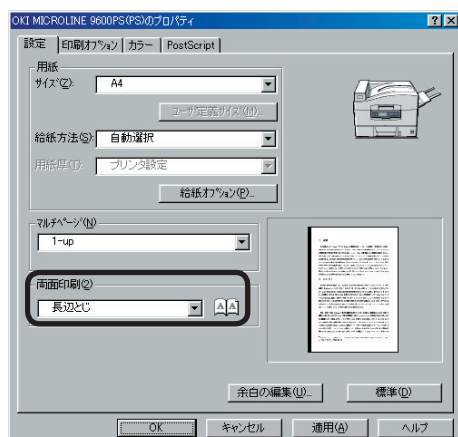
WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

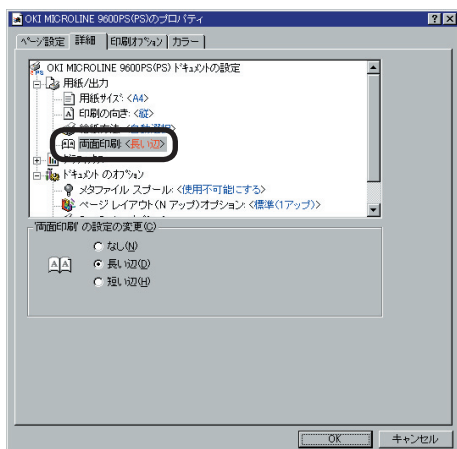
❹ ［レイアウト］タブの［両面印刷］で［長辺を綴じる］または［短辺を綴じる］を選択します。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

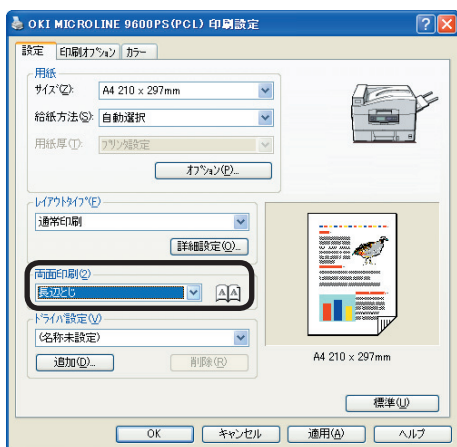
❹ ［設定］タブの［両面印刷］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［詳細］タブの［両面印刷］で［長い辺］または［短い辺］を選択します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［両面印刷］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［レイアウト］パネルの［両面に印刷］にチェックを付け、［綴じ方］のアイコンを選択します。

Mac OS X 10.1～10.2.xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［両面印刷］パネルの［両面にプリントする］にチェックを付けます。

Mac OS X 10.3以上をお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［レイアウト］パネルの［両面プリント］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。

スタンプ印刷（ウォーターマーク）

印刷データに手を加えずに、［見本］や［社外秘］などの文字を自由に設定し、重ね印刷します。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

（WindowsXPの画面）

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［ウォーターマーク］をクリックします。

❺ ［新規］をクリックします。

❻ 「ウォーターマークの編集」画面で［文字列］に印刷したい文字を入力し［フォント］、［サイズ］他を選択します。

❼ ［OK］をクリックします。

2

色々な機能を使って印刷する

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［ウォーターマーク］をクリックします。

❺ ［新規］をクリックします。

❻ 「ウォーターマークの編集」画面で［文字列］に印刷したい文字を入力し［サイズ］他を選択します。

❼ ［OK］をクリックします。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❸［ウォーターマーク］パネルで［最初］か［すべて］を選択し、［TEXT］を選択します。
［最初］を選択すると、ウォーターマークを最初のページにだけ印刷します。

メモ
前景
ウォーターマークをページ上の前面に印刷します。
書類と共に保存
書類と共にウォーターマークパネルの設定を保存します。

❹［編集］をクリックします。

❺［ウォーターマークテキスト］に印刷したい文字を入力し［ウォーターマークフォント/サイズ/スタイル］、［色］を選択します。
左のプレビュー画面上をクリックするとその場所にウォーターマークが配置されます。

❻［新規保存］をクリックします。
アプリケーションによっては保存できない場合があります。

❼［新規ウォーターマーク名]を入力し、[OK]をクリックします。
ウォーターマークの印刷後は必ず［ウォーターマーク］パネルで［なし］を選択してください。

メモ　画像をウォーターマークにする方法

❶ ウォーターマークにする画像ファイル（PICTまたはEPS形式）を用意します。
❷ 画像ファイルを［システムフォルダ］-［初期設定］-［ウォーターマーク］フォルダに入れます。
❸ アプリケーションを起動します。
❹［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。
❺［ウォーターマーク］パネルで［最初］または［すべて］を選択します。
❻［PICT］または［EPS］を選択し、［ウォーターマーク］から、画像を選択します。
ウォーターマークは用紙の中央に配置されます。

Mac OS Xをお使いの方

利用できません。

小冊子を作る（製本印刷）

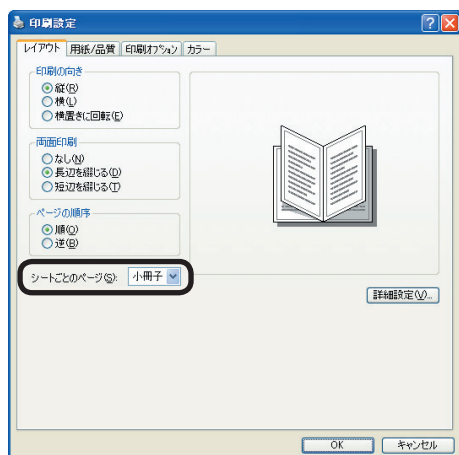
パンフレットのような小冊子を作成します。

・アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
・オプションの「両面印刷ユニット」と「増設メモリ」が必要です。プリンタドライバで「両面印刷ユニット」と「増設メモリ」を取り付けたことをあらかじめ設定しておきます。詳しくは、別冊「プリンタ機能編」の「オプションについて」をご覧ください。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバをお使いの方

・アプリケーション自身でPostScriptを生成する場合でPSエラー「undefined」が発生して印刷されない場合には、アプリケーションが生成するPostScriptのフォントやリソースがページ単位で送信されるように設定する必要があります。該当する設定についてはお使いのアプリケーションのマニュアルやヘルプをご覧ください。

メモ

・フィニッシャーユニット（オプション）を取り付けることで、小冊子をホチキスで綴じることができるようになります。

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）
4. ［レイアウト］タブの［シートごとのページ］で［小冊子］を選択します。
5. ［詳細設定］をクリックし、［用紙サイズ］で、作りたい小冊子の用紙サイズの2倍の大きさの用紙サイズを選択します。
例えば、A4サイズの小冊子を作る場合は［A3］を、B5サイズの小冊子を作る場合は［B4］を選択します。

［小冊子］印刷ができない場合は、［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI MICROLINE 9600PS］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］タブで［詳細な印刷機能を有効にする］にチェックを付けてください。

6. ［OK］をクリックし、印刷します。
7. 印刷結果を取り出し、そのままの状態で（ページを並び替える必要はありません）、2つに折ります。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバをお使いの方

利用できません。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

利用できません。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

・WindowsXP/2000/NT4.0 /Server2003でNetBEUIや別のコンピュータ上の共有プリンタでネットワークに接続している場合は利用できません。
・WindowsXP/2000/Server2003で［製本印刷］が選択できない場合は、［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI MICROLINE 9600PS］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］-［プリントプロセッサ］で［MLLAPP3］を選択してください。

メモ

・フィニッシャーユニット（オプション）を取り付けることで、小冊子をホチキスで綴じることができるようになります。

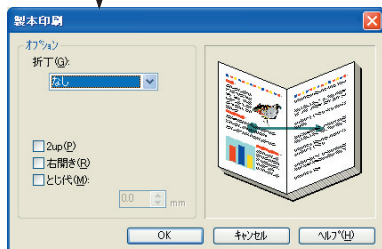
❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

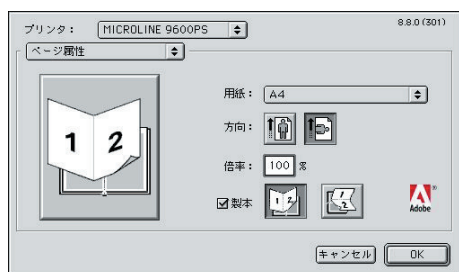
❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［製本印刷］を選択します。

❺ ［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［折丁］、［2up］、［右開き］、［とじ代］を設定します。

折丁　製本するページの単位です。
右開き　小冊子が右開きになるよう印刷します。

❻ ［設定］タブの［サイズ］で用紙サイズを選択し、［オプション］をクリックして［用紙サイズを変換する］にチェックを付けて、［変換］で該当する値を選択します。
例えば、A3サイズの用紙を使用してA4サイズの小冊子を作る場合は、［設定］タブの［用紙］の［サイズ］で［A4 210x297mm］を選択し、［オプション］をクリックして［用紙サイズを変換する］にチェックを付けて、［変換］で［A4 -> A3］を選択します。

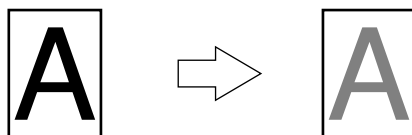
MacOSをお使いの方

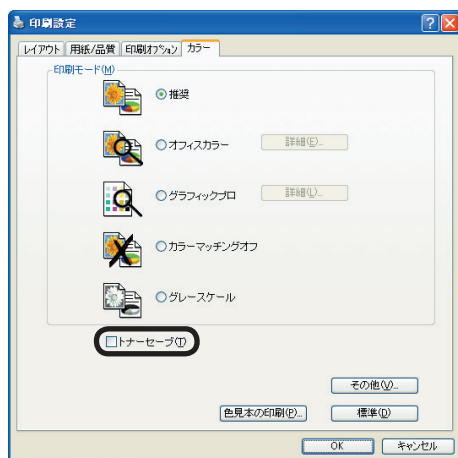
・オプションの「フィニッシャー」を取り付けることで、小冊子をホチキスで綴じることができるようになります。

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。
3. ［ページ属性］パネルの［用紙］で、作りたい小冊子の用紙サイズの2倍の大きさの用紙サイズを選択します。
   （例）A4サイズの小冊子を作る場合は［A3］を、B5サイズの小冊子を作る場合は［B4］を選択します。
4. ［製本］にチェックを付け、配置のアイコンを選択します。
5. ［方向］を選択します。
6. ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
7. ［レイアウト］パネルの［両面に印刷］にチェックを付けます。

Mac OS Xをお使いの方

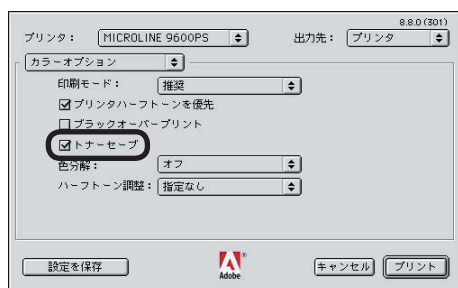
利用できません。

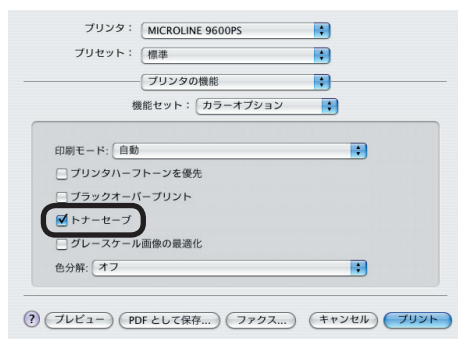
トナーを節約して印刷する

試し印刷の時などにトナーの消費量を節約するように印刷します。全体の色を明るくすることでトナーの消費量を節約します。同時に100%黒の色は節約せず印刷することで、きれいな黒文字の再現を両立させています。
トナーセーブをしてもなるべく画像のバランスが失われにくくするために中間調をバランスよく明るくすることで調整します。このため、トナーの節約の量は印刷画像によって異なります。

- 100%黒の色には無効です。
- 印刷モードが「グレースケール」の時は有効になりません。
- PostScriptでCMYK印刷ができるアプリケーションがありますが、CMYKで印刷指定をした場合は無効となります。また、PostScriptでグレースケール（モノクロ）印刷した場合も無効となります。
- CIEカラースペースで印刷データを作成するOSやアプリケーションでは無効となります。

Windowsをお使いの方

（WindowsXP PSプリンタドライバの画面）

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません）
❹ ［カラー］タブの［トナーセーブ］をチェックします。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
❸ ［カラーオプション］パネルの［トナーセーブ］にチェックします。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

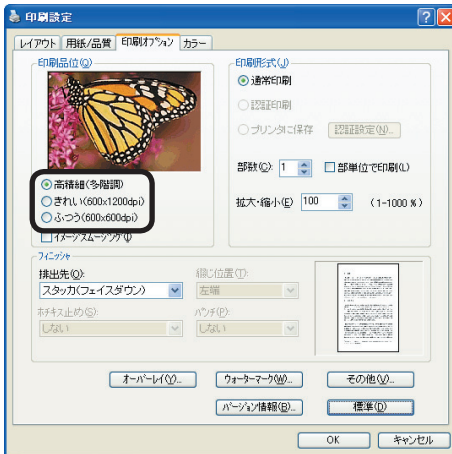
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタの機能］パネルの［カラーオプション］機能セットの［トナーセーブ］にチェックします。

・ OSに添付されるプリンタドライバの制限により、汎用的なアプリケーションではどの印刷モードを指定しても、［PostScriptカラーマッチング］で動作します。
・ Mac OS X上では、この機能はRGBカラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

印刷品位を変更する

初期設定では、「高精細（多階調）」に設定されています。お使いの環境に合わせて、[印刷品位] を設定してください。

- 「高精細（多階調）」を設定し印刷した時に、メモリ不足エラーが発生する場合は、「きれい」または「ふつう」を設定して印刷するか、オプションの「増設メモリ」を追加してください。
- PCLプリンタドライバをお使いの場合、長さが457mmを超える用紙に印刷する時に、[印刷品位] に「高精細（多階調）」を指定しても「ふつう」の指定として扱われます。

Windowsをお使いの方

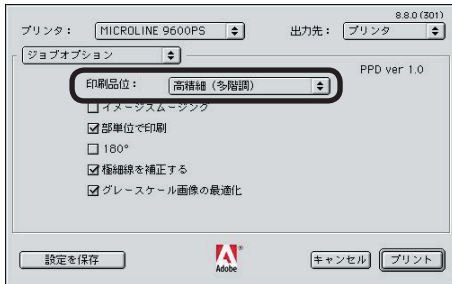
（WindowsXP PSプリンタドライバの画面）

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

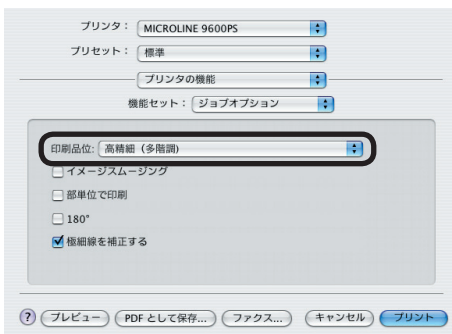
❸ [プロパティ]（WindowsXP/Server2003では [詳細設定]）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [印刷オプション] タブの [印刷品位] で [高精細（多階調）] を選択します。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

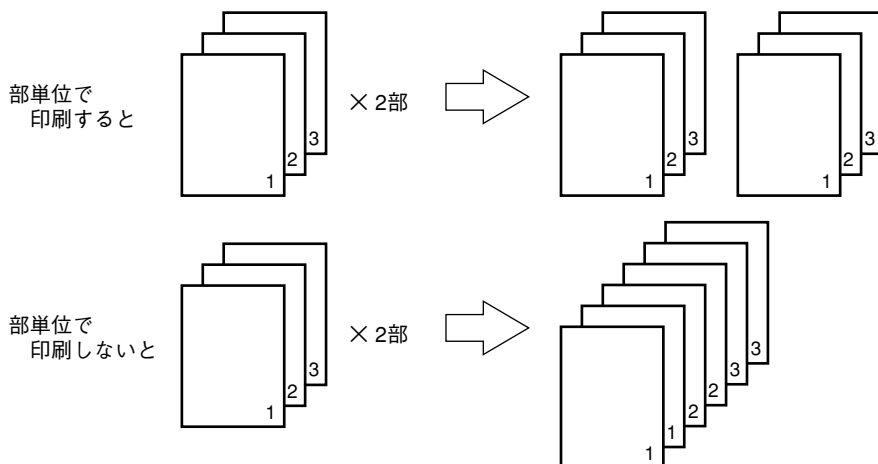
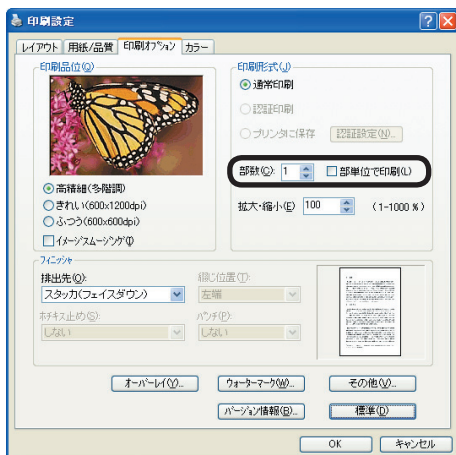
❸ [ジョブオプション]パネルの[印刷品位]で[高精細（多階調）]を選択します。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [プリンタの機能] パネルの [ジョブオプション] 機能セットの [印刷品位] で [高精細（多階調）] を選択します。

文書を部単位で印刷（丁合印刷）

部単位の印刷ができます。部単位で印刷すると、仕分けする手間が省けます。

・PSプリンタドライバを利用する場合は、アプリケーションの部単位印刷機能をオフにしてください。
・[丁合印刷エラーです]となった場合は、一部のみ印刷を行います。プリンタに増設メモリ（オプション）または内蔵ハードディスク（オプション）を装着すると、エラーが軽減される場合があります。
・アプリケーションによっては利用できない場合があります。

Windowsをお使いの方

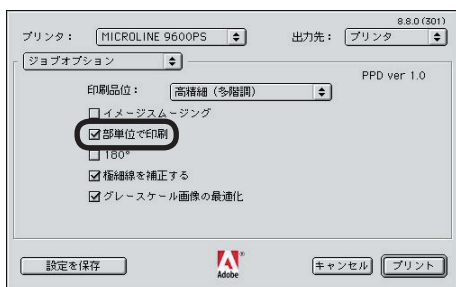
（WindowsXP PSプリンタドライバの画面）

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

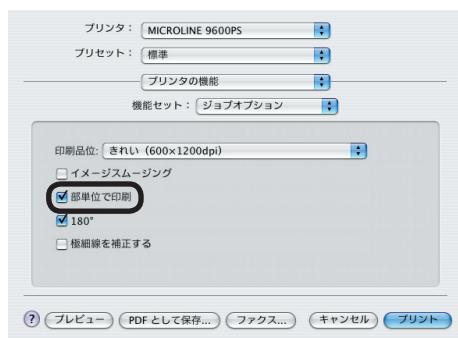
❹ ［印刷オプション］タブで［部数］に印刷部数を入力し、［部単位で印刷］にチェックを付けます。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［部数］に印刷部数を入力し、［ジョブオプション］パネルの［部単位で印刷］にチェックを付けます。

・［一般設定］パネルの［部単位で印刷］にチェックを付けると、プリンタのメモリを利用しないで印刷します。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

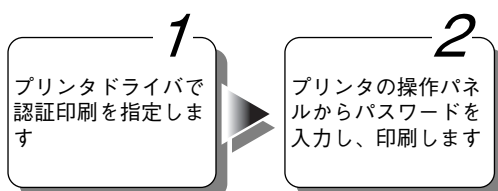
❸ ［印刷部数と印刷ページ］パネルの［丁合い］のチェックを外し、［部数］に印刷部数を入力し、［プリンタの機能］パネルの［ジョブオプション］機能セットの［部単位で印刷］にチェックを付けます。

- ［印刷部数と印刷ページ］パネルの［丁合い］にチェックを付けると、プリンタのメモリを利用しないで印刷します。

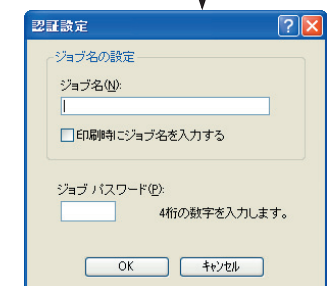
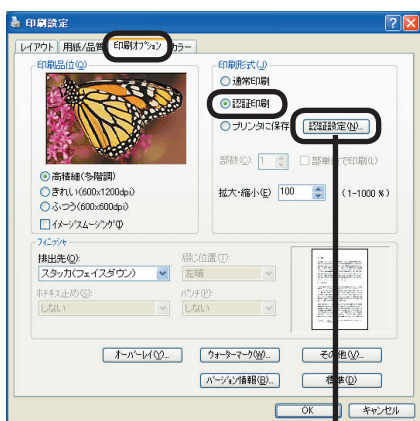
パスワードを入力してから印刷（認証印刷）

印刷データをプリンタのハードディスクに保存し、プリンタの「操作パネル」からパスワードを入力して印刷します。第三者に見られたくない文書を印刷する場合などに便利です。

- プリンタに内蔵ハードディスク（オプション）が必要です。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておきます。詳しくは別冊「プリンタ機能編」の「オプションについて」をご覧ください。
- 内蔵ハードディスクに［共通］パーティションが必要です。
- 内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、操作パネルに［ファイルシステムがいっぱいです］と表示し、印刷は行いません。

認証印刷の手順

手順（*1*から*2*まであります。）

1 プリンタドライバで認証印刷を指定します。

Windowsをお使いの方

（WindowsXP PSプリンタドライバの画面）

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

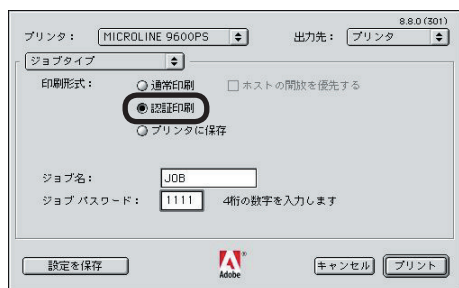
❹ ［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［認証印刷］を選択します。

❺ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「ジョブパスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
　最大16文字までの半角英数字で設定します。
印刷時にジョブ名を入力する
　印刷時にコンピュータ上に、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。
ジョブパスワード
　4桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合、「ジョブ名入力」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

手順*2* 82ページへ進みます。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

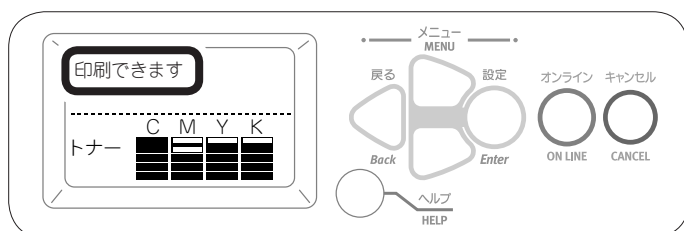
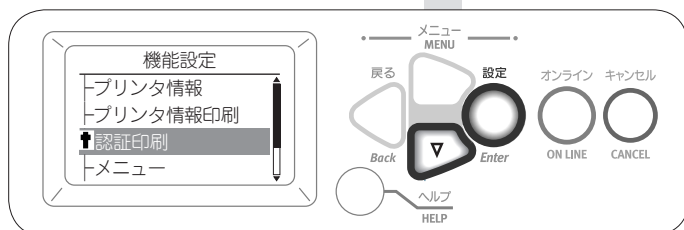
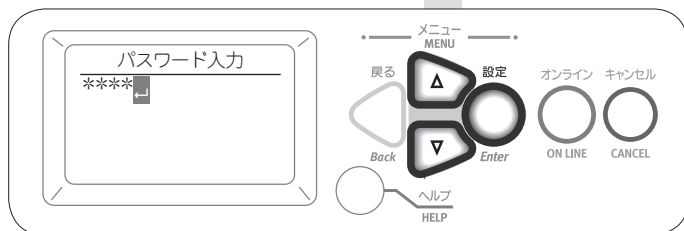
❸ ［ジョブタイプ］パネルの［印刷形式］で［認証印刷］を選択し、［ジョブ名］、［ジョブパスワード］を入力します。

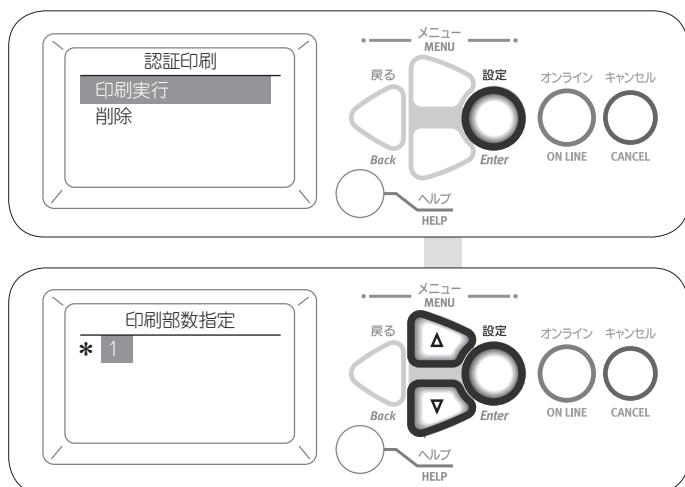
❹ ［設定を保存］をクリックし、確認メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

❺ 印刷します。

Mac OS Xをお使いの方

利用できません。

2 プリンタの「操作パネル」からパスワードを入力し、印刷します。

❶ 操作パネルに［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押して［認証印刷］を選択し、○設定ボタンを押します。

❸「パスワード入力」画面になるので、パスワードの1桁目を入力します。
△，▽ボタンで数字を選択し、○設定ボタンを押します。同様に2～4桁を設定します。
最後に○設定ボタンを押します。

誤って入力したときは、◁戻るボタンを押し、入力し直してください。

❹「認証印刷」画面で［印刷実行］が選択されていることを確認し、設定ボタンを押します。

❺「印刷部数指定」画面になるので、△ボタンまたは▽ボタンで印刷部数を選択し、設定ボタンを押します。

認証印刷が行われます。

印刷を行わない場合は、手順❹で［削除］を選択し、設定ボタンを押します。［実行しますか？　はい/いいえ］と表示するので［はい］を選択し、設定ボタンを押します。

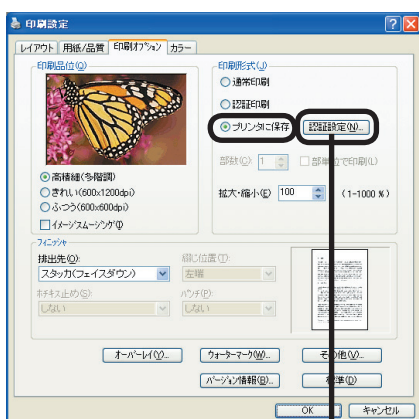
プリンタのハードディスクにジョブを保存して繰り返し印刷する

印刷データをプリンタのハードディスクに保存し、プリンタの操作パネルでパスワードを入力して何度も繰り返しそのデータを印刷することができます。保存したデータが不要になったときは、操作パネルで削除してください。

- プリンタに内蔵ハードディスク（オプション）が必要です。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておきます。詳しくは別冊「プリンタ機能編」の「オプションについて」をご覧ください。
- 内蔵ハードディスクに［共通］パーティションが必要です。
- 内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、操作パネルに［ファイルシステムがいっぱいです］と表示し、印刷は行いません。

手順（*1*から*2*まであります。）

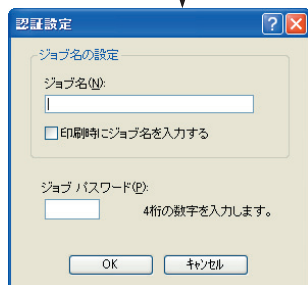
1 ファイルを開いて印刷します。

Windowsをお使いの方

（WindowsXP PSプリンタドライバの画面）

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

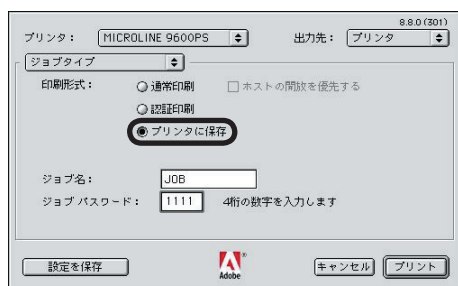
❹ ［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［プリンタに保存］を選択します。

❺ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「ジョブパスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

メモ

ジョブ名
　最大16文字までの半角英数字で設定します。
印刷時にジョブ名を入力する
　印刷時にコンピュータ上に、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。
ジョブパスワード
　4桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合、「ジョブ名入力」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

手順*2*　85ページへ進みます。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

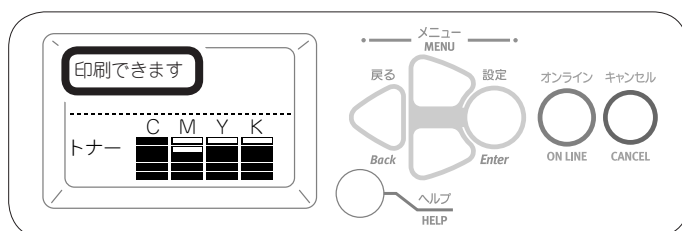
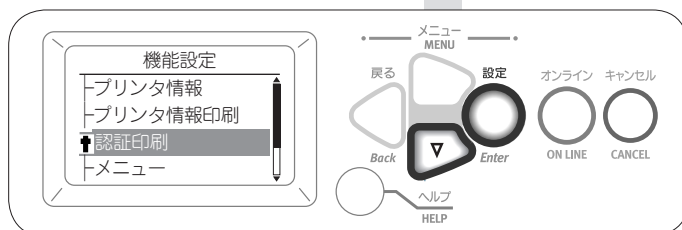
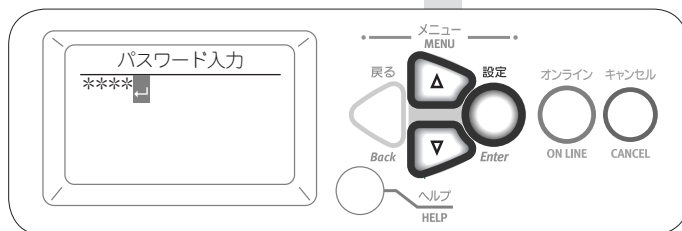
❸［ジョブタイプ］パネルの［印刷形式］で［プリンタに保存］を選択し、［ジョブ名］、［ジョブパスワード］を入力します。

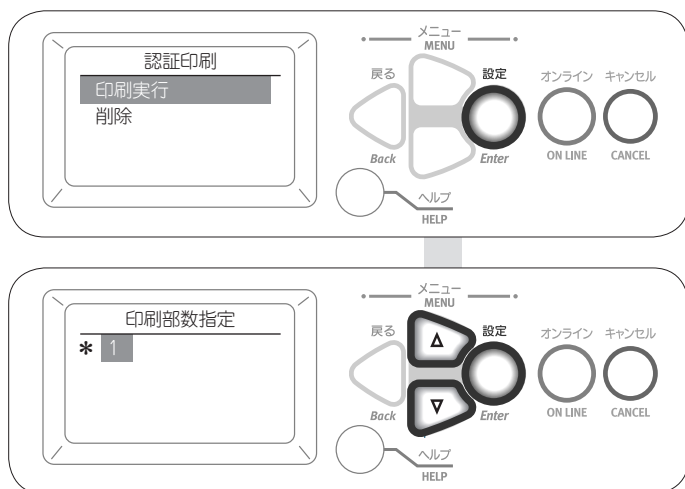
❹［設定を保存］をクリックし、確認メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

❺ 印刷します。

Mac OS Xをお使いの方

利用できません。

2 プリンタの「操作パネル」からパスワードを入力し、印刷します。

❶ 操作パネルに［印刷できます］と表示していることを確認します。

❷ ▽ボタンを数回押して［認証印刷］を選択し、◯設定ボタンを押します。

❸「パスワード入力」画面になるので、パスワードの1桁目を入力します。
△, ▽ボタンで数字を選択し、◯設定ボタンを押します。同様に2〜4桁を設定します。
最後に◯設定ボタンを押します。

誤って入力したときは、◁戻るボタンを押し、入力し直してください。

❹「認証印刷」画面で［印刷実行］が選択されていることを確認し、 設定ボタンを押します。

❺「印刷部数指定」画面になるので、 ボタンまたは ボタンで印刷部数を選択し、 設定ボタンを押します。

認証印刷が行われます。

保存したデータを削除するには、手順❹で［削除］を選択し、 設定ボタンを押します。［実行しますか？　はい/いいえ］と表示するので［はい］を選択し、 設定ボタンを押します。

表紙のみ別のトレイから給紙(表紙印刷)

表紙だけ、または1ページ目だけ用紙の厚さや色を変えて印刷したい時に、この機能を使います。
使用する用紙は、あらかじめプリンタにセットしておきます。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

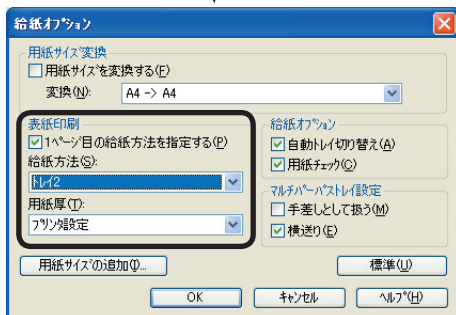
利用できません。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

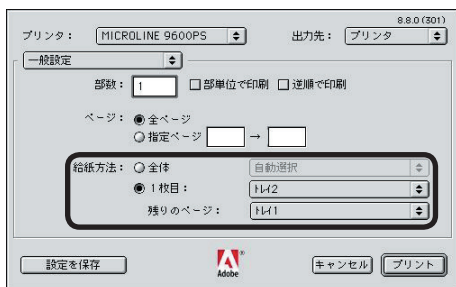
❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ] (WindowsXP/Server2003では [詳細設定]) をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [設定] タブの [オプション] をクリックします。

❺ [表紙印刷] の [1ページ目の給紙方法を指定する] にチェックを付け、[給紙方法] をメニューから選択します。必要に応じて用紙厚を設定します。

給紙方法でメディアタイプを指定せずに必ずトレイを指定してください。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [一般設定] パネルの [給紙方法] で [1枚目] のラジオボタンをクリックし、[1枚目] と [残りのページ] のメニューからそれぞれの給紙方法を選択します。

給紙方法でメディアタイプを指定せずに必ずトレイを指定してください。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

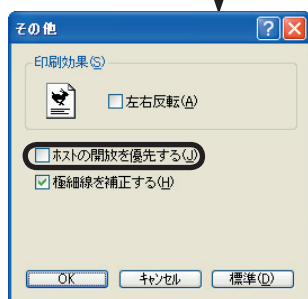
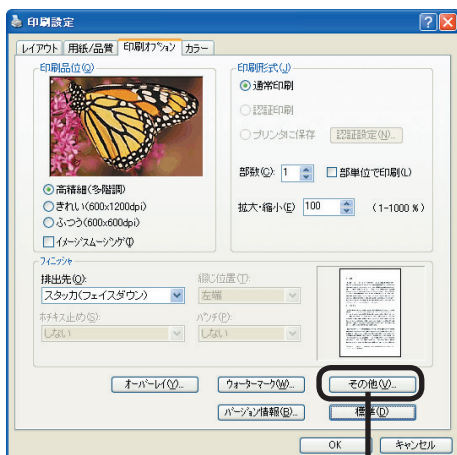
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［給紙］パネルで［先頭のページのみ］をクリックし、［先頭ページのみ］と［残りのページ］のメニューからそれぞれの給紙方法を選択します。

給紙方法でメディアタイプを指定せずに必ずトレイを指定してください。

印刷ジョブをスプールしてコンピュータの開放を早くする（バッファ印刷）

印刷データをプリンタのハードディスクに蓄えて、大容量のジョブや複雑なジョブの処理からコンピュータを早く開放することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスク（オプション）が必要です。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは別冊「プリンタ機能編」の「オプションについて」をご覧ください。
- 印刷ジョブを蓄える内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、［ファイルシステムがいっぱいです］を表示し、印刷は行いません。
- 内蔵ハードディスクに「共通」パーティションが必要です。
- バッファ印刷を行わない場合と比較すると、印刷完了時間は遅くなります。

Windowsをお使いの方

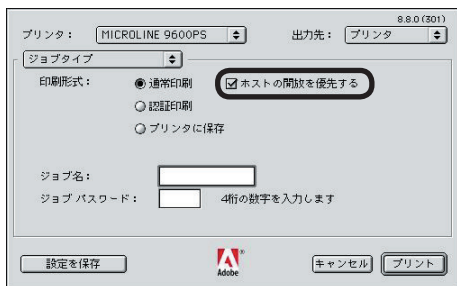
（WindowsXP PSプリンタドライバの画面）

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。

❺ ［ホストの開放を優先する］にチェックを付けます。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

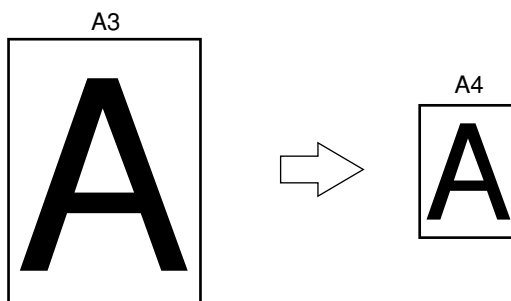
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［ジョブタイプ］パネルの［ホストの開放を優先する］にチェックを付けます。

Mac OS Xをお使いの方

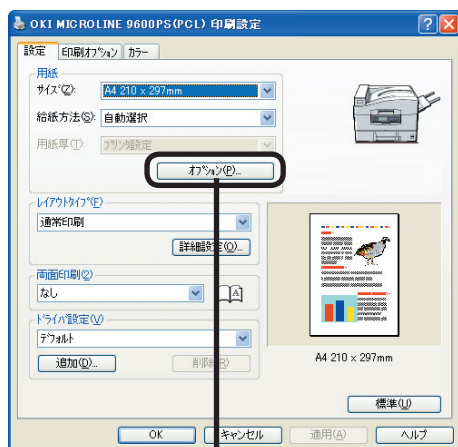
利用できません。

ドキュメントサイズと異なる用紙サイズで印刷したい

ドキュメントに手を加えずに、編集サイズと異なる用紙サイズに合わせて印刷することができます。

アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

利用できません。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹［設定］タブの［サイズ］で編集する用紙サイズを選択します。

❺［オプション］をクリックします。

❻［用紙サイズを変換する］にチェックを付け、［変換］で印刷する用紙サイズを選択します。

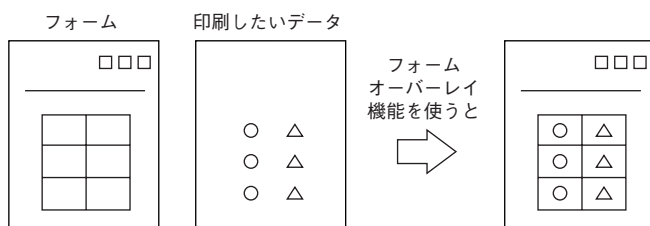
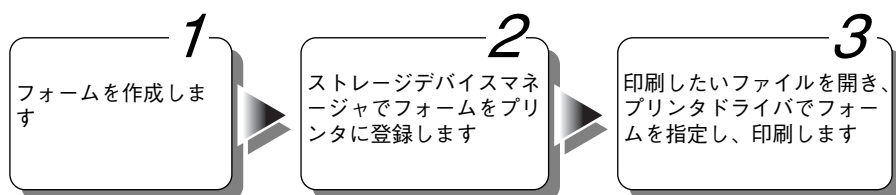
MacOSをお使いの方

利用できません。

Mac OS Xをお使いの方

利用できません。

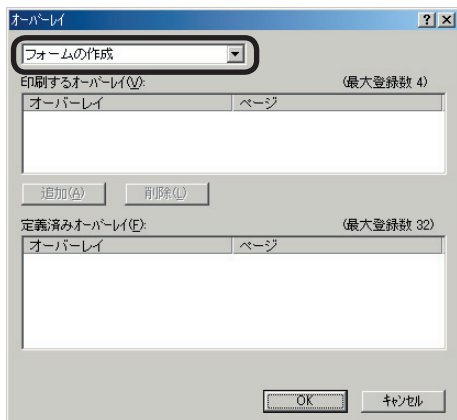
プリンタにフォームを登録して、印刷したい（フォームオーバーレイ）

帳票、ロゴなどをフォームとしてプリンタに登録しておき、印刷したいデータに重ね合わせて印刷できます。

・OKIストレージデバイスマネージャのセットアップについては、「ユーティリティをインストールする／起動する（Windows）」（123ページ）をご覧ください。
・内蔵ハードディスク（オプション）が必要です。

手順（1から3まであります。）

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方は95ページをご覧ください。

注 WindowsNT4.0ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

1 フォームを作成します。

❶ ［印刷先のポート］を［FILE:］に変更します。詳しくは、「印刷データをファイルに出力する」（306ページ）をご覧ください。

❷ アプリケーションを起動し、プリンタに登録したいフォームを作成します。
ここでは、アプリケーションは、ワードパットを例にしています。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

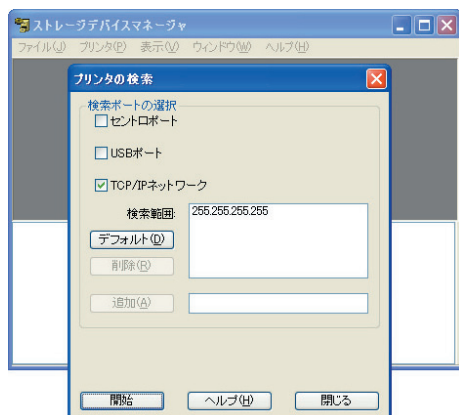
❺ ［印刷オプション］タブの［オーバーレイ］をクリックし、「オーバーレイ」画面で［フォームの作成］を選択します。

❻ 印刷します。実際はフォームの印刷は行わず、ファイルに保存します。
拡張子が「prn」で、適当なファイル名を入力し、保存先を選択します。

注 フォームは印刷されません。

❼ ［印刷先のポート］を元に戻します。

2 OKI ストレージデバイスマネージャでフォームをプリンタに登録します。

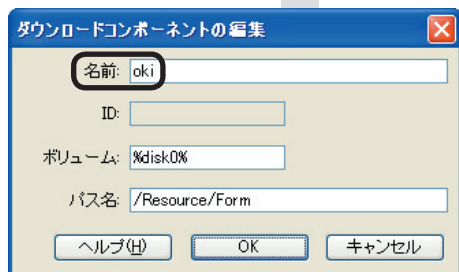
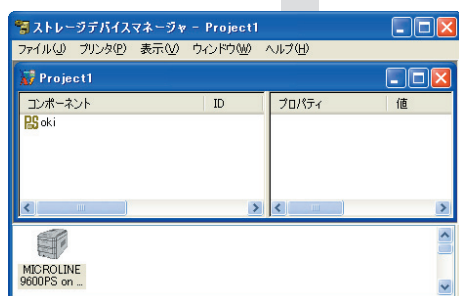
ダウンロードコンポーネントの編集
名前: oki
ID:
ボリューム: %disk0%
パス名: /Resource/Form
ヘルプ(H) OK キャンセル

❶ [スタート] - [プログラム]（WindowsXPでは [すべてのプログラム]）- [沖データ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、[開始] をクリックします。

メモ WindowsXP Service Pack 2をお使いの方は、「トラブルシューティング」の「WindowsXP Service Pack 2に関する制限事項」（325ページ）をご覧ください。

❸ [終了] をクリックし、[閉じる] をクリックします。

❹ [ファイル] メニューから [プロジェクトの新規作成] を選択します。

❺ [ファイル] メニューの [プロジェクトへファイルの追加] を選択し、手順1で作成したフォームのファイルを選択します。
プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻ プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、「名前」を入力し、[OK] をクリックします。ボリューム、パス名は変更しないでください。

❼ 下のウインドウでプリンタを選択し、[ファイル] メニューから [プロジェクトの送信] を選択します。フォームファイルがプリンタに登録されます。

❽ 完了画面で [OK] をクリックします。

❾ OKI ストレージデバイスマネージャを終了します。

3 プリンタドライバでオーバーレイを登録し、アプリケーションから印刷します。

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。Windows Server 2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

❷ プロパティを開きます。

WindowsXP/2000/Server2003をお使いの方

［OKI MICROLINE 9600PS(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

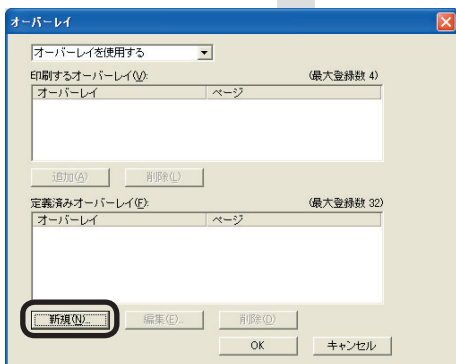
WindowsMe/98/95をお使いの方

［OKI MICROLINE 9600PS(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

WindowsNT4.0をお使いの方

［OKI MICROLINE 9600PS(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。

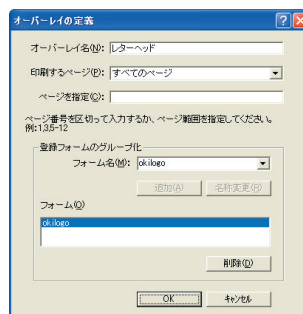
❸ オーバーレイを使用する設定をします。

［印刷オプション］タブの［オーバーレイ］をクリックし、「オーバーレイの設定」画面で［オーバーレイを使用する］を選択し、［オーバーレイの設定］をクリックします。

❹ ［新規］をクリックします。

❺ ［フォーム名］にOKI ストレージデバイスマネージャで登録したフォーム名を入力し、［追加］をクリックします。

❻ ［オーバーレイ名］を入力し、［印刷するページ］でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「ユーザページ設定」を選択し、［ページを指定］に適用するページを入力します。

メモ

オーバーレイは、フォームのグループです。1つのオーバーレイに3つのフォームを登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❼ ［OK］を3回クリックし、［印刷設定］ダイアログを閉じます。

❽ アプリケーションを起動し、オーバーレイを使用するデータを作成します。

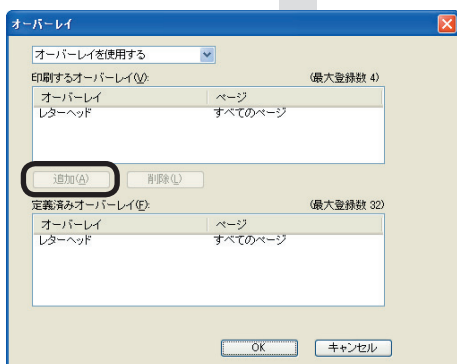
❾ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❿ ［プロパティ］（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

⓫ ［印刷オプション］タブの［オーバーレイ］をクリックし、「オーバーレイ」画面で［オーバーレイを使用する］を選択します。

⓬ ［定義済みオーバーレイ］から印刷に使用するオーバーレイを選択し、［追加］をクリックします。

⓭ ［OK］を2回クリックし、［印刷設定］ダイアログを閉じます。

⓮ ［印刷］をクリックし印刷します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

Windows PSプリンタドライバをお使いの方は91ページをご覧ください。

1 フォームを作成します。

❶ ［印刷先のポート］を［FILE:］にします。詳しくは「印刷データをファイルに出力する」（306ページ）をご覧ください。

❷ アプリケーションを起動し、プリンタに登録したいフォームを作成します。
ここでは、アプリケーションは、ワードパットを例にしています。

❸ 印刷します。実際は、フォームの印刷は行わず、ファイルに保存します。
拡張子が「prn」で、適当なファイル名を入力し、保存先を選択します。

❹ ［印刷先のポート］を元に戻します。

2 OKI ストレージデバイスマネージャでフォームをプリンタに登録します。

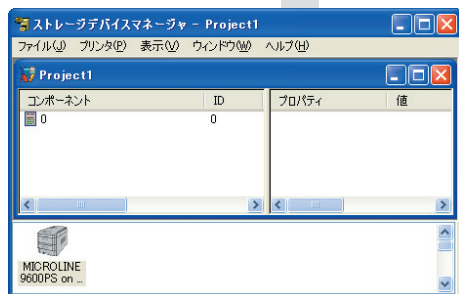
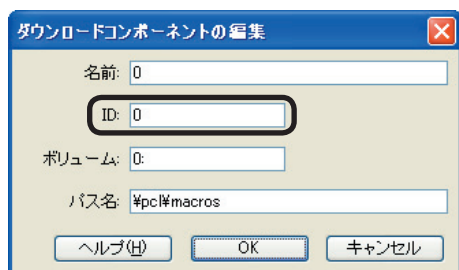
❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXPでは［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷ ［プリンタの検索］画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

メモ WindowsXP Service Pack 2をお使いの方は、「トラブルシューティング」の「WindowsXP Service Pack 2に関する制限事項」（325ページ）をご覧ください。

❸ ［閉じる］をクリックします。

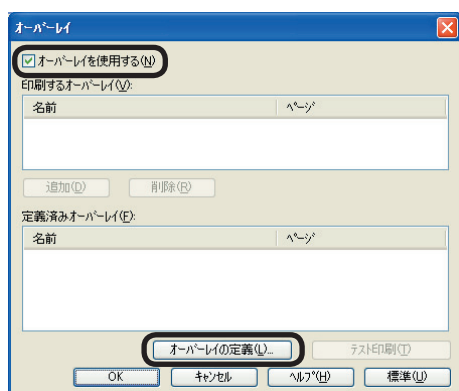
❹ ［ファイル］メニューから［プロジェクトの新規作成］を選択します。

❺ ［ファイル］メニューの［プロジェクトへファイルの追加］を選択し、手順1で作成したフォームのファイルを選択します。プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻ プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、[ID] に任意の数字を入力し、[OK] をクリックします。ボリューム、パス名は変更しないでください。

❼ 下のウインドウでプリンタを選択し、[ファイル] メニューから [プロジェクトの送信] を選択します。フォームファイルがプリンタに登録されます。

❽ 完了画面で [OK] をクリックします。

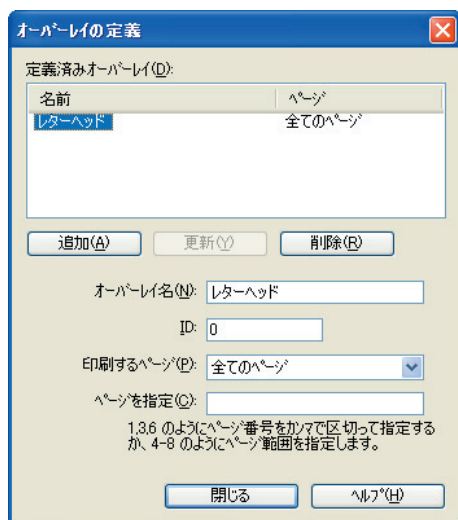
❾ OKI ストレージデバイスマネージャを終了します。

3 プリンタドライバでオーバーレイを登録し、アプリケーションから印刷します。

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [印刷] を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXP/Server2003では [詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

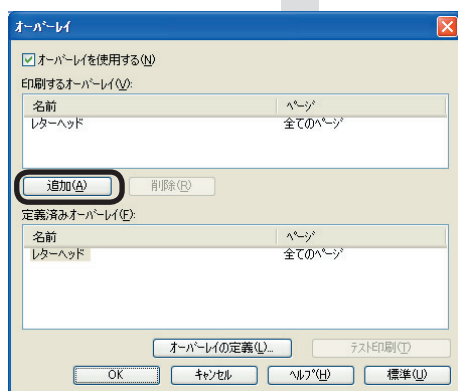
❹ [印刷オプション] タブの [オーバーレイ] をクリックします。

❺ 「オーバーレイ」画面の [オーバーレイを使用する] にチェックを付け、[オーバーレイの定義] をクリックします。

❻ ［オーバーレイ名］を入力し、［ID］にOKI ストレージデバイスマネージャで登録したフォームのIDを入力します。

オーバーレイはフォームのグループです。1つのオーバーレイに3つのID（フォームファイル）を登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❼ ［印刷するページ］でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「カスタム」を選択し、［ページを指定］に適用するページを入力します。

❽ ［追加］をクリックします。

❾ ［閉じる］をクリックします。

❿ 定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、［追加］をクリックします。

⓫ ［OK］を2回クリックし、［印刷設定］ダイアログを閉じます。

⓬ ［印刷］をクリックし印刷します。

MacOSをお使いの方

利用できません。

Mac OS Xをお使いの方

利用できません。

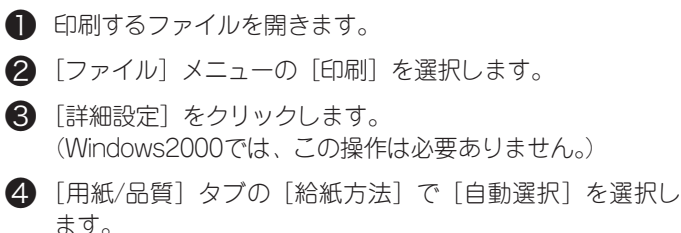
「トレイ」を自動で選択する

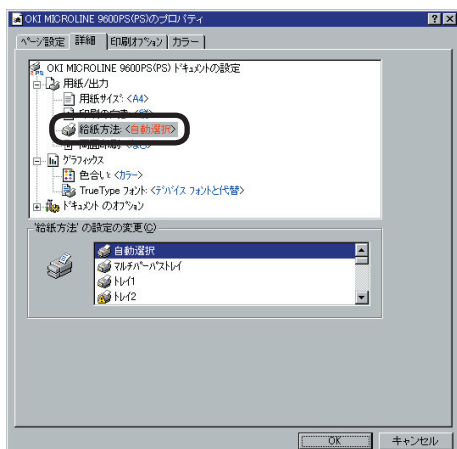
指定した用紙サイズに一致するトレイ（トレイ1〜5（トレイ2〜5はオプション）、マルチパーパストレイ）を自動的に選択して印刷できます。

・プリンタの「操作パネル」で、「マルチパーパストレイ」の用紙サイズを設定しておく必要があります。
・「操作パネル」で［メディアタイプ］を［普通紙］以外に設定している場合は、［自動選択］ではなく、直接「トレイ」を指定してください。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）
❹［用紙/品質］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

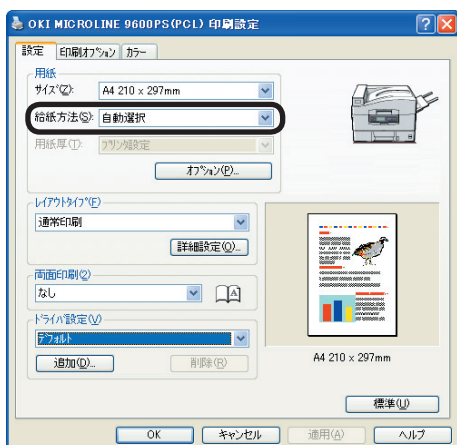
WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸［プロパティ］をクリックします。
❹［設定］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［詳細］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［設定］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［給紙］パネルで［全体］を選択し、［自動選択］を選択します。

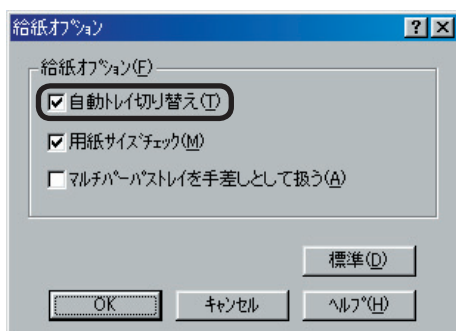
同じ用紙サイズを大量に印刷する（自動トレイ切替）

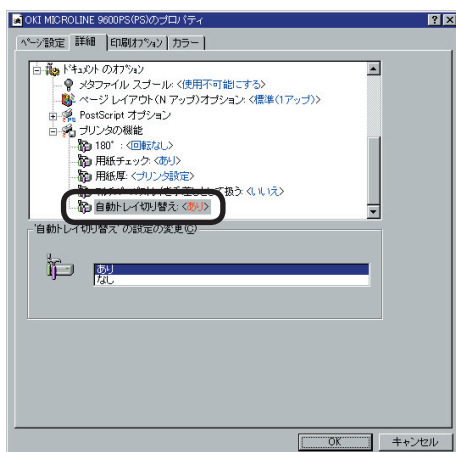
「トレイ1～5（トレイ2～5はオプション）」、「マルチパーパストレイ」に同じ用紙をセットしておくと、印刷中のトレイが空になっても、継続して他のトレイから給紙印刷します。

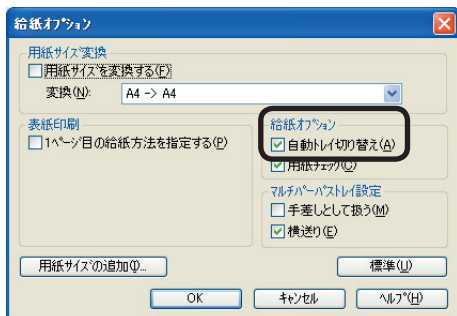
- 印刷する前に、必ずプリンタの「操作パネル」で、各「トレイ」のメディアウエイト、メディアタイプと「マルチパーパストレイ」の用紙サイズ、メディアウェイト、メディアタイプを同一に設定してください。
- A4、B5、レター用紙を使う場合は、各トレイに同じ向きでセットしてください。

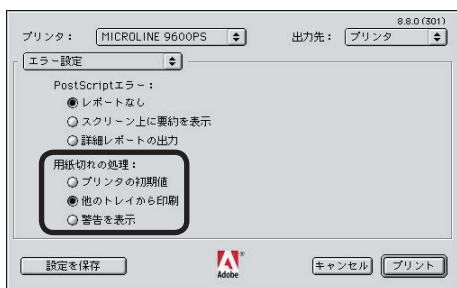
WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）
❹ ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。
❺ ［自動トレイ切り替え］で［あり］を選択します。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸ ［プロパティ］をクリックします。
❹ ［設定］タブの［給紙オプション］をクリックします。
❺ ［自動トレイ切り替え］にチェックを付けます。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸ ［プロパティ］をクリックします。
❹ ［詳細］タブの［ドキュメントのオプション］の［+］をクリックし、［自動トレイ切り替え］で［あり］を選択します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）
❹ ［設定］タブの［オプション］をクリックします。
❺ ［自動トレイ切り替え］にチェックを付けます。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
❸ ［エラー設定］パネルの［用紙切れの処理］で［他のトレイから印刷］を選択します。

Mac OS Xをお使いの方

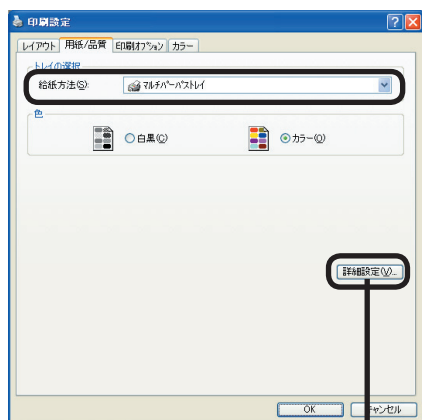
❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
❸ ［エラー処理］パネルの［トレイの切り替え］で［同じ用紙サイズの別のカセットに切り替える］を選択します。

手差しで一枚ずつ印刷する

コンピュータから手差しを指定して印刷し、マルチパーパストレイに用紙をセットしてからオンラインボタンを押し、1枚ずつ印刷します。

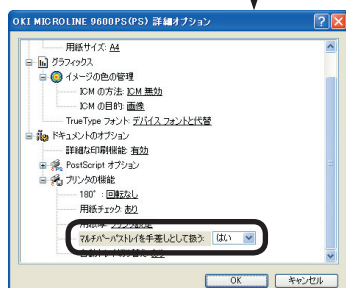
手順（*1*から*4*まであります。）

1 ファイルを開いて、手差しを指定し印刷します。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

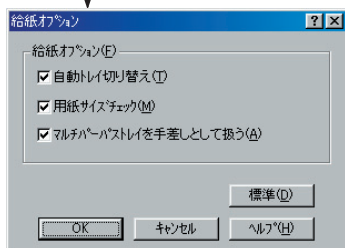
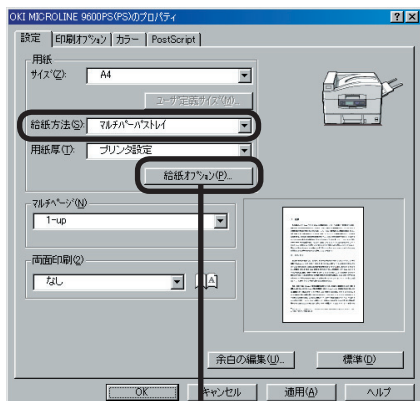
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［用紙/品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺ ［詳細設定］をクリックし、［ドキュメントのオプション］-［プリンタの機能］-［マルチパーパストレイを手差しとして扱う］を［はい］に設定して［OK］をクリックします。

❻ 印刷します。

手順*2*　106ページへ進みます。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

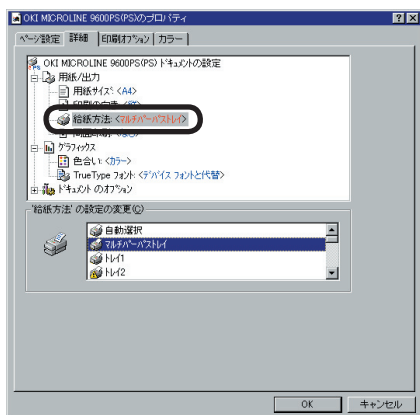
❹ ［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺ ［設定］タブの［給紙オプション］をクリックします。

❻ ［マルチパーパストレイを手差しとして扱う］にチェックを付けます。

❼ 印刷します。

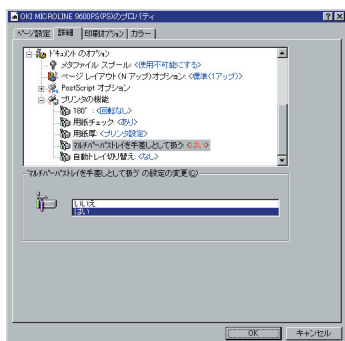
手順*2*　106ページへ進みます。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

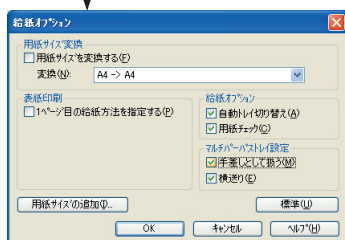
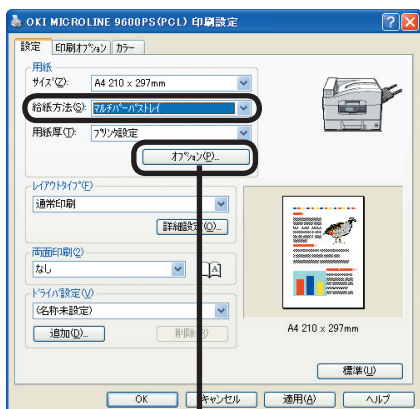
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

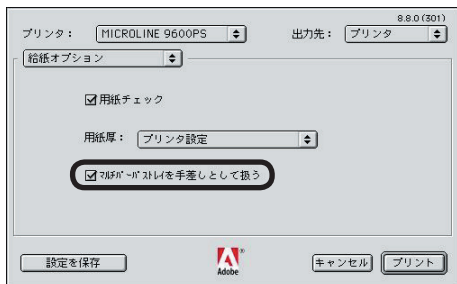
❹ ［詳細］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺ ［詳細］タブの［ドキュメントのオプション］の［+］をクリックし､［マルチパーパストレイを手差しとして扱う］で［はい］を選択します。

❻ 印刷します。

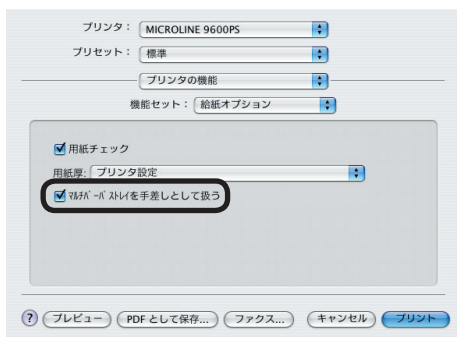
手順*2*　106ページへ進みます。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）
❹ ［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。
❺ ［オプション］をクリックします。
❻ ［マルチパーパストレイ設定］で［手差しとして扱う］をチェックし、［OK］をクリックします。
❼ 印刷します。

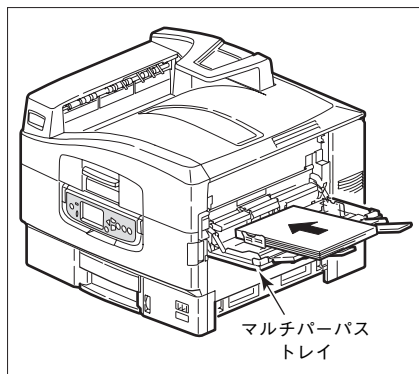
手順2　106ページへ進みます。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
❸ ［給紙方法］で［トレイ1］または［マルチパーパストレイ］を選択します。
❹ ［給紙オプション］パネルの［マルチパーパストレイを手差しとして扱う］をチェックします。
❺ ［プリント］をクリックします。

手順2　106ページへ進みます。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
❸ ［給紙］パネルの［マルチパーパストレイ］を選択します。
❹ ［プリンタの機能］パネルの「給紙オプション」機能セットで［マルチパーパストレイを手差しとして扱う］をチェックします。

手順2　106ページへ進みます。

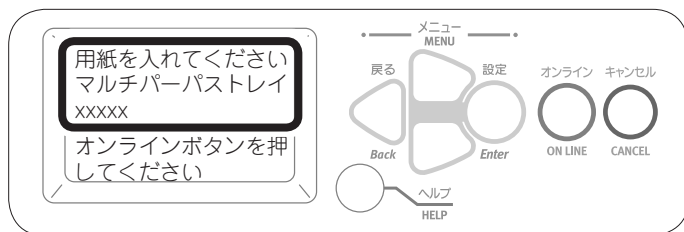
2 マルチパーパストレイを開き、用紙をセットします。

用紙のセット方向

印刷面を上にします

A4、B5、レター縦送りの場合

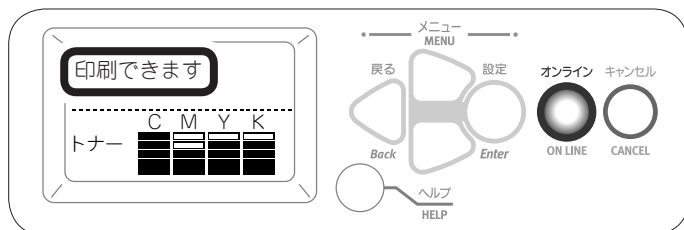
A4、B5、レター横送りの場合

フェイスアップスタッカに排出する場合は、フェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルを確認します。

❶ 操作パネルに左のように表示していることを確認します。

❷ 表示している用紙サイズと、マルチパーパストレイにセットした用紙サイズが一致していることを確認します。

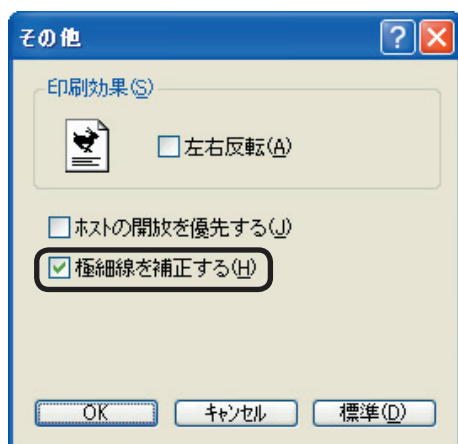
注 xxxxxは用紙サイズを表します。

4 印刷します。

❶ オンラインボタンを押すと、印刷を開始します。

印刷を中止したいときは、キャンセルボタンを押します。

極細線が細くなりすぎるのを防ぎたい

アプリケーションから極細線が指定された時、線がかすれて印刷されるのを防ぎます。この機能は標準でオンになっています。

アプリケーションによってはバーコードなどの間隔が狭くなることがあります。その場合はこの機能をオフにしてください。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

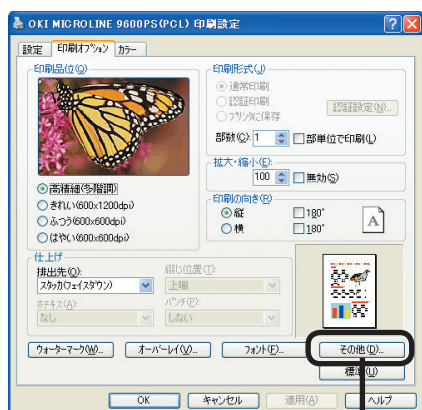
❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

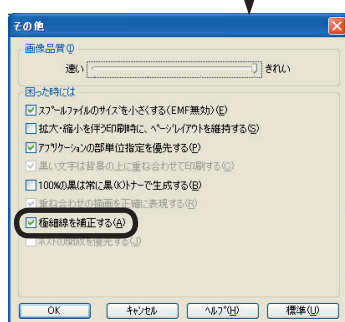
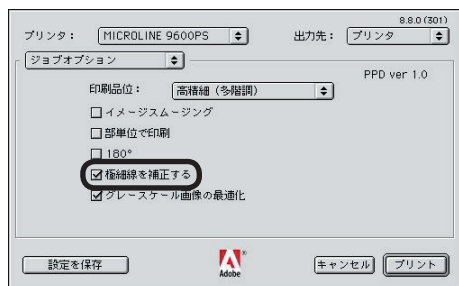
❹ ［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。

❺ ［極細線を補正する］にチェックを付けます。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

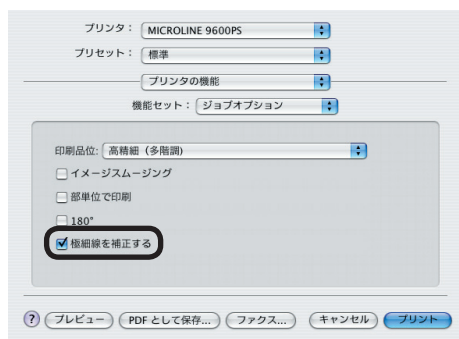
❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。

❺ ［極細線を補正する］にチェックを付けます。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［ジョブオプション］パネルの［極細線を補正する］にチェックを付けます。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタの機能］パネルの［ジョブオプション］機能セットの［極細線を補正する］にチェックを付けます。

プリンタフォントに置き換えて印刷する

TrueTypeフォントをプリンタ内蔵フォントに置き換えて印刷できます。内蔵フォントで印刷すると、データ量が軽減されるため、出力までの時間が短縮される場合があります。

- フォントの置き換え機能は、文書の体裁は保持しますが、フォントのデザインを再現させるものではありません。フォントのデザインを正確に印刷する必要がある場合は、フォントの置き換え機能を無効にしてください。
- 独自のプリンタドライバを使用している一部のアプリケーションでは、フォントの置き換え機能が正常に動作しないことがあります。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバをお使いの方

コンピュータの管理者の権限が必要です。

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。(WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］を選択します。Windows Server 2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。)

❷ ［OKI MICROLINE 9600PS(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［フォント代替表］で、TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換え、［OK］をクリックします。

この例では、アプリケーション上でMSゴシックフォントを選ぶと、印刷時に平成角ゴシックW5（内蔵フォント）に置き変わって印刷されます。

❹ アプリケーションの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

❺ ［詳細設定］をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❻ ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❼ ［TrueTypeフォント］で［デバイスフォントと代替］を選択します。

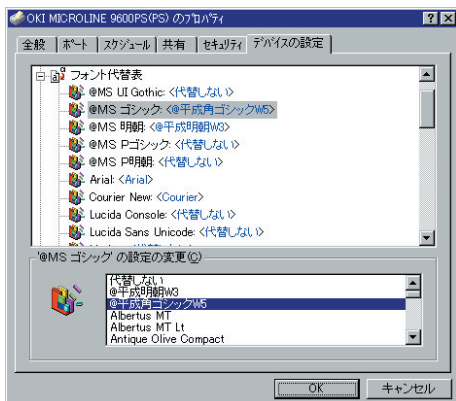
WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 9600PS(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［フォント］タブの［可能な場合TrueTypeフォントをプリンタフォントで置き換える］を選択します。

すべてのTrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えることはできません。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

コンピュータの管理者の権限が必要です。

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

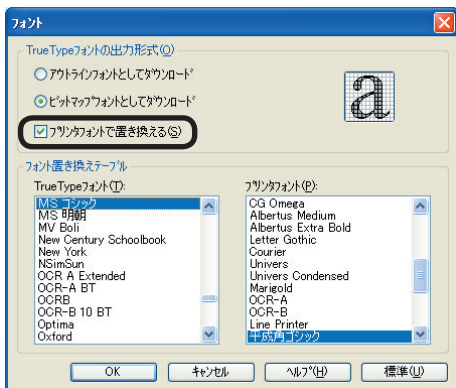
❷ ［OKI MICROLINE 9600PS(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［フォント代替表］でTrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換え、［OK］をクリックします。

メモ　この例では、アプリケーション上でMSゴシックフォントを選ぶと、印刷時に平成角ゴシックW5（内蔵フォント）に置き変わって印刷されます。

❹ アプリケーションの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

❺ ［プロパティ］をクリックし、［詳細］タブの［グラフィックス］の［TrueTypeフォント］で［デバイスフォントと代替］を選択します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

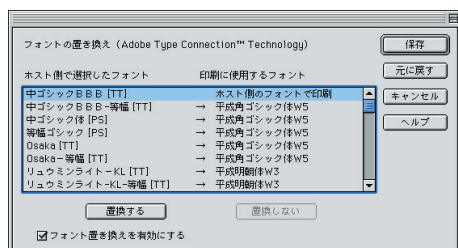
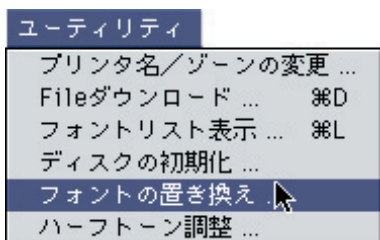
❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［フォント］をクリックします。

❺ 「フォント」画面の［プリンタフォントで置き換える］にチェックを付けます。

❻ ［フォント置き換えテーブル］でTrueTypeフォントをどのプリンタフォントに置き換えるかを指定します。

この例では、アプリケーション上でMSゴシックフォントを選ぶと、印刷時に平成角ゴシック（内蔵フォント）に置き変わって印刷されます。

MacOSをお使いの方

ユーティリティ
プリンタ名／ゾーンの変更 ...
Fileダウンロード ... ⌘D
フォントリスト表示 ... ⌘L
ディスクの初期化 ...
フォントの置き換え ...
ハーフトーン調整 ...

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ ［ユーティリティ］メニューから［フォントの置き換え...］を選択します。

❸ ［ホスト側で選択したフォント］ごとに、［置換する］または［置換しない］をクリックします。

メモ この例では、アプリケーション上で中ゴシックBBBを選ぶと、印刷時に平成角ゴシックW5（内蔵フォント）に置き変わって印刷されます。

❹ ［フォント置き換えを有効にする］にチェックを付けます。

❺ ［保存］をクリックします。

Mac OS Xをお使いの方

利用できません。

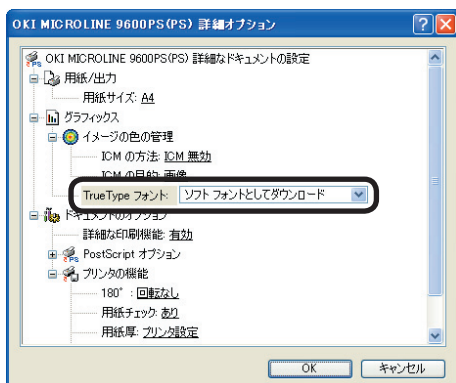
置き換えフォント一覧表

コンピュータ側で選択したフォント		フォント種別	印刷に使用するフォント
通常表示	Adobe Illustrator等の表示		
中ゴシックBBB	ChuGothicBBB Medium	TT	平成角ゴシック体W5
中ゴシックBBB-等幅	ChuGothicBBB Medium Mono	TT	平成角ゴシック体W5
中ゴシック体	GothicBBB-Medium	PS	平成角ゴシック体W5
等幅ゴシック	―	PS	平成角ゴシック体W5
Osaka	Osaka Regular	TT	平成角ゴシック体W5
Osaka-等幅	Osaka Regular-Mono	TT	平成角ゴシック体W5
リュウミンライト-KL	Ryumin Light KL	TT	平成明朝体W3
リュウミンライト-KL-等幅	Ryumin Light KL Mono	TT	平成明朝体W3
細明朝体	Ryumin Light	PS	平成明朝体W3
等幅明朝	―	PS	平成明朝体W3
平成角ゴシック	HeiseiKakuGothic W5	TT	平成角ゴシック体W5
平成明朝	HeiseiMincho W3	TT	平成明朝体W3
本明朝-M	HonMincho-Medium	TT	平成明朝体W3
B太ゴB101	FutoGoB101-Bold	PS	平成角ゴシック体W5
B太ミンA101	FutoMinA101-Bold	PS	平成明朝体W3
見出ゴMB31	MidashiGo-MB31	PS	平成角ゴシック体W5
見出ミンMA31	MidashiMin-MA31	PS	平成明朝体W3
丸ゴシック-M	MaruGothic-Medium	TT	―

TT：TrueTypeフォント
PS：PostScriptフォント

コンピュータのフォントで印刷する

TrueTypeフォントを画面表示のままに出力します。

印刷時間が長くなることがあります。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバをお使いの方

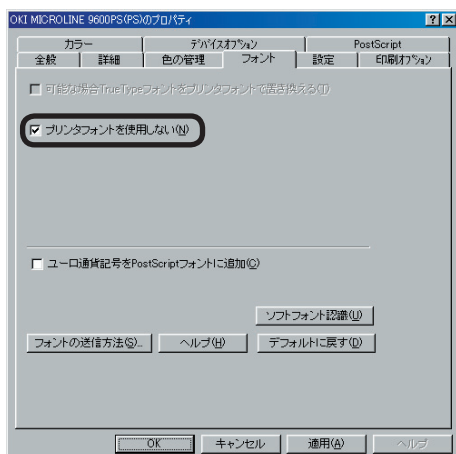
❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

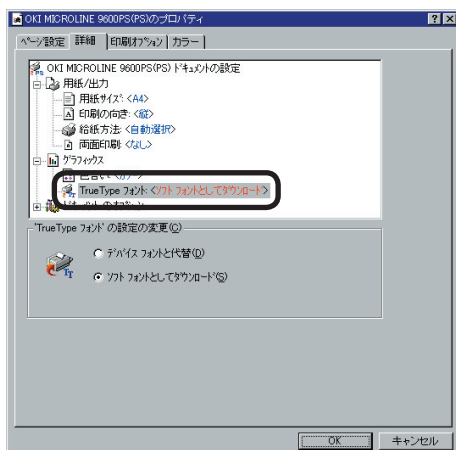
❹ ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺ ［TrueTypeフォント］で［ソフトフォントとしてダウンロード］を選択します。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 9600PS(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

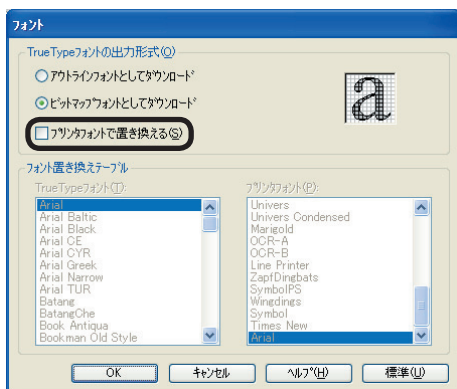
❸ ［フォント］タブの［プリンタフォントを使用しない］にチェックを付けます。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［詳細］タブの［TrueTypeフォント］で［ソフトフォントとしてダウンロード］を選択します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

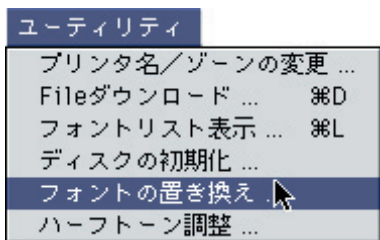
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

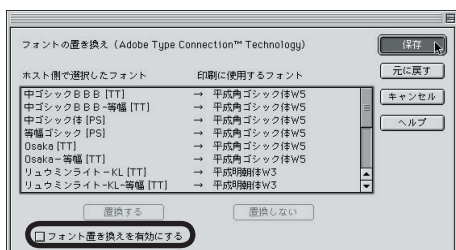
❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［フォント］をクリックします。

❺ 「フォント」画面の［プリンタフォントで置き換える］のチェックを外します。

アウトラインフォントとしてダウンロード
　プリンタでフォントイメージを作成します。
ビットマップフォントとしてダウンロード
　プリンタドライバでフォントイメージを作成します。

MacOSをお使いの方

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ ［ユーティリティ］メニューから［フォントの置き換え...］を選択します。

❸ ［フォント置き換えを有効にする］のチェックを外します。

❹ ［保存］をクリックします。

Mac OS Xをお使いの方

利用できません。

アプリケーション別の対応

PSプリンタドライバを使って印刷する場合に注意が必要なアプリケーションについて簡単に説明します。詳しくは各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

Windowsをお使いの方

Adobe PageMaker 7.0/6.5/6.0J

Adobe PageMaker7.0J/6.5J/6.0Jで印刷するには、PPDファイルのインストールが必要です。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROMのアイコンを開きます。

WindowsXPをお使いの方

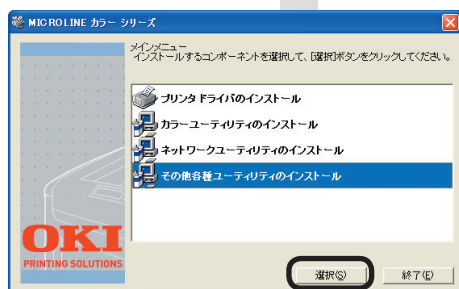
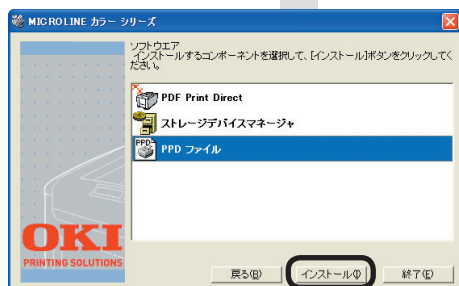
［スタート］-［マイコンピュータ］-［リムーバブルメディアのある領域］の［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003をお使いの方

［マイコンピュータ］-［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

❸［SETUP］アイコンをダブルクリックします。
セットアッププログラムが起動します。

❹「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❺［その他各種ユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❻［PPDファイル］を選択し、［インストール］をクリックします。

❼「インストール先の選択」画面が表示されたら、［参照］をクリックして、インストールするフォルダを選択し、［OK］をクリックします。

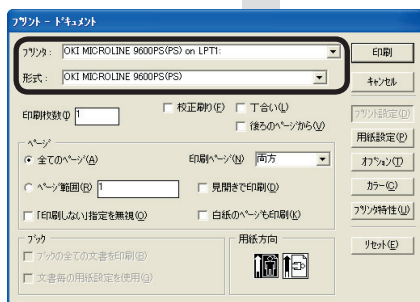
PageMaker7.0Jの場合
pagemaker7.0J¥rsrc¥japanese¥ppd4
PageMaker6.5Jの場合
pm65j¥rsrc¥japanese¥ppd4
PageMaker6.0Jの場合
pm6¥rsrc¥ppd4

❽［次へ］をクリックします。
PPDファイルがインストールされます。

❾［完了］をクリックします。

❿［終了］をクリックします。

⓫ PageMakerの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

⓬［プリンタ］と［形式］で［OKI MICROLINE 9600PS(PS)］を選択します。
［プリンタ］はプリンタドライバを、［形式］はPPDファイルを意味しています。

⓭［印刷］をクリックします。

QuarkXPress4.1/4.0J

- カラーマッチングを行うには、［補助］メニューの［Xtentionマネジャー］で［Quark CMS］がONになっている必要があります。
- ［ファイル］メニューの［印刷］-［出力］パネルで［ハーフトーン］を必ず［プリンタ］にしてください。［計算値］にすると印刷が粗くなります。
- MacintoshとUSBで接続している場合は［ファイル］メニューの［印刷］-［プリンタフォント］タブでプリンタフォントを検索することができません。
プリンタフォントを使うときは［プリンタフォント］タブの［ポストスクリプト印刷］の欄をクリックして使用するフォントにチェックを付けてください。

Adobe Photoshop CS/7.0/6.0/5.5/5.0J

- ハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含むEPSファイルは、印刷が粗くなることがあります。プリンタに最適なハーフトーンで印刷するには、EPSファイルの作成時にハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含めないようにしてください。

Adobe Illustrator CS/10.0/9.0/8.0/7.0J

- ［ファイル］メニューの［書類設定］で［プリンタの初期設定値を使う］を必ずONにしてください。OFFにして印刷すると印刷が粗くなることがあります。

Macintoshをお使いの方

QuarkXPress 4.1/4.0J

- カラーマッチングを行うには、[補助] メニューの [Xtentionマネジャー] で [Quark CMS] がONになっている必要があります。
- [ファイル] メニューの [印刷] - [出力] パネルで [ハーフトーン] を必ず [プリンタ] にしてください。[計算値] にすると印刷が粗くなります。
- MacintoshとUSBで接続している場合は [ファイル] メニューの [印刷] - [プリンタフォント] タブでプリンタフォントを検索することができません。
  プリンタフォントを使うときは [プリンタフォント] タブの [ポストスクリプト印刷] の欄をクリックして使用するフォントにチェックを付けてください。

Adobe Photoshop CS/7.0/6.0/5.5/5.0J

- ハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含むEPSファイルは、印刷が粗くなることがあります。プリンタに最適なハーフトーンで印刷するには、EPSファイルの作成時にハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含めないようにしてください。

Adobe Illustrator CS/10.0/9.0/8.0/7.0J

- [ファイル] メニューの [書類設定] で [プリンタの初期設定値を使う] を必ずONにしてください。OFFにして印刷すると印刷が粗くなることがあります。

Macromedia FreeHand 9.0/8.0J

- ICCプロファイルが表示されない場合は、[システムフォルダ] の [ColorSync 特性] または [ColorSync プロファイル] にある [OKI MICROLINE9600PS 1200dpi (PS)]、[OKI MICROLINE9600PS 600dpi (PS)] ファイルを [システムフォルダ] - [初期設定] - [ColorSync™特性] フォルダにコピーしてください。

システム別使用可能な機能一覧

プリンタドライバの種類（PSまたはPCL）とお使いのシステムによって、使える機能が異なります。

○：利用できます
×：利用できません

	Windows XP/2000/ Server2003 PS	Windows Me/98/95 PS	Windows NT4.0 PS	Windows PCL	Mac OS 8.1〜9.2.2	Mac OS X 10.1〜 10.2.8	Mac OS X 10.3〜	参照ページ
複数ページを1枚に印刷する	○	○	○	○	○	○	○	62ページ
複数枚に拡大して印刷（ポスター印刷）	×	×	×	○	○	×	×	65ページ
用紙の両面に印刷する（両面印刷）	○	○	○	○	○	○	○	67ページ
スタンプ印刷（ウォーターマーク）	○	○	○	○	○	×	×	70ページ
小冊子を作る（製本印刷）	○	×	×	○	○	×	×	73ページ
トナーを節約して印刷する	○	○	○	○	○	○	○	76ページ
印刷品位を変更する	○	○	○	○	○	○	○	78ページ
文書を部単位で印刷（丁合印刷）	○	○	○	○	○	○	○	79ページ
パスワードを入力してから印刷（認証印刷）	○	○	○	○	○	×	×	81ページ
プリンタのハードディスクにジョブを保存して繰り返し印刷する	○	○	○	○	○	×	×	84ページ
表紙のみ別のトレイから給紙（表紙印刷）	×	×	×	○	○	○	○	87ページ
印刷ジョブをスプールしてPCの開放を早くする（バッファ印刷）	○	○	○	○	○	×	×	89ページ
ドキュメントサイズと異なる用紙サイズで印刷する	×	×	×	○	×	×	×	90ページ
プリンタにフォームを登録して、印刷する（フォームオーバーレイ）	○	○	○	○	×	×	×	91ページ
「トレイ」を自動で選択する	○	○	○	○	○	○	○	98ページ
同じ用紙サイズを大量に印刷する（自動トレイ切替）	○	○	○	○	○	○	○	101ページ
極細線が細くなりすぎるのを防ぐ	○	○	○	○	○	○	○	107ページ
プリンタフォントに置き換えて印刷する	○	○	○	○	○	×	×	109ページ
コンピュータのフォントで印刷する	○	○	○	○	○	×	×	112ページ
簡単にカラーマッチングする（オフィスカラー）	○	○	○	○	○	○	○	127ページ
ICCプロファイルを使用してカラーマッチングする（グラフィックプロ）	○	○	○	○	○	○	○	135ページ
カラー調整ユーティリティを使ってカラーマッチングする	○	○	○	○	×	×	×	137ページ

	Windows XP/2000/ Server2003 PS	Windows Me/98/95 PS	Windows NT4.0 PS	Windows PCL	Mac OS 8.1〜9.2.2	Mac OS X 10.1〜10.2.8	Mac OS X 10.3〜	参照ページ
MacintoshのColorSyncを使う	×	×	×	×	○	×	○	145ページ
黒の部分の仕上りを変更する	○	○	○	○	○	○	○	146ページ
カラーデータを白黒で印刷する	○	○	○	○	○	○	○	148ページ
文字と背景の間にできる白いふちをなくす（ブラックオーバープリント）	○	○	○	○	○	○	○	149ページ
印刷用インクで印刷結果をシミュレートする	○	○	○	○	○	○	○	151ページ
分版印刷をする	○	○	○	×	○	○	○	153ページ
PSハーフトーンユーティリティを使って印刷濃度を調整する	○	○	○	×	○	○	○	154ページ
色見本印刷ユーティリティを使って希望色を印刷する	○	○	○	○	×	×	×	159ページ
ページを逆順に印刷する	○	○	○	×	○	×	○	300ページ
プリンタドライバの設定に名前を付けて保存する	×	×	×	○	×	○	○	302ページ
プリンタドライバの初期設定を変更する	○	○	○	○	○	○	○	304ページ
印刷データをファイルに出力する	○	○	○	○	○	○	○	306ページ
ポストスクリプトエラーを印刷する	○	○	○	×	○	○	○	308ページ
プリンタドライバを削除する	○	○	○	○	○	○	○	311ページ
プリンタドライバを更新（アップデート）する	○	○	○	○	○	○	○	314ページ

3 添付のユーティリティについて

ユーティリティの種類

プリンタドライバCD-ROMには、以下のユーティリティが入っています。プリンタをより快適にお使いいただくためにご活用ください。

ユーティリティの種類と機能（Windows）

カラーユーティリティ

名　称	機能（用途）	動作環境	掲載ページ
PSハーフトーン調整ユーティリティ	プリンタのCMYK各色のハーフトーン濃度を調整します。	Windows XP/Server 2003/Me/98/95/2000/NT4.0	154ページ
色見本印刷ユーティリティ	プリンタでRGB色の見本を印刷するためのユーティリティです。 印刷された見本を基にアプリケーション上で希望する色のRGB成分値を指定することができます。	Windows XP/Server 2003/Me/98/2000/NT4.0	159ページ
カラー調整ユーティリティ	印刷された色見本を基に印刷色を調整したり、明るさ・彩度、色相、ガンマなどの色の全体的な傾向を調整し、カラーマッチングに反映させることができます。	Windows XP/Server 2003/Me/98/95/2000/NT4.0（IE4.0以降搭載）	137ページ
プロファイルアシスタント	プリンタのハードディスク内にICCプロファイルを登録・管理します。ICCプロファイルはドライバの［グラフィックプロ］モードのカラーマッチングに使用します。	Windows XP/Server 2003/Me/98/95/2000/NT4.0（IE4.0以降搭載）	130ページ

ネットワークユーティリティ

名　称	機能（用途）	動作環境	掲載ページ
AdminManager（NICセットアップユーティリティ）	プリンタのネットワーク設定をしたいときに使用します。	Windows XP/Server 2003/Me/98/95/2000/NT4.0	163ページ
OKI LPRユーティリティ	プリントサーバを設置することなくWindowsプラットホームからTCP/IPダイレクト印刷が可能です。その他プリンタ検索機能、ジョブ転送機能、同報印刷機能などを装備しています。	Windows XP/Server 2003/Me/98/95/2000/NT4.0	174ページ
Network Extension	ネットワーク接続されたプリンタドライバの機能を拡張し、プリンタに搭載されたオプション、各トレイ内の用紙サイズ、トナー残量などのプリンタ情報を表示・設定に反映できます。	Windows XP/Server 2003/Me/98/95/2000/NT4.0	184ページ
Print Super Vision	自分のデスクからパソコンの画面でプリンタの各種設定、管理を行えます。用紙切れや用紙詰まり等の発生をメールで通知するため迅速なトラブル対応が可能です。	Windows XP Professional/Server 2003/2000（IIS5.0、IE4.0以降搭載）	187ページ
Web Driver Installer	新しくネットワークに接続されたプリンタを自動的に検索し、プリンタ情報を登録ユーザにメールで通知します。ユーザはメールに添付されたURLをブラウザで表示してドライバをインストールすることができます。	サーバコンピュータ*1 クライアントコンピュータ*2	193ページ
ネットワークステータスモニタ	デスクトップ上にプリンタの稼働状況を確認できる画面を表示します。	Windows XP/Server 2003/Me/98/95/2000/NT4.0（IE4.0以降搭載）	204ページ

*1　Windows Server 2003/XP Professional/2000/NT4.0サーバ（サービスパック6a）が搭載されていて、Microsoftインターネットインフォメーションサーバと、MDAC 2.6以上が搭載されている機種

*2　Windows OS（IE5.5以降、NN6以降）を搭載している機種

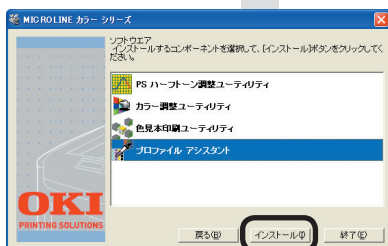
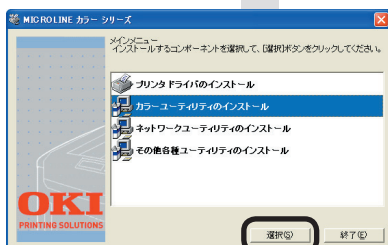
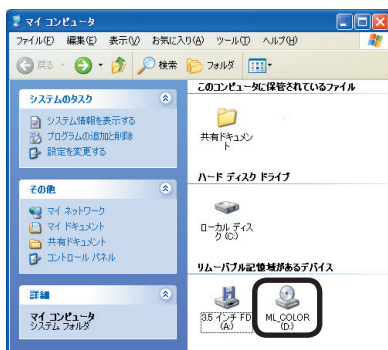
その他のユーティリティ

名　称	機能（用途）	動作環境	掲載ページ
OKIストレージデバイスマネージャ	プリンタのハードディスク設定、フォームデータの登録や削除、スプールジョブなどの管理をします。	Windows XP/Server 2003/Me/98/95/2000/NT4.0（IE4.0以降搭載）	91ページ
PDF Print Direct	PDFファイルをアプリケーションを起動せずにプリンタに直接送信して印刷します。	Windows XP/Server 2003/Me/98/95/2000/NT4.0	310ページ

ユーティリティの種類と機能（Macintosh）

ユーティリティ	機能（用途）	動作環境	掲載ページ
MicrolinePS Utility	プリンタの設定や、ポストスクリプトファイルやPDFファイルのダウンロードをしたいときに使います。	MacOS 8.1〜9.2.2 Mac OS X Classic環境（USB接続時は9.0〜9.2.2）	207ページ
Setup Utility	プリンタのネットワーク設定をしたいときに使います。	MacOS 8.1〜9.2.2 Mac OS X Classic環境	213ページ
プロファイルアシスタント	プリンタハードディスク内にICCプロファイルを登録・管理します。 ICCプロファイルはドライバの［グラフィックプロ］モードのカラーマッチングに使用します。	MacOS 9.2〜9.2.2（Carbon Lib 1.6以降搭載） Mac OS X 10.2.4〜10.4.6	130ページ
デスクトッププリンタUtility	USBで接続されたプリンタをセットアップするときに使用します。	MacOS 9.0〜9.2.2	セットアップ編
PSハーフトーン調整ユーティリティ	プリンタのCMYK各色のハーフトーン濃度を調整します。	Mac OS X 10.1〜10.4.6	154ページ

ユーティリティをインストール／起動する（Windows）

インストール

❶ コンピュータに「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROMのアイコンを開きます。

WindowsXPをお使いの方

［スタート］-［マイコンピュータ］-［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

WindowsMe/98/95/2000/Server2003/NT4.0をお使いの方

［マイコンピュータ］を開き、［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

❸［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❹「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❺ インストールしたい項目を選択し、［選択］をクリックします。

❻ インストールしたいユーティリティを選択し、［インストール］をクリックします。

❼ 画面の指示に従ってセットアップします。

❽「MICROLINE カラーシリーズ」画面で［終了］をクリックします。

起動方法

❶［スタート］-［プログラム］（WindowsXPでは［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［起動するユーティリティのフォルダ］-［起動するユーティリティ］を選択します。

ユーティリティをインストール／起動する（Macintosh）

サポートされていないOSバージョンにはそのユーティリティはインストールされません。動作環境については122ページをご覧ください。

プリンタドライバをインストールすると、以下のユーティリティも同時にインストールされます。

プリンタドライバのインストール方法は、ユーザーズマニュアルセットアップ編一Macintosh、UNIX、Linuxをお使いの方一をご覧ください。

MacOSをお使いの方

- MicrolinePS Utility
  [起動ドライブ] - [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] フォルダにインストールされます。
- プロファイルアシスタント
  [起動ドライブ] - [MicrolinePS] - [Profile Assistant] フォルダにインストールされます。
- デスクトッププリンタ Utility
  [起動ドライブ] - [MicrolinePS] フォルダにインストールされます。

Mac OS Xをお使いの方

- PSハーフトーン調整ユーティリティ
  [アプリケーション] - [OKIDATA] - [Halftone] フォルダにインストールされます。
- プロファイルアシスタント
  [アプリケーション] - [OKIDATA] - [ProfileAssistant] フォルダにインストールされます。

起動方法

上記各ユーティリティのインストールフォルダ内のユーティリティアイコンをダブルクリックしてください。

- MicrolinePS Utilityを正常起動するためには、事前にプリンタが選択されている必要があります。
  プリンタの選択方法は以下のとおりです。
  - ネットワーク接続の場合：セレクタで［AdobePS］をクリックし、プリンタ名を選択し、セレクタを閉じます。
  - USB接続の場合:デスクトップ上のプリンタアイコンを選択し､[プリンタ]メニューの[省略時プリンタに指定]を選択します。
- プロファイルアシスタントをMacOS 9.2～9.2.2でご使用の場合には、Carbon.Lib Version 1.6以降がインストールされている必要があります。
  古いバージョンのCarbon.Libをお使いの場合には､アップデートが必要になります｡最新版Carbon.Libはアップルのホームページから入手することができます。

4 カラーを調整する

- この章では、Windowsでは[ワードパッド]、Macintoshでは[SimpleText]、Mac OS Xでは［TextEdit］を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

カラーマッチングとは

カラーマッチング

データの作成から印刷までの作業過程において、カラーを一貫した手法に基づいて管理することが重要になります。例えばスキャナやデジタルカメラやモニタ等は黒に対して「赤」「青」「緑」の3色の光を加えた配合率をRGBカラー空間上の値としてカラーを表現します（加法混色）。一方プリンタは白（白色光）に対して、「赤」「青」「緑」の3色を反射光から取り除く、「シアン」「マゼンタ」「イエロー」と「黒」の4色のトナーの配合率をCMYKカラー空間上の値としてカラーを表現します（減法混色）。
RGBカラー空間やCMYKカラー空間は、お使いの機器に依存したカラー空間であるために、カラー空間を変換する際にそれぞれの機器の特性を考慮しないと再現された色も異なった色になってしまいます。

データの作成から印刷までカラーの一貫性を維持するには、機器によるカラーの違いを考慮してカラー変換する必要があります。この処理をカラーマッチングといいます。カラーマッチングを行うプログラムをカラーマネジメントシステム（CMS）といいます。

カラーマッチングを使用しても、印刷色がモニタ上の色に比べくすんで見えることがあります。これはプリンタで再現できる色の範囲がモニタで再現できる色の範囲より狭いため、カラーマッチングを使用してもモニタ上の鮮やかなカラーが再現できないためです。

利用できるカラーマネージメントシステム

プリンタドライバ / カラーマッチング	Windows Me/98/95 PS	Windows XP/2000/ Server2003 PS	Windows NT4.0 PS	Windows PCL	MacOS 8.1〜9.2.2	MacOSX 10.1〜 10.2.8	MacOSX 10.3以降
プリンタに内蔵のカラーマッチング（［オフィスカラー］モード）	○	○	○	○	○	○	○
プリンタに内蔵のカラーマッチング（［グラフィックプロ］モード）	○	○	○	○	○	○	○
WindowsのImage Color Matching（※1）（ICM）	○	○	−	−	−	−	−
ColorSync	−	−	−	−	○	−	○
アプリケーションのカラーマッチング	○	○	○	○	○	○	○

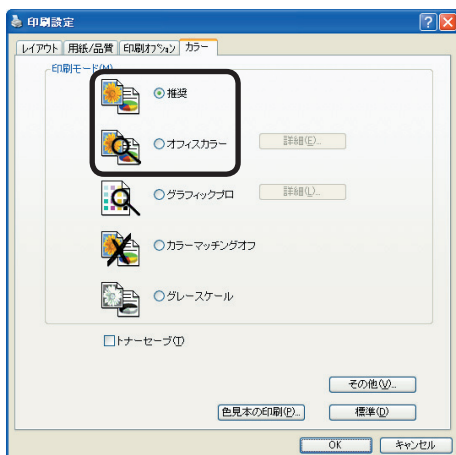
※1　「Image Color Matching」を利用するには、アプリケーションが対応している必要があります。

簡単にカラーマッチングする（オフィスカラー）

ワープロソフト・表計算ソフトやプレゼンテーション用ソフトなどビジネス文書をよく使用するユーザ向けに最適な方法のカラーマッチングを提供します。これらのソフトウェアで使用されるRGBカラーで表現された色をお使いのプリンタ用にカラーマッチングします。
カラーマッチングにはプリンタに搭載されている専用のアクセラレータ（ASIC）を使用してカラーマッチングを行います。RGBカラースペースの印刷データをプリンタのCMYKカラースペースに変換する際に、カラーマッチング処理が適用されます。

- RGBカラースペースの印刷データに対してのみ有効です。
- CMYKカラースペースの印刷データに対しては［推奨］または［オフィスカラー］を選択してもカラーマッチングは適用されません。この場合は「グラフィックプロ」を選択してください。
- WindowsXP/2000/Server2003でICCプロファイルをインストールしている場合は、［レイアウト］タブで［詳細設定］をクリックし、［ICMの方法］で［ICM無効］を選択します。

［カラー調整］
お使いのRGB入力装置（モニタやデジタルカメラ）の条件に近いものを選択します。
［CMYKシミュレーション］
お使いのプリンタでJapan Color、SWOP、EuroScaleのようなオフセット印刷標準カラーをシミュレーションする場合に選択します。ターゲットの印刷装置のインクを選択します。
［黒の生成］
カラーで印刷する時の黒の仕上がりを設定します。通常は自動のままご使用ください。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

1. 印刷するファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）
4. ［カラー］タブの［印刷モード］で［推奨］または［オフィスカラー］を選択します。
［オフィスカラー］を選択した場合、必要に応じて［詳細］ボタンをクリックして、表示された画面内の［カラー調整］や［CMYKシミュレーション］、［黒の生成］などを適切な設定に変更します。

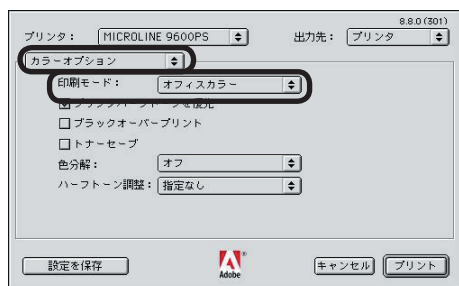
Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

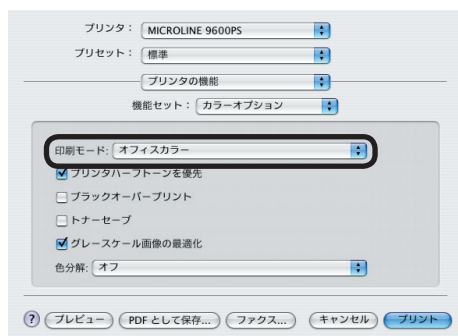
❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［推奨］または［オフィスカラー］を選択します。
［オフィスカラー］を選択した場合、必要に応じて［詳細］ボタンをクリックして、表示された画面内の［カラー調整］や［黒の生成］などを適切な設定に変更します。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

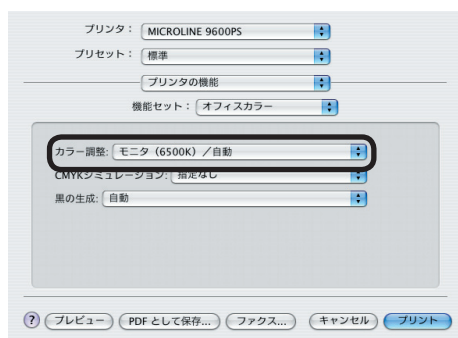
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で「推奨」または「オフィスカラー」を選択します。
［オフィスカラー］を選択した場合、必要に応じて［オフィスカラー］パネル内の［RGBカラー設定］や［CMYKシミュレーション］、［黒の生成］などを適切な設定に変更します。

Mac OS Xをお使いの方

Mac OS Xに添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで「推奨」または「オフィスカラー」を指定しても、「PostScriptカラーマッチング」で動作します。Mac OS X上では、この機能はRGBカラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタの機能］パネルの［カラーオプション］機能セットの［印刷モード］で「推奨」または「オフィスカラー」を選択します。
［オフィスカラー］を選択した場合、必要に応じて［オフィスカラー］機能セット内の［カラー調整］や［CMYKシミュレーション］、［黒の生成］などを適切な設定に変更します。

ICCプロファイルをプリンタにダウンロードする

このプリンタでは一般的なカラー管理によく使用されるICCプロファイルを使用したカラーマッチングワークフローを提供しています。この機能を使用するためには、本プリンタとカラーマッチングの対象となる入出力装置（モニタ、スキャナ、デジタルカメラ、他の印刷装置）のICCプロファイルをあらかじめプリンタに登録しておく必要があります。
ICCプロファイルの登録や参照には［プロファイルアシスタント］を使用します。

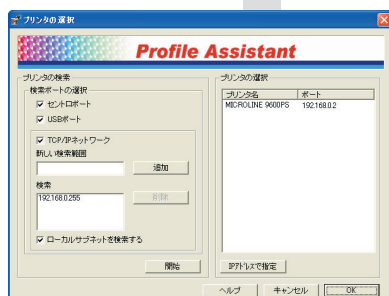
- プロファイルアシスタントのインストール･起動方法については､「ユーティリティをインストール／起動する」（123、124ページ）をご覧ください。
- Windows95/NT4.0ではUSBはご使用になれません。
- お使いの入出力装置用のプロファイルがない場合には、その装置のメーカや販売店にご相談ください。
- 既に登録されている番号を選択して登録すると、上書きされます。

メモ　以下の4つのタイプのプロファイルが登録できます。各4つのタイプごとに12個まで登録することができます。

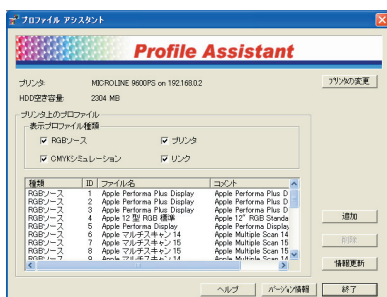
- RGBソース
  モニタ、スキャナ、デジタルカメラなどのRGB入力装置用のプロファイル
- CMYKシミュレーション
  プリンタやイメージセッタなどのCMYK出力装置用のプロファイル
- プリンタ
  お使いのプリンタのプロファイル。プリンタプロファイルを作成編集可能な上級ユーザのみご使用ください。
- リンクプロファイル
  CMYKからCMYKに直接変換するプロファイル。リンクプロファイルを作成編集可能な上級ユーザのみご使用ください。

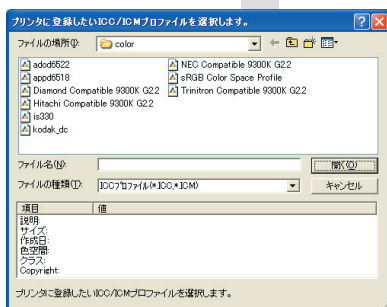
Windowsをお使いの方

❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXPでは［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［プロファイルアシスタント］-［プロファイルアシスタント］を選択し、プロファイルアシスタントを起動します。

❷ プリンタを検索します。
ネットワーク接続している場合は［TCP/IPネットワーク］を、USB接続している場合は［USB］を、パラレル接続しているときは［セントロポート］をチェックして［開始］をクリックします。

❸ プリンタリストから登録したいプリンタを選択します。ユーティリティのメイン画面が表示されます。

次回以降の起動では、❷、❸の手順は省略され、最後に選択したプリンタに自動的に接続します。別のプリンタを選択したい場合には、メイン画面で「プリンタの変更」をクリックして❷、❸の手順で再度プリンタを選択してください。

❹ ［追加］をクリックします。「プリンタに登録したいICC/ICMプロファイルを選択します」画面が表示されます。

❺ 登録したいICCプロファイルを選択します。

- 必要に応じて［ファイルの場所］を変更して、お使いのコンピュータ上のICCプロファイルが格納されたディレクトリに移動してください。
- ICCプロファイルをクリックすると、リストにICCプロファイルの情報（説明（デバイス情報）、サイズ、作成日、色空間など）が表示されます。登録したいICCプロファイルを特定するためにこのリストを参照してください。

❻ 表示されているヒント情報に従って登録するプロファイルのタイプを選択します。

❼ 1～12の中からプロファイルを登録したい番号を選択します。登録されていない空き番号のボタンが白色で、既に登録されている番号のボタンが水色で表示されます。登録済み番号を指定して登録した場合には上書き登録されます。

❽ 登録するプロファイルについて、装置名などのメモ情報を［コメント］欄に記載します。

この情報はプリンタに登録されたプロファイルの一覧表示（本ユーティリティのメイン画面）やカラープロファイルリストの印刷（プリンタ操作パネル）に使用されます。登録者以外のプリンタ使用者が登録されたICCプロファイルがどの装置用なのかを認識できるようにしておくと便利です。

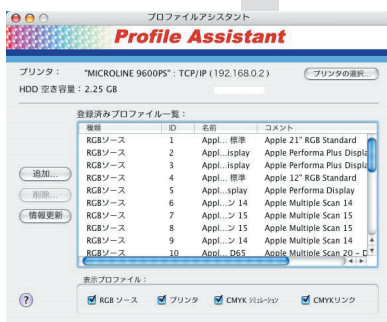
❾ ［OK］をクリックしてプリンタへの登録を開始します。

❿ メイン画面に登録したプロファイル名が表示されたことを確認し、［OK］をクリックしてユーティリティを終了します。

- 登録したプロファイルはプリンタドライバの［印刷モード］の［グラフィックプロ］のモードでカラーマッチングに使用できます。使用方法については「ICCプロファイルを使用してカラーマッチングする（グラフィックプロ）」（135ページ）を参照してください。
- プリンタの操作パネルから △、▽ ボタンを押し、プリンタ情報を印刷し、カラープロファイルリストを選ぶことで、プリンタに登録したICCプロファイルの一覧表を印刷することができます。

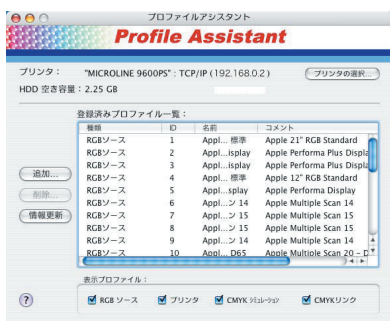
Macintoshをお使いの方

❶ プロファイルアシスタントを起動します。

❷ プリンタを検索します。
ネットワーク接続している場合は［ネットワーク］タブを、USB接続している場合は［USB］タブをクリックします。

❸ プリンタリストから登録したいプリンタを選択し、［選択］をクリックします。ユーティリティのメイン画面が表示されます。

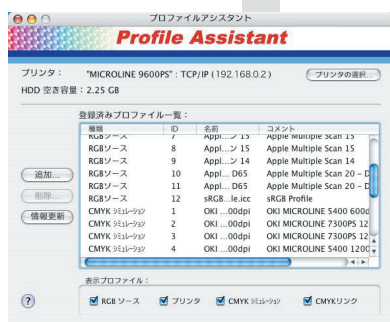
注

次回以降の起動では、❷、❸の手順は省略され、最後に選択したプリンタに自動的に接続します。別のプリンタを選択したい場合には、メイン画面で「プリンタの変更」をクリックして❷、❸の手順で再度プリンタを選択してください。

❹ ［追加］をクリックします。［プロファイルを選択してください］画面が表示されます。

❺ 登録したいICCプロファイルを選択します。

- 必要に応じてお使いのMacintosh上のICCプロファイルが格納されたフォルダに移動してください。
- ICCプロファイルをクリックすると、リストにICCプロファイルの情報（Description（デバイス情報）、Size（サイズ）、Date（作成日）、Color Space(色空間)など)が表示されます。登録したいICCプロファイルを特定するためにこのリストを参照してください。

❻ ［プロファイル種類］メニューで登録するプロファイルのタイプを選択します。

❼ 1〜12の中からプロファイルを登録したい番号を選択します。既に登録されている番号がボールド+下線で表示されます。登録済み番号を指定して登録した場合には上書き登録されます。

❽ 登録するプロファイルについて、装置名などのメモ情報を［コメント］欄に記載します。

この情報はプリンタに登録されたプロファイルの一覧表示（本ユーティリティのメイン画面）やカラープロファイルリストの印刷（プリンタ操作パネル）に使用されます。登録者以外のプリンタ使用者が登録されたICCプロファイルがどの装置用なのかを認識できるようにしておくと便利です。

❾［追加］をクリックしてプリンタへの登録を開始します。

❿ メイン画面に登録したプロファイル名が表示されたことを確認し、［OK］をクリックしてユーティリティを終了します。

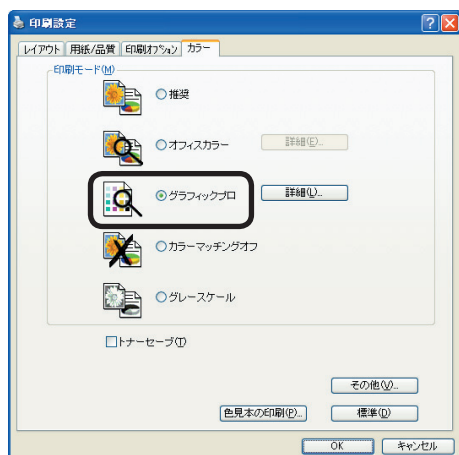
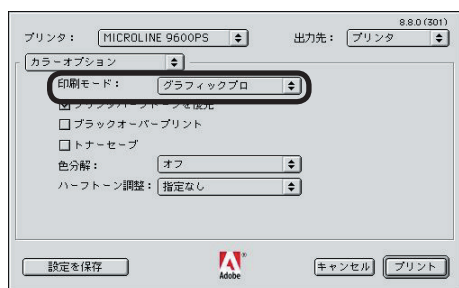
メモ

- 登録したプロファイルはプリンタドライバの［印刷モード］の［グラフィックプロ］のモードでカラーマッチングに使用できます。使用方法については「ICCプロファイルを使用してカラーマッチングする（グラフィックプロ）」（135ページ）を参照してください。
- プリンタの操作パネルから ▵、▿ ボタンを押し、プリンタ情報を印刷し、カラープロファイルリストを選ぶことで、プリンタに登録したICCプロファイルの一覧表を印刷することができます。

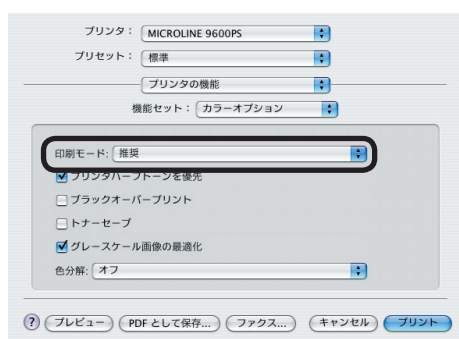
ICCプロファイルを使用してカラーマッチングする（グラフィックプロ）

DTP向けのソフトウェアをよく使用するユーザ向けにICCプロファイルを利用したカラーマッチングワークフローを提供します。
任意のRGB入力装置（モニタやデジタルカメラ）とプリンタ間のカラーマッチングや、任意のCMYK出力機器のシミュレーション印刷を指定することができます。
カラーマッチングに、任意の入出力機器用のICCプロファイルを使用する場合、あらかじめICCプロファイルをプリンタに登録する必要があります。ICCプロファイルの登録方法は「ICCプロファイルをプリンタにダウンロードする」（130ページ）をご覧ください。

- CMYKリンクプロファイルはPCLプリンタドライバでは指定できません。
- WindowsXP/2000/Server2003上のPSプリンタドライバでICCプロファイルをインストールしている場合は、［レイアウト］タブで［詳細設定］をクリックし、［ICMの方法］で［ICM無効］を選択します。

Windowsをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）
❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。
［詳細］をクリックして各種カラーマッチング設定を変更します。（136ページ参照）

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
❸ ［カラー設定］パネルの［カラー］で［カラー／グレースケール］を選択します。
❹ ［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。
必要に応じて、［グラフィックプロ1］、［グラフィックプロ2］パネル内の各種カラーマッチング設定を変更します。（136ページ参照）

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
❸ ［プリンタの機能］パネルの［カラーオプション］機能セットの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。
必要に応じて、［グラフィックプロ1］－［グラフィックプロ3］機能セット内の各種カラーマッチング設定を変更します。（136ページ参照）

「詳細」画面では以下の設定が可能です。
カラーマッチングワークフローとして［ICCプロファィルカラーマッチング］、［印刷シミュレーション］、［プロファイルの生成（測色用）］、［AP側でカラーマッチング］の4つのケース用に最適化されたタスクを用意しています。

ICCプロファィルカラーマッチング

DTPアプリケーションで扱われるデータは、RGBやCMYKカラー空間で表現されたデータが混在することがあります。
このタスクボタンを選択すると、RGBデータとCMYKデータのそれぞれに対してカラーマッチングの対象となるソースデバイスのプロファイルを指定することができます。

- ［RGBプロファイル］ではRGBデータの入力装置（通常モニタやデジタルカメラ）のプロファイルを選択します。標準プロファイルまたは［RGBソース1］から［RGBソース12］（WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバは［RGBソース3］まで）の中からRGBソース用に登録したプロファイルを選択します。標準では［sRGB］装置用のプロファイルが登録されています。
- ［CMYK入力プロファイル］では通常CMYKデータの最終的な出力対象となっている印刷装置（オフセット印刷機やインクなど）のプロファイルを選択します。標準プロファイルまたは［CMYKソース1］から［CMYKソース12］（WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバは［CMYKソース3］まで）の中からCMYKシミュレーション用に登録したプロファイルを選択します。標準では［JapanColor］、［SWOP］、［Euroscale］用のプロファイルが登録されています。
- ［プリンタプロファイル］ではお使いのプリンタのプロファイルを選択します。通常［自動］を選択します。これによりプリンタにレジデントで組み込まれたお使いのプリンタ用のプロファイルが選択されます。プロファイル作成用のソフトウェアなどによりプリンタプロファイルを作成、入手可能なユーザは、［プリンタ1］から［プリンタ12］（WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバは［プリンタ3］まで）に登録したプロファイルを選択することもできます。
- ［CMYKリンクプロファイル］ではCMYKデータのを直接プリンタのCMYKに変換するためのリンクファイルを作成可能な上級ユーザのみ使用してください。通常はリンクファイルは使用しないでください。

印刷シミュレーション

他の出力装置（プリンタ、オフセット印刷機、イメージセッタ）の出力結果をシミュレートする場合に選択します。
RGBデータ、CMYKデータ共にターゲットになっている印刷装置での印刷結果をシミュレートした結果となります。
ICCプロファイルカラーマッチングとの違いは、特にRGBデータに関していったんRGBプロファイルとターゲットの印刷装置間でカラーマッチングされた結果がお使いのプリンタでシミュレーションされる点となります。

プロファイルの生成（測色用）

ICC Profileを作成する場合の測色用データを印刷するために用います。このモードではカラーマッチングを施さず、かつトナー層厚制限を緩いものとしますので、正確なカラーマッチング特性を得ることが可能となります。
このモードは通常の印刷目的で使用しないでください。

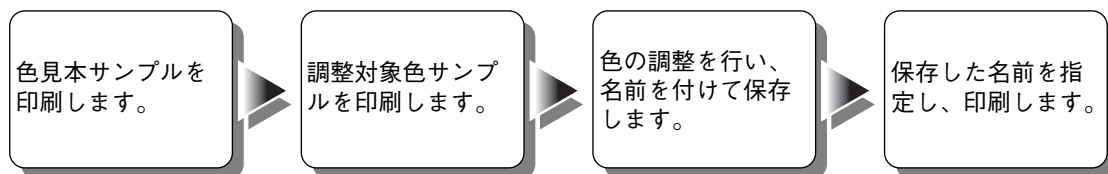
アプリケーションでカラーマッチング

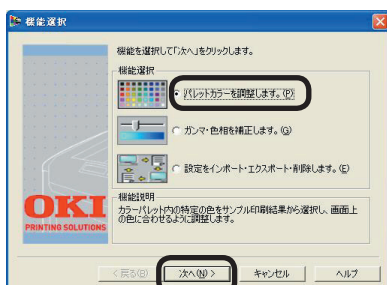
アプリケーションでカラーマッチングを行う場合に指定します。プリンタおよびドライバでのカラーマッチングを行いません。

パレットカラーを変更してカラーマッチングする

カラー調整ユーティリティを使用して、画面上の特定の色とプリンタの出力が近づくようにカラーマッチングすることができます。

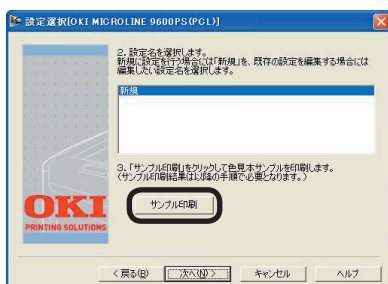
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、123ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷はB5サイズ以上の用紙を使用してください。
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

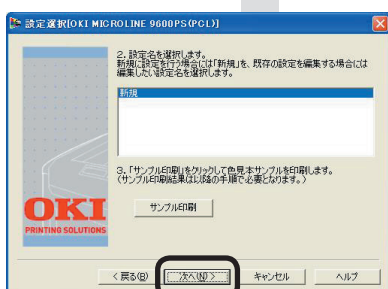
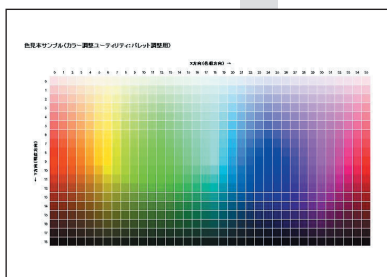
カラー調整の流れ

手順（*1*から*2*まであります。）

1 カラー調整ユーティリティで、カラー調整を行います。

❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXPでは［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［カラー調整ユーティリティ］-［カラー調整ユーティリティ］を選択します。

❷ ［パレットカラーを調整します］を選択し、［次へ］をクリックします。

❸ 「プリンタ選択」画面が表示されたら、使用するプリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

- インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

❹ 「設定選択」画面が表示されたら、リストボックスから設定を選択して［サンプル印刷］をクリックします。

右のような「色見本サンプル」が印刷されます。

❺ ［次へ］をクリックします。

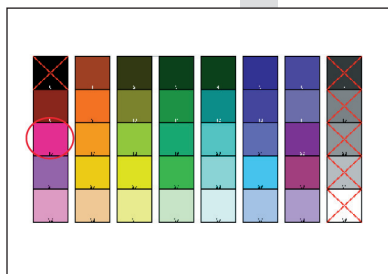
「パレットカラー調整」画面が表示されます。

❻ ［テスト印刷］をクリックします。

「調整対象色サンプル」が印刷されます。

×印がついている色は調整できません。

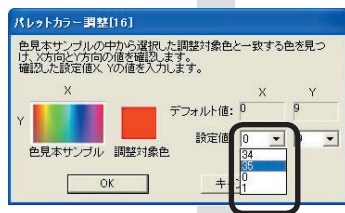
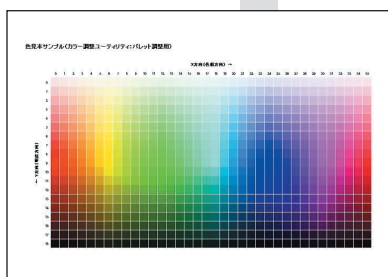
❼「パレットカラー調整」画面のパレット（画面色）と、印刷された「調整対象色サンプル」を比較します。変更したい色がある場合や「パレットカラー調整」画面の表示と近づけたい色がある場合、調整を行います。（以下は赤丸の部分のパレットカラーを調整する場合の例です）

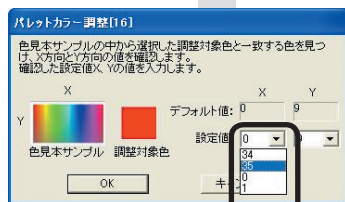
《調整対象色サンプル》

《「パレットカラー調整」画面》

❽「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

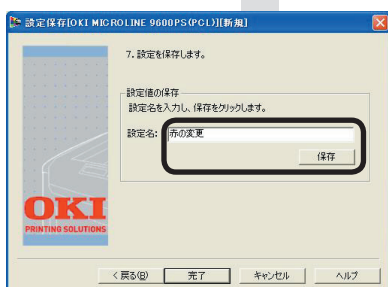
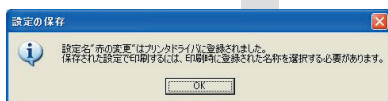
「調整値入力」画面が表示されます。

❾ X値、Y値のプルダウンで調整可能な範囲を確認します。

メモ　全体のバランスを考慮して、調整可能な範囲は色により異なります。

❿「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）に対して調整範囲内で最も希望する色を「色見本サンプル」の中から探し、X方向（色相）、Y方向（明度）の値（X値、Y値）を確認します。

⓫「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

⓬「調整値入力」画面で、⓾で確認したX値とY値を選択し、［OK］をクリックします。

「パレットカラー調整」画面に戻ります。

⓭［テスト印刷］をクリックして「調整対象色サンプル」を印刷します。変更後の「調整対象色サンプル」の色が、設定した値の色見本サンプルの色に近づいているか確認し、［次へ］をクリックします。
他にも調整したい色がある場合は、❽〜⓭を繰り返します。

⓮ 設定の名前を入力し、［保存］をクリックします。

⓯［OK］をクリックします。

注 プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［終了］をクリックしてください。

⓰［完了］をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

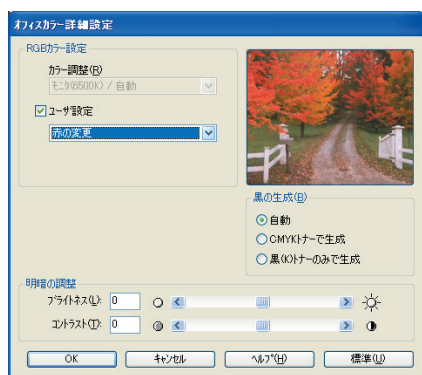
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択し、［詳細］をクリックします。

❺「オフィスカラー詳細設定」画面の［RGBカラー設定］で［ユーザ設定］にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

注 ［印刷モード］が［オフィスカラー］の場合にのみ有効です。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択し、［詳細］をクリックします。

❺「オフィスカラー詳細設定」画面の［RGBカラー設定］で［ユーザ設定］にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

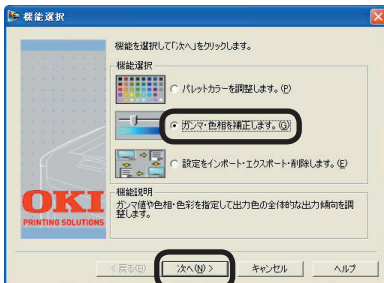
注 プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［終了］をクリックしてください。

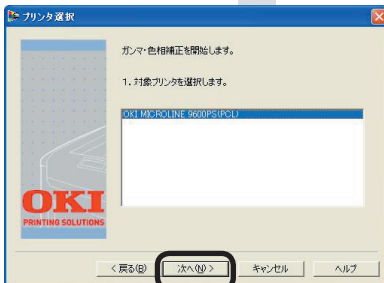
ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングする

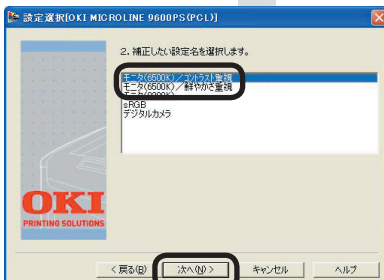
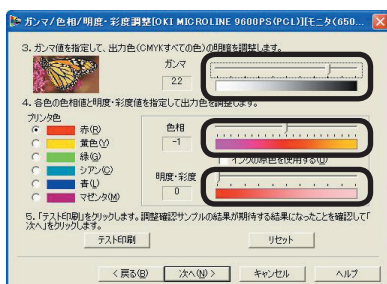
カラー調整ユーティリティを使用して、ガンマ値や色相を調整してカラーマッチングすることができます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、123ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷はB5サイズ以上の用紙を使用してください。
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

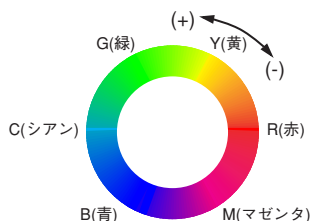
手順（*1*から*2*まであります。）

1 カラー調整ユーティリティで、ガンマ値・色相などを変更します。

❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXPでは［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［カラー調整ユーティリティ］-［カラー調整ユーティリティ］を選択します。

❷ ［ガンマ･色相を補正します］を選択し、［次へ］をクリックします。

❸ 「プリンタ選択」画面が表示されたら、調整するプリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

- インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

❹ リストボックスから基準となるモードを選択し、［次へ］をクリックします。

❺ ガンマ、色相、明度・彩度の各スライドバーの値を変更して調整します。

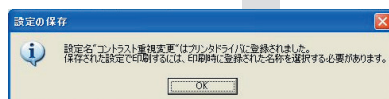
メモ

・ガンマ用スライドバーで全体の明暗を、色相/明度用スライドバーで出力色を調整できます。
・［ガンマ］を左方向に調整するほど明るくなります。
・プリンタ色ボタンで調整対象色が切り替えられます。
・［色相］は色相環の順方向（＋）または逆方向（ー）に各色を調整します。例えば、Y(黄)のスライドバーを(＋)方向に動かすとG(緑)に近づき、(ー)方向に動かすとR(赤)に近づきます。

・［インクの原色を使用する］にチェックを付けると、プリンタの標準の色相に一致させることができ、以下のように印刷します。

色相	印刷トナー
R	イエロー50% + マゼンタ50%
Y	イエロー 100%
G	シアン50% + イエロー50%
C	シアン100%
B	マゼンタ50% + シアン50%
M	マゼンタ100%

❻ ［テスト印刷］をクリックします。

「調整確認サンプル」が印刷されます。

❼ 調整結果を確認し、［設定］をクリックします。
希望する調整結果が得られない場合は、手順❺、❻を繰り返します。

❽ ［保存］をクリックします。

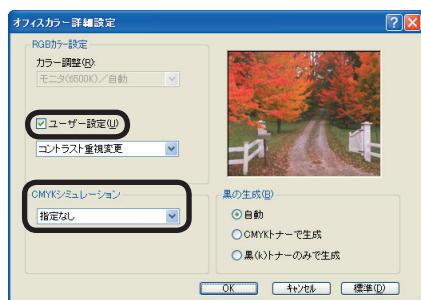
❾ 設定の名前を入力し、［保存］をクリックします。

❿ ［OK］をクリックします。

注 プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［完了］をクリックしてください。

［完了］をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバで設定名を選択して印刷します。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択し、［詳細］をクリックします。

❺ 「オフィスカラー詳細設定」画面の［RGBカラー設定］で［ユーザ設定］にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

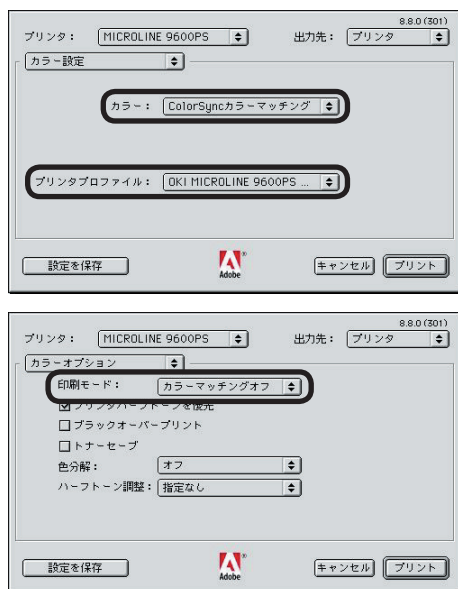
❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択し、［詳細］をクリックします。

❺ 「オフィスカラー詳細設定」画面の［RGBカラー設定］で［ユーザ設定］にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

MacintoshのColorSyncを使う

- アプリケーションが「ColorSync」に対応している必要があります。
- モニタのキャリブレーション、ICCプロファイル設定が完了していることを確認してください。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラー設定］パネルの［カラー］で［Color Syncカラーマッチング］を選択します。
［プリンタプロファイル］で［OKI MICROLINE 9600PS Multi］、［OKI MICROLINE 9600PS 1200dpi］または［OKI MICROLINE 9600PS 600dpi］を選択します。

❹ ［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［カラーマッチングオフ］を選択します。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［ColorSync］パネルの［カラー変換］で［標準］を選択します。

注 Mac OS X 10.3以降でのみ動作します。

黒の部分の仕上りを変更する

カラーで印刷するときの黒の部分の仕上り（黒の生成）を変えられます。プリンタに内蔵のカラーマッチングを利用します。
Windowsでは、カラータブの印刷モードが［オフィスカラー］または［グラフィックプロ］の時に有効になります。

黒の生成

・自動
　印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で黒を生成します。印刷モードが［オフィスカラー］の場合のみ選択できます。
・CMYKトナーで生成
　シアン、マゼンタ、イエロー、黒のトナーで黒を合成します。茶色に近い黒になります。写真に適しています。
・黒（K）トナーのみで生成
　黒トナーのみで黒を印刷します。図形、文字に適しています。写真を印刷すると暗い部分が黒っぽくなることがあります。

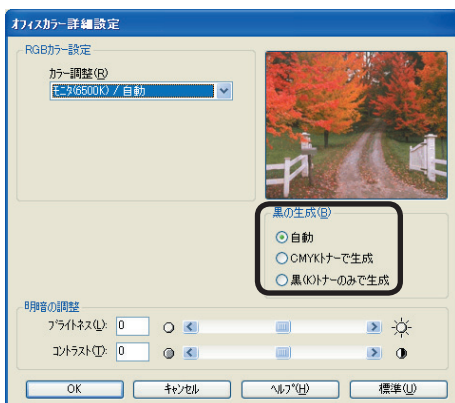
テキストとグラフィックスに純ブラックを使用

テキストやグラフィックスにRGB色空間で定義されたブラック（R=0、G=0、B=0）またはCMYK色空間で定義されたブラック（C=0、M=0、Y=0、K=100%）が指定されている場合に、黒（K）トナーのみで印刷するかどうかを指定します。
・オン
　黒指定のテキストやグラフィックスを黒（K）トナーのみで印刷します。
・オフ
　黒指定のテキストやグラフィックスはカラーマッチングに指定しているプロファイルに依存して黒（K）トナーのみまたはCMYKで合成された黒になります。

注 「テキストとグラフィックスに純ブラックを使用」は「グラフィックスプロ］モードのみ選択できます。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）
❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］または［グラフィックプロ］を選択し、［詳細］をクリックします。
❺ ［黒の生成］から適当な項目を選択します。
［グラフィックスプロ］モードでは［テキストとグラフィックスに純ブラックを使用］に対しても適当な項目を選択します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］または［グラフィックプロ］を選択し、［詳細］をクリックします。

❺ ［黒の生成］から適当な項目を選択します。
［グラフィックスプロ］モードでは［テキストとグラフィックスに純ブラックを使用］に対しても適当な項目を選択します。

MacOSをお使いの方

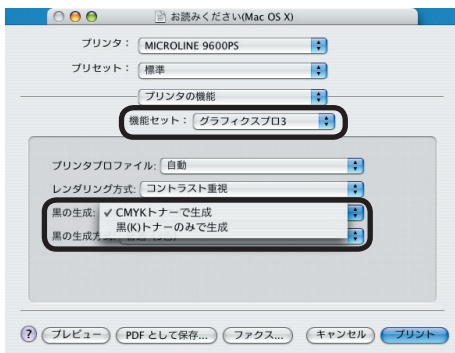
❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［オフィスカラー］または［グラフィックプロ］を選択します。

❹ ［オフィスカラー］パネルまたは［グラフィックプロ2］パネルの［黒の生成］から適当な項目を選択します。
［グラフィックプロ］モードでは［グラフィックプロ2］パネルの［テキストとグラフィックスに純ブラックを使用］に対しても適当な項目を選択します。

Mac OS Xをお使いの方

Mac OS Xに添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで「オフィスカラー」を指定しても、「PostScriptカラーマッチング」で動作します。Mac OS X上では、この機能はRGBカラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

❶ 印刷するファイルを開きます。

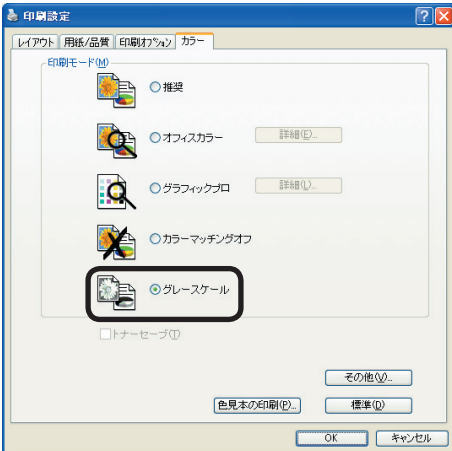
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタの機能］パネルの［カラーオプション］機能セットの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。

❹ ［プリンタの機能］パネルの［グラフィックプロ3］機能セットの［黒の生成］および［テキストとグラフィックスに純ブラックを使用］で適当な項目を選択します。

カラーデータを白黒で印刷する

カラーデータをグレースケール（階調のある白黒）で印刷します。

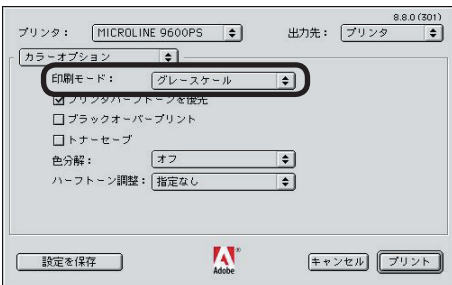
Windowsをお使いの方

（WindowsXP PSプリンタドライバの画面）

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

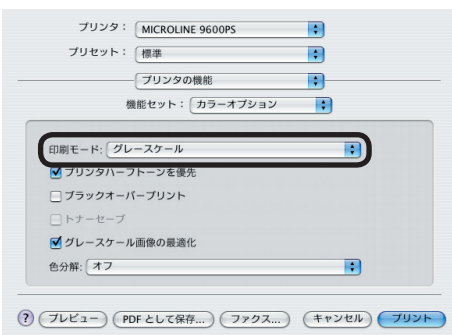
❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［グレースケール］を選択します。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［グレースケール］を選択します。

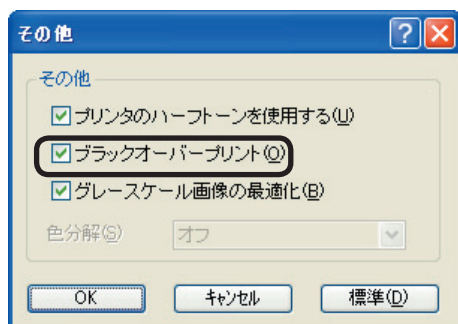
Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

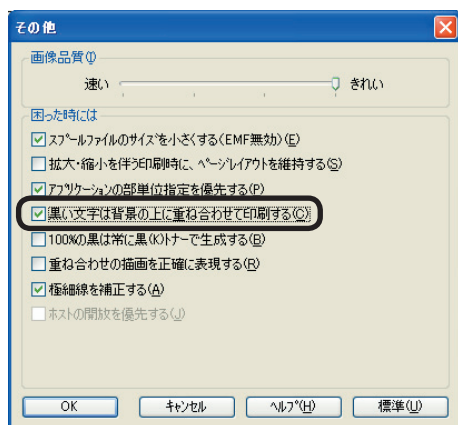
❸ ［プリンタの機能］パネルの［カラーオプション］機能セットの［印刷モード］で［グレースケール］を選択します。

文字と背景の間にできる白いふちをなくす（ブラックオーバープリント）

黒100%の文字を色の付いた背景上に描画する場合に、文字と背景部分を重ねあわせて印刷（オーバープリント）することができます。文字と背景の境界に白すじなどの隙間ができた場合に設定してください。

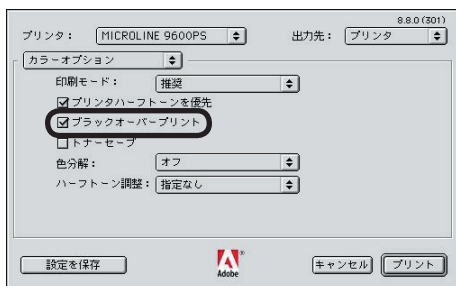
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 文字が黒100%でない場合や、文字がアウトライン抽出等によりグラフィックス化されている場合やイメージとなっている場合には利用できません。
  例えば、WindowsXP/Server2003/2000/NT4.0でMicrosoft Officeアプリケーションを使用する場合、TrueTypeフォントを使用して大きな文字を印刷すると、アプリケーション側で文字をグラフィックイメージに置き換えるため、ブラックオーバープリントが効かないことがあります。この場合はプリンタ内蔵フォントを指定してください。
- 背景の濃度が高い場合にはトナーがきちんと定着しないことがあります。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）
❹ ［カラー］タブの［その他］をクリックします。
❺ ［ブラックオーバープリント］にチェックを付けます。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）
❹ ［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。
❺ ［黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する］にチェックを付けます。

注

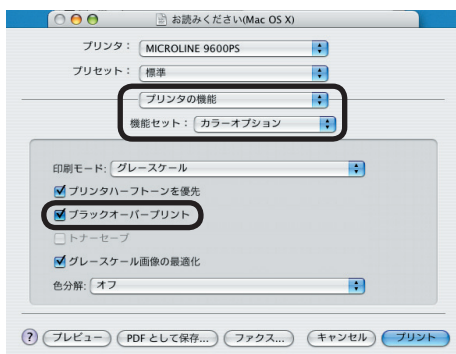
［印刷品位］が［高精細］の場合は、［黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する］および［重ね合わせの描画を正確に表現する］の設定はON固定となります。
［重ね合わせの描画を正確に表現する］の設定をONに設定した場合は、［黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する］の設定はON固定となります。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラーオプション］パネルの［ブラックオーバープリント］にチェックを付けます。

Mac OS Xをお使いの方

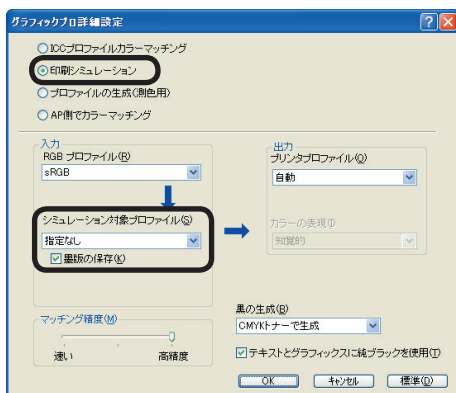
Mac OS Xに添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションでどの印刷モードを指定しても、「PostScriptカラーマッチング」で動作します。Mac OS X上では、この機能はRGBカラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタの機能］パネルの［カラーオプション］機能セットの［ブラックオーバープリント］にチェックを付けます。

印刷用インクで印刷結果をシミュレートする

CMYK カラーデータを調整してオフセット印刷等で使用されるインクの特性をプリンタでシミュレートします。

Windowsをお使いの方

（WindowsXP PSプリンタドライバの画面）

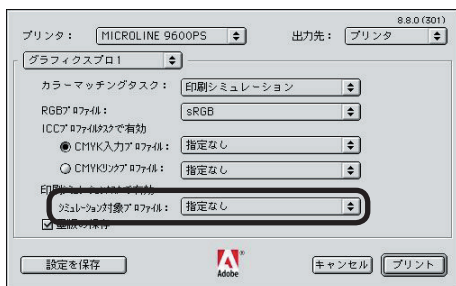
❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択し、［詳細］をクリックします。

❺ ［印刷シミュレーション］を選択し、［シミュレーション対象プロファイル］でシミュレートしたいインク特性を選択します。

ビジネス文書などの場合、PSドライバをお使いの方は、❹、❺の手順で［カラー］タブの［オフィスカラー］を選択して［詳細］をクリックし、［CMYKシミュレーション］でシミュレートしたいインク特性を選択することもできます。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

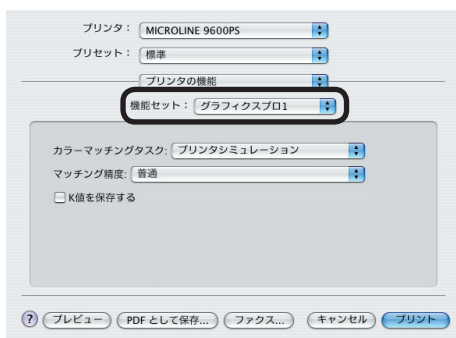
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。

❹ ［グラフィックプロ1］パネルの［カラーマッチングタスク］で［印刷シミュレーション］を選択し、［シミュレーション対象プロファイル］でシミュレーションしたいインク特性を選択します。

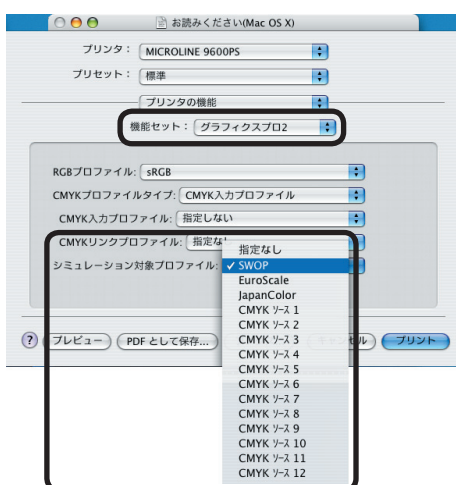
ビジネス文書などの場合、❸、❹の手順で［カラーオプション］パネルの印刷モードで［オフィスカラー］を選択し、［オフィスカラー］パネルの［CMYKシミュレーション］でシミュレートしたいインク特性を選択することもできます。

Mac OS Xをお使いの方

Mac OS Xに添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションでどの印刷モードを指定しても、「PostScriptカラーマッチング」で動作します。Mac OS X上では、この機能はRGBカラースペースやCMYKカラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタの機能］パネルの［カラーオプション］機能セットの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。

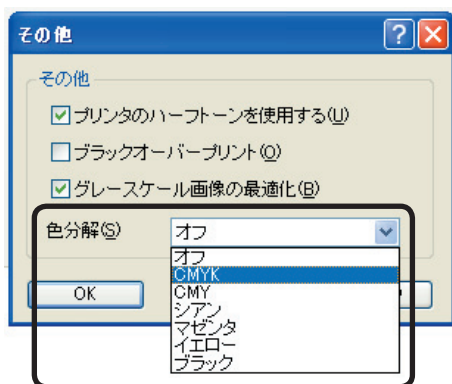
❹ ［グラフィクスプロ1］機能セットの［カラーマッチングタスク］で［プリンタシミュレーション］を選択します。

❺ ［グラフィクスプロ2］機能セットの［シミュレーション対象プロファイル］でシミュレーションしたいインク特性を選択します。

ビジネス文書などの場合、❸、❹、❺の手順で［カラーオプション］機能セットの印刷モードで［オフィスカラー］を選択し、［オフィスカラー］機能セットの［CMYKシミュレーション］でシミュレートしたいインク特性を選択することもできます。

分版印刷をする

「シアン」、「マゼンタ」、「イエロー」、「ブラック」の4色に色分解印刷を行います。この機能は版下作成用であり、指定された各原色の版を黒トナーで印刷します。

- それぞれの原色インクで印刷する機能ではありません。
- Illustratorを使用する場合は、アプリケーションの分版印刷機能を使用し、プリンタドライバの設定はカラーマッチングオフにしてください。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

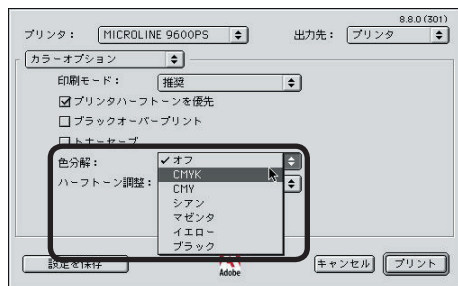
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［その他］ボタンをクリックします。

❺ ［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

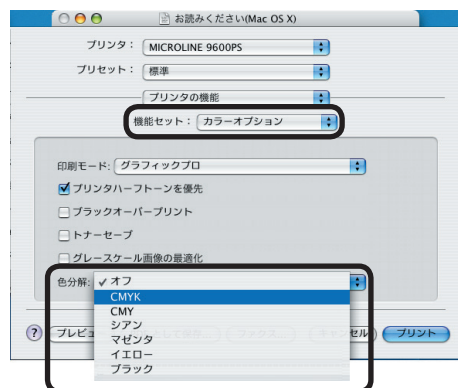
Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

利用できません。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラーオプション］パネルの［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタの機能］パネルの［カラーオプション］機能セットの［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

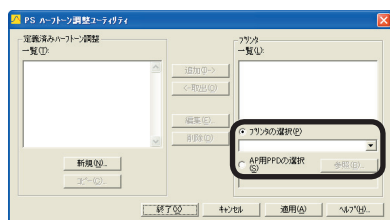
PSハーフトーン調整ユーティリティを使って印刷濃度を調整する

プリンタのCMYK各色のハーフトーン濃度を調整することができます。写真などの画像が濃すぎる場合に調整してください。

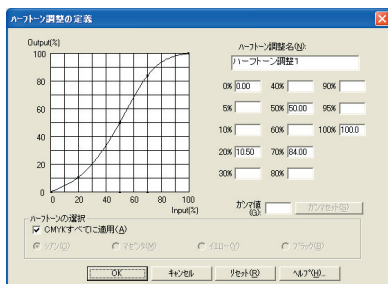
- Windows PCLプリンタドライバでは利用できません。
- 「PSハーフトーン調整ユーティリティ」のセットアップについては、123、124ページをご覧ください。
- Windowsでは［ハーフトーン調整名］を登録後、プリンタドライバの［カラー］タブに［ハーフトーン調整］メニューまたはその内容が表示されない場合があります。この場合はコンピュータを再起動してください。
- 印刷時に［印刷モード］として［グラフィックプロ］が選択されている場合には本ユーティリティで設定した調整効果が得られません。本機能は［グラフィックプロ］以外の印刷モード設定でご利用ください。
- ハーフトーン調整を使用すると、印刷が遅くなる場合があります。速度を優先する場合は、［ハーフトーン調整］で［指定なし］を選択してください。
- Adobe PageMaker7.0J/6.5Jの場合は、［プリント］ダイアログの［形式］で［プリンタ名］を選択してから［プリンタ特性］をクリックし、［ハーフトーン調整］で「ハーフトーン調整名」を指定してください。
- 「ハーフトーン調整名」を登録する以前に起動していたアプリケーションは、印刷前に再起動する必要があります。
- アプリケーションによっては、ドットゲインの補正やハーフトーン調整を印刷時に指定したり、またはEPSファイルにその設定を含める機能を持つものがあります。アプリケーション側のこのような機能を利用する場合は、［ハーフトーン調整］で［指定なし］を選択してください。
- 「PSハーフトーン調整ユーティリティ」の「プリンタの選択」リストには機種名が表示されます。［プリンタ］（Windows XP/Server2003は［プリンタとFAX］）フォルダに複数の同一機種プリンタが存在する場合は、登録した「ハーフトーン調整名」はすべての同一機種プリンタに有効となります。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

手順（*1*から*2*まであります。）

1 ハーフトーン調整名を登録します。

❶ ［スタート］-［プログラム］（WindowsXPでは［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［PSハーフトーン調整ユーティリティ］-［PSハーフトーン調整ユーティリティ］を選択します。

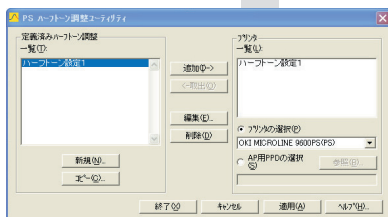
❷ ［プリンタの選択］からプリンタを選択します。

アプリケーション（Adobe PageMaker等）によっては印刷時に独自に用意されたPPDファイルを使用するものがあります。この場合は［AP用PPDの選択］を選択し、［参照］をクリックしてアプリケーションの使用するPPDファイルを選択します。

❸ ［新規］をクリックします。

❹ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力してから［OK］をクリックします。
各色ごとに調整するときは、［CMYKすべてに適用］のチェックを外し、調整する色にチェックを付けます。

- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、［ガンマセット］をクリックします。自動的に13の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は0.01から99.99まで指定できます。1.0より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

メモ　**調整の目安**

赤を濃くする場合 シアンの値を上げます。
青を濃くする場合 イエローの値を上げます。
緑を濃くする場合 マゼンタの値を上げます。
赤を薄くする場合 シアンの値を下げます。
青を薄くする場合 イエローの値を下げます。
緑を薄くする場合 マゼンタの値を下げます。

❺ ［追加→］をクリックします。
ハーフトーン調整名が［プリンタ］の［一覧］に表示されます。

❻ ［適用］をクリックします。
1つのPPDファイルにWindowsMe/98/95では1つ、WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では最大6つまで「ハーフトーン調整名」を登録できます。

❼ PPDへの登録完了画面で［OK］をクリックします。

❽ ［終了］をクリックし、PSハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバでハーフトーン調整名を選択し、印刷します。

❶ 印刷するファイルを開きます。

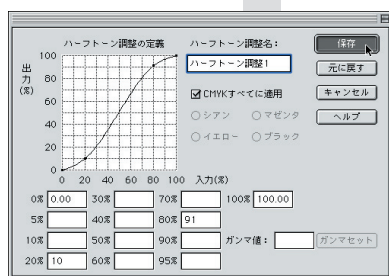
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［カラー］タブの［ハーフトーン調整］で、手順1の❹で作成した「ハーフトーン調整」を選択し、印刷します。

本設定は［カラー］タブの［印刷モード］で［グラフィックプロ］以外を選択した場合に有効となります。

MacOSをお使いの方 Mac OS Xをお使いの方は157ページをご覧ください。

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility]をダブルクリックします。

ユーティリティ
プリンタ名／ゾーンの変更 ...
Fileダウンロード ... ⌘D
フォントリスト表示 ... ⌘L
ディスクの初期化 ...
フォントの置き換え ...
ハーフトーン調整 ...

❷ ［ユーティリティ］メニューから［ハーフトーン調整...］を選択します。

❸ ［新規ハーフトーン調整の定義］をクリックします。

❹ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力し、［保存］をクリックします。
各色ごとに調整するときは、［CMYKすべてに適用］のチェックを外し、調整する色にチェックを付けます。

- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、［ガンマセット］をクリックします。自動的に13の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は0.01から99.99まで指定できます。1.0より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

❺ ハーフトーン調整を登録するPPDファイルが選択されているか確認します。
別のPPDファイルが選択されている場合は［PPDファイルの選択...］をクリックし、目的のPPDファイルを選択します。

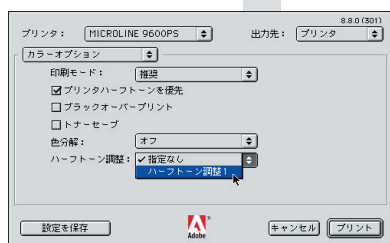
❻ ［追加→］をクリックします。
新しいハーフトーン調整名が右の登録一覧に表示されます。

❼ ［保存］をクリックします。
登録一覧に表示しているハーフトーン調整名を、選択されているPPDファイルに登録します。

❽ MicrolinePS Utilityを終了します。

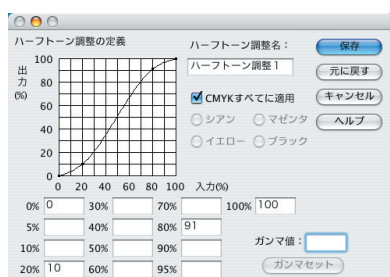
❾ 印刷するファイルを開きます。

❿ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

⓫ ［カラー設定］パネルの［カラー］で「カラー/グレースケール」を選択します。

⓬［カラーオプション］パネルの［ハーフトーン調整］で、手順❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

本設定は［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［グラフィックプロ］以外を選択した場合に有効となります。

Mac OS Xをお使いの方

MacOSをお使いの方は156ページをご覧ください。

❶［アプリケーション］-［OKIDATA］-［Halftone］-［PSハーフトーン調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

❷［新規ハーフトーン調整の定義］をクリックします。

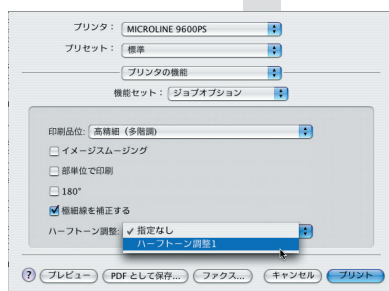
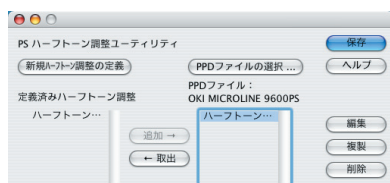
❸ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力し、［保存］をクリックします。
各色ごとに調整するときは、［CMYKすべてに適用］のチェックを外し、調整する色にチェックを付けます。

- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、［ガンマセット］をクリックします。自動的に13の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は0.01から99.99まで指定できます。1.0より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

❹ ハーフトーン調整を登録するPPDファイルが選択されているか確認します。

別のPPDファイルが選択されている場合は［PPDファイルの選択...］をクリックし、目的のPPDファイルを選択します。

❺［追加→］をクリックします。

新しいハーフトーン調整名が右の登録一覧に表示されます。

❻ ［保存］をクリックします。「認証」画面が表示された場合は、管理者権限をもつユーザ名とパスワードを入力します。

登録一覧に表示しているハーフトーン調整名を、選択されているPPDファイルに登録します。

❼ PSハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

❽ ［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.2以前では［プリントセンター］）に登録されているハーフトーン調整を行ったプリンタを一旦削除し、プリンタを再登録します。

❾ アプリケーションを起動します。

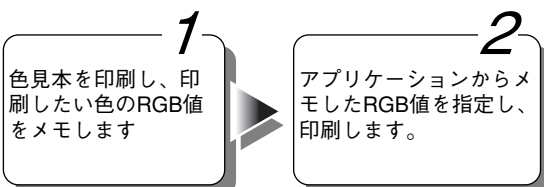
❿ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

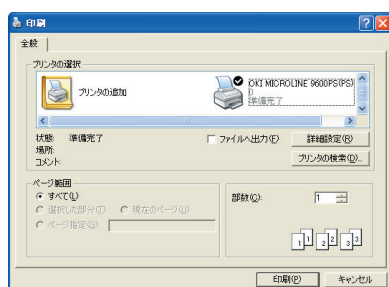
⓫ ［ジョブオプション］機能セットの［ハーフトーン調整］で、手順❸で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

- 本設定は［カラーオプション］機能セットの［印刷モード］で［グラフィックプロ］以外を選択した場合に有効となります。
- PSハーフトーン調整ユーティリティで登録しないと画面に表示されません。

色見本印刷ユーティリティを使って希望色を印刷する（Windows）

色見本印刷ユーティリティはプリンタでRGB色の見本を印刷するためのユーティリティです。印刷された色見本を見ることにより、希望する色を印刷するにはアプリケーションでどのようなRGB値の指定を行えばよいかを確認することができます。

- Windows95では利用できません。
- 色見本印刷ユーティリティのセットアップについては、123ページをご覧ください。

手順（1から2まであります。）

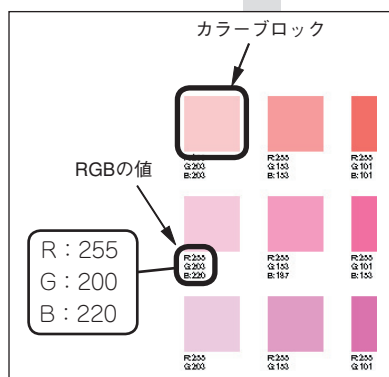
1 色見本を印刷し、印刷したい色のRGB値をメモします。

❶ ［スタート］-［プログラム］（Windows XPでは［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［色見本印刷ユーティリティ］-［色見本印刷ユーティリティ］を選択します。

メモ　ドライバの［カラー］タブで［色見本の印刷］をクリックして起動することもできます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ プリンタを選択します。選択したプリンタの種類（PSまたはPCL）を覚えておきます。

❹ ［OK］または［印刷］をクリックします。

色見本が3ページ印刷されます。

メモ
カラーブロックの下に表示されるRGB値は、カラーブロックのR（赤）、G（緑）、B（青）の色の成分量（0〜255）を表しています。

色見本に印刷したい色がない場合は？

メモ

色相
赤から緑、または青から黄色など、色味を変更します。

彩度
鮮やかさを変更します。

明度
濃さを変更します。

① ［ファイル］メニューの［カスタム色見本］を選択します。

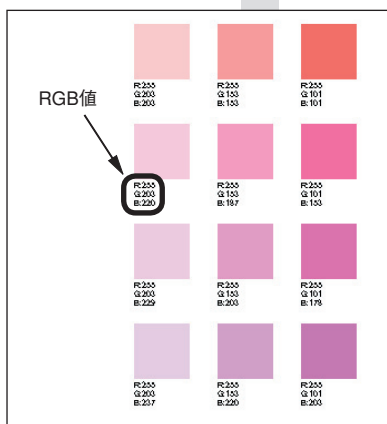
② 希望の色がモニタ画面で表示されるまで、3つのバーを調整し、［OK］をクリックします。

③ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

④ プリンタを選択します。

⑤ ［OK］または［印刷］をクリックします。
プリンタから1ページ印刷されます。

⑥ 印刷された色見本を見て、印刷したい色のRGB値をメモします。
色見本に希望する色が見つからない場合は、手順*1*から繰り返します。

❺ 印刷された色見本を見て、印刷したい色のRGB値をメモします。

2 アプリケーションから手順*1*でメモしたRGB値を指定し、印刷します。

注 アプリケーション上での色の指定方法は、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ アプリケーション上で、テキストやグラフィックを選択し、印刷したい色のRGB値をメモした値に変更します。

❸ 手順*1*の❸で選択したプリンタと同じプリンタで印刷します。

5 ネットワーク機能について

ネットワークユーティリティ機能一覧

ユーティリティの機能一覧

○：利用できる機能

	Windows							Macintosh	Windows/Macintosh
項目＼ユーティリティ名	Admin Manager	OKI LPR ユーティリティ	Network Extension	Print Super Vision	Web Driver Installer	ネットワークステータスモニタ	TELNET	Setup Utility	Web ブラウザ
プリンタのIPアドレスを変更する	○			○			○	○	○
プリンタの操作パネルのメッセージを表示する		○		○		○			○
ジョブの管理									○
オプションの自動設定			○		○				
消耗品情報			○	○					○
メール送信機能（SMTP）				○	○		○		○
プリンタのセキュリティ機能を設定する	○						○		○
プリンタのアクセス制限機能（IPフィルタ）を設定する	○						○		○
プリンタの時刻を設定する									○
SNMPの使用		○	○	○	○	○	○		○

Admin Managerを使って…（Windows）

動作環境

- WindowsMe/98/95日本語版が動作しているコンピュータ
- WindowsNT Server/Workstation 4.0日本語版が動作しているコンピュータ
- Windows2000 Server/Professional日本語版が動作しているコンピュータ
- WindowsXP Professional/Home Edition日本語版が動作しているコンピュータ
- Windows Server 2003日本語版が動作しているコンピュータ

AdminManagerを起動するには

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❹ ［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

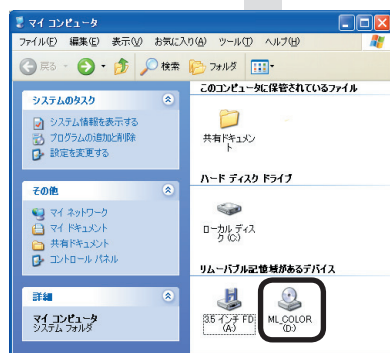
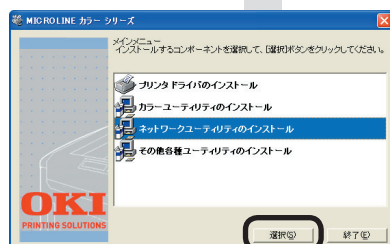
❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

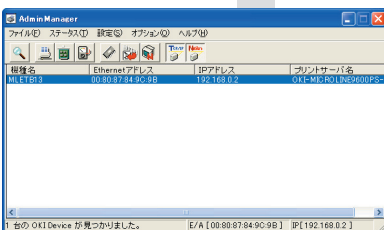
❻「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼ ［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

5

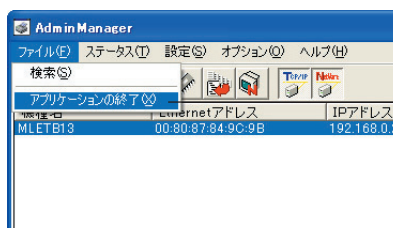
ネットワーク機能について

❽ ［NICセットアップユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

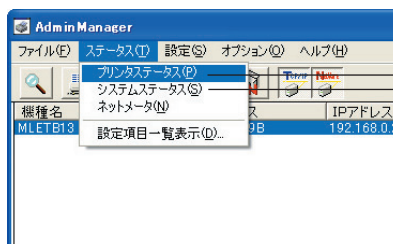
❾ ［日本語］をクリックします。

❿ ［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

⓫ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

AdminManagerが起動します。

機能について

［ファイル］メニュー

AdminManagerを終了します。

［ステータス］メニュー

プリンタの状態を表示します。

プリンタのネットワークの状態を表示します。

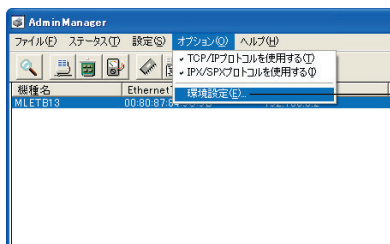
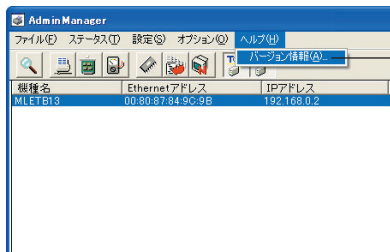
［設定］メニュー

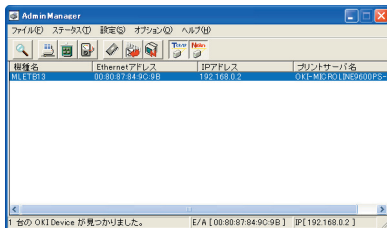
プリンタのネットワーク設定を行います。（167ページ）

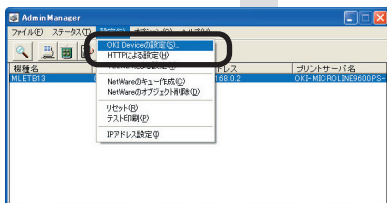
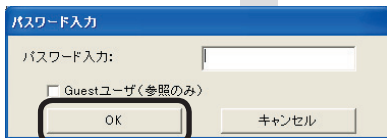
NetWareサーバ上にプリントキューを作成します。*1

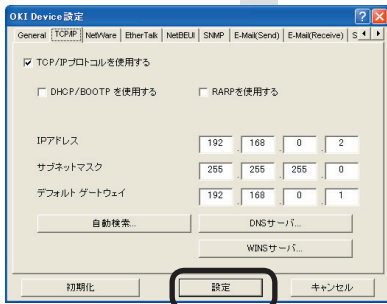
NetWareサーバ上に作成しているプリントサーバ、プリントキュー、プリンタを削除します。　*1

*1　Novellクライアントがインストールされていないコンピュータでは設定できません。

［オプション］メニュー

［ヘルプ］メニュー

プリンタの設定をする

プリンタのネットワークの設定を行います。
各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」（279ページ）をご覧ください。

❶ 一覧よりEthernetアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。
機種名には、ML9600PSの代わりにMLETB13と表示されます。

- Ethernetアドレス（MACアドレス）は、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（別冊 プリンタ機能編）
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。

❷ ［設定］メニューの［OKI Deviceの設定］を選択します。

❸ ［パスワード入力］に［Ethernetアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

- パスワードは、手順❶で選択した「Ethernetアドレス」の下6桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

❹ 必要な項目を入力し、［設定］をクリックします。

- それぞれのタブ内で設定できる項目は次ページをご覧ください。

初期化ボタンを押すと、ネットワークの設定を初期化します。

注 初期化すると、ネットワークの設定が初期値になり、SSL/TLSの証明書情報も削除されます。

❺ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

❻ 新しい設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

❼ OKI Device（ネットワークカード）をセットするか聞いてきますので、［はい］をクリックします。ネットワークカードがリセットされた後に新しい設定値で動作します。

注 もし、通信エラーが発生した場合は、プリンタを再起動して設定を再確認してください。

❽ AdminManagerを終了します。

Generalタブ

管理者パスワード、SNMPのコミュニティ名を変更します。
また、ネットワークカードが複数プリンタに接続されている場合は、異なるネットワークカードへの切り替えボタンも表示されます。

TCP/IPタブ

IPアドレスなどの設定をします。

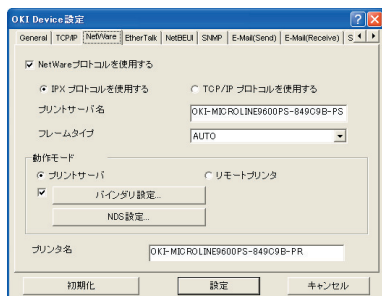
NetWareタブ

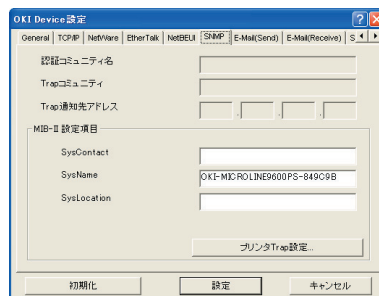
NetWareを利用する場合に設定します。

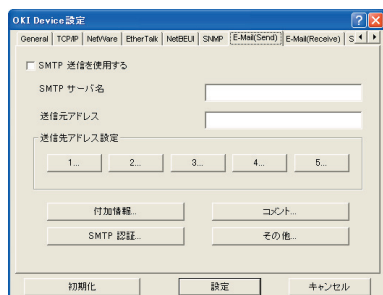
EtherTalkタブ

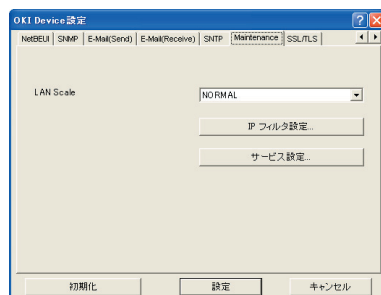
EtherTalkプリンタ名やゾーン名を変更する場合に設定します。

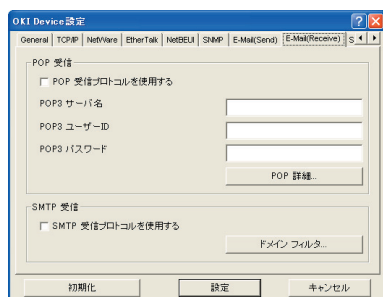
NetBEUIタブ

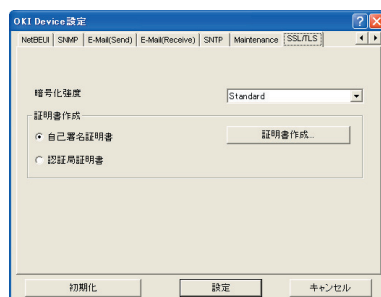
NetBEUIを利用する場合に設定します。

SNMPタブ

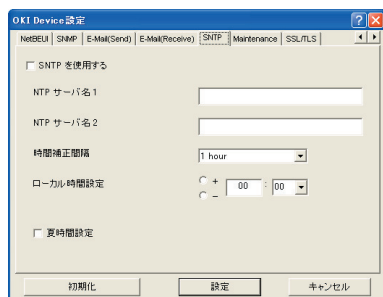
SNMPを利用する場合に設定します。

Email（Send）タブ

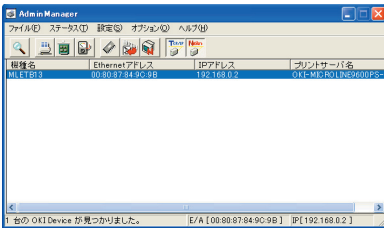
SMTP送信プロトコルを利用する場合に設定します。

Maintenanceタブ

ネットワークサービスの使用制限を設定します。

Email（Receive）タブ

オプションの内蔵ハードディスク装着時に表示されます。
SMTP/POPプロトコルを利用する場合に設定します。

SSL/TLSタブ

SSL/TLSを利用する場合に設定します。

SNTPタブ

SNTPプロトコルを利用する場合に設定します。

（Admin Managerを使って…）

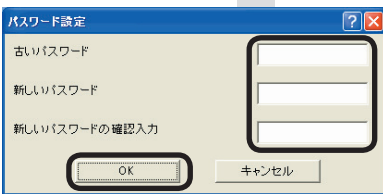
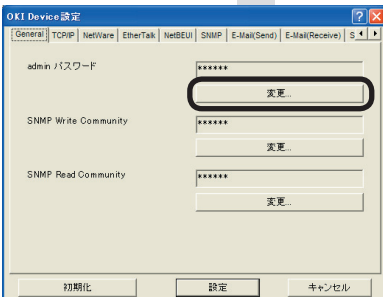
ネットワーク管理者用パスワードを変更する

❶ AdminManagerを起動します。

❷ プリンタを選択します。
機種名には、ML9600PSの代わりにMLETB13と表示されます。

❸ ［設定］メニューの［OKI Deviceの設定］を選択します。

❹ ［パスワード入力］にパスワードを入力し、［OK］をクリックします。
パスワードの初期値は［Ethernetアドレスの下6桁］です。

❺ ［General］タブを選択します。

❻ 「adminパスワード」の「変更」を選択します。

❼ 「古いパスワード」に今までに使用していたパスワードを、「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認入力」に任意のパスワードを入力し、［OK］を選択します。

❽ 「設定」を選択します。

❾ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

Quick Setupを使って…（Windows）

プリンタのネットワークの簡易設定をします。

プリンタの簡易設定をする

以下の説明は、WindowsXP Home Editionを例にしています。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❹ ［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

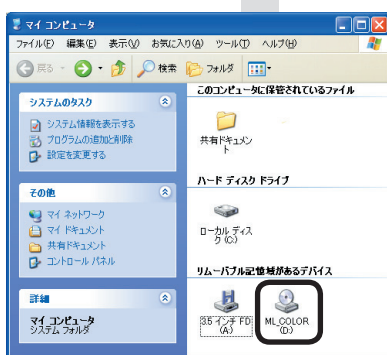
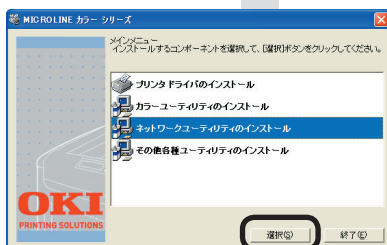
❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

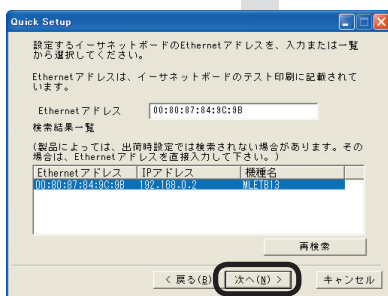
❻「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼ ［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

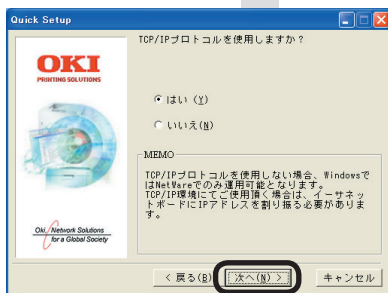
5

ネットワーク機能について

❽ ［NICセットアップユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

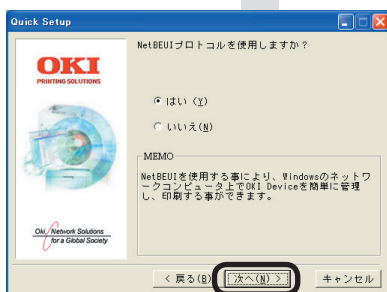
❾ ［日本語］をクリックします。

❿ ［OKI Device Quick Setup］をクリックします。

⓫ ［次へ］をクリックします。

⓬ 設定を行うプリンタのEthernetアドレスを選択して、［次へ］をクリックします。
機種名には、ML9600PSの代わりにMLETB13と表示されます。

- Ethernetアドレス（MACアドレス）は、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（別冊 プリンタ機能編）

⓭ TCP/IPの設定を行い、［次へ］をクリックします。

⑭ NetWareの設定を行い、［次へ］をクリックします。

⑮ EtherTalkの設定を行い、［次へ］をクリックします。

⑯ NetBEUIの設定を行い、［次へ］をクリックします。

⑰ 設定内容を確認し、［実行］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⑱ 設定値を有効にするために、［完了］をクリックします。

この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

⑲ Quick Setupを終了します。

OKI LPRユーティリティを使って…（Windows）

ネットワークに接続したプリンタに印刷する時に必要なユーティリティで、ネットワーク接続でプリンタドライバをインストールすると、自動的にインストールされます。
プリンタの状態を確認したり、印刷ジョブ（データ）の削除や転送などができます。

動作環境

- WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版が動作しているコンピュータ
- TCP/IPで動作しているコンピュータ

- TCP/IPのネットワーク接続でプリンタドライバのインストールを行うと、自動的にOKI LPRユーティリティがインストールされます。
- WindowsXP/2000/NT4.0/Serrver2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

OKI LPRユーティリティを起動する

WindowsXPをお使いの方

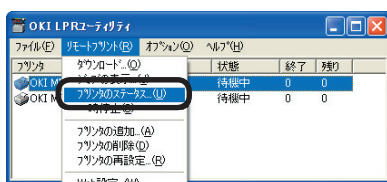
❶［スタート］-［すべてのプログラム］-［沖データ］-［OKI LPRユーティリティ］-［OKI LPRユーティリティ］を選択します。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003をお使いの方

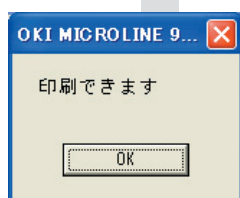
❶［スタート］-［プログラム］-［沖データ］-［OKI LPRユーティリティ］-［OKI LPRユーティリティ］を選択します。

下のような画面が表示されます。

プリンタの状態を確認する

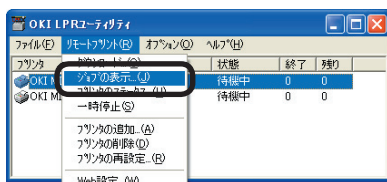
プリンタの操作パネルに表示されているメッセージを表示します。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタのステータス］を選択します。

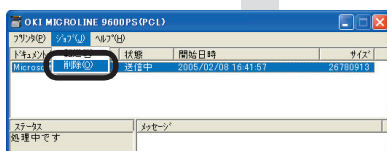
プリンタのステータスが表示されます。

メモ ジョブ表示ダイアログの「ステータス」でも確認することができます。

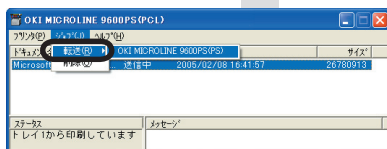
ジョブを表示する、削除する、転送する

印刷ジョブを表示したり、削除することができます。
また、プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

- 他社プリンタへは転送できません。
- 同じプリンタ機種名へ転送してください。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［ジョブの表示］を選択します。

ジョブが表示されます。

❸ 削除したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［削除］を選択します。

ジョブが削除されます。

❹ 転送したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［転送］で転送先のプリンタを選択します。

転送先のプリンタにジョブが送られます。

転送できるプリンタは、あらかじめOKI LPRユーティリティにセットアップされている必要があります。

自動的にジョブを転送する

プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、自動的に印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

・他社プリンタへは転送できません。
・必ず、同じプリンタ機種名へ転送してください。

❶ プリンタを選択します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

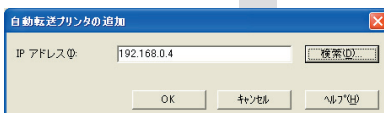
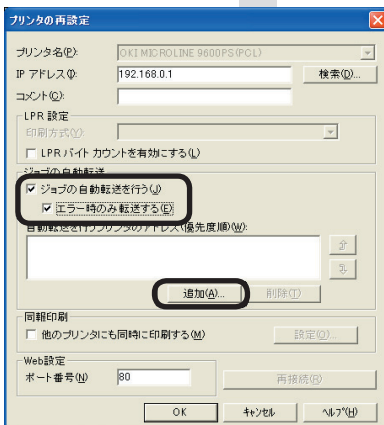
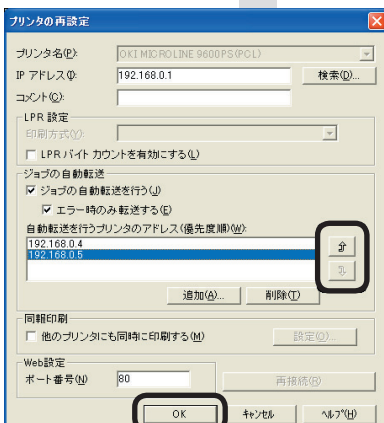
❸ ［詳細設定］をクリックします。

❹ ［ジョブの自動転送を行う］にチェックをつけます。

プリンタが「オフライン」や「用紙切れ」などのエラーのときのみ転送したい場合は、［エラー時のみ転送する］にもチェックを付けます。

❺ ［追加］をクリックし、転送先のIPアドレスを設定します。

メモ　［検索］をクリックして、ネットワーク上のMICROLINEプリンタを検索することもできます。

❻ 転送先の候補の数だけ、❺の操作を繰り返します。

メモ　転送先の優先順を変更するには、［自動転送を行うプリンタのアドレス］から優先順を変更するプリンタを選択し、横の［↑］ボタン、または［↓］ボタンをクリックします。
（［↑］ボタンをクリックすると優先度が上がり、［↓］ボタンをクリックすると優先度が下がります）

❼ ［OK］をクリックします。

複数のプリンタで同時に印刷する

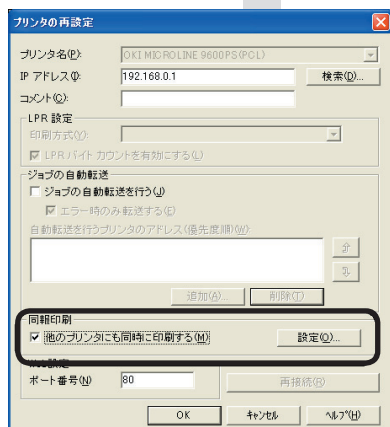
一度の印刷指示で複数のプリンタに印刷することができます。

同時に印刷するプリンタは、必ず同じプリンタ機種を指定してください。

❶ プリンタを選択します。

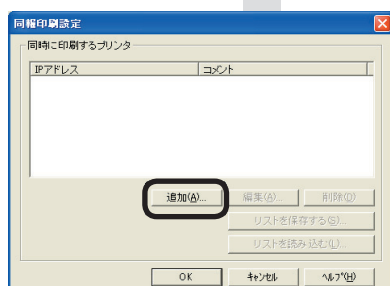
❷ ［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。

❹ ［他のプリンタにも同時に印刷する］にチェックをつけ、［設定］をクリックします。

❺ ［追加］をクリックし、同時に印刷するプリンタのIPアドレスを設定します。

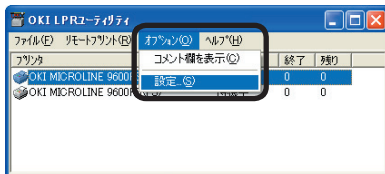
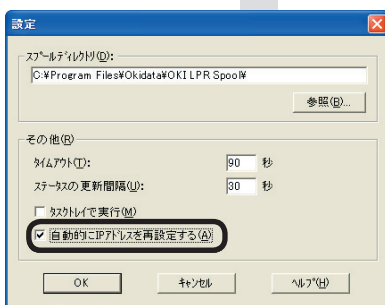
メモ　同時に印刷するプリンタに対しても、コメントを追加することができます。（180ページ）

❻ 追加したいプリンタ分、❺の操作を繰り返します。

メモ
- ［リストを保存］をクリックすることにより、追加したプリンタの情報を保存することができます。
- 保存したプリンタの情報は、［リストを読み込む］をクリックすることにより、読み込みや削除することができます。

❼ ［OK］をクリックします。

自動的にIPアドレスをセットする

DHCPサーバに接続しプリンタの電源を入れる度にプリンタのIPアドレスが変更になる場合、自動的に変更されたIPアドレスを検索し再設定することができます。

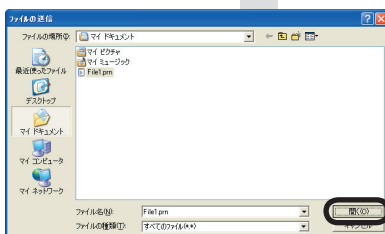
検索対象は、OKI LPRユーティリティの検索範囲設定に従います。

❶［オプション］メニューの［設定］を選択します。

❷［自動的にIPアドレスを再設定する］にチェックを付けます。

❸［OK］をクリックします。

ファイルをプリンタへダウンロードする

ファイルに保存した印刷データ（306ページ）をプリンタにダウンロードし、印刷します。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［ダウンロード］を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ファイルのダウンロードが開始されます。

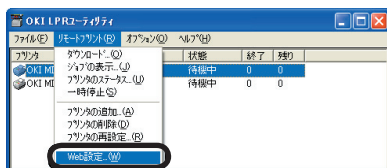
Webブラウザを起動する

OKI LPRユーティリティより、プリンタのネットワーク設定や、メニュー設定を行うためのWebブラウザを起動します。

各設定の設定方法については「Webブラウザを使って…」（216ページ）を参照してください。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［Web設定］を選択します。

Webポート番号が変更されている場合は、OKI LPRユーティリティのポート番号の設定を以下の手順で変更してください。

① プリンタを選択します。

②［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

③［詳細設定］をクリックします。

④［ポート番号］に、Webポート番号をクリックします。

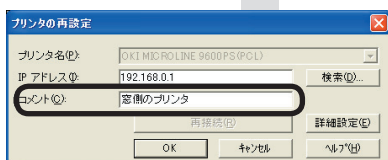
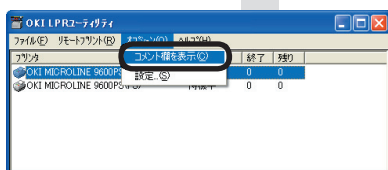
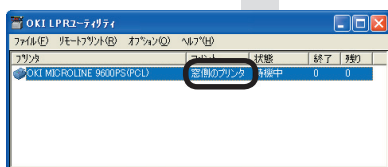
⑤［OK］をクリックします。

コメントを追加する

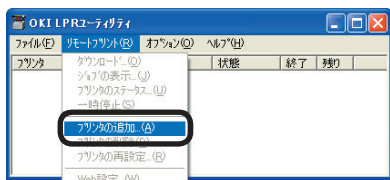
OKI LPRユーティリティに登録したプリンタに、コメントを追加することができます。

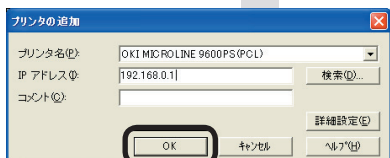
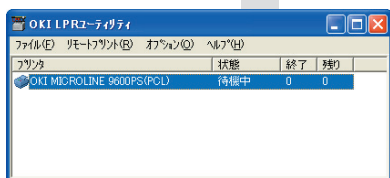
メモ　プリンタの設置場所、プリンタのオプション装置などを入力すると便利です。

❶ プリンタを選択します。

❷ ［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸ ［コメント］にコメントを入力し、［OK］をクリックします。

❹ ［オプション］メニューの［コメント欄を表示］を選択します。

プリンタを追加する

印刷先のポートをOKI LPRポートに変更することができます。

すでにOKI LPRユーティリティに登録されているプリンタは設定できません。ポートを変更したい場合は、「プリンタの再設定」を選択してください。

❶［リモートプリント］メニューの［プリンタの追加］を選択します。

❷［プリンタ］を選択し、［IPアドレス］にプリンタのIPアドレスを入力し、［OK］をクリックします。

メインウィンドウにプリンタが追加されます。

OKI LPRユーティリティをインストールする

以下の説明は、WindowsXP Home Editionを例にしています。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

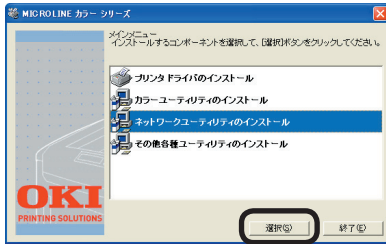
WindowsXPをお使いの方

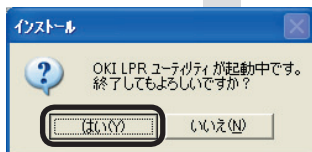
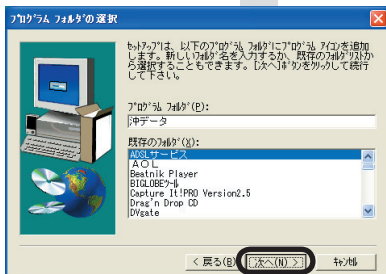
［スタート］-［マイコンピュータ］-［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003をお使いの方

［マイコンピュータ］を開き、［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

❹［SETUP］アイコンをダブルクリックします。
セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❻ ［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❼ ［OKI LPRユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❽ すでにOKI LPRユーティリティがインストールされて起動している場合、終了する画面がでるので［はい］をクリックします。

❾ セットアッププログラムが開始されるので、［次へ］をクリックします。

❿ インストール先とスプール先のフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。

⓫ ［スタートアップに登録する］にチェックが入っていることを確認し、［次へ］をクリックします。

⓬ プログラムフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックします。

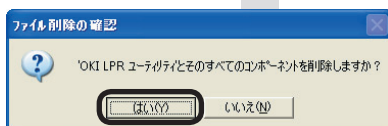
⓭ ［完了］をクリックします。

⓮ ［終了］をクリックします。

OKI LPRユーティリティを削除する

❶ ［ファイル］メニューの［終了］を選択します。

❷ ［スタート］-［すべてのプログラム］（WindowsXP以外では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI LPRユーティリティ］-［OKI LPRユーティリティの削除］を選択します。

❸ ［はい］をクリックします。

Network Extensionを使って…（Windows）

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定が容易にできます。ネットワーク接続でプリンタドライバをセットアップすると、自動的にインストールされます。
手動でインストールする場合は、123ページをご覧ください。

プリンタの設定を確認する

接続しているプリンタの設定内容などが確認できます。

（WindowsXPの画面）

❶ WindowsXPをお使いの方

［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］を選択します。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003をお使いの方

［スタート］-［設定］-［プリンタ］（Windows Server 2003では［プリンタとFAX］）をクリックします。

❷ ［OKI MICROLINE 9600PS(**)］(**)はPSまたはPCL（プリンタドライバの種類）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［オプション］タブをクリックします。

- Network Extensionをインストールしても、動作環境に一致しない場合は［オプション］タブは表示されません。

❹ ［更新］ボタンをクリックします。
「デバイス設定」にプリンタの設定内容が表示されます。

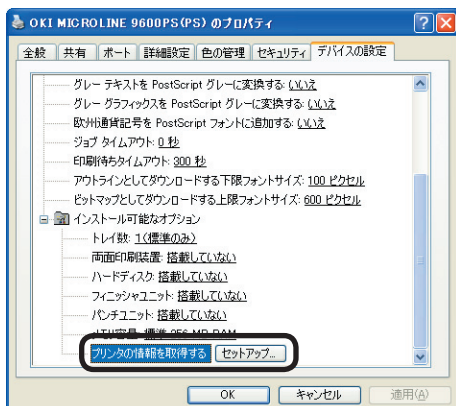
❺ ［OK］をクリックします。

［Web設定］ボタンをクリックすると、自動的にWebブラウザが起動し、プリンタの設定内容が表示されます。詳しくは、「Webブラウザを使ってプリンタの設定をする」（217ページ）をご覧ください。

オプションの自動設定をする

接続しているプリンタのオプション構成を取得して、プリンタドライバの設定を自動的に行うことができます。

Network Extensionをインストールしても、動作環境に一致しない場合は設定できません。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバをお使いの方

1. [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX](Windows2000では[スタート] - [設定] - [プリンタ]、Windows Server 2003では [スタート] - [設定] - [プリンタとFAX])をクリックします。
2. [OKI MICROLINE 9600PS(PS)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。
3. [デバイスの設定] タブをクリックします。
4. [プリンタの情報を取得する] をクリックし、[セットアップ] をクリックします。
5. [OK] をクリックします。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバをお使いの方

1. [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。
2. [OKI MICROLINE 9600PS(PS)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。
3. [デバイスオプション] タブをクリックします。
4. [プリンタの情報を取得する] をクリックします。
5. [このメモリオプションに、標準のプリンタメモリ値を使いますか?] のメッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。
6. [OK] をクリックします。

WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［OKI MICROLINE 9600PS(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスの設定］タブをクリックします。

❹［プリンタの情報を取得する］をクリックし、［プリンタの情報を取得する］ボタンをクリックします。

❺［OK］をクリックします。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックし、Windows Server 2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

❷［OKI MICROLINE 9600PS(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブをクリックします。

❹［プリンタの情報を取得する］をクリックします。

❺［OK］をクリックします。

Print Super Visionを使って…（Windows）

PrintSuperVisionは、ネットワークにつながっているプリンタを管理するためのWebベースアプリケーションです。複数のプリンタの設定情報や消耗品情報を確認することができます。1台のコンピュータにPrintSuperVisionをインストールし、他のコンピュータからWebブラウザを使用して、リモートでPrint-SuperVisionにアクセスします。

動作環境

PrintSuperVisionをインストールするコンピュータ

WindowsXP Service Pack 2をお使いの方は、「トラブルシューティング」の「Windows Service Pack 2に関する制限事項」（325ページ）を参照してください。

WindowsXP Professional/2000(Service Pack 1以上)/Server2003日本語版が動作しているコンピュータ
Microsoftインターネットインフォメーションサーバ（IIS）がインストールされているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ
ウィルスチェックソフト等によりアクティブサーバページ（ASP）の動作が阻害されない環境のコンピュータ

PrintSuperVisionにリモートでアクセスするコンピュータ

WindowsXP Service Pack 2をお使いの方は、「トラブルシューティング」の「Windows Service Pack 2に関する制限事項」（325ページ）を参照してください。

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版が動作しているコンピュータ
Microsoft Internet Explorer Ver.4.0以上がインストールされているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ

PrintSuperVisionにアクセスするには

PrintSuperVisionがインストールされているコンピュータに、別のコンピュータからWebブラウザを起動し、アクセスします。

❶ Webブラウザを起動します。

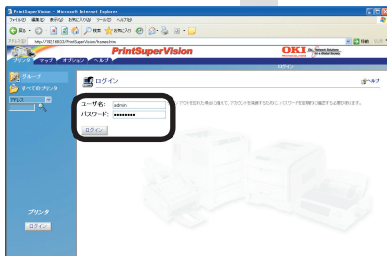
❷ ［アドレス］に、URL「http://PrintSuper Visionが起動しているコンピュータのIPアドレス/PrintSuperVision/」と入力し、Enterキーを押します。

例）コンピュータのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合
http://192.168.0.3/PrintSuperVision/

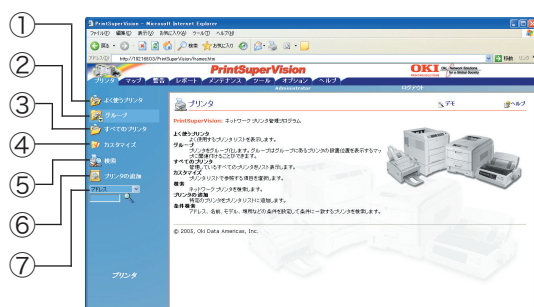
IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。
（例）正しい入力値：http://192.168.0.3/
誤った入力値：http://192.168.000.003/

❸ ［ログイン］をクリックします。

❹ ［ユーザ名］に「admin」、［パスワード］に管理者のパスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。

パスワードの初期値は「password」です。

プリンタを管理する

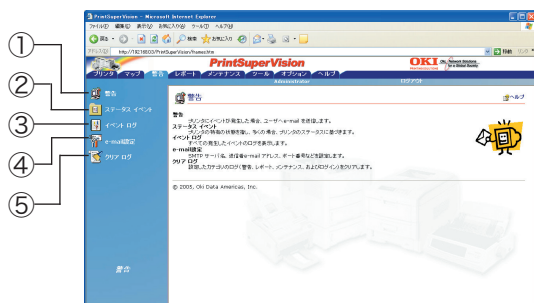
機能説明

プリンタ　タブ

①	［よく使うプリンタ］	頻繁に確認する必要があるプリンタを登録することが可能で、このボタンをクリックすることですぐにプリンタの情報を表示させます。
②	［グループ］	部門別、フロア別、機種別などでプリンタを監視する場合、グループに登録することで容易に分類し、表示することが可能です。
③	［すべてのプリンタ］	PrintSuperVisionで監視しているプリンタすべての情報を表示します。
④	［カスタマイズ］	表示するプリンタ情報をカスタマイズすることができます。
⑤	［検索］	ネットワークに接続されているプリンタを調べ表示します。
⑥	［プリンタの追加］	すでにIPアドレスがわかっている場合は［プリンタの追加］で直接アドレスを入力することで特定のプリンタを監視対象に含めることができます。
⑦	［条件検索］	アドレス、名前、モデル、場所に一致するプリンタを選択します。

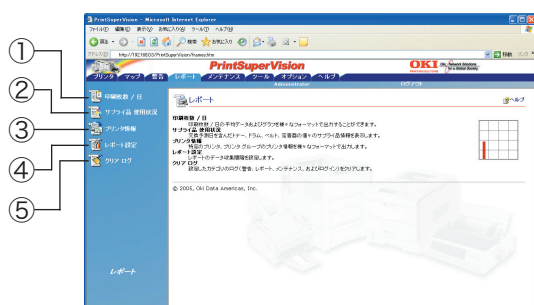
マップ　タブ

①	［マップの追加］	GIF、JPGまたはPNG形式のファイルをPrintSuperVisionに登録することができます。登録されたマップ上にプリンタグループにあるプリンタを対応する場所に配置できます。

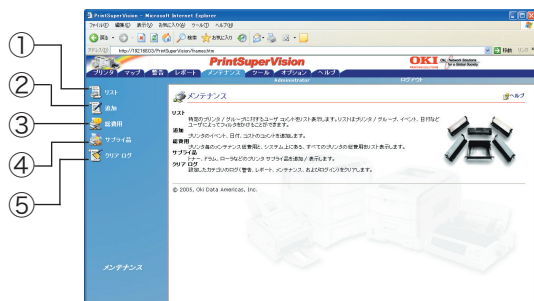
警告　タブ

起動画面でログインした場合のみ表示します。

①	［警告］	プリンタで問題が発生した場合にe-mailを送信する場合の条件を指定します。
②	［ステータスイベント］	プリンタで問題が発生した場合にPrintSuperVisionで記録をする場合の条件を指定します。
③	［イベントログ］	発生した問題ログを表示します。
④	［e-mail設定］	PrintSuperVisionがe-mailを送信させるための各種設定を行います。
⑤	［クリアログ］	発生したイベントログを削除することができます。

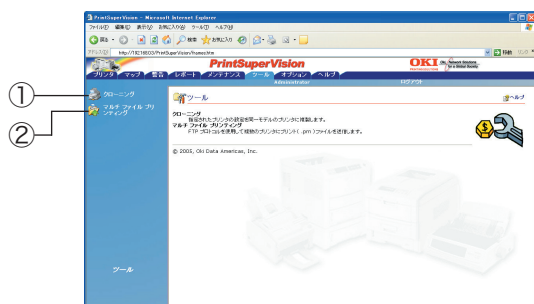
レポート　タブ

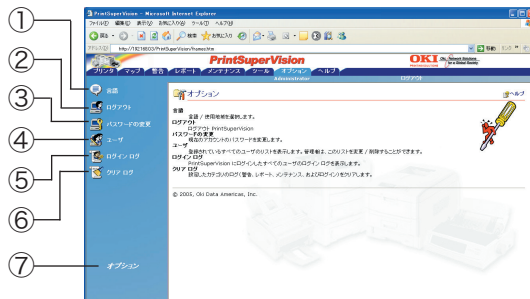
起動画面でログインした場合のみ表示します。

①	［印刷枚数/日］	1日あたりの印刷枚数を表示します。
②	［サプライ品　使用状況］	現在のトナー残量（対応機種のみ）、使用状況から推定したドラム、ベルト、定着器の交換時期などを表示します。
③	［プリンタ情報］	プリンタの各種情報を表示します。
④	［レポート設定］	印刷枚数などのプリンタのデータを収集する間隔を設定します。
⑤	［クリアログ］	このタブに関係するログ情報を削除します。

メンテナンス　タブ

起動画面でログインした場合のみ表示します。

①	［リスト］	プリンタに対して行った消耗品交換などのコメントを表示します。
②	［追加］	プリンタに対して行った消耗品交換などのコメントを追加できます。
③	［総費用］	入力したコスト金額の累計を表示します。
④	［サプライ品］	トナー、ドラムなどの消耗品の金額を保存できます。
⑤	［クリアログ］	このタブに関係するログ情報を削除します。

ツール　タブ

起動画面でログインした場合のみ表示します。

①	［クローニング］	1台のプリンタメニュー設定を複数の他のプリンタに反映することができます。
②	［マルチ ファイル プリンティング］	FTPプロトコルを使用して複数のプリンタにプリント（.pm）ファイルを送信します。

オプション タブ

① [言語] 表示する言語を選択します。

② [ログアウト] PrintSuperVisionからログアウトします。

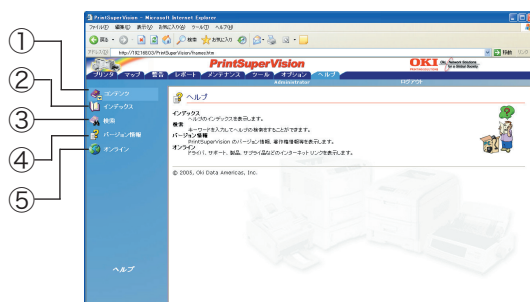
③ [パスワードの変更] ユーザパスワードを変更できます。

④ [ユーザ] ユーザの追加などユーザ管理ができます。
「admin」ユーザ以外は表示のみです。

⑤ [ログインログ] PrintSuperVisionへのログイン記録が表示されます。

⑥ [クリアログ] 警告、ログインログなどのログ情報をクリアします。

⑦ [ログイン] ログインしていない場合にのみ表示されます。

ヘルプ タブ

① [コンテンツ] PrintSuperVisionのオンラインヘルプをツリー表示します。

② [インデックス] PrintSuperVisionのオンラインヘルプを選択、表示できます。

③ [検索] キーワード入力によるヘルプ検索ができます。

④ [バージョン情報] PrintSuperVisionのVersion情報を表示します。

⑤ [オンライン] 沖データのホームページにリンクしています。

Web Driver Installerを使って…（Windows）

Web Driver Installerは、以下の作業を自動的に行い管理者の負担を軽減します。

- ネットワークにつながったプリンタを検索し、ユーザにプリンタドライバのインストールをメールで通知します。
- ネットワーク上に新しいプリンタが見つかると、管理者にメールで通知します。
- プリンタ、ユーザを部門別やフロア別等のグループに分類して管理でき、変更があった場合はユーザにメールで通知します。

動作環境

Web Driver Installerをインストールするコンピュータ(以下、サーバコンピュータと略す)

Server 2003/ Windows XP Professional/ Windows 2000/ Windows NT 4.0サーバ（サービスパック6a)日本語版が動作するコンピュータ
TCP/IPネットワークに接続されているコンピュータ
Microsoft インターネットインフォメーションサーバがインストールされているコンピュータ
また、MDAC 2.6以上が搭載されているコンピュータ、サーバコンピュータからWeb Driver InstallerにWebブラウザを使ってアクセスする場合、Internet Explorer 5.5以上または、Netscape Navigator 6.0以上が必要です。また、Webブラウザからマニュアルを参照するためにAcrobat Readerがインストールされている必要があります。

- ウイルス感染を回避するために、Web Driver Installerのインストール前にMicrosoftのホームページから最新のセキュリティ更新プログラムを入手し、コンピュータにインストールすることをお勧めします。
- Web Driver Installerをインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。
- インストールした後、インストール先の仮想ディレクトリ名、サイトを変更するとWeb Driver Installerは動作しません。

WindowsXP Service Pack 2をお使いの方は、「トラブルシューティング」の「WindowsXP Service Pack 2に関する制限事項」（325ページ）を参照してください。

Web Driver Installerにアクセスするコンピュータ(以下、クライアントコンピュータと略す)

Windows 日本語版が動作するコンピュータ
TCP/IPネットワークに接続されているコンピュータ
Internet Explorer 5.5以上またはNetscape Navigator 6.0以上がインストールされているコンピュータ
e-mailが受信できるように設定されているコンピュータ
Windows Me/98/95/NTは、OKI LPRユーティリティのバージョン3.08以上がインストールされている必要があります。
また、Webブラウザからマニュアルを参照するためにAcrobat Readerがインストールされている必要があります。

Server 2003、Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0でWeb Driver Installerの「プリンタドライバのインストール」機能を使用するには、コンピュータの管理者権限が必要です。

Web Driver Installerをセットアップする

Web Driver Installerをセットアップするには以下の作業が必要です。

1. Web Driver Installerをインストールする
2. プリンタドライバを登録する
3. メールの設定をする
4. グループを登録する
5. ユーザの登録をする
6. プリンタの自動検索を有効にする

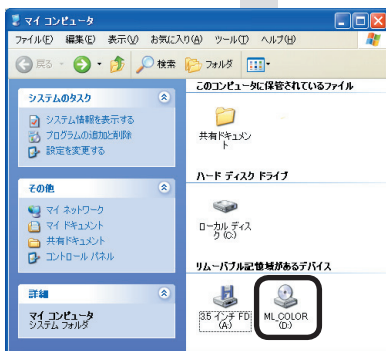
次の手順に従って作業を行ってください。

1.　Web Driver Installerをインストールする

・ Web Driver Installerをインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。
・ インストールは、サーバコンピュータ上で行います。

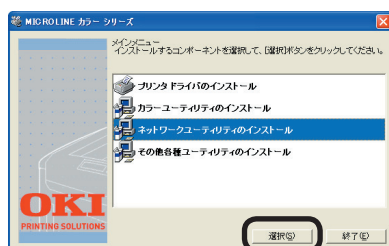
❶ プリンタの電源をONにします。

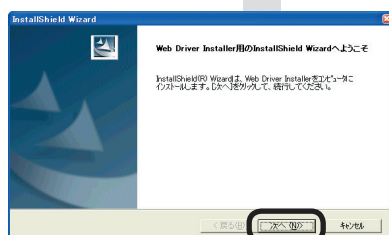
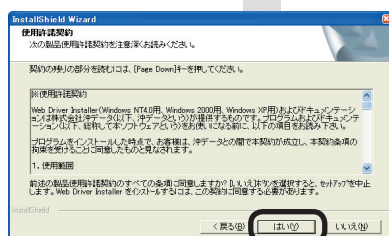
❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

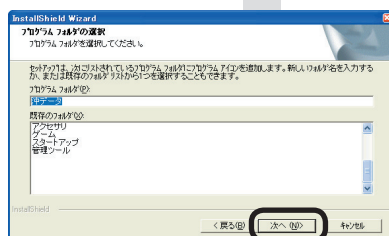
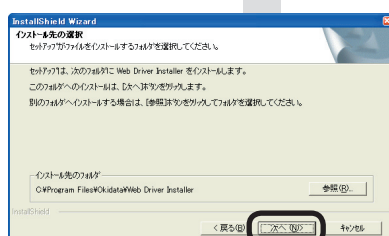
❸ ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❹ ［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

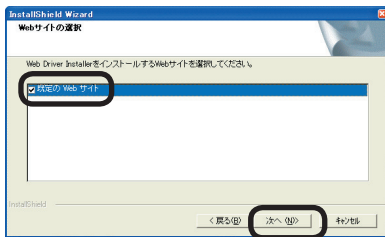
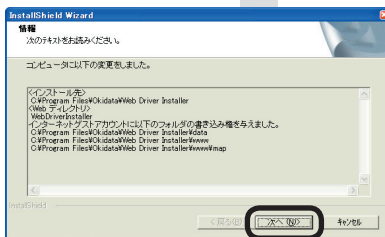
❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

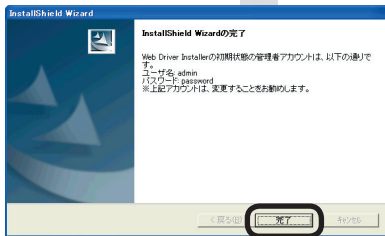
セットアッププログラムが起動します。

❻「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

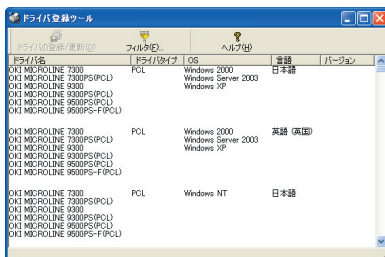
❽［Web Driver Installer］を選択し、［インストール］をクリックします。

❾［次へ］をクリックします。

❿［使用許諾契約］をよく読み、［はい］をクリックします。

⓫ プログラムフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックします。

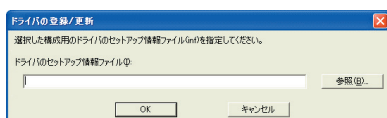
⓬ インストール先のフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。

⓭ インストールするWebサイトを確認し、[次へ] をクリックします。

⓮ インストーラは、ファイルのコピーやプログラムの登録などのインストール処理をします。

⓯ インストール結果を確認し、［次へ］ をクリックします。

⓰ ［完了］ をクリックします。ここで再起動のメッセージが表示された場合は、必ず再起動してください。

2.　プリンタドライバを登録する

TCP/IPネットワークに接続されているプリンタがあらかじめわかっている場合は、Web Driver Installerの運用を開始する前にプリンタドライバをWeb Driver Installerに登録しておくことをお勧めします。

❶ ［スタート］-［プログラム］（Windows XPでは、［すべてのプログラム］）-［沖データ］-［Web Driver Installer］-［ドライバ登録ツール］ を選択します。ドライバ登録ツールが起動します。

メモ　バージョン欄に何も表示されていないドライバ構成はドライバが登録されていないことを意味します。バージョン番号または<不明>が表示されていると、ドライバが登録されていることを意味します。

❷ リストビューで登録したいドライバ構成を選択します。ツールバーの［フィルタ］をクリックし、ドライバ構成を選択することで、目的のドライバ構成のみを表示することができます。

❸ ［ドライバの登録/更新］をクリックすることで、［ドライバの登録/更新］ダイアログが表示されます。

❹ 選択したドライバ構成にあったドライバのセットアップ情報ファイル(INFファイル)のフルパスを入力します。正確な位置が分からない場合は、［参照...］をクリックし、［ML_COLOR］CD-ROM内から適当なファイルを選択してください。

注 選択したドライバ構成と一致するプリンタのセットアップ情報ファイルを入力してください。

❺ ［OK］をクリックすることで、登録または更新が完了します。

3. メールの設定をする

ユーザにメールを送信するために必要な設定をします。

注 この設定をする前に、ユーザの追加や、プリンタの検索をしても、e-mailは送信されません。

❶ デスクトップにあるWeb Driver Installerアイコンをダブルクリックします。

メモ クライアントコンピュータからアクセスするには、Webブラウザを起動し、［アドレス］にURL「http://< Web Driver Installerがインストールされているコンピュータのアドレス>/WebDriverInstaller /」と入力し、Enterキーを押します。
例) コンピュータのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合、「http://192.168.0.3/WebDriverInstaller」となります。

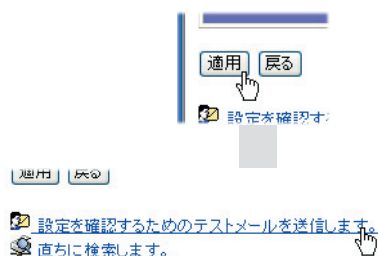
❷ ［ログイン］をクリックします。

❸ ［ログイン名］と［パスワード］に管理者のログイン名、パスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。
管理者のログイン名、パスワードの初期値は以下の通りです。

ログイン名	admin
パスワード	password

❹ ［設定］をクリックします。

❺ ［送信メールサーバ］は、Web Driver Installerがe-mailを送信するためのSMTPサーバを指定します。［ポート番号］は、SMTPサーバのポート番号を指定します。通常、25が使用されます。［管理者のメールアカウント］は、Web Driver Installerの管理者のメールアカウントを指定します。Web Driver Installerは、e-mailを送信するために、ここで指定したメールアカウントを送信者として使用します。

メモ メールサーバによっては、有効な送信者のメールアカウントが必要です。

❻ 設定が終了したら［適用］をクリックします。

❼ 設定内容が正しいかを確認するために、［設定を確認するためのテストメールを送信します］をクリックし、メール受信ソフトで確認メールが届いているかチェックします。［戻る］をクリックすることでメインページに戻ります。

これで、初期設定は完了です。

4. グループを登録する

Web Driver Installerは、部門やフロアといったネットワークセグメント*1単位のグループ管理をします。

*1 LAN（ローカルエリアネットワーク）におけるネットワークの1単位で、1つの機器から送出されたパケットが無条件に到達する範囲と解釈します。

例として、株式会社ABCは3階建てのビルを持っていて、1階に総務部と経理部、2階に営業1部から営業3部があり、3階に技術1部と技術2部があったとします。Web Driver Installerでグループ分けをすると、下図のようになります。

グループ	検索範囲
株式会社ABC	–
1階	–
総務部	192.168.0.255
経理部	192.168.1.255
2階	–
営業1部	192.168.2.255
営業2部	192.168.2.255
営業3部	192.168.3.255
3階	–
技術1部	192.168.4.255
技術2部	192.168.5.255

このグループ構成をWeb Driver Installerに登録する方法を以下に説明します。

❶ デスクトップにあるWeb Driver Installerアイコンをダブルクリックします。

メモ　クライアントコンピュータからアクセスするには、Webブラウザを起動し、［アドレス］にURL「http://< Web Driver Installerがインストールされているコンピュータのアドレス>/WebDriverInstaller /」と入力し、Enterキーを押します。

例) コンピュータのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合、「http://192.168.0.3/WebDriverInstaller」となります。

❷ ［ログイン］をクリックします。

❸ ［ログイン名］と［パスワード］に管理者のログイン名、パスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。
管理者のログイン名、パスワードの初期値は以下の通りです。

ログイン名	admin
パスワード	password

❹ ［グループの一覧］にある［新規グループの追加］をクリックします。

❺ ［グループ設定］ページの［グループ名］に「1階」と入力し、［OK］をクリックします。「2階」、「3階」も同様に追加します。

❻ ［グループの一覧］にある「1階」をクリックし、「1階」グループのページを表示します。

❼ 「1階」グループの［グループの一覧］にある［新規グループの追加］をクリックします。

❽ ［グループ設定］ページの［グループ名］に「総務部」と入力します。また、検索範囲に総務部のブロードキャストIPアドレスを入力します。［OK］をクリックします。「経理部」も同様に追加します。

❾ 「ルート」をクリックして、同様に「2階」の「営業1部」、「営業2部」と、「営業3部」、「3階」の「技術1部」と「技術2部」を作成します。

5.　ユーザを登録する

Web Driver Installerにメンテナンスユーザと一般ユーザを配置します。メンテナンスユーザは、末端グループまたは、親グループに1人の割合で配置し、グループ内の情報を編集できます。また、一般ユーザは末端グループに配置し、自分自身の情報のみ編集できます。例では、総務部グループと経理部グループを管理するメンテナンスユーザ「鈴木 一郎」さんを1階グループに配置します。また、一般ユーザである総務部の「井上 次郎」さんを総務部グループに配置します。

❶ デスクトップにあるWeb Driver Installerアイコンをダブルクリックします。

クライアントコンピュータからアクセスするには、Webブラウザを起動し、［アドレス］にURL「http://< Web Driver Installerがインストールされているコンピュータのアドレス>/WebDriverInstaller /」と入力し、Enterキーを押します。

例）コンピュータのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合、「http://192.168.0.3/WebDriverInstaller」となります。

❷ ［ログイン］をクリックします。

❸ ［ログイン名］と［パスワード］に管理者のログイン名、パスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。
管理者のログイン名、パスワードの初期値は以下の通りです。

ログイン名　　admin
パスワード　　password

❹ ［グループの一覧］にある「1階」をクリックし、「1階」グループのページを表示します。

❺ ［ユーザの一覧］にある［新規ユーザの追加］をクリックし、新規ユーザの情報入力フォームを表示します。

❻ ［種類］は、メンテナンスユーザを選択します。［ユーザ名］、［e-mailアドレス］と、［ログイン名］をそれぞれ埋めます。必要に応じて、［パスワード］を設定します。［OK］をクリックし、保存します。

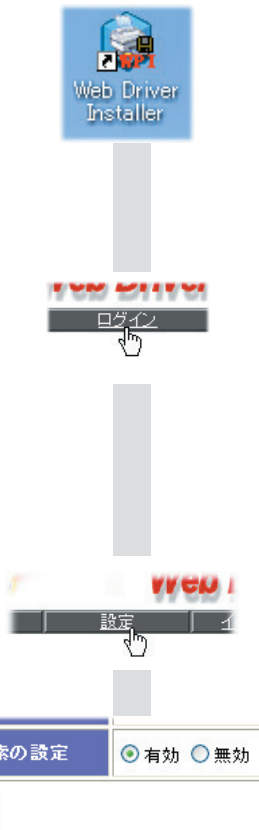
❼ ［グループの一覧］にある「総務部」をクリックし、「総務部」グループのページを表示します。

❽ ［ユーザの一覧］にある［新規ユーザの追加］をクリックし、新規ユーザの情報入力フォームを表示します。

❾ ［種類］は、一般ユーザを選択します。［ユーザ名］、［e-mailアドレス］と、［ログイン名］をそれぞれ埋めます。必要に応じて、［パスワード］を設定します。［OK］をクリックし、保存します。

これで、メンテナンスユーザと、一般ユーザが配置されました。

6. プリンタの自動検索を有効にする

Web Driver Installerをバックグラウンドで運用するために、[自動検索]を有効にします。以後、検索間隔ごとに末端グループに設定されているブロードキャストIPアドレスを使って新規プリンタが接続されているか検索する処理を繰り返します。

❶ デスクトップにあるWeb Driver Installerアイコンをダブルクリックします。

メモ　クライアントコンピュータからアクセスするには、Webブラウザを起動し、[アドレス] にURL「http://< Web Driver Installerがインストールされているコンピュータのアドレス>/WebDriverInstaller /」と入力し、Enterキーを押します。
例) コンピュータのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合、「http://192.168.0.3/WebDriverInstaller」となります。

❷ [ログイン] をクリックします。

❸ [ログイン名] と [パスワード] に管理者のログイン名、パスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。
管理者のログイン名、パスワードの初期値は以下の通りです。

ログイン名	admin
パスワード	password

❹ [設定] をクリックします。

❺ [自動検索] を「有効」にチェックして、設定を保存するために[適用] をクリックし、[戻る] をクリックすることでメインページに戻ります。

これで、自動検索機能が有効となりました。

Web Driver Installerのメール送信機能

Web Driver Installerは、登録されているユーザに自動的にe-mailを送信します。e-mailの内容は、下表を参照してください。

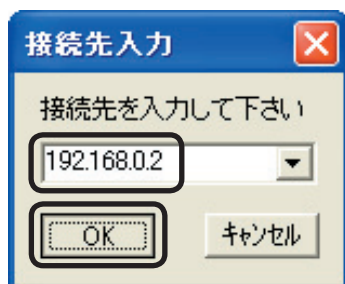
あて先	通知内容	詳　細
管理者	新規プリンタの検出	自動検索機能によって、新しく接続されたプリンタが検索されたことを通知します。
	メンテナンス要求	Web Driver Installerの作業ディレクトリに対してメンテナンス作業が必要となったことを通知します。
メンテナンスユーザ 一般ユーザ	プリンタの追加	プリンタドライバが登録されているプリンタを検出したときと、既に検出されているプリンタをサポートするプリンタドライバを管理者が登録/更新したときに、プリンタが追加できることを通知します。
	プリンタの削除	Web Driver Installerからプリンタが削除されたことを通知します。
	ユーザの削除	Web Driver Installerからユーザが削除されたことを通知します。
	グループ移動	ユーザが所属しているグループが移動されたことを通知します。
	ユーザ登録確認	新規に登録されたユーザへ登録確認の通知をします。
	ユーザ情報変更	ユーザ名、ログイン名やパスワードが変更されたことを通知します。
管理者/メンテナンスユーザ	グループの削除	Web Driver Installerからグループが削除されたことを通知します。

プリンタドライバインストール機能

e-mailによる［プリンタの追加］通知に記載されているURLへアクセスすることでプリンタドライバのインストールができます。
また、Webブラウザを通して、表形式または、グラフィカルに表示された地図の中から目的のプリンタを探し出し、プリンタドライバインストーラをダウンロードできます。ダウンロードしたインストーラを実行するだけで印刷可能状態となります。
ドライバによってインストール時にトレイや両面印刷ユニットなどのオプション構成をドライバの設定に反映します。

ネットワークステータスモニタを使って…（Windows）

ネットワークにつながっているプリンタの状態を監視できます。
インストール方法は123ページをご覧ください。

ネットワークステータスモニタを起動するには

❶ WindowsXPをお使いの方

[スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [ネットワークステータスモニタ] - [ネットワークステータスモニタ] を選択します。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003をお使いの方

[スタート] - [プログラム] - [沖データ] - [ネットワークステータスモニタ] - [ネットワークステータスモニタ] を選択します。

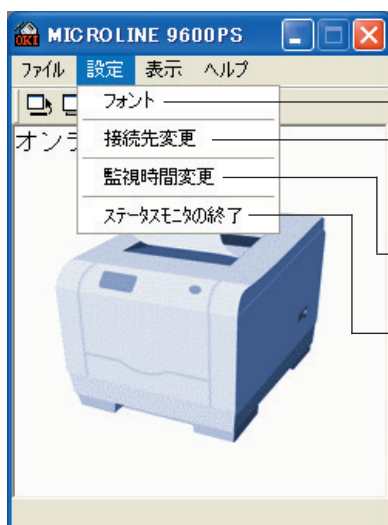
❷ 接続するプリンタのIPアドレスを入力し、[OK]をクリックします。

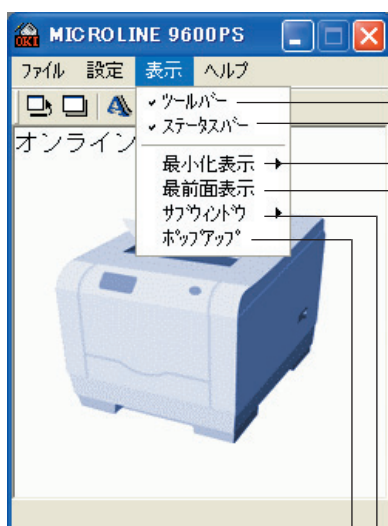
- 複数のプリンタに接続したい場合は、手順❶～❷を繰り返します。
- すでにネットワークステータスモニタを起動してプリンタに接続している場合は、以前入力したIPアドレスが表示されます。

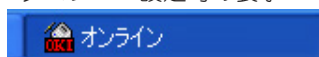
プリンタの状態を確認する

ファイルメニュー

現在の表示中のステータス画面を印刷します。

設定メニュー

- フォント：OS標準のフォント選択用ダイアログボックスが表示され、ステータス表示用のフォントを変更することができます。
- 接続先変更：接続したいプリンタのIPアドレスを入力して、接続しているプリンタを変更します。
- 監視時間変更：値を入力して監視間隔を変更します。初期値は5秒です。9桁までの数字を入力してください。0秒は設定できません。
- ステータスモニタの終了：ステータスモニタを終了します。

表示メニュー

- ツールバー：ツールバーを表示/非表示します。
- ステータスバー：ステータスバーを表示/非表示します。
- 最小化表示：最小化時の表示状態を設定します。[タスクバー]、[アイコン]が選択できます。
  - タスクバー設定時の表示

  - アイコン設定時の表示

    オンライン
    14:24
- 最前面表示：最前面に表示します。
- サブウィンドウ：詳細なステータス表示をするかしないかを設定します。
- ポップアップ：接続しているプリンタにエラーが発生した場合、最小化状態からポップアップし、プリンタの状態を表示するかしないかを設定します。

ヘルプメニュー

ヘルプの最初の画面を表示します。この画面からネットワークステータスモニタの操作手順やリファレンスなどの関連情報の項目へジャンプしてヘルプを読むことができます。

ネットワークステータスモニタのバージョンや版権などについての情報を表示します。

MicrolinePS Utilityを使って…（Macintosh）

MicrolinePS Utilityを起動するには

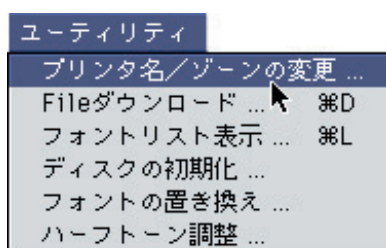
❶ ネットワーク接続の場合、セレクタで［AdobePS］をクリックし、プリンタ名を選択し、セレクタを閉じます。
USB接続の場合、デスクトップ上のプリンタアイコンを選択し、［プリンタ］メニューの［省略時プリンタに指定］を選択します。

❷ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］フォルダ内の［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

プリンタを設定する

EtherTalkプリンタ名を変更したい

EtherTalkの場合に、プリンタに識別しやすい名前を付けることができます。

注
・ EtherTalkでネットワークに接続している場合に利用できます。
・ Mac OS Xでは利用できません。

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

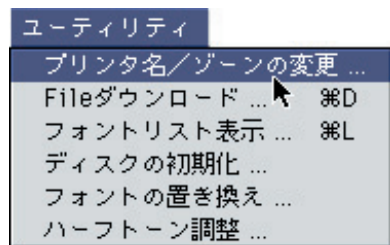
❷ ［ユーティリティ］メニューから［プリンタ名/ゾーンの変更...］を選択します。

❸ 新しい名前を入力し、［保存］をクリックします。

注
プリンタ名の文字長は最大31文字にすることができます。
ただしプリンタ名に（= : * @ ˜）などの記号は使用できません。
2バイトコードの上下どちらかのバイトに（= : * @ ˜）と一致するコードが含まれるような文字、例えば（円、淳、ァ、法）などはプリンタ名として使用することはできません。

EtherTalkゾーン名を変更したい

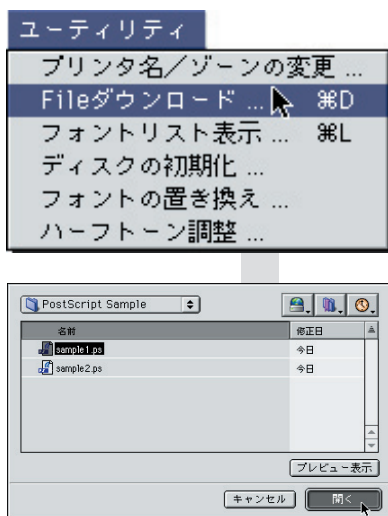
複数の論理ゾーンで区切られているEtherTalkで、プリンタを現在のゾーンから他のゾーンに変更できます。

選択できるゾーンは同一セグメントです。

ユーティリティ
プリンタ名／ゾーンの変更 ...
Fileダウンロード ... ⌘D
フォントリスト表示 ... ⌘L
ディスクの初期化 ...
フォントの置き換え ...
ハーフトーン調整 ...

・ EtherTalkでネットワークに接続している場合に利用できます。
・ Mac OS Xでは利用できません。

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。
❷ ［ユーティリティ］メニューから［プリンタ名/ゾーンの変更...］を選択します。
❸ 変更したいゾーンを選び、［保存］をクリックします。

ポストスクリプトファイルをダウンロードする

「MicrolinePS Utility」を使ってポストスクリプトファイルをプリンタにダウンロードし、印刷することができます。

Mac OS Xでは利用できません。

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

❷ [ユーティリティ]メニューから[Fileダウンロード...]を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、[開く] をクリックします。ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると印刷されます。

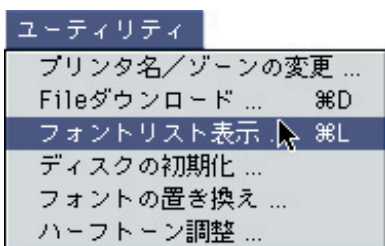
メモ

ポストスクリプトファイルをドラッグ＆ドロップすることでもダウンロードできます。

5

ネットワーク機能について

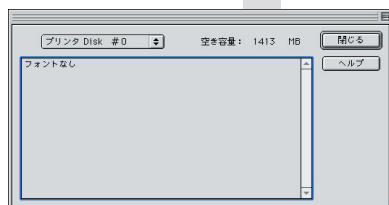
プリンタフォントを確認する

プリンタに内蔵しているすべてのポストスクリプトフォント名を確認することができます。

 Mac OS Xでは利用できません。

ユーティリティ
プリンタ名／ゾーンの変更 ...
Fileダウンロード ... ⌘D
フォントリスト表示 ... ⌘L
ディスクの初期化 ...
フォントの置き換え ...
ハーフトーン調整 ...

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

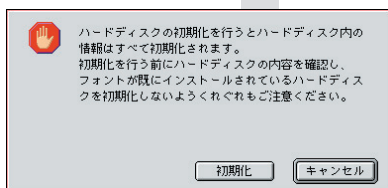
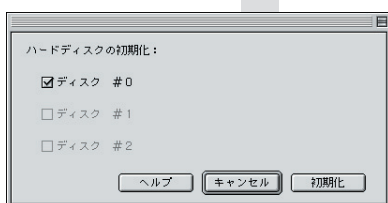
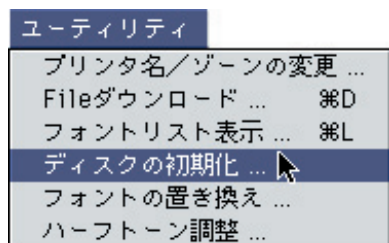
❷ ［ユーティリティ］メニューから［フォントリスト表示］を選択します。

❸ ［プリンタ ROM］、［フォントカートリッジ］、［フォントカートリッジ　＃1］を選択すると、プリンタに標準で内蔵しているフォントが表示されます。

❹ ［プリンタ Disk］を選択すると、プリンタの内蔵ハードディスク（オプション）にダウンロードしたフォントが表示されます。

 プリンタに内蔵ハードディスクを装着していない場合、［プリンタ Disk］は選択できません。［プリンタ ROM］で内蔵ハードディスクにダウンロードしたフォントが見える場合があります。
ダウンロードフォントのリストを印刷することはできません。

内蔵ハードディスクを初期化する

PSパーティションのフォーマットを行います。PCL、共通のパーティションはそのままです。

・ 内蔵ハードディスクはオプションです。
・ Mac OS Xでは利用できません。

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

❷ ［ユーティリティ］メニューから［ディスクの初期化...］を選択します。

❸ 初期化するハードディスクのディスク番号にチェックを付け、［初期化］をクリックします。

ディスク番号はパーティション番号ではありません。PSパーティションがディスク＃0となります。PSパーティションが複数ある場合は、パーティション番号が小さいほうからディスク＃0、ディスク＃1、ディスク＃2となります。

❹ 初期化してもよいか再確認し、［初期化］をクリックします。

❺ 再起動確認画面で［OK］をクリックします。

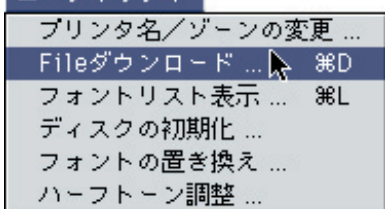
ハードディスクの初期化を行うとハードディスク内の情報はすべて初期化されます。
初期化を行う前にハードディスクの内容を確認し、フォントが既にインストールされているハードディスクを初期化しないようくれぐれもご注意ください。
初期化　キャンセル

❻ プリンタの電源をOFF/ONします。

PDFファイルを直接プリンタにダウンロードして印刷する

「MicrolinePS Utility」を使ってPDFファイルを直接プリンタに送り、印刷することができます。オプションの内蔵ハードディスクが必要です。

- プリンタ内蔵ハードディスクの「PS」パーティションを使用します。
- PDFファイルフォーマットVer1.4以上では正しく印刷されない場合があります。
- 印刷するファイルによっては、プリンタに増設メモリが必要な場合があります。
- PDFファイルによっては、正しく印刷されない場合があります。正しく印刷されない場合は、Acrobat Readerなどのアプリケーションから印刷してください。
- 印刷ページ指定をして印刷を行った場合はプリンタでの処理時間がかかる場合があります。
- 128bit-RC4レベルで暗号化されたPDFファイルは印刷できません。
- 閲覧者にパスワードで印刷許可を与えているPDFファイルを印刷する場合は、パスワードを指定してください。

ユーティリティ
プリンタ名／ゾーンの変更 ...
Fileダウンロード ... ⌘D
フォントリスト表示 ... ⌘L
ディスクの初期化 ...
フォントの置き換え ...
ハーフトーン調整 ...

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

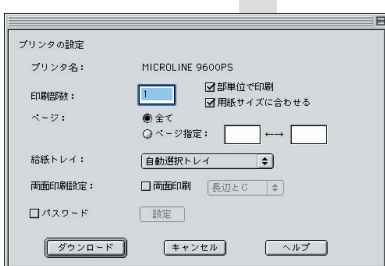
❷ ［ユーティリティ］メニューから［Fileダウンロード...］を選択します。

❸ ダウンロードしたいPDFファイルを選択します。

❹ 送信可能なPDFファイルの場合、次の画面が表示されますので、必要があれば適当な項目を設定します。

閲覧者にパスワードで印刷許可を与えているPDFファイルを印刷する場合は、［パスワード］にチェックを付けて、［設定］をクリックしてパスワードを設定してください。

❺ ［ダウンロード］をクリックします。
PDFファイルがプリンタに送られます。

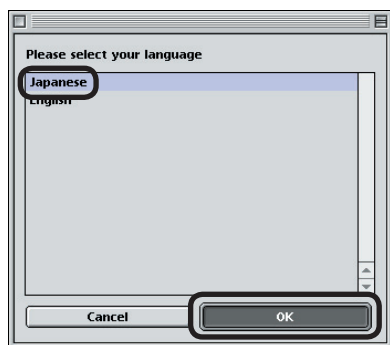
❻ MicrolinePS Utilityを終了します。

メモ

次のようにPDFファイルをユーティリティアイコン上に直接ドラッグ＆ドロップすることでもダウンロードできます。

←

Setup Utilityを使って…（Macintosh）

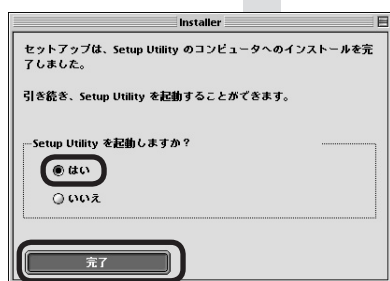
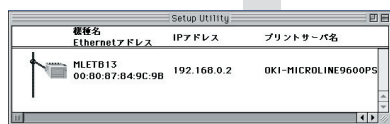
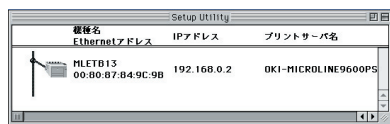
すでにSetup Utilityがインストールされている場合は、必ず先に削除してください。

Setup Utilityを起動するには

❶ プリンタの電源がONになっていることを確認します。

❷ Macintoshが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ ［Utility］-［Network］フォルダの中の［Installer］をダブルクリックします。

❹ ［Japanese］を選択し、［OK］をクリックします。

❺ インストール先のフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。
初期設定では、Macintosh HDの［Oki Tools］フォルダにインストールされます。

❻ ［Setup Utilityを起動しますか?］で［はい］を選択し、［完了］をクリックします。

Setup Utilityが起動します。

プリンタの設定をする

❶ 一覧よりEthernetアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。

機種名には、ML9600PSの代わりにMLETB13と表示されます。

- Ethernetアドレス（MACアドレス）は、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（別冊 プリンタ機能編）

機能の説明

各種設定を行います。(214ページ)

プリンタを再起動します。各種設定を行ったら、必ずリセットしてください。

テスト印刷します。

IPアドレスを設定します。

設定を変更したら、設定ボタンを選択します。その後、プリンタをリセットすることにより設定が反映されます。
また、初期化ボタンを押すと、ネットワークの設定を初期化します。初期化した後は、プリンタをリセットしてください。

注

初期化すると、ネットワークの設定が初期値になり、SSL/TLSの証明書情報も削除されます。

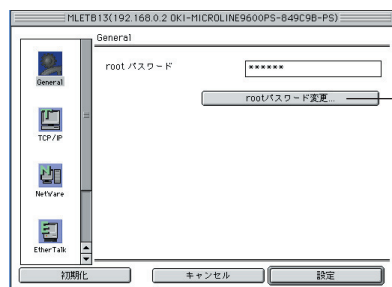
5

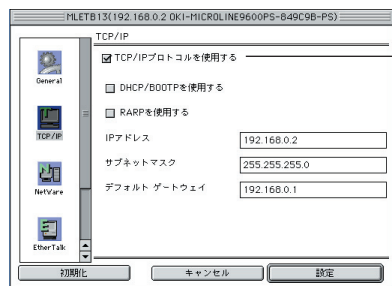
ネットワーク機能について

Oki Deviceの設定

[パスワード入力] に [Ethernetアドレスの下6桁] を入力し、[OK] をクリックします。

- Ethernetアドレスは、「プリンタの設定をする」❶の画面(213ページ)に表示されています。

General

管理者のパスワードを変更します。

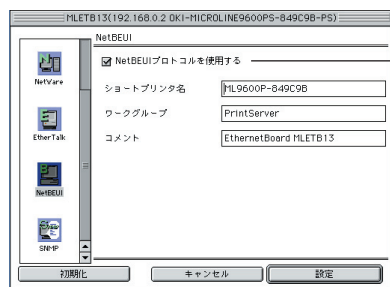
TCP/IP

TCP/IPプロトコルを使うときはチェックします。

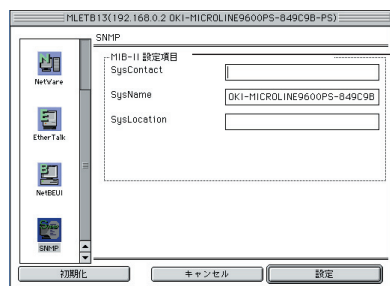
NetWare

NetWareプロトコルを使うときはチェックします。

EtherTalk

EtherTalkプロトコルを使うときはチェックします。

NetBEUI

NetBEUIプロトコルを使うときはチェックします。

SNMP

SNMPのSysContact、SysName、SysLocationを設定します。

Webブラウザを使って…

Internet ExplorerやNetscape Navigatorを使って、プリンタのネットワークの設定や、メニュー設定ができます。

動作環境

Microsoft Internet Explorer Ver.5.5以上またはNetscape Navigator Ver.6.0以上がインストールされているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ

Javaスクリプトが無効に設定されていると、一部正常に動作しないことがあります。
（例）Microsoft Internet Explorerの場合、Javaスクリプトの有効/無効は、［ツール］-［インターネットオプション］-［セキュリティ］タブで［インターネット］を選択し、［レベルのカスタマイズ］をクリックし、設定します。

WindowsXP Service Pack 2における注意事項

WindowsXP Service Pack 2を適用した場合、ポップアップウインドウがブロックされます。以下の設定を行ってください。

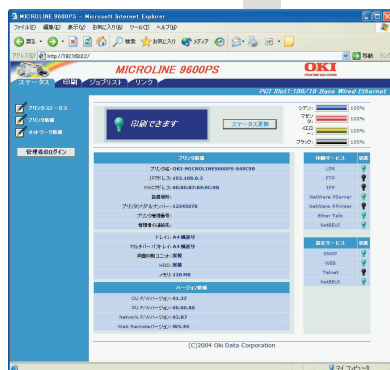
① Internet Explorerの［ツール］-［ポップアップブロックの設定］を開きます。
② ［許可するWebサイトのアドレス］にプリンタのIPアドレスを追加します。
③ ［閉じる］をクリックします。

Webブラウザを起動するには

❶ Webブラウザを起動します。

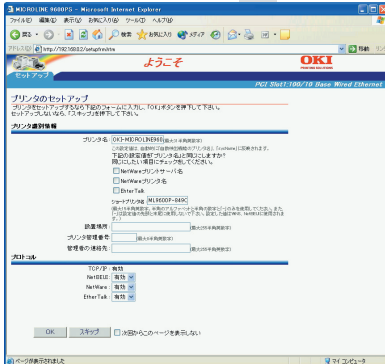
❷ ［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。
（例）正しい入力値：http://192.168.0.3
誤った入力値：http://192.168.000.003

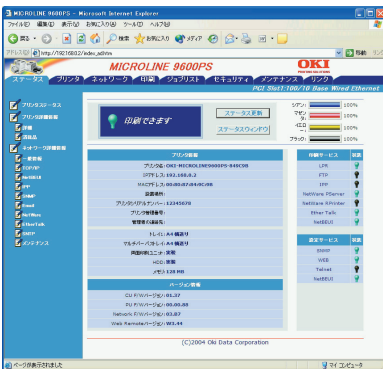
プリンタステータス画面が表示されます。

プリンタの設定をする

❶［管理者のログイン］をクリックします。

❷［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

- パスワードの初期値は「MACアドレスの下6桁」です。
- MACアドレスは、❶の画面に表示されています。

❸ネットワーク上で確認できるプリンタ情報を設定します。

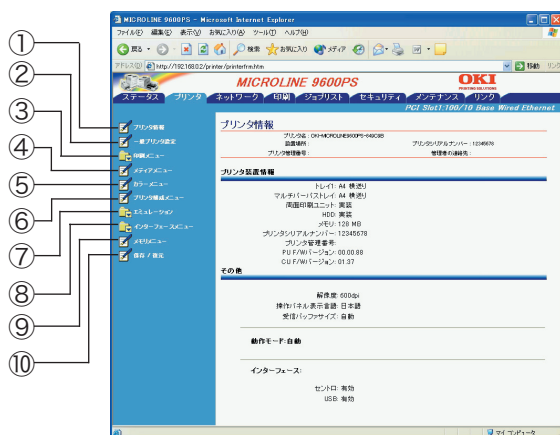
- ［スキップ］をクリックすると、設定を省略できます。
- ［次回からこのページを表示しない］にチェックを付けて、［OK］または［スキップ］をクリックすると、次回以降のログイン時に表示されなくなります。

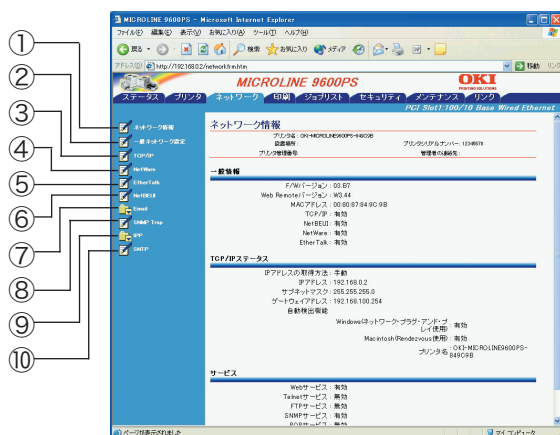
❹［OK］をクリックします。

左のような画面を表示します。

機能の説明

ステータス　タブ

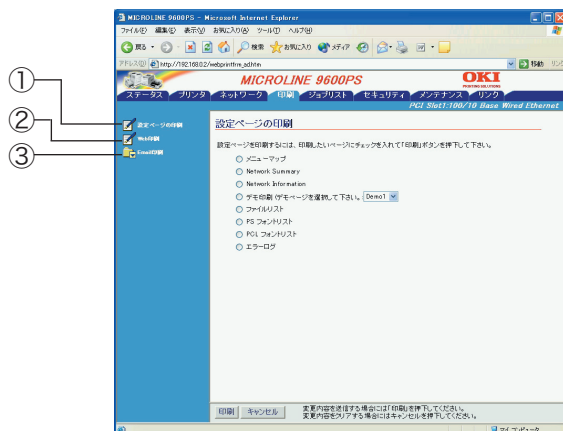
①	［プリンタステータス］	プリンタの状態を確認できます。操作パネル上の表示と同じ情報を表示する他、「障害情報」としてプリンタに発生しているすべての警告やエラーを表示します。 また、各ネットワークサービスの動作状況やプリンタ情報の一覧、プリンタに設定されているIPアドレスも確認することができます。
②	［プリンタ詳細情報］	プリンタのシステム仕様を確認することができます。
③	［ネットワーク詳細情報］	ネットワークの設定情報を確認することができます。
④	ステータスウィンドウ	プリンタの状態を確認できます。

プリンタ　タブ

①	[プリンタ情報]	プリンタのシステム仕様を確認することができます。
②	[一般プリンタ設定]	ネットワーク上で確認できるプリンタの情報を設定できます。
③	[印刷メニュー]	コピー枚数、自動トレイ切り替え、モノクロ印刷速度、印刷品質、印刷位置等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。
④	[メディアメニュー]	各トレイの用紙サイズ、名称付け、カスタム用紙等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。
⑤	[カラーメニュー]	色の濃度補正、色の位置ずれ補正等を設定できます。
⑥	[プリンタ構成メニュー]	パワーセーブへの移行、アラーム発生時の動作、タイムアウト等を設定できます。
⑦	[エミュレーション]	サポートしているエミュレーションを設定できます。
⑧	[インタフェースメニュー]	ネットワーク以外のインタフェースを設定できます。
⑨	[メモリメニュー]	受信バッファサイズの設定。フラッシュメモリに保存されたデータの消去を実行します。
⑩	[保存/復元]	現在のメニュー設定を保存、または保存しているメニュー設定に変更することができます。

プリンタタブのメニュー設定が対象となります。

ネットワーク　タブ

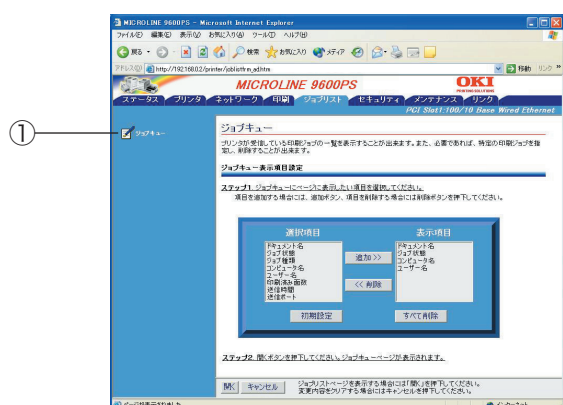
①	［ネットワーク情報］	ネットワークの設定情報を確認することができます。
②	［一般ネットワーク設定］	使用しないネットワークプロトコルを停止することができます。
③	［TCP/IP］	TCP/IPに関する情報を設定できます。
④	［NetWare］	NetWareに関する情報を設定できます。
⑤	［EtherTalk］	EtherTalkに関する情報を設定できます。
⑥	［NetBEUI］	NetBEUIに関する情報を設定できます。
⑦	［Email］	プリンタに発生した事象をEmailで通知する機能を設定できます。
⑧	［SNMP Trap］	プリンタに発生した事象をSNMPで通知する機能を設定できます。
⑨	［IPP］	IPP印刷をする機能を設定できます。
⑩	［SNTP］	プリンタに時刻を設定することができます。

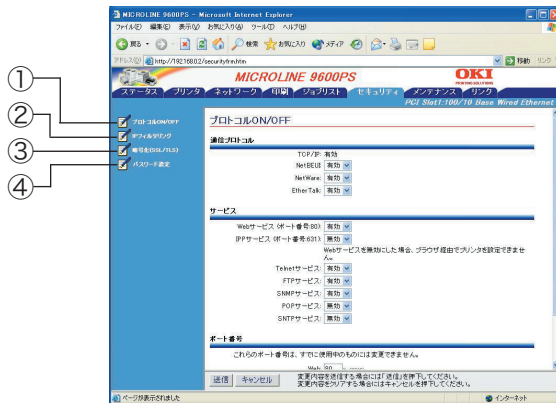
印刷　タブ

オプションの内蔵ハードディスク装着時に表示されます。

① ［設定ページの印刷］　メニューマップ、ネットワークの設定情報（Network Information）、デモページ等を印刷します。

② ［Web印刷］　任意のPDFファイルを指定して、印刷することができます。

③ ［Email印刷］　プリンタが受信したEmailにPDFファイルが添付されていた場合に、印刷することができます。

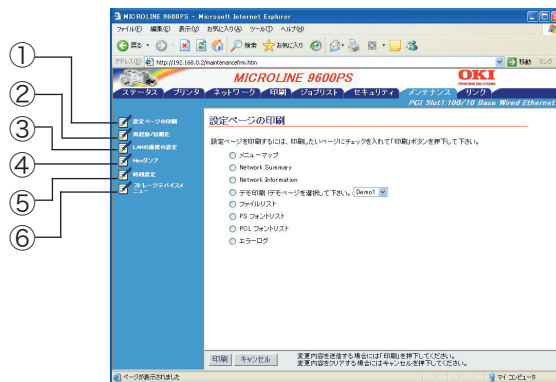
ジョブリスト　タブ

① ［ジョブキュー］　プリンタに送られた印刷ジョブの一覧を表示します。不要なジョブを削除することもできます。

セキュリティ　タブ

① ［プロトコルON/OFF］使用しないネットワークプロトコル、ネットワークサービスを停止することができます。

② ［IPフィルタリング］　TCP/IPによるアクセスを制限することができます。「IPアドレスでのアクセス制限機能（IPフィルタ）を使います」、「この人には印刷だけ許可しよう」、「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能はIPアドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

③ ［暗号化（SSL/TLS）］　Webページからの設定およびIPP印刷時にコンピュータ（クライアント）-プリンタ間の通信を暗号化できます。

④ ［パスワード設定］　管理者のパスワードを変更します。パスワードの初期値はMACアドレスの下6桁です。

メンテナンス　タブ

① ［設定ページの印刷］　メニューマップ、ネットワークの設定情報（Network Information）、デモページ等を印刷します。

② ［再起動/初期化］

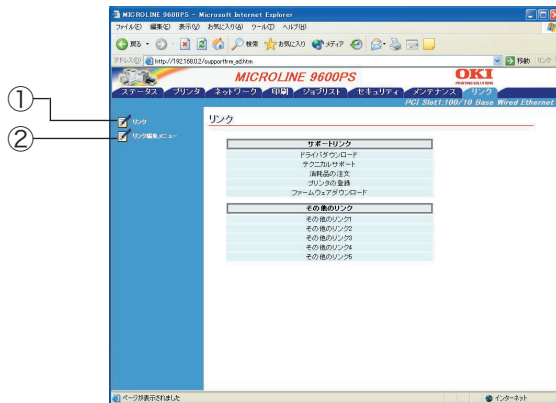
- プリンタの再起動
  プリンタを再起動します。ネットワーク機能も同時に再起動されますので、再起動が完了するまでWeb ブラウザからアクセスしても、Web Page は表示されません。
- ネットワークの再起動
  ネットワーク機能だけを再起動します。プリンタに対してネットワーク経由でアクセスしている場合にはこのコネクションは切断されてしまいます。再起動が完了するまでWeb ブラウザからアクセスしても、Web Page は表示されません。
- プリンタの初期化
  プリンタとネットワークを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますがIP アドレスが初期状態に戻ってしまうため、手動で設定した情報は失われてしまいます。その場合は、Web Page も表示できなくなってしまいます。
- ネットワークの初期化
  ネットワーク機能だけを初期化します。初期化すると、IP アドレスが初期状態に戻ってしまうため、手動で設定した情報は失われてしまいます。その場合は、WebPage も表示できなくなってしまいます。

③ ［LANの規模の設定］　スパニング・ツリー機能を持つハブに接続した場合の動作を設定できます。

④ ［Hexダンプ］　受信した印刷データをすべて16進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

⑤ ［時刻設定］　プリンタに時刻を設定することができます。

⑥ ［ストレージデバイスメニュー］　内蔵ハードディスク（オプション）、フラッシュメモリ内のファイルを削除したりすることができます。

リンク　タブ

①	［リンク］	製造元で設定したリンクの他、管理者が設定したリンクを表示します。
②	［リンク編集メニュー］	管理者が好きなURLを設定できます。 サポートリンクを5件、その他リンクを5件登録できます。 URLは、http://も含めて入力してください。

プリンタのエラーをメールで通知する

メール送信機能（SMTP）を実装しています。プリンタにエラーが発生した場合、メールを送信することができます。

電子メール送信を設定する

❶ Webブラウザを起動します。

❷［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ　パスワードの初期値は「MAC アドレスの下 6 桁」です。
MACアドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［Email］-［送信設定］をクリックします。

❼「ステップ1」で、「SMTP送信設定」を［有効］にします。

❽「ステップ2」で、送信に必要なアドレスを設定します。

① 「SMTPサーバ」に、メールサーバのドメイン名またはIPアドレスを設定します。

② 「プリンタEmailアドレス」に、プリンタに与えられたメールアドレスを設定します。

- 「SMTPサーバ」をドメイン名で設定する場合は、「TCP/IP」設定において、DNSサーバの設定が必要です。
- メールサーバにはプリンタからのメール送信を許可する設定が必要です。メールサーバの設定についてはネットワーク管理者にご相談ください。

❾ 以後、さらに詳しい設定をしたい場合は、「ステップ3」で、［詳細］をクリックします。
それ以外の場合、㉑へ進みます。

❿［セキュリティ設定］をクリックします。

⓫「SMTP認証」を「有効」にします。

⓬「ユーザID」を入力します。

⓭「パスワード」を入力します。

注 「ユーザID」と「パスワード」を間違えると、メール送信機能が正常に働きません。注意してください。

⓮［OK］をクリックします。

⓯［付加情報設定］をクリックします。

⓰ Email送信メッセージの文末に追加したい情報を選択または入力します。

⓱［OK］をクリックします。

⓲［その他］をクリックします。

MICROLINE 9600PS − Microsoft Internet Explorer
その他
返信がエラーになった場合に、エラー通知メールを送信するアドレスを設定します。
返信先Emailアドレス:
OK キャンセル

⓳「返信先Emailアドレス」に、プリンタから送信されたメールに対する返信用メールアドレスを設定します。通常、プリンタの管理者のメールアドレスを設定してください。

⓴［OK］をクリックします。

㉑「送信」をクリックします。

㉒ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

- 認証方式はメールサーバのサポートしている認証方式の中から自動的に選択されます。

発生した障害を定期的に通知する

❶［Email］-［障害情報］をクリックします。

❷ 障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸ 設定したメールアドレスの［設定］ボタンをクリックします。

・［コピー］ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹「定期的な通知」にチェックを付け、「ステップ2へ」をクリックします。

❺［障害通知間隔設定］でメールを送信する間隔を設定します。

・ 期間内に通知対象のエラーが発生しなかった場合は、メールの送信は行われません。

❻［障害通知条件設定］で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

❼［OK］をクリックします。

❽障害通知条件の設定内容を確認します。

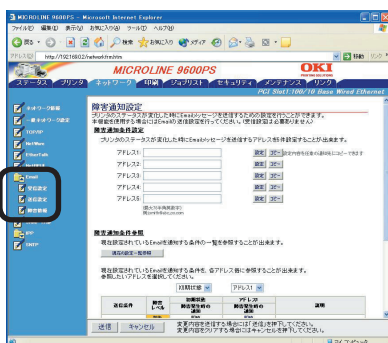
①　一覧表示したい場合
a.［現在の設定一覧参照］ボタンをクリックします。
b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

②　2つの宛先の設定条件を比較したい場合
a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。
b. 表示された設定内容を確認します。

- 設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾「送信」をクリックします。

❿ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

障害が発生したことを通知する

❶ [Email] - [障害情報] をクリックします。

❷ 障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸ 設定したメールアドレスの [設定] ボタンをクリックします。

・[コピー] ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹「障害発生時の通知」にチェックを付け、「ステップ2へ」をクリックします。

❺ [障害通知条件設定] で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

❻ エラーが発生してからメールを送信するまでの遅延時間を設定します。

- 遅延時間を設定することにより、長時間発生し続けているエラーだけを通知することができます。
- 遅延時間を「0時間0分」に設定すると、エラーが発生すると即時にメールが送信されます。

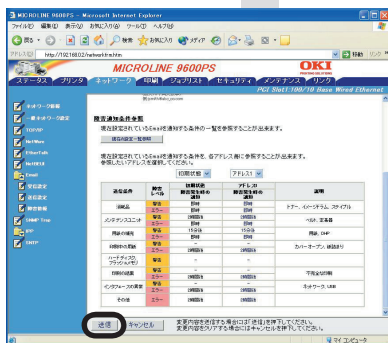
❼ [OK] をクリックします。

❽ 障害通知条件の設定内容を確認します。

① 一覧表示したい場合
a. [現在の設定一覧参照] ボタンをクリックします。
b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

② 2つの宛先の設定条件を比較したい場合
a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。
b. 表示された設定内容を確認します。

- 設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾ 「送信」をクリックします。

❿ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

管理者パスワードを変更する

機能概要

設定を変更する場合には、特定のアカウント名とパスワードが必要です。
アカウント名とパスワードは、WEB、Telnet、AdminManager で共通の設定値を使用します。
任意のパスワードを設定することで、望まれない設定変更を防ぐことができます。

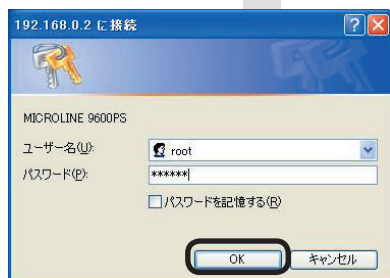
管理者パスワードを変更する

❶ Webブラウザを起動します。

❷ ［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸ ［管理者のログイン］をクリックします。

❹ ［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「MAC アドレスの下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

パスワード設定
管理者(root/admin)のパスワードを変更できます。
新しい管理者のパスワード: ••••••
新しいパスワードの再入力: ••••••

❺ ［セキュリティ］タブをクリックします。

❻ 左フレームより「パスワード設定」をクリックします。

❼ パスワード設定として「新しい管理者のパスワード」と「新しいパスワードの再入力」のテキストボックスに、任意のパスワードを入力します。

❽ 「送信」ボタンをクリックします。

❾ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

ネットワークプロトコルを停止する

使用しないネットワークプロトコルを停止することができます。

❶ Webブラウザを起動します。

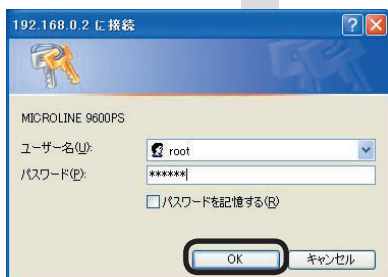
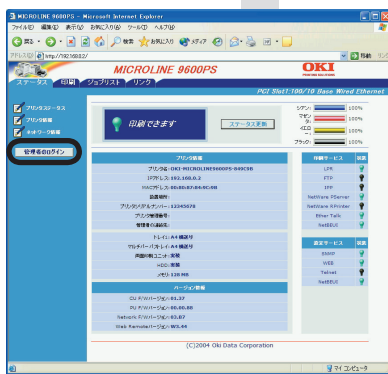
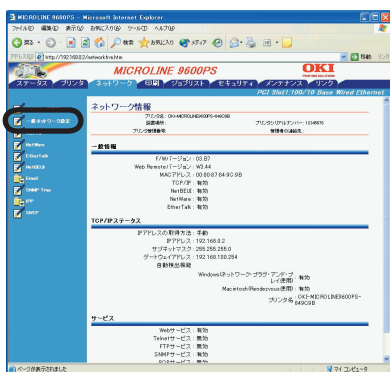
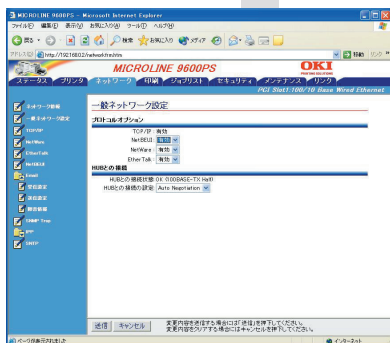
❷［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「MAC アドレスの下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［一般ネットワーク設定］をクリックします。

❼「プロトコルオプション」で、使用しないプロトコルを［無効］にします。

❽「送信」をクリックします。

❾ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

ネットワークサービスを停止する

使用しないネットワークサービスを停止することができます。

❶ Webブラウザを起動します。

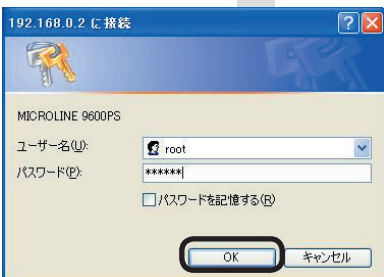
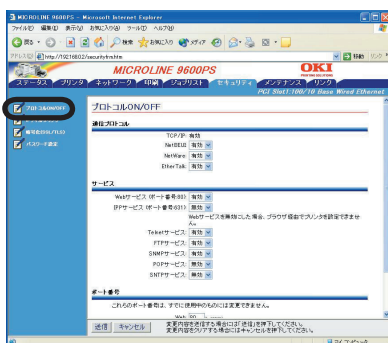
❷［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

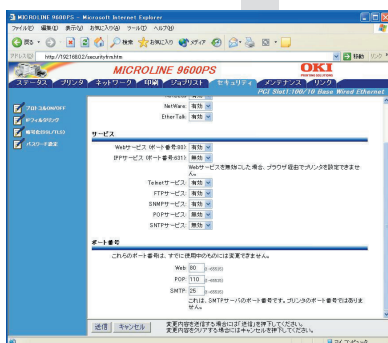
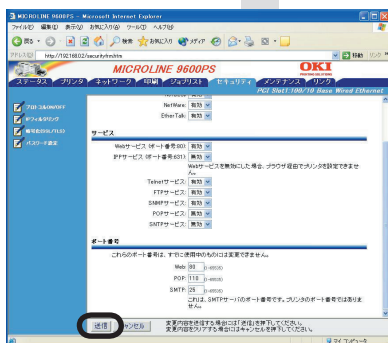
プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「MAC アドレスの下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺［セキュリティ］タブをクリックします。

❻［プロトコルON/OFF］をクリックします。

❼ 不要なサービスを［無効］にします。

- ［Webサービス］を［無効］に設定した場合、Webブラウザでの設定変更ができなくなります。
- ［Webサービス］と［Telnetサービス］の両方を［無効］に設定した場合は、NICセットアップユーティリティ（Admin Manager）を使用して設定変更をしてください。

❽「送信」をクリックします。

❾ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

ポート番号を変更する

設定方法

❶ Webブラウザを起動します。

❷［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

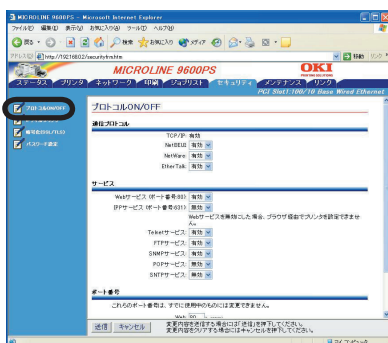
プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

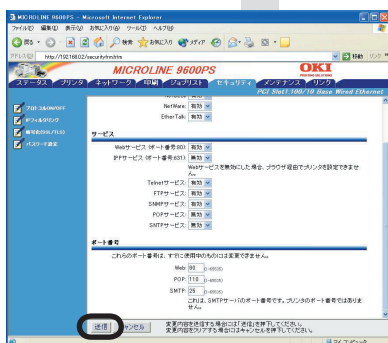
パスワードの初期値は「MAC アドレスの下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺［セキュリティ］タブをクリックします。

❻［プロトコルON/OFF］をクリックします。

❼［Web(IPP)ポート番号］の設定をします。

- Web(IPP)ポート番号を変更した場合、プリンタWebページのアドレスが変更になります。
  例えば、Web(IPP)ポート番号を81に変更した場合、
  http://IPアドレス:81/
  さらに、IPPでサポートしているURLも変更になります。
  http://IPアドレス:81/ipp
  http://IPアドレス:631/ipp
  http://IPアドレス:81/ipp/lp
  http://IPアドレス:631/ipp/lp
  また、Webポート番号を変更する際には、プリンタですでに使用中のポート番号は設定できません。

❽「送信」をクリックします。

❾プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

IPフィルタリング

プリンタへのアクセスをIPアドレスを用いて管理できます。

- プリンタの初期設定では、「IPフィルタ」が「無効」（IPフィルタリング機能を使用しない）に設定されています。
- IPアドレスの入力を間違えると、IPプロトコルを用いてプリンタへアクセスできなくなります。十分注意して設定してください。

起動と設定方法

❶ Webブラウザを起動します。

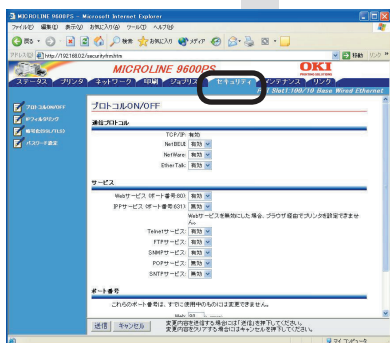
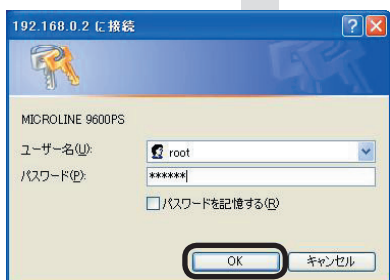
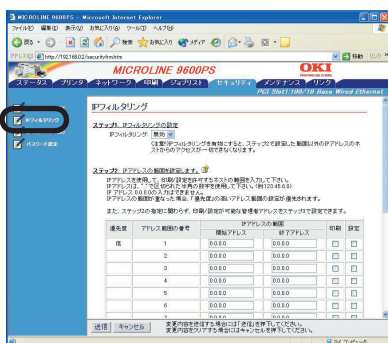
❷ ［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

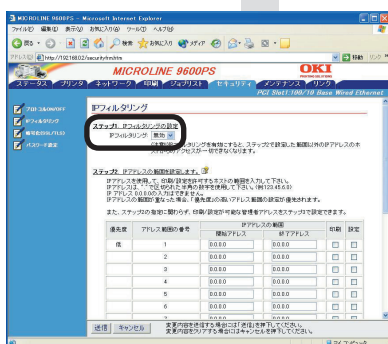
プリンタステータス画面が表示されます。

❸ ［管理者のログイン］をクリックします。

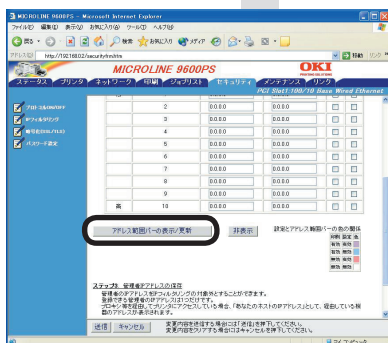
❹ ［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「MAC アドレスの下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺「セキュリティ」タブをクリックします。

❻［IPフィルタリング］をクリックします。

❼「ステップ1」で、「IPフィルタリングの設定」を［有効］にします。

・IPフィルタリングを「有効」にすると、「ステップ２」で設定した範囲以外のIPアドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。

❽「ステップ2」で、IPアドレスの範囲を設定します。

・IPアドレスの範囲を入力します。設定した範囲のIPアドレスに印刷/設定を許可する場合は、印刷/設定のチェック欄にチェックをしてください。
・IPアドレスには、“.”で区切られた半角の数字を使用します。
・IPアドレス0.0.0.0の入力はできません。
・IPアドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。
・ステップ2の指定に関わらず、印刷/設定が可能な管理者アドレスをステップ3で設定することができます。

❾［アドレス範囲バーの表示/更新］ボタンをクリックします。

IPアドレスの範囲を、修正したい場合は、該当するIPアドレスを入力し直し、再度、［アドレス範囲バーの表示/更新］をクリックしてください。

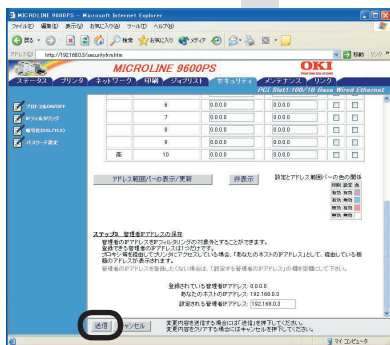
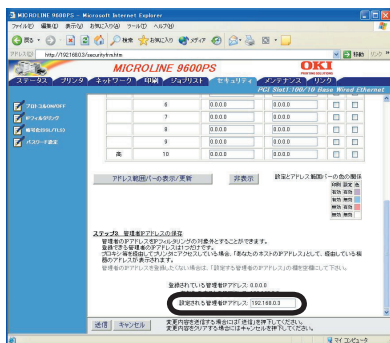
⑩「ステップ3」で、「設定される管理者IPアドレス」の値を設定します。

「設定される管理者IPアドレス」に管理者のIPアドレスを入力することにより、万一「ステップ2」で誤った設定を行ってしまった場合でも、管理者は「設定される管理者IPアドレス」で設定したIPアドレスのホストから再設定することができます。

注

- プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストIPアドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストのIPアドレス」が異なる場合があります。
- 「管理者IPアドレス」として何も登録しない場合は、ステップ2の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
- 管理者のIPアドレスを登録したくない場合は、「設定する管理者のIPアドレス」の欄を空欄にしてください。

⑪「送信」をクリックします。

⑫ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

IPP印刷をユーザ名とパスワードを設定して制限する

IPP印刷のためのユーザ名とパスワードを最大50組設定することができます。
ユーザ名とパスワードが一致したときのみIPP印刷を許可します。

工場出荷時の設定では、IPPは無効になっています。
IPPで印刷を行うためには、「ネットワークサービスを停止する」（236ページ）で［IPPサービス］を［有効］にしてください。

❶ Webブラウザを起動します。

❷ ［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸ ［管理者のログイン］をクリックします。

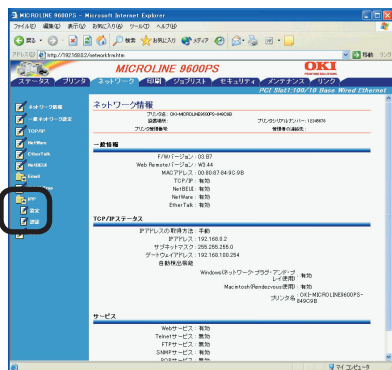
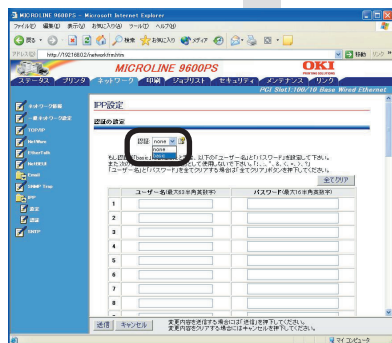
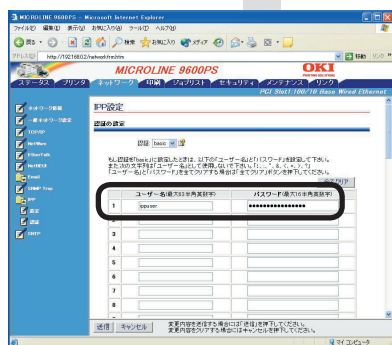
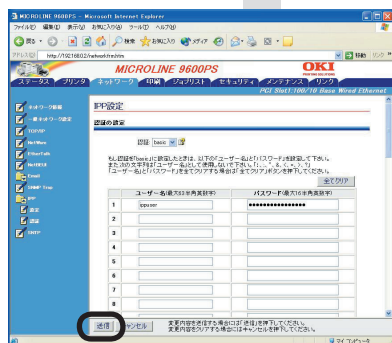
❹ ［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「MAC アドレスの下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺ ［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［IPP］-［認証］をクリックします。

❼［認証］を［basic］にします。

注

- ［認証］を［none］に設定している場合、印刷するユーザの制限は行いません。
- 認証方式［basic］では、パスワードは暗号化されません。

❽「ユーザ名」と「パスワード」を入力します。

❾「送信」をクリックします。

SMTPサーバと通信する

メール送信において、SMTP認証機能を持ったメールサーバとの間でSMTP認証機能を用いた通信が可能となります。

本プリンタでは、CRAM-MD5, PLAIN, LOGINの認証方法に対応しています。
お使いのメールサーバの対応している認証方法については、メールサーバの管理者に相談してください。

❶ Webブラウザを起動します。

❷［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ

パスワードの初期値は「MAC アドレスの下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［Email］-［送信設定］をクリックします。

❼「ステップ1」で、「SMTP送信設定」を［有効］にします。

❽「ステップ2」で、送信に必要なアドレスを設定します。

① 「SMTPサーバ」に、メールサーバのドメイン名またはIPアドレスを設定します。

② 「プリンタEmailアドレス」に、プリンタに与えられたメールアドレスを設定します。

・「SMTPサーバ」をドメイン名で設定する場合は、「TCP/IP」設定において、DNSサーバの設定が必要です。
・メールサーバにはプリンタからのメール送信を許可する設定が必要です。メールサーバの設定についてはネットワーク管理者にご相談ください。

❾ 以後、さらに詳しい設定をしたい場合は、「ステップ3」で、［詳細］をクリックします。
それ以外の場合、㉑へ進みます。

❿［セキュリティ設定］をクリックします。

⓫「SMTP認証」を［有効］にします。

⓬「ユーザID」を入力します。

⓭「パスワード」を入力します。

注

・「ユーザID」と「パスワード」を間違えると、メール送信機能が正常に働きません。注意してください。

⓮［OK］をクリックします。

⓯［付加情報設定］をクリックします。

⑯ Email送信メッセージの文末に追加したい情報を選択または入力します。

⑰ ［OK］をクリックします。

⑱ ［その他］をクリックします。

⑲「返信先Emailアドレス」に、プリンタから送信されたメールに対する返信用メールアドレスを設定します。通常、プリンタの管理者のメールアドレスを設定してください。

⑳ ［OK］をクリックします。

㉑「送信」をクリックします。

㉒ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

- 認証方式はメールサーバのサポートしている認証方式の中から自動的に選択されます。

ドメイン名でメールの受信を制限する（Domain Filtering）

機能概要

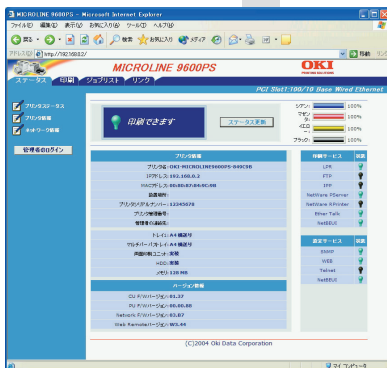
受信許可または受信拒否すべき電子メールを判断するためのドメイン名を指定します。
受信許可のドメイン名を指定した場合、電子メールの発信者ドメインが登録されたドメイン名のいずれかと一致した場合にのみ受信動作を行います。ドメイン名が一致しない場合は、受信できない電子メールと見なして受信しません。
受信拒否のドメイン名を指定した場合、電子メールの発信者ドメインが登録されたドメイン名のいずれかと一致した場合に、受信できない電子メールと見なして受信しません。ドメイン名が一致しない場合のみ受信動作を行います。
1つのドメインを最大64文字で指定し、5つのドメインが登録可能です。

設定方法

❶ Webブラウザを起動します。

❷［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「MAC アドレスの下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺［ネットワーク］タブをクリックします。

❻ 左フレームより「Email」→「受信設定」をクリックします。

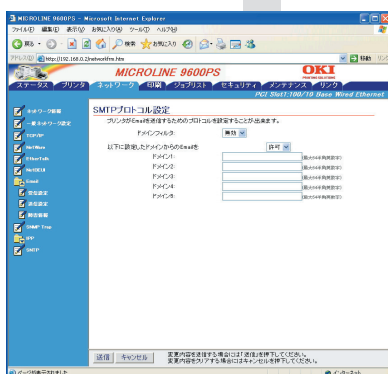
❼ Email受信設定として「SMTP」を選択して次のステップへ進みます。

❽「ドメインフィルタ」で「有効」を選択します。

❾「以下に設定したドメインからのEmailを」で「許可」または「拒否」を選択します。

❿「ドメイン」の1～5のテキストボックスに、任意のドメイン名を入力します。

⓫「送信」ボタンをクリックします。

⓬ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

使用方法

以降、指定したドメイン名からの電子メールのフィルタリングが自動的に行われます。

通信を暗号化する（SSL/TLS）

Webページからの設定及びIPP印刷時にコンピュータ（クライアント）-プリンタ間の通信を暗号化できます。（HTTPによる通信の暗号化）

設定方法

1. 暗号化設定ツールとしては以下のものがあります。
   1） Webページ
   2） AdminManager
   3） TELNET（暗号化強度（弱/標準/強）、SSL/TLS（暗号化）のON/OFF（有効・無効）のみ変更可能）

2. 設定の流れ
   Webを使用してプリンタで証明書を作成する手順を示します。
   作成できる証明書の種類は以下の2種類があります。
   自己署名証明書
   認証局証明書（CSRの作成）

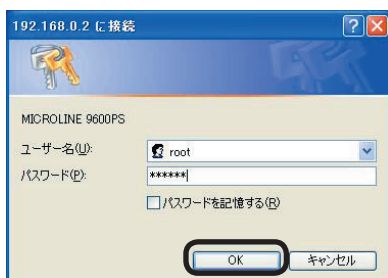
ネットワークの初期化をすると、証明書が削除されてしまいますので注意してください。また、プリンタのIPアドレスが証明書作成時から変更されてしまうと、その証明書は無効になってしまいます。証明書作成後はプリンタのIPアドレスを変更しないでください。

証明書作成手順

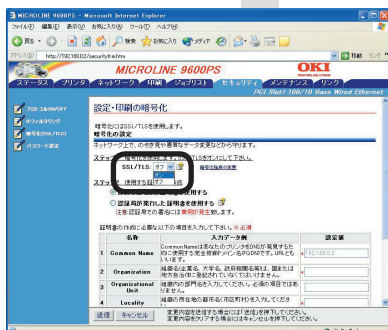
❶ Webブラウザを起動します。

❷ ［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

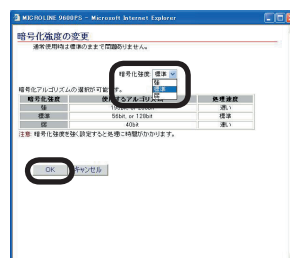
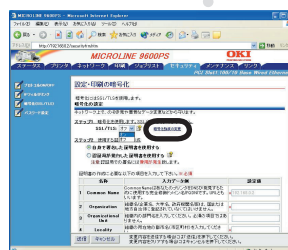
❸ ［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

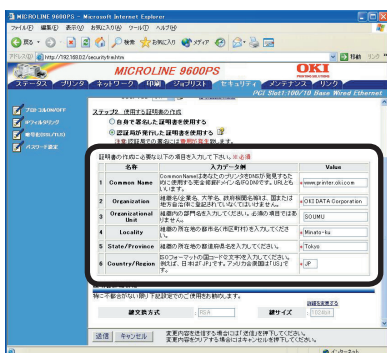
パスワードの初期値は「MAC アドレスの下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

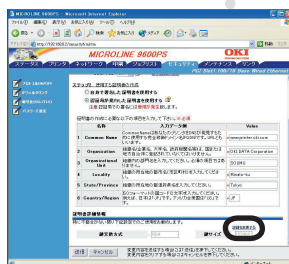
❺［セキュリティ］タブをクリックします。

❻［暗号化（SSL/TLS）］をクリックします。

❼ SSL/TLS設定をオンにします。

暗号化強度を変更したいときは？（通常は［標準］のままご使用ください。）

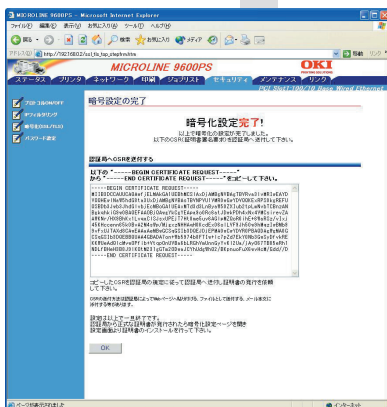
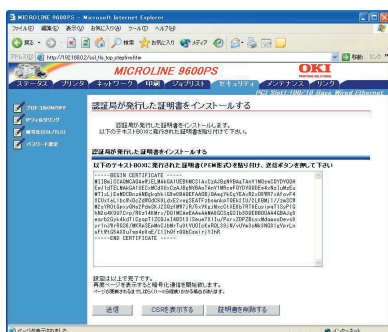
「暗号化強度の変更」をクリックします。

❽ CommonName、Organization、等の項目を入力します。

・「認証局が発行した証明書を使用します」を選択した場合、入力内容等証明書発行手続きの詳細は、認証局の手順に従ってください。

鍵交換方式、鍵サイズを変更したいときは？
（初期値はRSA、1024bitです。通常はそのまま変更せずにご使用ください。）

「詳細を変更する」をクリックします。

❾ 入力内容が表示されます。
内容を確認し、OKをクリックしてください。証明書を作成します。

以上で自己署名証明書の作成は完了です。
認証局証明書の場合、続いて以下の手順が必要です。

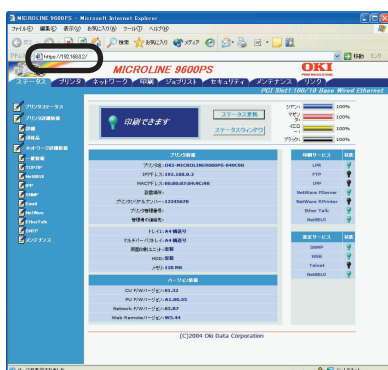
❿ CSRを取り出し認証局へ送付します。（認証局証明書の場合）

・テキストボックス内の「----- BEGIN CERTIFICATE REQUEST -----」から「----- END CERTIFICATE REQUEST -----」をコピーしてください。CSRの送付方法は、認証局によってWebページへ貼り付ける、ファイルとして送付する、メール本文に添付する等があります。

⓫ 認証局から発行された証明書を（Webを使用して）インストールします。（認証局証明書の場合）

手順❶～❼に従い、暗号化（SSL/TLS）設定画面を表示します。発行された証明書の「----- BEGIN CERTIFICATE -----」から「----- END CERTIFICATE -----」までをテキストボックスへ貼り付け、「送信」をクリックします。

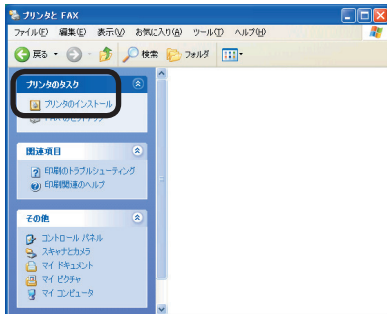
これで認証局証明書の作成は完了です。

使用方法

1. Webページからの設定方法

❶ Webブラウザを起動し、アドレスに「https://プリンタのIPアドレス」と入力し、接続します。（設定）

2.印刷（IPP印刷）

環境

使用可能なOS	Windows2000	Windows2000サーバ
	WindowsXP	Windows Server 2003

❶ コンピュータの電源をONにしWindowsを起動します。

工場出荷時の設定では、IPPは無効になっています。
IPPで印刷を行うためには、「ネットワークサービスを停止する」（236ページ）で［IPPサービス］を［有効］にしてください。

❷ WindowsXPをお使いの方

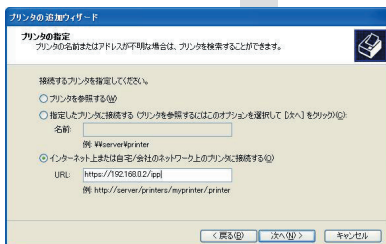
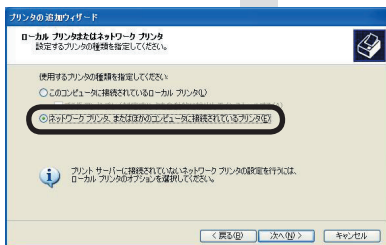
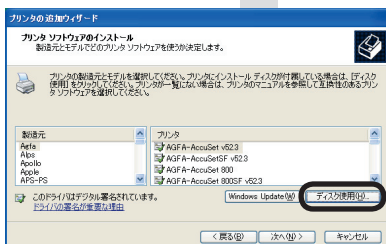
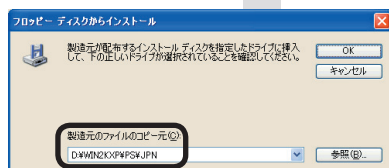
［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
［コントロールパネルを選んで実行します］の［プリンタとFAX］をクリックします。
［プリンタのタスク］-［プリンタのインストール］をクリックします。

WindowsServer2003をお使いの方

［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］をクリックします。
［プリンタの追加］をダブルクリックします。

❸ 「プリンタの追加ウィザード」画面で、［次へ］をクリックします。

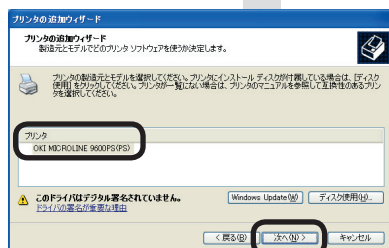
❹ ［ネットワークプリンタまたは他のコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

- ［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外してください。

❺ プリンタの追加を行います。（URLの設定をhttps://<IPアドレス>/ippまたはhttps://<IPアドレス>/ipp/lpでIPPプリンタ作成（IPP印刷））

❻ ［ディスク使用］をクリックします。

❼「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❽［製造元のファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

ここでは、CD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。

PSドライバをインストールする場合
D:¥WIN2KXP¥PS¥JPN
PCLドライバをインストールする場合
D:¥WIN2KXP¥PCL¥JPN

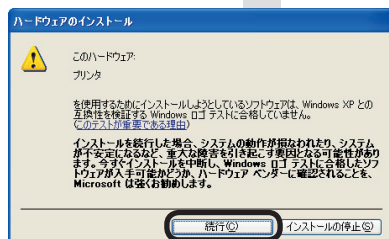
ポストスクリプトに対応しているアプリケーション（Adobe Illustratorなど）から印刷する場合はPSを選択します。
その他のアプリケーションから印刷する場合は、どちらでも選択できます。

❾ プリンタ名を選択し、［次へ］をクリックします。

❿ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

- 「プリンタ共有」画面が表示されたら、［このプリンタを共有しない］を選択し、［次へ］をクリックします。

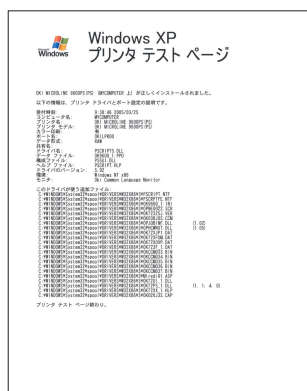
⓫［テストページを印刷しますか？］で［いいえ］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓬［完了］をクリックします。

⓭「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⓮ プリンタアイコンを選択し、右クリックでプロパティを開きます。［テストページの印刷］をクリックします。

Windows XP
プリンタ テスト ページ

左のようなシートが印刷されたら、セットアップは完了です。

印刷したいファイルを開きます。

⑮ [ファイル] - [印刷] を選択し、作成したIPPプリンタを指定して印刷を行います。

プリンタに時刻を設定する

プリンタの時刻をSNTP（Simple Network Time Protocol）を使用して設定します。

メモ
NTPとは､Network Time Protocolの略で装置の内部時計をネットワークを介して正しく調整するプロトコルのことです。また、SNTPとは、Simple Network Time Protocolの略でNTPの簡易版です。
本機能実施のためには、NTP/SNTPサーバが必要です。
NTP/SNTPサーバについてはネットワーク管理者に相談してください。

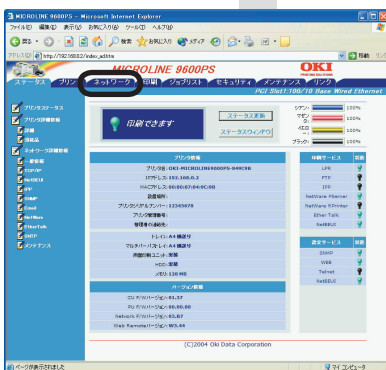
❶ Webブラウザを起動します。

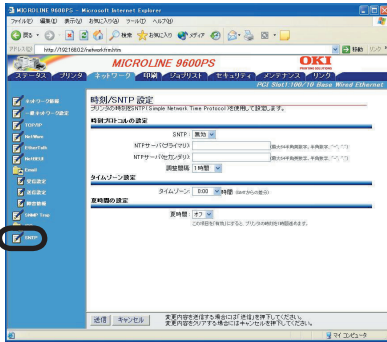
❷ ［アドレス］にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸ ［管理者のログイン］をクリックします。

❹ ［ユーザー名］に「root」または「admin」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ
パスワードの初期値は「MAC アドレスの下 6 桁」です。
MAC アドレスは、手順❸の画面に表示されています。

❺ ［ネットワーク］タブをクリックします。

5 ネットワーク機能について

❻［SNTP］をクリックします。

❼［SNTP］を［有効］にします。

❽「NTPサーバ（プライマリ）」、「NTPサーバ（セカンダリ）」にNTPサーバのホスト名またはIPアドレスを入力します。

メモ

「NTPサーバ（プライマリ）」だけを入力しても動作します。
NTPサーバをホスト名入力した場合にはDNSサーバの設定が必要です。

❾［調整間隔］を設定します。通常は初期設定のままお使いください。

❿［タイムゾーン］に協定世界時（UTC）からの時差を設定します。日本国内では「+09:00」にします。

⓫［夏時間］を［オフ］のままとします。

⓬「送信」をクリックします。

⓭プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

以上の設定により、装置の起動時と「調整間隔」に設定した間隔で、自動的にNTPサーバから時刻を取得し、その都度プリンタの時刻を調整します。

TELNETを使って…

工場出荷時の設定では、TELNETは無効（使用しない）になっています。TELNETを使うには、Webブラウザかプリンタ本体の操作パネルでTELNETの設定を有効にしてください。

プリンタの設定をする

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows　　　: WindowsXP Home Edition
プリンタ　　　: ML9600PS
IPアドレス　　: 192.168.0.2
MACアドレス　: 00:80:87:84:9C:9B

MACアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。

❶ Windowsのコマンドプロンプトを起動します。

❷ pingコマンドで接続を確認します。

```
C:¥WINDOWS ping 192.168.0.2
```

❸ TELNETでプリンタに接続します。

ユーザ名は「root」または「admin」、パスワードの初期値は「MACアドレスの下6桁」です。

```
telnet 192.168.0.2

EthernetBoard MLETB13 Ver 03.B7 TELNET server.

login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

 No.  M E N U (level.1)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
-------------------------------------------------------------
  1 : Status / Information
  2 : Printer Config
  3 : Network Config
  4 : Security Config
  5 : Maintenance
 99 : Exit Setup
Please select(1 - 99)?
```

ML9600PSは「MLETB13」と表示されます。

❹ 変更する項目の番号を入力し、「Enter」キーを押します。

❺ 各項目を設定します。

❻ プリンタからログアウトします。

新しい設定がプリンタに送信されます。

設定項目

Status / Information設定画面

```
Please select(1 - 99)? 1

 No.  M E N U (level.2)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
  1 : Printer
  2 : Network
  3 : Version
```

```
Please select(1 - 99)?1
Printer Name                : 
Short Printer Name          : ML9600P-849C9B
Printer Location            : 
Contact to Admin            : 
Serial Number               : 
Asset Number                : 
Printer Status              : 
```

```
Please select(1 - 99)?2
HUB Link Status             : OK (100BASE-TX Half)

TCP/IP Status
   IP Address               : 192.168.0.2
   Subnet Mask              : 255.255.255.0
   Default Gateway          : 192.168.0.1
   DNS Server(Pri.)         : 0.0.0.0
   DNS Server(Sec.)         : 0.0.0.0
   WINS Server(Pri.)        : 0.0.0.0
   WINS Server(Sec.)        : 0.0.0.0
   Scope ID                 : 
   WINS Registration Status: Registration is not performed.

NetWare Status
   NetWare Mode             : PSERVER
   Protocol                 : IPX
   Connection Failed.

EtherTalk Status
   Zone Name                : *
   Type Name                : LaserWriter
   Printer Name             : MICROLINE 9600PS

NetBEUI Status
   Short Printer Name       : ML9600P-849C9B  <Master>
   Workgroup Name           : PrintServer
   Master Browser           : ML9600P-849C9B
   Host Name                : ML9600P-849C9B

SMTP Receive                : Disable
SMTP Transmit               : Disable
```

```
Please select(1 - 99)? 3

Network Firmware Version    : 03.B7
CU Firmware Version         : 01.58
OkiWebRemote Version        : W3.44
```

Printer Config設定画面

```
Please select(1 - 99)? 2

 No.  M E N U (level.2)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
  1 : Printer Name           : ""
  2 : Short Printer Name     : "ML9600P-849C9B"
  3 : Printer Location       : ""
  4 : Printer Asset Number   : ""
  5 : Contact to Admin       : ""
  6 : Master Printer Name
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

Network Config設定画面

```
Please select(1 - 99)? 3

 No.  M E N U (level.2)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
  1 : Common
  2 : TCP/IP
  3 : NetBEUI
  4 : NetWare
  5 : EtherTalk
  6 : SNMP Trap
  7 : E-Mail Send
  8 : E-Mail Receive
  9 : SNTP
 99 : Back to prior menu
```

Common設定画面

```
Please select(1 - 99)? 1

 No.  M E N U (level.3)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
  1 : HUB Link Setting       : Auto
  2 : TCP/IP                 : ENABLE
  3 : NetBEUI                : ENABLE
  4 : NetWare                : ENABLE
  5 : EtherTalk              : ENABLE
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

TCP/IP設定画面

```
Please select(1 - 99)? 2

 No.  M E N U (level.3)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
   1 : TCP/IP                : ENABLE
   2 : IP Address            : 192.168.0.2
   3 : Subnet Mask           : 255.255.255.0
   4 : Default Gateway       : 192.168.0.1
   5 : Method of Obtain'gIP  : MANUAL
   6 : DHCP/BOOTP Protocol   : DISABLE
   7 : RARP Protocol         : DISABLE
   8 : OPTION:DNS
   9 : OPTION:WINS
  10 : OPTION:AutoDiscovery
  99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 8

 No.  M E N U (level.4)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
   1 : DNS Server(Pri.)      : 0.0.0.0
   2 : DNS Server(Sec.)      : 0.0.0.0
  99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 9

 No.  M E N U (level.4)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
   1 : WINS Server(Pri.)     : 0.0.0.0
   2 : WINS Server(Sec.)     : 0.0.0.0
   3 : Scope ID              : ""
  99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 10

 No.  M E N U (level.4)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
   1 : NetWork PnP           : ENABLE
   2 : Rendezvous            : ENABLE
   3 : Printer Name          : "OKI-MICROLINE9600PS-849C9B"
  99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

NetBEUI設定画面

```
Please select(1 - 99)? 3

 No.  M E N U (level.3)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
  1 : NetBEUI               : ENABLE
  2 : Short Printer Name    : "ML9600P-849C9B"
  3 : Workgroup Name        : "PrintServer"
  4 : Comment               : "EthernetBoard MLETB13"
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

NetWare設定画面

```
Please select(1 - 99)? 4

 No.  M E N U (level.3)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
  1 : NetWare               : ENABLE
  2 : Frame Type            : AUTO
  3 : Netware Mode          : NDS+BIN
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

EtherTalk設定画面

```
Please select(1 - 99)? 5

 No.  M E N U (level.3)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
  1 : EtherTalk             : ENABLE
  2 : Printer Name          : "MICROLINE 9600PS"
  3 : Zone Name             : "*"
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

SNMP Trap設定画面

```
Please select(1 - 99)? 6

 No.  M E N U (level.3)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
  1 : Prn-Trap Community    : "public"
  2 : Setup TCP#1 trap
  3 : Setup TCP#2 trap
  4 : Setup TCP#3 trap
  5 : Setup TCP#4 trap
  6 : Setup TCP#5 trap
  7 : Setup IPX trap
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 2

 No.  M E N U (level.4)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
   1 : TCP#1 Trap Enable      : DISABLE
   2 : Printer Reboot Trap    : DISABLE
   3 : Receive Illegal Trap   : DISABLE
   4 : Online Trap            : DISABLE
   5 : Offline Trap         : DISABLE
   6 : Paper Out Trap         : DISABLE
   7 : Paper Jam Trap         : DISABLE
   8 : Cover Open Trap        : DISABLE
   9 : Printer Error Trap     : DISABLE
  10 : TCP#1 Trap Address     : 0.0.0.0
  99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 3

 No.  M E N U (level.4)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
   1 : TCP#2 Trap Enable      : DISABLE
   2 : Printer Reboot Trap    : DISABLE
   3 : Receive Illegal Trap   : DISABLE
   4 : Online Trap            : DISABLE
   5 : Offline Trap         : DISABLE
   6 : Paper Out Trap         : DISABLE
   7 : Paper Jam Trap         : DISABLE
   8 : Cover Open Trap        : DISABLE
   9 : Printer Error Trap     : DISABLE
  10 : TCP#2 Trap Address     : 0.0.0.0
  99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 4

 No.  M E N U (level.4)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
   1 : TCP#3 Trap Enable      : DISABLE
   2 : Printer Reboot Trap    : DISABLE
   3 : Receive Illegal Trap   : DISABLE
   4 : Online Trap            : DISABLE
   5 : Offline Trap         : DISABLE
   6 : Paper Out Trap         : DISABLE
   7 : Paper Jam Trap         : DISABLE
   8 : Cover Open Trap        : DISABLE
   9 : Printer Error Trap     : DISABLE
  10 : TCP#3 Trap Address     : 0.0.0.0
  99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 5

 No.  M E N U (level.4)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
   1 : TCP#4 Trap Enable      : DISABLE
   2 : Printer Reboot Trap    : DISABLE
   3 : Receive Illegal Trap   : DISABLE
   4 : Online Trap            : DISABLE
   5 : Offline Trap          : DISABLE
   6 : Paper Out Trap         : DISABLE
   7 : Paper Jam Trap         : DISABLE
   8 : Cover Open Trap        : DISABLE
   9 : Printer Error Trap     : DISABLE
  10 : TCP#4 Trap Address     : 0.0.0.0
  99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 6

 No.  M E N U (level.4)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
   1 : TCP#5 Trap Enable      : DISABLE
   2 : Printer Reboot Trap    : DISABLE
   3 : Receive Illegal Trap   : DISABLE
   4 : Online Trap            : DISABLE
   5 : Offline Trap          : DISABLE
   6 : Paper Out Trap         : DISABLE
   7 : Paper Jam Trap         : DISABLE
   8 : Cover Open Trap        : DISABLE
   9 : Printer Error Trap     : DISABLE
  10 : TCP#5 Trap Address     : 0.0.0.0
  99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 7

 No.  M E N U (level.4)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
   1 : IPX   Trap Enable      : DISABLE
   2 : Online Trap            : DISABLE
   3 : Offline Trap          : DISABLE
   4 : Paper Out Trap         : DISABLE
   5 : Paper Jam Trap         : DISABLE
   6 : Cover Open Trap        : DISABLE
   7 : Printer Error Trap     : DISABLE
   8 : IPX   Trap Net         : "00000000"
   9 : IPX   Trap Address     : "000000000000"
  99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

E-Mail送信設定画面

```
Please select(1 - 99)? 7

 No.  M E N U (level.3)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
  1 : SMTP Transmit           : DISABLE
  2 : SMTP server name        : ""
  3 : Printer Emailaddress    : ""
  4 : Destination address1
  5 : Destination address2
  6 : Destination address3
  7 : Destination address4
  8 : Destination address5
  9 : OPTION:AttachedInfo
 10 : OPTION:Comment Line
 11 : OPTION:SMTP Auth
 12 : OPTION:Others
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 9

 No.  M E N U (level.4)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
  1 : Printer Model           : ON
  2 : Network Interface       : ON
  3 : Serial Number           : ON
  4 : Asset Number            : OFF
  5 : Printer Name            : OFF
  6 : Printer Location        : OFF
  7 : IP Address              : ON
  8 : Ethernet Address        : OFF
  9 : Short Printer Name      : OFF
 10 : Printer URL             : ON
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 10

 No.  M E N U (level.4)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
  1 : Comment Line 1          : ""
  2 : Comment Line 2          : ""
  3 : Comment Line 3          : ""
  4 : Comment Line 4          : ""
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 11

 No.  M E N U (level.4)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
  1 : SMTP Auth               : DISABLE
  2 : User ID                 : ""
  3 : User Password           : ""
 99 : Back to prior menu
 Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 12

 No.  M E N U (level.4)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
  1 : SMTP port number       : 25
  2 : Reply-To address       : ""
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

E-Mail受信設定画面

```
Please select(1 - 99)? 8

 No.  M E N U (level.3)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
  1 : POP or SMTP            : DISABLE
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

SNTP設定画面

```
Please select(1 - 99)? 9

 No.  M E N U (level.3)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
  1 : SNTP                   : DISABLE
  2 : NTP Server1 Address    : ""
  3 : NTP Server2 Address    : ""
  4 : Adjust Interval        : 1 hour
  5 : Local Time Zone        : "00:00"
  6 : Daylight Saving        : OFF
 99 : Back to prior menu
 Please select(1 - 99)?
```

Security設定画面

```
Please select(1 - 99)? 4

 No.  M E N U (level.2)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
  1 : Protocol ON/OFF
  2 : Protocol Port
  4 : IP Filtering
  5 : Cipher(SSL/TLS)
  6 : Password
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

プロトコル設定画面

```
Please select(1 - 99)? 1

 No.  M E N U (level.3)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
   1 : TCP/IP                : ENABLE
   2 : NetBEUI               : ENABLE
   3 : NetWare               : ENABLE
   4 : EtherTalk             : ENABLE
   5 : FTP                   : DISABLE
   6 : Telnet                : ENABLE
   7 : WEB(DefaultPort80)    : ENABLE
   8 : IPP(DefaultPort631)   : DISABLE
   9 : SNMP                  : ENABLE
  10 : SMTP(E-Mail)          : DISABLE
  11 : POP(E-Mail)           : DISABLE
  12 : SNTP(Time)            : DISABLE
  99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

ポート番号設定画面

```
Please select(1 - 99)? 2

 No.  M E N U (level.3)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
   1 : WEB(IPP)              : 80
   2 : POP                   : 110
   3 : SMTP Transmit         : 25
  99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

IPフィルタリング設定画面

```
Please select(1 - 99)? 4

 No.  M E N U (level.3)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
   1 : IP Filtering          : DISABLE
   2 : IP Address range 1
   3 : IP Address range 2
   4 : IP Address range 3
   5 : IP Address range 4
   6 : IP Address range 5
   7 : IP Address range 6
   8 : IP Address range 7
   9 : IP Address range 8
  10 : IP Address range 9
  11 : IP Address range 10
  12 : Admin IP Address      : 0.0.0.0
  99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

暗号化設定画面

```
Please select(1 - 99)? 5

 No.  M E N U (level.3)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
  1 : Cipher(SSL/TLS)        : OFF
  2 : Encryption Strength    : Standard
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

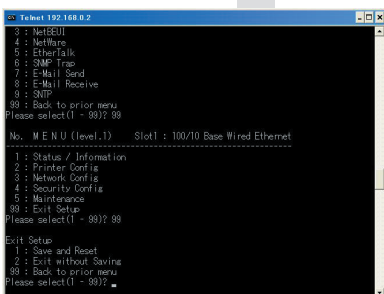
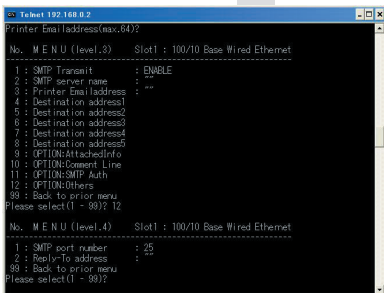
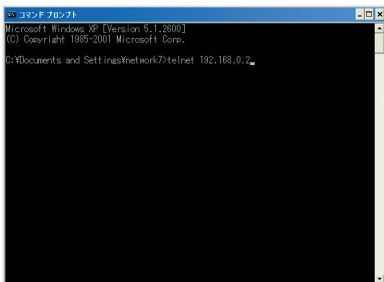
パスワード設定画面

```
Please select(1 - 99)? 6

 No.  M E N U (level.3)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
  1 : Password               : "******"
  2 : Read Community         : "******"
  3 : Write Community        : "******"
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

設定印刷設定画面

```
Please select(1 - 99)? 5

 No.  M E N U (level.2)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
--------------------------------------------------------------
  1 : Information Print
  2 : Reboot Network
  3 : Reset to Default
  4 : LAN Scale Setting      : NORMAL
  5 : HEX Dump mode
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

プリンタのエラーをメールで通知する

電子メール送信を設定する

❶ [スタート]-[アクセサリ]を選択し、[コマンドプロンプト]をクリックします。コマンドプロンプトで「telnet 192.168.0.2」と入力し、TELNETを起動します。

❷ ログインします。ユーザ名は「root」または「admin」、パスワードの初期値は「MACアドレスの下6桁」です。

❸ 「3 : Network Config」を選択します。

❹ 「7 : E-Mail Send」を選択します。

❺ 「1 : SMTP Transmit」を選択し、「ENABLE」にします。

❻ 「2 : SMTP server name」を選択し、メールサーバのドメイン名またはIPアドレスを設定します。

❼ 「3 : Printer Emailaddress」を選択しプリンタに与えられたメールアドレスを設定します。

❽ 「12 : OPTION:Others」を選択します。

❾ 「2 : Reply-To address」を選択し、プリンタから送信されたメールに対する返信用メールアドレスを設定します。通常、プリンタの管理者のメールアドレスを設定してください。

❿ 「1 : SMTP port number」を選択し、SMTPサーバのポート番号を設定してください。お使いのSMTPサーバの設定にあわせてください。

⓫ 「99 : Back to prior menu」を選択します。

⓬ 「9 : OPTION:AttachedInfo」を選択します。

⓭ 「1 : Printer Model」から「10 : Printer URL」を選択し、メールメッセージに付加される情報を設定します。

⓮ 「99 : Back to prior menu」を選択します。

⓯ 「10 : OPTION:Comment Line」を選択します。

⓰ 「1 : Comment Line 1」から「4 : Comment Line 4」を選択し、メールの本文に表示するメッセージを記入します。

⓱ 「99 : Back to prior menu」を選択します。

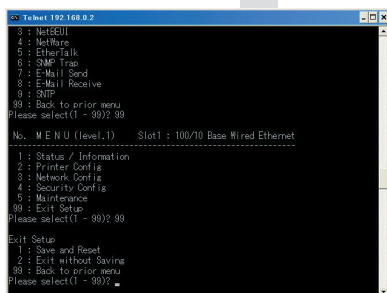
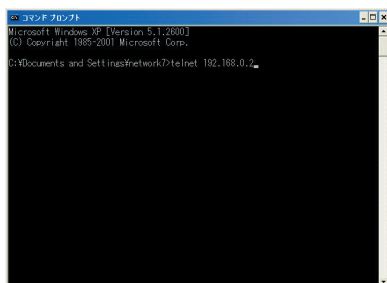
⓲ 「99 : Back to prior menu」を選択します。

⓳ 「99 : Back to prior menu」を選択します。

⓴ 「99 : Exit Setup」を選択します。

㉑ 「1 : Save and Reset」を選択します。

㉒ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

発生した障害を定期的に通知する

❶ [スタート]-[アクセサリ]を選択し、[コマンドプロンプト]をクリックします。コマンドプロンプトで「telnet 192.168.0.2」と入力し、TELNETを起動します。

❷ ログインします。ユーザ名は「root」または「admin」、パスワードの初期値は「MACアドレスの下6桁」です。

❸「3 : Network Config」を選択します。

❹「7 : E-Mail Send」を選択します。

❺「4 : Destination address1」から「8 : Destination address5」の何れかを選択します。

❻「1 : Destination Address1」を選択し、障害通知先のメールアドレスを入力します。

❼「2 : Notify mode」を選択し、「2 : PERIOD」を選択します。

❽「3 : Check time(hours)」を選択し、メールを送信する間隔を設定します。

❾「4 : Consumable Warning」から「17 : Other Error」を選択して、通知対象のエラー種別を「ON」にします。

❿「99 : Back to prior menu」を選択します。

⓫「99 : Back to prior menu」を選択します。

⓬「99 : Back to prior menu」を選択します。

⓭「99 : Exit Setup」を選択します。

⓮「1 : Save and Reset」を選択します。

⓯ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

障害が発生したことを通知する

```
Telnet 192.168.0.2
  3 : NetBEUI
  4 : NetWare
  5 : EtherTalk
  6 : SNMP Trap
  7 : E-Mail Send
  8 : E-Mail Receive
  9 : SNTP
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)? 99

 No.  M E N U (level.1)     Slot1 : 100/10 Base Wired Ethernet
------------------------------------------------------------
  1 : Status / Information
  2 : Printer Config
  3 : Network Config
  4 : Security Config
  5 : Maintenance
 99 : Exit Setup
Please select(1 - 99)? 99

Exit Setup
  1 : Save and Reset
  2 : Exit without Saving
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

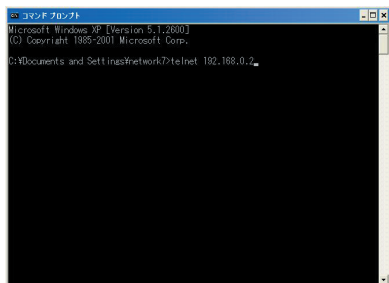
❶ [スタート]-[アクセサリ]を選択し、[コマンドプロンプト]をクリックします。コマンドプロンプトで「telnet 192.168.0.2」と入力し、TELNETを起動します。

❷ ログインします。ユーザ名は「root」または「admin」、パスワードの初期値は「MACアドレスの下6桁」です。

❸ 「3 : Network Config」を選択します。

❹ 「7 : E-Mail Send」を選択します。

❺ 「4 : Destination address1」から「8 : Destination address5」の何れかを選択します。

❻ 「1 : Destination Address1」を選択し、障害通知先のメールアドレスを入力します。

❼ 「2 : Notify mode」を選択し、「1 : EVENT」を選択します。

❽ 「4 : Consumable Warning」から「17 : Other Error」を選択し、エラーが発生してからメールを送信するまでの遅延時間を設定します。

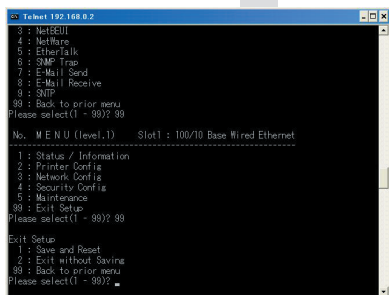
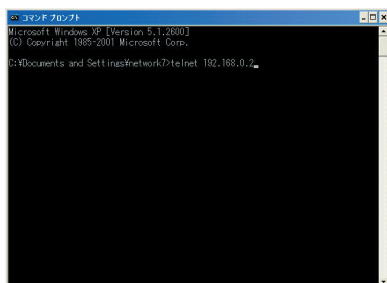
❾ 「99 : Back to prior menu」を選択します。

❿ 「99 : Back to prior menu」を選択します。

⓫ 「99 : Back to prior menu」を選択します。

⓬ 「99 : Exit Setup」を選択します。

⓭ 「1 : Save and Reset」を選択します。

⓮ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

管理者パスワードを変更する

❶ [スタート]-[アクセサリ]を選択し、[コマンドプロンプト]をクリックします。コマンドプロンプトで「telnet 192.168.0.2」と入力し、TELNETを起動します。

❷ ログインします。ユーザ名は「root」または「admin」、パスワードの初期値は「MACアドレスの下6桁」です。

❸ 「4 : Security Config」を選択します。

❹ 「6： Password」を選択します。

❺ 「1： Password」を選択します。

❻ 「Old password?」に今までに使用していたパスワードを、「New password?」と「Confirm newpassword?」に任意のパスワードを入力し、Enter キーを押します。（半角英数 1～15 文字）

❼ 「99 ： Back to prior menu」を選択します。

❽ 「99 ： Back to prior menu」を選択します。

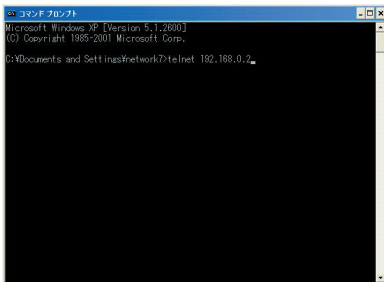
❾ 「99 ： Exit setup」を選択します。

❿ 「1 ： Save and Reset」を選択します。

⓫ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

IPフィルタリング

プリンタへのアクセスをIPアドレスを用いて管理できます。

設定方法

❶ [スタート]-[アクセサリ]を選択し、[コマンドプロンプト]をクリックします。コマンドプロンプトで「telnet 192.168.0.2」と入力し、TELNETを起動します。

❷ ログインします。ユーザ名は「root」または「admin」、パスワードの初期値は「MACアドレスの下6桁」です。

❸「4 ：Security Config」を選択します。

❹「4 : IP Filtering」を選択します。

❺「1 : IP Filtering」を選択し、「1 : ENABLE」を選択します。

❻「2 : IP Address range 1」から「11 : IP Address range 10」をそれぞれ選択し、アクセスを管理するIPアドレスを指定します。

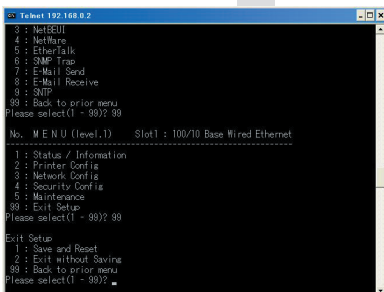
❼「12 ：Admin IP Address」で「管理者IPアドレス」を設定します。
「管理者IPアドレス」の詳細は「Webブラウザを使って…」の「IPフィルタリング」（240ページ）を参照してください。

❽「99 : Back to prior menu」を選択します。

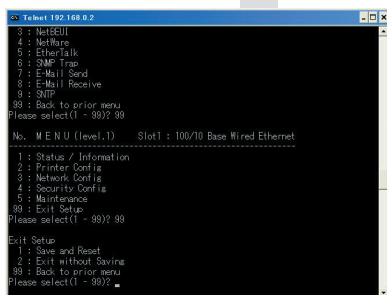
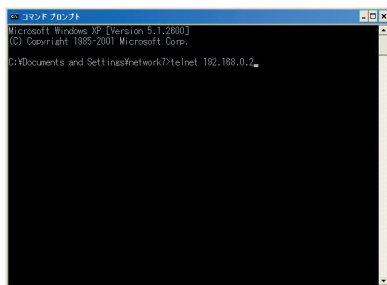
❾「99 : Back to prior menu」を選択します。

❿「99 : Exit Setup」を選択します。

⓫「1 ：Save and Reset」を選択します。

⓬ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

通信を暗号化する

Telnetで通信を暗号化できるのは、既に証明書がプリンタにインストールされているときのみです。
Telnetで通信を暗号化するために必要な証明書をインストールすることはできません。
証明書のインストールの方法は、「Webブラウザを使って…」の「通信を暗号化する（SSL/TLS）」（250ページ）を参照してください。

設定方法

❶ [スタート]-[アクセサリ]を選択し、[コマンドプロンプト]をクリックします。コマンドプロンプトで「telnet 192.168.0.2」と入力し、TELNETを起動します。

❷ ログインします。ユーザ名は「root」または「admin」、パスワードの初期値は「MACアドレスの下6桁」です。

❸「4 ：Security Config」を選択します。

❹「5 : Cipher(SSL/TLS)」を選択します。

❺「1 : Cipher(SSL/TLS)」を選択します。

❻「1 : ON」を選択します。

❼「99 : Back to prior menu」を選択します。

❽「99 : Back to prior menu」を選択します。

❾「99 : Exit Setup」を選択します。

❿「1 ：Save and Reset」を選択します。

⓫ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

SNMPを使用する

ML9600PSは、SNMPエージェントを実装しています。市販されているSNMPマネージャでプリンタの設定値の参照・変更をすることができます。
SNMPマネージャで参照・変更可能な設定項目はMIBと呼ばれ、ML9600PSはMIB-IIおよび沖データプライベートMIBに対応しています。沖データプライベートMIBについては、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」の [Utility] - [Nic] - [Mib] フォルダの中の「 Readme-j.txt 」を参考にしてください。

SNMPコミュニティ名によるネットワーク設定参照・変更制限機能

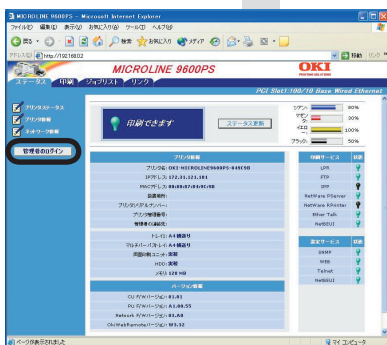
SNMPを用いて設定の参照をする場合には「SNMP Readコミュニティ名」が、設定を変更する場合には「SNMP Writeコミュニティ名」が必要です。
任意のコミュニティ名を設定することで、SNMPによる望まれない設定参照や変更を防ぐことができます。
「SNMP Readコミュニティ名」、「SNMP Writeコミュニティ名」の初期値はそれぞれ「public」です。

コミュニティ名の変更方法

Webブラウザを使う場合

❶ Webブラウザを起動します。

❷ [アドレス] にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸ [管理者のログイン] をクリックします。

❹ [ユーザー名] に「root」、[パスワード] に「Ethernetアドレスの下6桁」を入力し、[OK] をクリックします。

- パスワードの初期値は「Ethernetアドレスの下6桁」です。
- Ethernetアドレス(MACアドレス)は、❸の画面に表示されています。

❺ [セキュリティ] タブをクリックします。

❻ 左フレームより［パスワード設定］をクリックします。

❼ SNMPコミュニティの設定として、「新しいSNMP Readコミュニティ」、「新しいSNMP Readコミュニティの再入力」、「新しいSNMP Writeコミュニティ」と「新しいSNMP Writeコミュニティの再入力」のテキストボックスに任意のコミュニティ名を入力します。

❽ 「送信」をクリックします。

❾ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

TELNETを使う場合

❶ TELNETを起動します。

❷ ［ログイン］します。ユーザ名は「root」または「admin」、パスワードの初期値は「MACアドレスの下6桁」です。

❸ 「4：Security Config」を選択します。

❹ 「6：Password」を選択します。

❺ 「2:Read Community」または「3:Write Community」を選択します。

❻ 「Old Read Community?」または「Old Write Communuty?」に今まで使用していたコミュニティ名を、「New Read Community?」、「Confirm new Read Community?」、「New Write Communuty?」、「Confirm new Write Community?」に任意のコミュニティ名を入力し（半角英数1から15文字）、Enterキーを押します。

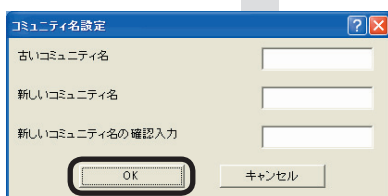
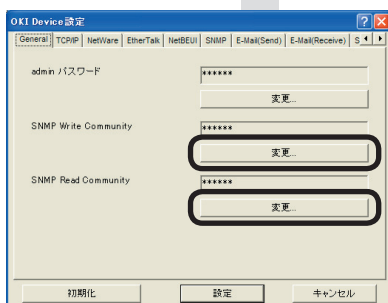
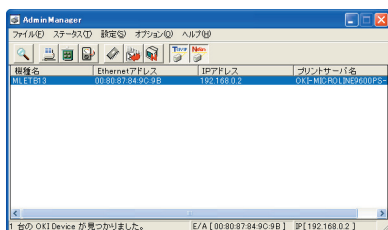
❼ 「99：Back to prior menu」を選択します。

❽ 「99：Back to prior menu」を選択します。

❾ 「99：Exit setup」を選択します。

❿ 「1：Save and Reset」を選択します。

⓫ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

AdminManagerを使う場合

❶ AdminManagerを起動します。

❷ プリンタを選択します。
機種名には、ML9600PSの代わりにMLETB13と表示されます。

❸［設定］メニューの［OKI Deviceの設定］を選択します。

❹［パスワード入力］に［Ethernetアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

❺［General］タブを選択します。

❻「SNMP Write Community」または「SNMP Read Community」の変更を選択します。

❼「古いコミュニティ名」に今まで使用していたコミュニティ名を、「新しいコミュニティ名」と「新しいコミュニティ名の確認入力」に任意のコミュニティ名を入力し、［OK］を選択します。

❽［設定］を選択します。

❾ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

ネットワークの設定項目の一覧

プリンタのネットワーク機能で設定できる項目を説明します。
現在設定されている値は、メニューマップ印刷のネットワークの設定情報（Network Information）で確認できます。
設定値を変更するには、TELNET，Webブラウザ，NICセットアップユーティリティ（AdminManager），Setup Utilityを使用します。

TCP/IP

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
TCP/IP Protocol	－	TCP/IPプロトコルを使用する	TCP/IPプロトコルを使用する	ENABLE DISABLE	TCP/IP プロトコルの使用／非使用を設定します。
IP Address	IPアドレス	IPアドレス	IPアドレス	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	サブネットマスク	サブネットマスク	サブネットマスク	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。
Default Gateway	ゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイ	192.168.100.254	ゲートウェイ(デフォルトルータ)アドレスを設定します。0.0.0.0 はルータなしを意味します。
RARP Protocol	RARP	RARPを使用する	RARPを使用する	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	RARPサーバへIPアドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
DHCP/BOOTP Protocol	DHCP/BOOTP	DHCP/BOOTPを使用する	DHCP/BOOTPを使用する	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	DHCP/BOOTPサーバへIPアドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
DNS Server (Pri.)	DNSサーバアドレス(プライマリ)	プライマリサーバ	－	0.0.0.0	プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。SMTP(E-Mail)プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」をIPアドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
DNS Server (Sec.)	DNSサーバアドレス(セカンダリ)	セカンダリサーバ	－	0.0.0.0	セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。SMTP(E-Mail)プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」をIPアドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
WINS Server(Pri.)	WINSサーバ（プライマリ）	プライマリサーバ	－	0.0.0.0	Windows環境で、ネームサーバ(コンピュータ名からIPアドレスに変換するためのサーバ)を使用している場合に、ネームサーバのIPアドレスまたはネームサーバ名を設定します。

（ネットワークの設定項目の一覧）

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
WINS Server(Sec.)	WINSサーバ（セカンダリ）	セカンダリサーバ	ー	0.0.0.0	Windows環境で、ネームサーバ(コンピュータ名からIPアドレスに変換するためのサーバ)を使用している場合に、ネームサーバのIPアドレスまたはネームサーバ名を設定します。
WINS Scope ID	スコープID	スコープID	ー	なし	WINSのScopeIDを設定します。1〜223文字の英数字です。
Network PnP	自動検出機能 Windows（ネットワーク・プラグ・アンド・プレイ使用）	Network PnP設定 Network PnPを使用する	ー	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	Windowsの自動検出機能の使用／非使用を設定します。
Rendezvous	自動検出機能 Macintosh (Rendezvous使用）	Rendezvous使用する	ー	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	Macintoshの自動検出機能の使用／非使用を設定します。
Printer Name	プリンタ名	プリンタ名	ー	「OKI」+「-」+「製品名」+「-」+「MACアドレス下6桁」	自動検出機能で、プリンタ名をコンピュータにどのように表示させるかを設定します。
Password	パスワード設定	adminパスワード	rootパスワード	MACアドレス下6桁	ネットワーク管理者用パスワードを変更します。15文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。

5

ネットワーク機能について

SNMP

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Contact to Admin	管理者の連絡先	SysContact	SysContact	なし	システム管理者の連絡先を入力します。半角で255文字以内です。
Printer Name	プリンタ名	SysName	SysName	「OKI」+「-」+「製品名」+「-」+「MAC アドレス下6桁」	プリンタの名前を入力します。半角で31文字以内です。
Printer Location	設置場所	SysLocation	SysLocation	なし	プリンタの設置場所を入力します。半角で255文字以内です。
Printer Asset Number	プリンタ管理番号	−	−	なし	お客様がプリンタを管理するための数値を入力することができます。半角で8文字以内です。

NetWare

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
NetWare	NetWare	NetWareプロトコルを使用する	NetWareプロトコルを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	NetWareの使用／非使用を設定します。
TCP or IPX	通信プロトコル	プロトコル	−	IPX TCP/IP	NetWareを動作させるプロトコルをIPXかTCP/IPに設定します。
Frame Type	フレームタイプ	フレームタイプ	フレームタイプ	AUTO（自動） ETHER-II（ETHERNET-II） 802.2（IEEE802.2） 802.3（IEEE802.3） SNAP（SNAP）	NetWare上でプリンタが接続するフレームタイプを設定します。この値は通常変更する必要はありません。
PrinterName	プリンタ名	プリンタ名	プリンタ名	「OKI」+「-」+「製品名」+「-」+「MAC アドレス下6桁」+「-PR」	リモートプリンタを動作させるときの設定項目でプリンタ名を設定します。ファイルサーバの設定内容と合わせる必要があります。
−	印刷モード	動作モード	動作モード	RPRINTER（リモートプリンタ） PSERVER（プリントサーバ）	動作モードをプリントサーバモードかリモートプリンタモードにするか設定します。
NetWare Mode	−	−	−	NDS NDS+BIN RPRINTER	NetWareの優先動作モードを設定します。

プリントサーバ

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
NDS Tree	ツリー	NDSツリー名	NDSツリー名	なし	NDSのツリー名を設定します。プリントサーバを登録したファイルサーバが属するツリー名を指定してください。31文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
NDS Context	コンテキスト	NDSコンテキスト	NDSコンテキスト	なし	NDSのコンテキスト名を設定します。プリントサーバの属するコンテキスト名を指定してください。77文字以内の英数字です。この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
Print Server Name	プリントサーバ名	プリントサーバ名	プリントサーバ名	「OKI」+「-」+「製品名」+「-」+「MACアドレス下6桁」+「-PS」	プリントサーバ名を設定します。ファイルサーバに設定したプリントサーバ名と同じに設定してください。31文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
Password	ファイルサーバのログインパスワード	ログインパスワード	ログインパスワード	なし	ファイルサーバにログインするためのパスワードを設定します。31文字以内の英数字です。 ファイルサーバにプリンタ用のパスワードを設定した場合にはこの項目の設定が必要です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
Job Polling Time (Sec.)	ジョブポーリング時間	ジョブポーリング間隔	ジョブポーリング間隔	2秒 〜 4秒 〜 255秒	キューにジョブを見つけに行く時間間隔を設定します。 短くするとすぐに印刷が開始されますが、ネットワーク回線が混みます。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
ー	接続方式	バインダリ設定	バインダリモード	チェックあり チェックなし	バインダリモードの使用／非使用を設定します。NetWareのバージョンが、6.0/5.0/4.1のバインダリネットワーク、または3.12へ接続するときには「Enable」、6.0/5.0/4.1のNDSで使用するときには「Disable」を設定します。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
File Server Name #1-8	ファイルサーバ名	接続するファイルサーバ #1-8	接続するファイルサーバ #1-8プリントサーバ名	なし	ファイルサーバの名前を設定します。最大8台のファイルサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。

リモートプリンタ

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
PrintServer Name #1-8	プリントサーバ名	接続するプリントサーバ #1-8	接続するプリントサーバ #1-8	なし	接続するプリントサーバ名を設定します。最大8台のプリントサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
JobTimeout (Sec)	ジョブタイムアウト	ジョブタイムアウト	ジョブタイムアウト	4秒 〜 10秒 〜 255秒	最後の印刷ジョブパケットを受け取ってからポートを解放するまでの時間を設定します。 通常は初期設定で使用します。この値が小さすぎると印刷が崩れ易くなり、大きすぎると他のプロトコルからの印刷がなかなか始まらなくなります。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。

EtherTalk

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
EtherTalk	EtherTalk	EtherTalkプロトコルを使用する	EtherTalkプロトコルを使用する	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	EtherTalkの使用／非使用を設定します。
Printer Name	EtherTalkプリンタ名	プリンタ名	プリンタ名	製品名	EtherTalkのプリンタ名を指定します。31文字以内の英数字です。接続するネットワークで唯一の名称で無い場合には自動的に番号が名称の末尾に追加されます。
Zone Name	EtherTalkゾーン名	ゾーン名	ゾーン名	*	EtherTalkゾーン名を指定します。32文字以内の英数字です。

NetBEUI

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
NetBEUI	NetBEUI	NetBEUIプロトコルを使用する	NetBEUIプロトコルを使用する	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	NetBEUIの使用/非使用を設定します。
Short Printer Name	ショートプリンタ名	ショートプリンタ名	ショートプリンタ名	「略式製品名」+「MACアドレス下6桁」	コンピュータ名を設定します。この名前でNetBEUI上で識別されます。Windowsであればネットワークコンピュータ中のPrintServerグループに表示されます。15文字以内の英数字です。*1
Workgroup Name	ワークグループ名	ワークグループ	ワークグループ	PrintServer	ワークグループ名を設定できます。この名称でWindowsのネットワークコンピュータ中に表示されます。15文字以内の英数字です。
Comment	コメント	コメント	コメント	EthernetBoard MLETB13	コメントを設定します。Windowsのネットワークコンピュータで表示形式を詳細に設定したときにこのコメントが表示されます。48文字以内の英数字です。

*1: 表示されたアイコンを開くと、下表のようなファイルが存在します。

ディレクトリ	ファイル名	機　能
SETUP	Config.ini	IPアドレスの設定変更ができます。 このファイル中のIPアドレスを変更して、またもとの位置に戻すだけでプリンタのIPアドレスをファイルに記載した値に変更することができます。
	Websetup	プリンタのもつWeb Pageを起動します。
REPORT	Status.txt	プリンタに設定されている設定値の概要を表示します。 このファイルは変更することができません。現在の設定を表示するファイルですから、Report.txtとは内容が異なる場合があります。
	Report.txt	プリンタに設定されている設定値の詳細を表示します。 このファイルは変更することができません。設定値を表示するファイルですから、Status.txtとは内容が異なる場合があります。

- 本プリンタのMaster Browser機能は、Workgroup名が「PrintServer」の場合にのみ起動します。Master Browser機能は同一Workgroup内に存在するマシンの情報を管理し、他のWorkgroupからの一覧要求に応答する機能です。
- MICROLINEプリンタ以外の機器のWorkgroupに「PrintServer」の名前をつけた場合、その機器は正常に管理されなくなります。(その機器がネットワーク上で見えなくなることがあります。)
- 本プリンタのMaster Browser機能で管理できるプリンタは最大8台です。
- NetBEUIプロトコルでは、他のユーザ(他のプロトコルを含む)からのジョブの印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できません。

printer trap

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Prn-Trap Community	プリンタTrapコミュニティ名設定	プリンタTrapコミュニティ名	ー	public	プリンタTrapのコミュニティ名を設定します。31文字以内の英数字です。
TCP #1-5 Trap Enable	Trap送信許可 #1-5	TCP #1-5 Printer Trapを有効にする	ー	ENABLE DISABLE	TCP #1-5でプリンタTrapを使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Printer Reboot Trap	プリンタ再起動 #1-5	TCP #1-5 プリンタリブート	ー	ENABLE DISABLE	プリンタが再起動したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Receive Illegal Trap	不正Trap受信 #1-5	TCP #1-5 受信異常	ー	ENABLE DISABLE	「プリンタTrapコミュニティ名設定」で指定した以外のコミュニティ名でプリンタにアクセスしたときにTrapを使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Online Trap	オンライン #1-5	TCP #1-5 オンライン	ー	ENABLE DISABLE	プリンタがON-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Offline Trap	オフライン #1-5	TCP #1-5 オフライン	ー	ENABLE DISABLE	プリンタがOFF-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Paper Out Trap	用紙なし #1-5	TCP #1-5 用紙なし	ー	ENABLE DISABLE	プリンタが用紙切れ状態になったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Paper Jam Trap	用紙ジャム #1-5	TCP #1-5 用紙ジャム	ー	ENABLE DISABLE	プリンタに用紙がつまったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Cover Open Trap	カバーオープン #1-5	TCP #1-5 カバーオープン	ー	ENABLE DISABLE	プリンタのカバーが開かれるたびにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Printer Error Trap	プリンタエラー #1-5	TCP #1-5 プリンタエラー	ー	ENABLE DISABLE	プリンタにエラーが発生したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Trap Address	アドレス #1-5	TCP#1-5	ー	0.0.0.0	TCP/IPの場合のTrap送信先アドレスを設定します。設定値は10進数「***.***.***.***」形式で入力します。IPアドレスが0.0.0.0の場合は、Trapを送信しません。アドレスは5か所まで指定できます。

（ネットワークの設定項目の一覧）

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
IPX Trap Enable	IPX Trap送信許可	IPX Printer Trapを有効にする	―	ENABLE DISABLE	IPXでプリンタTrapを使用するかどうか設定します。
IPX Online Trap	IPX オンライン	IPX オンライン	―	ENABLE DISABLE	プリンタがON-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
IPX Offline Trap	IPX オフライン	IPX オフライン	―	ENABLE DISABLE	プリンタがOFF-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
IPX Paper Out Trap	IPX 用紙なし	IPX 用紙なし	―	ENABLE DISABLE	プリンタが用紙切れ状態になったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Paper Jam Trap	IPX 用紙ジャム	IPX 用紙ジャム	―	ENABLE DISABLE	プリンタに用紙がつまったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Cover OpenTrap	IPX カバーオープン	IPX カバーオープン	―	ENABLE DISABLE	プリンタのカバーが開かれるたびにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Printer ErrorTrap	IPX プリンタエラー	IPX プリンタエラー	―	ENABLE DISABLE	プリンタにエラーが発生したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Trap Address/Net	IPX	IPX	―	00000000:000000000000	IPXの場合のTrap送信先アドレスを設定します。設定値は、ネットワークアドレス(8桁)+ノードアドレス(12桁)で入力します。 「00000000:000000000000」の場合はトラップを発行しません。アドレスは1か所のみ指定できます。

SMTP（E-Mail送信）

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
SMTP Transmit	SMTP送信	SMTP送信	ー	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	SMTP(E-Mail)送信プロトコルを使用するかどうか設定します。
SMTP server name	SMTPサーバ名	SMTPサーバ名	ー	なし	SMTPサーバ名を設定します。ドメイン名またはIPアドレスを指定してください。ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri)(Sec)の設定が必要です。
SMTP port number	SMTPポート番号	SMTPポート番号	ー	1 ～ 25 ～ 65535	SMTPのポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
Printer EMail address	プリンタEmailアドレス	送信元アドレス	ー	なし	プリンタのE-Mailアドレスを設定します。
Reply-To address	返信先Emailアドレス	返信先アドレス	ー	なし	返信用のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。
Destination Address1-5	Emailアドレス 1-5	送信先アドレス 1-5	ー	なし	送信先のアドレスを設定します。アドレスは5ヶ所まで指定できます。
Notify mode 1-5	障害通知方法	モード設定	ー	EVENT（障害発生時の通知） PERIOD（定期的な通知）	障害を通知する方法を設定します。
Check time (hour)1-5	メール通知間隔	定期通知間隔	ー	1 ～ 24	通知間隔を設定します。定期的な通知を選択した場合のみ有効です。
Consumable warning Event 1-5	消耗品　警告	消耗品の注意	ー	OFF No Wait ～ 48 H 45 M ON	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラムなど)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Consumable warning Period 1-5	消耗品　警告	消耗品の注意	ー	ON OFF	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラムなど)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Consumable Error Event 1-5	消耗品　エラー	消耗品のエラー	ー	OFF No Wait ～ 48 H 45 M ON	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラムなど)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Consumable Error Period 1-5	消耗品　エラー	消耗品のエラー	ー	ON OFF	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラムなど)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Mainte-nance Warning Event 1-5	メンテナンスユニット 警告	メンテナンスの注意	−	OFF No Wait ⟆ 2 H 0 M ⟆ 48 H 45 M ON	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットなど)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Warning Period 1-5	メンテナンスユニット 警告	メンテナンスの注意	−	ON OFF	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットなど)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Error Event 1-5	メンテナンスユニット エラー	メンテナンスのエラー	−	OFF No Wait ⟆ 48 H 45 M ON	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットなど)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Error Period 1-5	メンテナンスユニット エラー	メンテナンスのエラー	−	ON OFF	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットなど)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Warning Event 1-5	用紙の補充警告	用紙の補充の注意	−	OFF No Wait ⟆ 0 H 15 M ⟆ 48 H 45 M ON	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Warning Period 1-5	用紙の補充警告	用紙の補充の注意	−	ON OFF	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Error Event 1-5	用紙の補充エラー	用紙の補充のエラー	−	OFF No Wait ⟆ 48 H 45 M ON	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Error Period 1-5	用紙の補充エラー	用紙の補充のエラー	−	ON OFF	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Warning Event 1-5	印刷中の用紙 警告	印刷中の用紙の注意	−	OFF No Wait ⟆ 48 H 45 M ON	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Printing Warning Period 1-5	印刷中の用紙警告	印刷中の用紙の注意	−	ON OFF	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Error Event 1-5	印刷中の用紙エラー	印刷中の用紙のエラー	−	OFF No Wait ∫ 2 H 0 M ∫ 48 H 45 M ON	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Error Period 1-5	印刷中の用紙エラー	印刷中の用紙のエラー	−	ON OFF	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
HDD/Flash Memory Event 1-5	ハードディスク、フラッシュメモリ	HDD/Flashメモリ	−	OFF No Wait ∫ 48 H 45 M ON	HDD/フラッシュメモリに関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
HDD/Flash Memory Period 1-5	ハードディスク、フラッシュメモリ	HDD/Flashメモリ	−	ON OFF	HDD/フラッシュメモリに関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Warning Event 1-5	印刷の結果警告	印刷の結果の注意	−	OFF No Wait ∫ 48 H 45 M ON	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Warning Period 1-5	印刷の結果警告	印刷の結果の注意	−	ON OFF	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Error Event 1-5	印刷の結果エラー	印刷の結果のエラー	−	OFF No Wait ∫ 2 H 0 M ∫ 48 H 45 M ON	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Error Period 1-5	印刷の結果エラー	印刷の結果のエラー	−	ON OFF	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

（ネットワークの設定項目の一覧）

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Other Error Event 1-5	その他	その他のエラー	ー	OFF No Wait ∫ 2 H 0 M ∫ 48 H 45 M ON	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Other Error Period 1-5	その他	その他のエラー	ー	ON OFF	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Warning Event 1-5	インタフェース　警告	I/Fの注意	ー	OFF No Wait ∫ 48 H 45 M ON	インタフェース(ネットワークetc.)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Warning Period 1-5	インタフェース　警告	I/Fの注意	ー	ON OFF	インタフェース(ネットワークetc.)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Error Event 1-5	インタフェース　エラー	I/Fのエラー	ー	OFF No Wait ∫ 2 H 0 M ∫ 48 H 45 M ON	インタフェース(ネットワークetc.)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Error Period 1-5	インタフェース　エラー	I/Fのエラー	ー	ON OFF	インタフェース(ネットワークetc.)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Attached Info Printer Model	付加情報設定 プリンタモデル	付加情報設定 プリンタモデル	ー	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタモデル名を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Network Interface	付加情報設定 ネットワークインタフェース	付加情報設定 ネットワークインタフェース	ー	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、ネットワークインタフェース名を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Serial Number	付加情報設定 プリンタシリアルナンバー	付加情報設定 シリアル番号	ー	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのシリアルナンバを含めるかどうかを設定します。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Attached Info Asset Number	付加情報設定 プリンタ管理番号	付加情報設定 Asset 番号	ー	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタの管理番号を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer Name	付加情報設定 プリンタ名	付加情報設定 システム名	ー	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、SystemNameを含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer Location	付加情報設定 設置場所	付加情報設定 プリンタロケーション	ー	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、SystemLocationを含めるかどうかを設定します。
Attached Info IP Address	付加情報設定 IPアドレス	付加情報設定 IPアドレス	ー	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、IPアドレスを含めるかどうかを設定します。
Attached Info Ethernet Address	付加情報設定 MACアドレス	付加情報設定 Ethernet アドレス	ー	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、MACアドレスを含めるかどうかを設定します。
Attached Info Short Printer Name	付加情報設定 ショートプリンタ名	付加情報設定 ショートプリンタ名	ー	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのコンピュータ名を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer URL	付加情報設定 プリンタURL	付加情報設定 プリンタURL	ー	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのURLを含めるかどうかを設定します。
Comment line 1-4	コメント	コメント1-4	ー	なし	送信メールの文末に付加するコメントを設定します。4行設定できます。1行は63文字まで入力できます。
SMTP Auth	SMTP認証設定	SMTP認証設定	ー	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SMTP認証をするかどうかを設定します。
User ID	ユーザID	ユーザID	ー	なし	SMTP認証のユーザIDを設定します。
User Password	パスワード	パスワード	ー	なし	SMTP認証のパスワードを設定します。

POP（E-Mail受信）

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
POP or SMTP	POPプロトコル*1	POP受信プロトコルを使用する	―	DISABLE（無効） POP SMTP	POP3(E-Mail)プロトコルを使用するかどうか設定します。
POP3 server	POPサーバ名	POP3サーバ名	―	なし	POP3サーバ名を設定します。ドメイン名またはIPアドレスを指定してください。 ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri)(Sec)の設定が必要です。
POP port number	POPポート番号	POP3ポート番号	―	1 ～ 110 ～ 65535	POP3ポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
POP3 server UserID	POPユーザID	POP3ユーザID	―	なし	POP3サーバに接続するためのユーザIDを設定します。16文字以内の英数字です。
POP3 server Password	POPパスワード	POP3パスワード	―	なし	POP3サーバに接続するためのパスワードを設定します。16文字以内の英数字です。
Use APOP	APOPサポート	APOPを使用する	―	YES（はい） NO（いいえ）	APOPを使用するかどうかを設定します。お使いのPOP3サーバがAPOPに対応している場合にのみ、[YES]にしてください。
Mail Polling Time (min.)	POP受信間隔	ポーリング間隔	―	OFF（オフ） 1min（分） 5min（分） 10min（分） 30min（分） 60min（分）	メール受信を確認する間隔を設定します。[OFF]のときはメール受信を行いません。

*1: Webブラウザでは「Email」-「受信設定」項目に表示されます。「使用するプロトコル」で「POP」にチェックを入れると有効になります。

POP（E-Mail受信）は、内蔵ハードディスク（オプション）が必要です。内蔵ハードディスクがない場合は、設定できません。

SMTP（E-Mail受信）

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
POP or SMTP	SMTP受信*1	SMTP受信プロトコルを使用する	－	DISABLE（無効） POP SMTP	SMTP(E-Mail)受信プロトコルを使用するかどうか設定します。
Domain Filter	ドメインフィルタ	ドメインフィルタを使用する	－	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	ドメインフィルタを使用するかどうかを設定します。
Filter Policy	フィルタポリシー	フィルタポリシー	－	ACCEPT（許可） DENY（拒否）	設定したドメインを受け付けるか拒否するかどうかを選択します。
Domain 1-5	ドメイン1-5	ドメインフィルタ1-5	－	なし	ドメイン名を設定します。64文字以内で設定できます。

*1: Webブラウザでは「Email」-「受信設定」項目に表示されます。「使用するプロトコル」で「SMTP」にチェックを入れると有効になります。

SMTP（E-Mail受信）は、内蔵ハードディスク（オプション）が必要です。内蔵ハードディスクがない場合は、設定できません。

Maintenance

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
LAN Scale Setting	LAN	LAN Scale	－	NORMAL（普通） SMALL（小規模）	Normal(普通)：通常この設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが2,3台の小さなLANに接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL(小規模)：コンピュータが2,3台の小さなLANから大型のLANまで対応しますが、スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。
HEX Dump mode	HEXダンプモード	－	－	NO YES	このモードに設定すると、受信した印刷データをすべて16進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

Security

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
FTP	FTPサービス	FTP Serviceを使用する	－	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	プリンタに対してFTPでのアクセスの使用/非使用を設定します。
Telnet	Telnetサービス	Telnet Serviceを使用する	－	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	プリンタに対してTELNETでのアクセスの使用/非使用を設定します。
Web (Default Port 80)	Webサービス（ポート番号：80）	Web Serviceを使用する	－	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	プリンタに対してWEBブラウザでのアクセスの使用/非使用を設定します。
Web (IPP)	Web	－	－	1 ～ 80 ～ 65535	プリンタのWebページにアクセスするためのポート番号を設定します。
IPP (Default Port 631)	IPPサービス（ポート番号：631）	IPPサービスを使用する	－	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	IPPプロトコルの使用/非使用を設定します。
SNMP	SNMPサービス	SNMP Serviceを使用する	－	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	プリンタに対してSNMPでのアクセスの使用/非使用を設定します。通常はENABLE（使用する）でお使いください。
SMTP (E-mail)	－	SMTP送信を使用する	－	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	SMTP送信の使用/非使用を設定します。
POP (E-mail)	POPサービス	POP3プロトコルを使用する	－	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	POPプロトコルの使用/非使用を設定します。
SNTP (Time)	SNTPサービス	SNTPを使用する	－	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	SNTPプロトコルの使用/非使用を設定します。
TCP/IP	－	TCP/IPプロトコルを使用する	－	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	TCP/IPプロトコルの使用/非使用を設定します。
NetBEUI	NetBEUI	NetBEUIプロトコルを使用する	－	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	NetBEUIプロトコルの使用/非使用を設定します。
NetWare	NetWare	NetWareプロトコルを使用する	－	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	NetWareプロトコルの使用/非使用を設定します。
EtherTalk	EtherTalk	EtherTalkプロトコルを使用する	－	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	EhterTalkプロトコルの使用/非使用を設定します。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Password	パスワード設定	adminパスワード	rootパスワード	MACアドレス下6桁	管理者パスワードを変更します。15文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。
Read Community	SNMP Read コミュニティの設定	SNMP Read Community	−	public	SNMPで管理者アカウントレベルのアクセスを行う場合に使用するパスワードを設定します。このパスワードは、SNMPパケットではコミュニティとして使用されます。
Write Community	SNMP Write コミュニティの設定	SNMP Write Community	−	public	SNMPで管理者アカウントレベルのアクセスを行う場合に使用するパスワードを設定します。このパスワードは、SNMPパケットではコミュニティとして使用されます。

IP Filtering

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
IP Filtering	IPフィルタリング	IPフィルタを使用する	－	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IPアドレス毎のアクセスを制限する機能の 使用／非使用を設定します。 ただし、この機能はIPアドレスについて充分な知識を必要とします。 通常は必ずDISABLE(使用しない)になるように設定しておいてください。 ENABLE(使用する)に設定し、以下の設定をしないとTCP/IPによるアクセスが一切できなくなってしまいます。
Start Address #1-10	開始アドレス #1-10	開始アドレス #1-10	－	0.0.0.0	プリンタへアクセスを許可するIPアドレスを指定します。 単一のIPアドレスを指定することもできますが、範囲で指定することもできます。アドレスの範囲（「開始アドレス」と「終了アドレス」）を設定してください。0.0.0.0は入力できません。
End Address #1-10	終了アドレス #1-10	終了アドレス #1-10	－	0.0.0.0	
range #1-10 Printing	印刷 #1-10	印刷を許可する #1-10	－	ENABLE DISABLE	Filtering range #1-10 で設定したIPアドレスからの印刷を許可します。
range #1-10 Configuration	設定 #1-10	設定を許可する #1-10	－	ENABLE DISABLE	Filtering range #1-10 で設定したIPアドレスからの設定変更を許可します。
Admin IP Address	設定される管理者のIPアドレス	管理者のIPアドレス	－	0.0.0.0	管理者のIPアドレスが自動で設定されます。 このアドレスだけは、必ずプリンタにアクセスできます。 ただし、管理者がプロキシ経由でプリンタにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されるとプロキシ経由でアクセスする人は全て許可となります。 管理者はプリンタに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

SSL/TLS

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Cipher (SSL/TLS)	SSL/TLS	SSL/TLSを使用する	―	ON（オン） OFF（オフ）	SSL/TLSの使用/非使用を設定します。
Encryption Strength	暗号化強度	暗号化強度	―	Weak（弱） Standard（標準） Strong（強）	暗号化の強度を設定します。
―	使用する証明書の作成	証明書作成	―	自身で署名した証明書を使用する（自己署名証明書） 認証局が発行した証明書を使用する（認証局証明書）	自己署名証明書を作成します。また、認証局へ送付するCSRの作成と認証局が発行する証明書のインストールをします。
―	Common Name	Common Name	―	（プリンタ自身のIPアドレス）	自己署名証明書作成時には装置のIPアドレス（固定）となります。
―	Organization	Organization	―	なし	組織名：所属する組織の正式名称を指定します。入力可能文字数は64文字。
―	Organiza-tional Unit	Organiza-tional Unit	―	なし	組織単位：属する部門や課、その他組織内のサブグループを指定します。入力可能文字数は64文字。
―	Locality	Locality	―	なし	都市名：組織がある都市名や地名を指定します。入力可能文字数は128文字。
―	State/ Province	State/ Province	―	なし	州/県：組織がある州や県を指定します。入力可能文字数は128文字。
―	Country/ Region	Country/ Region	―	なし	国コード：2文字のISO国/地域コードを入力します。（JP（日本）、US（アメリカ合衆国）等）入力可能文字数は2文字
―	鍵タイプ	鍵交換の方式	―	RSA Diffe-Hellmen (DSS)	暗号通信に使用する鍵の方式を設定します。
―	鍵サイズ	鍵のサイズ	―	2048 bit 1024 bit 512 bit	暗号通信に使用する鍵のサイズを設定します。

SNTP

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
SNTP	SNTP	SNTPを使用する	－	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SNTPプロトコルの使用/非使用を設定します。
NTP Server 1 Address	NTPサーバ（プライマリ）	NTPサーバ名1	－	なし	時間取得をするNTPサーバー（プライマリ）のIPアドレスを設定します。
NTP Server 2 Address	NTPサーバ（セカンダリ）	NTPサーバ名2	－	なし	時間取得をするNTPサーバー（セカンダリ）のIPアドレスを設定します。
Adjust Interval	調整間隔	時間補正間隔	－	1 hour（時間） 12 hour（時間） 24 hour（時間）	NTP Server 1または、NTP Server 2に時間取得に行くインターバルを設定します。
Local Time Zone	タイムゾーン	ローカル時間設定	－	00:00	GMTとの時間差を設定します。
Daylight Saving	夏時間	夏時間設定	－	ON（オン） OFF（オフ）	サマータイムの設定をします。

Job List

網かけ部は初期値です。

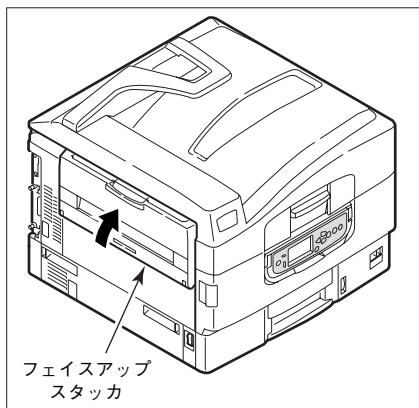
項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
－	ジョブキュー表示項目設定	－	－	ドキュメント名 ジョブ状態 ジョブ種類 コンピュータ名 ユーザー名 印刷済み枚数 送信時間 送信ポート	現在プリンタの印刷待ちになっているジョブ(印刷データ)の一覧に表示する項目を選択します。 選択しない場合には、初期値の項目で一覧が表示されます。

6 知っていると役に立つ操作

- この章では、Windowsでは[ワードパッド]、Macintoshでは[SimpleText]、Mac OS Xでは［TextEdit］を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

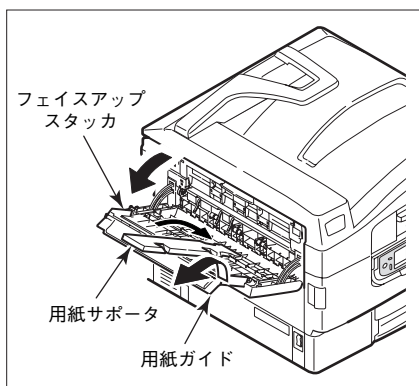
ページ順に出力する

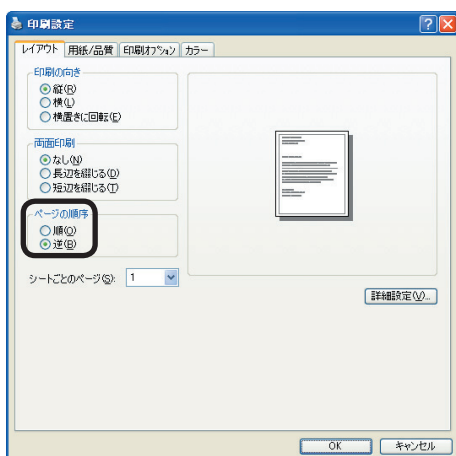
複数ページの文書を印刷するとき、ページ順で取り出せます。

「フェイスダウン」でページ順に排出する

❶ プリンタ左側面の「フェイスアップスタッカ」が閉じていることを確認します。

❷ 印刷します。

「フェイスアップ」でページを逆順に出力

フェイスアップスタッカを開き、プリンタドライバでページの順序を逆に設定し、印刷します。

プリンタ左側面の「フェイスアップスタッカ」を開き、用紙サポータを所定の位置にセットしておきます。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［レイアウト］タブの［ページの順序］で［逆］を選択します。

注 ［ページの順序］項目が表示されない場合は、［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI MICROLINE 9600PS］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］タブで［詳細な印刷機能を有効にする］にチェックを付けてください。

❺ ［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

WindowsMe/98/95/NT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

利用できません。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

利用できません。

MacOSをお使いの方

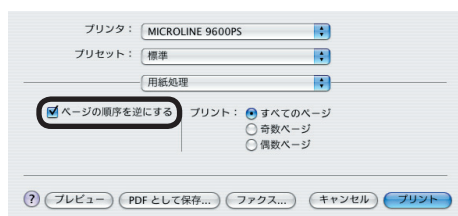
❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルで、［逆順で印刷］にチェックを付けます。

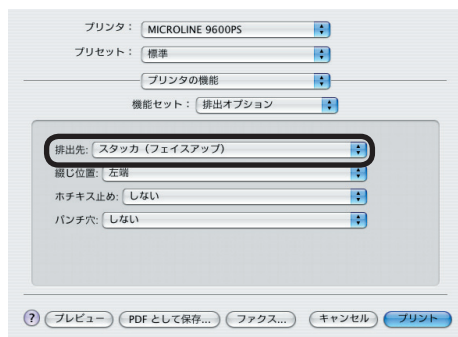
❹ ［排出オプション］パネルの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

Mac OS Xをお使いの方

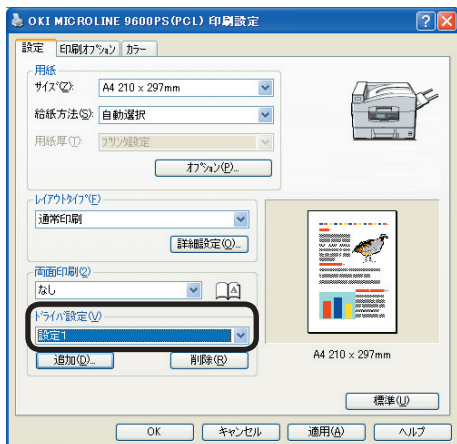
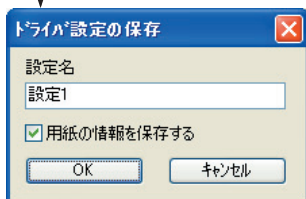
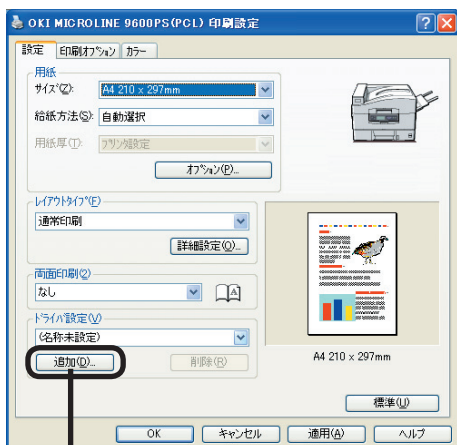
Mac OS X10.1～10.2.8プリンタドライバでは利用できません。

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［用紙処理］パネルで、［ページの順序を逆にする］にチェックを付けます。

❹ ［プリンタの機能］パネルの［排出オプション］機能セットの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］を選択します。

プリンタドライバの設定に名前を付けて保存する

プリンタドライバで設定した内容を、名前を付けて保存できます。（最大14個まで）
名前を指定することで、いつでも保存した設定で印刷できます。

Windows PSプリンタドライバをお使いの方

利用できません。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックし､Windows Server 2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

❷ プロパティを開きます。

WindowsMe/98/95をお使いの方

［OKI MICROLINE 9600PS(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし､［プロパティ］を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003をお使いの方

［OKI MICROLINE 9600PS(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

WindowsNT4.0をお使いの方

［OKI MICROLINE 9600PS(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。

❸ 各設定を変更します。

❹ ［設定］タブの［ドライバ設定］で［追加］を選択します。

❺ ［設定名］に設定の名前を入力し､［OK］をクリックします。

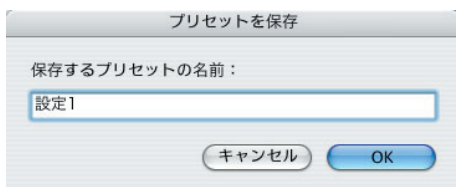
［用紙情報を保存する］にチェックを付けると、［設定］タブの［用紙］の設定も保存します。

❻ ［ドライバ設定］で、使用する設定を選択し、［OK］をクリックします。

MacOSをお使いの方

利用できません。

Mac OS Xをお使いの方

Mac OS X 10.1～10.1.5プリンタドライバでは利用できません。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ 各設定を変更します。

❹ 「プリセット」で「別名で保存」を選択し、「プリセットを保存」画面で適当な設定名をクリックし、［OK］をクリックします。

❺ ［キャンセル］をクリックします。

以降［プリセット］で保存した設定名称を選択して印刷することができます。

［ページ設定］ダイアログの初期設定は変更できません。

プリンタドライバの初期設定を変更する

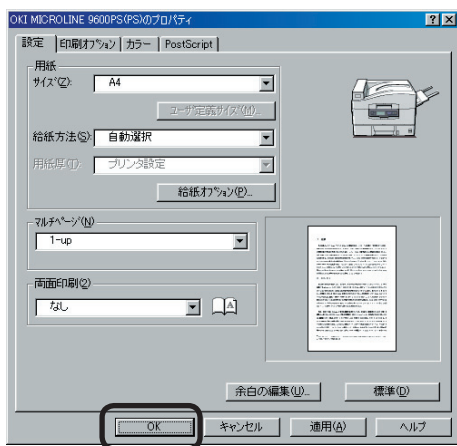
よく使う機能を初期設定としておくと便利です。

WindowsXP/2000/Server2003をお使いの方

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックし、Windows Server 2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

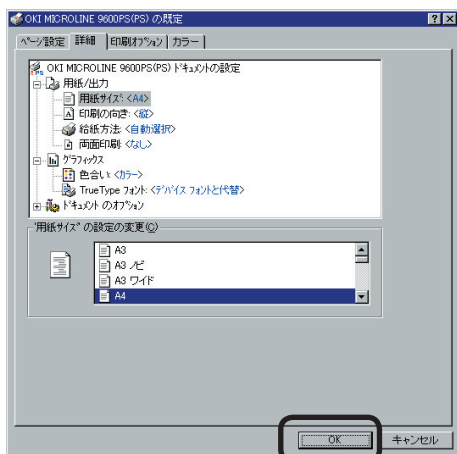
❷ ［OKI MICROLINE 9600PS(**)］（**）はPSまたはPCL（プリンタドライバの種類）アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

❸ 各設定を変更し、［OK］をクリックします。

WindowsMe/98/95をお使いの方

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 9600PS(**)］（**はPSまたはPCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ 各設定を変更し、［OK］をクリックします。

WindowsNT4.0をお使いの方

コンピュータの管理者の権限が必要です。

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 9600PS(**)］（**はPSまたはPCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。

❸ 各設定を変更し、［OK］をクリックします。

MacOSをお使いの方

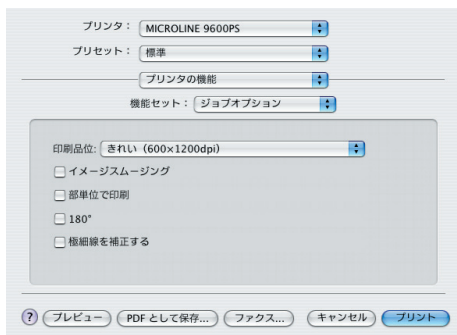
❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ 各設定を変更し、［設定を保存］をクリックします。

・［用紙設定］ダイアログの初期設定は変更できません。

❹ 確認画面で［OK］をクリックします。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ 各設定を変更し､「プリセット」で「別名で保存」を選択し、保存名を入力します。

・［ページ設定］ダイアログの初期設定は変更できません。

印刷データをファイルに出力する

印刷データを印刷せずにファイルに書き出して保存することができます。
保存したファイルは、OKI LPRユーティリティ（Windowsをお使いの方）、Microline PS Utility（MacOSをお使いの方）を使って印刷できます。
詳しくは、「OKI LPRユーティリティを使って…」（178ページ）、または「MicrolinePS Utilityを使って…」（209ページ）をご覧ください。

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003をお使いの方

コンピュータの管理者の権限が必要です。

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックし、Windows Server 2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

❷ ［OKI MICROLINE 9600PS(**)］（**はPSまたはPCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［ポート］タブの［印刷するポート］で［FILE:］を選択し、［OK］をクリックします。

❹ 印刷します。［ファイルへ出力］で［出力先ファイル名］を入力し、［OK］をクリックします。

WindowsMe/98/95をお使いの方

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 9600PS(**)］（**はPSまたはPCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［詳細］タブの［印刷先のポート］で［FILE:］を選択し、［OK］をクリックします。

❹ 印刷します。［ファイルへ出力］で［ファイル名］を入力し、［フォルダ］を選択し、［OK］をクリックします。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
❸ ［出力先］で［ファイル］を選択します。
❹ ［PostScript設定］パネルで設定を行います。
❺ ［プリント］をクリックします。［名前］に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、［保存］をクリックします。

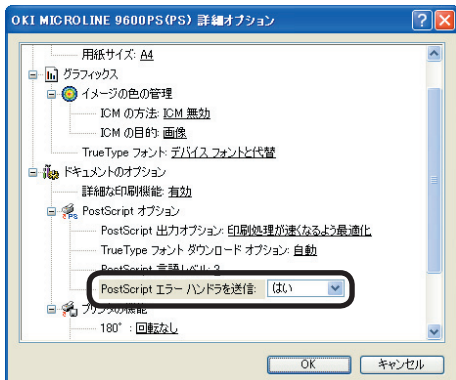
形式
　ポストスクリプトファイル形式を指定します。
PostScriptレベル
　出力するプリンタに合わせて指定します。
フォーマット
　アスキー /バイナリ形式のいずれで保存するか指定します。
　バイナリのPostScript言語ファイルを転送する場合、通信サービスがバイナリデータ転送をフルサポートしている必要があります。
フォントデータ
　ファイルにダウンロード可能なフォントを含めるか指定します。
　PostScriptフォントしか使っていない場合は［なし］を選択します。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。
❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
❸ ［出力オプション］パネルで［ファイルとして保存］にチェックを付け、［フォーマット］で［PostScript］を選択し、［保存］をクリックします。
❹ ［別名で保存］に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、［保存］をクリックします。

ポストスクリプトエラーを印刷する

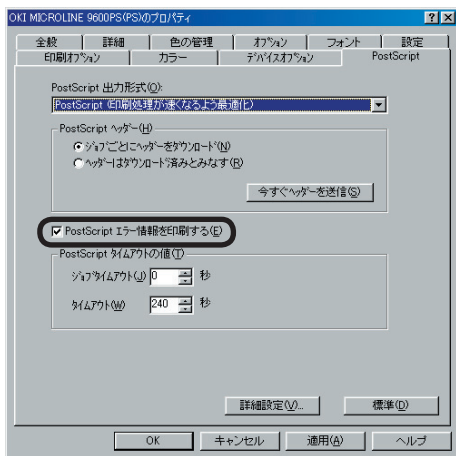
PSプリンタドライバを使って印刷している場合にエラーが発生したとき、エラー内容を印刷することができます。VMエラーやLimitcheckエラーの場合は、プリンタのメモリ不足です。それ以外のエラーが発生する場合は、特定のデータの問題や、アプリケーションに依存した問題の場合があります。

WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺ ［PostScriptオプション］-［PostScriptエラーハンドラを送信］で［はい］を選択します。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバをお使いの方

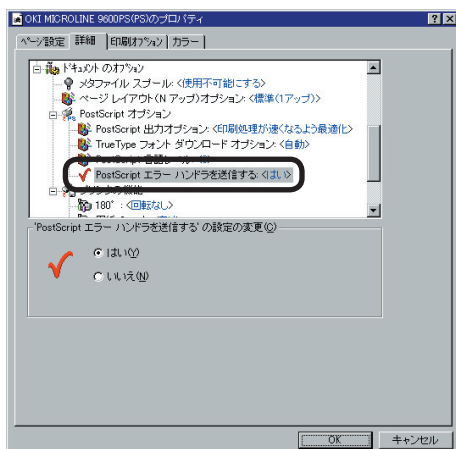
❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 9600PS(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［PostScript］タブの［PostScriptエラー情報を印刷する］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

6

知っていると役に立つ操作

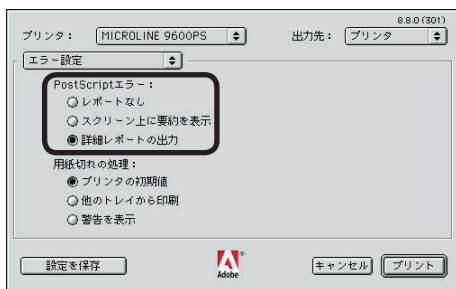
WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］をクリックします。

❹ ［詳細］タブの［PostScriptオプション］-［PostScriptエラーハンドラを送信する］で［はい］を選択します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

利用できません。

MacOSをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［エラー設定］パネルの［PostScriptエラー］で［詳細レポートの出力］を選択します。

Mac OS Xをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［エラー処理］パネルの［PostScript™エラー］で［詳細レポートをプリント］を選択します。

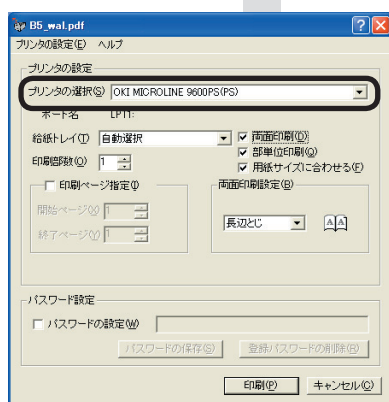
PDF Print Directユーティリティを使ってPDFファイルを印刷する

PDF Print Directユーティリティを使ってプリンタにPDFファイルを直接送り印刷します。アプリケーションを起動してファイルを開く手間が省けます。内蔵ハードディスク（オプション）が必要です。

- PDFファイルによっては、正しく印刷されない場合があります。正しく印刷されない場合は、Adobe Readerなどのアプリケーションから印刷してください。
- 128bit-RC4レベルで暗号化されたPDFファイルは印刷できません。
- 閲覧者にパスワードで印刷許可を与えているPDFファイルを印刷する場合は、パスワードを指定してください。
- Windows PC上に本製品のプリンタドライバをあらかじめインストールしておく必要があります。
- 印刷するファイルによっては、プリンタに増設メモリが必要な場合があります。
- プリンタ内蔵ハードディスクの「PS」パーティションを使用します。
- PDFファイルフォーマットVer1.4以上では正しく印刷されない場合があります。
- 印刷ページ指定をして印刷を行った場合はプリンタでの処理時間がかかる場合があります。

❶ プリンタに内蔵ハードディスク（オプション）が取り付けられていることを確認します。

❷ プリンタフォルダに［OKI MICROLINE 9600PS (**)］（**はPSまたはPCL（プリンタドライバの種類））アイコンがあることを確認します。

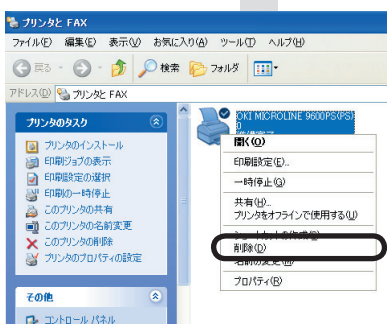
❸ 印刷したいPDFファイルを選択し、マウスの右ボタンをクリックします。次のようなメニューが表示されるので、［PDF Print Direct］を選択します。

❹ 印刷可能なPDFファイルの場合、左の画面が表示されます。使用するプリンタに接続されているプリンタドライバを［プリンタの選択］で選択します。

❺ 閲覧者にパスワードで印刷許可を与えているPDFファイルを印刷する場合は、［パスワードの設定］にチェックを付けて、パスワードを入力します。
今後も同じパスワードを使用する場合は、［パスワードの保存］をクリックします。パスワードが不要になった場合は、［登録パスワードの削除］をクリックします。
登録できるパスワードは1つです。

❻ 必要な項目を設定し、［印刷］をクリックします。

プリンタドライバを削除する

Windowsをお使いの方

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。

❶ Windowsを再起動します。

❷ **WindowsXPをお使いの方**

［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］を選択します。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003をお使いの方

［スタート］-［設定］-［プリンタ］（Windows Server 2003では［プリンタとFAX］）をクリックします。

❸ ［OKI MICROLINE 9600PS（**）］（**はPSまたはPCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［削除］を選択します。

❹ 以降、画面の指示に従います。

WindowsMe/98/95をお使いの方

ここで完了です。

WindowsNT4.0をお使いの方

❼へ進みます。

❺ **WindowsXP/Server2003をお使いの方**

「プリンタとFAX」フォルダの［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

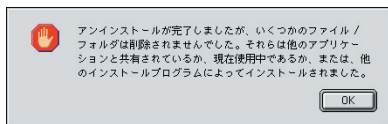
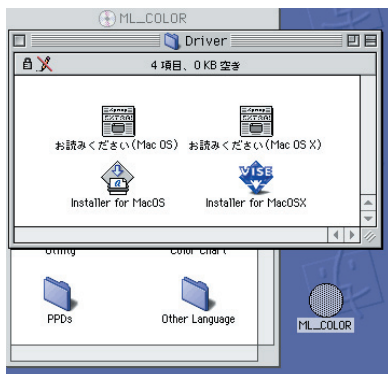
Windows2000をお使いの方

「プリンタ」フォルダの［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❻ ［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

❼ Windowsを再起動します。
再起動することにより完全にプリンタドライバが削除されます。

・ネットワーク接続の場合、プリンタドライバと一緒にインストールされるOKI LPRユーティリティとNetwork Extensionは、プリンタドライバの削除をしても削除されません。

MacOSをお使いの方　Mac OS Xをお使いの方は313ページをご覧ください。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷［Driver］フォルダを開きます。

❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

❹「起動」画面で［続ける］をクリックします。

❺「使用許諾契約」画面で、［同意］をクリックします。

❻「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。

❼ ▲▼をクリックし、［アンインストール］を選択します。

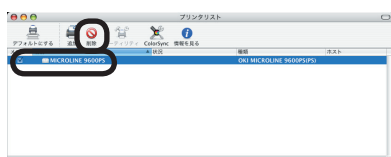
❽［アンインストール］をクリックします。
プリンタドライバのアンインストールが開始されます。

❾［OK］をクリックします。

❿［終了］をクリックします。

⓫ 下記のファイルをゴミ箱にドラッグし、空にします。

- AdobePSを使用している全てのデスクトッププリンタアイコン
- ［システムフォルダ］-［初期設定］-［プリンタ初期設定］フォルダ内の「AdobePS設定」ファイル
- ［システムフォルダ］ー［機能拡張］フォルダ内の「AdobePS」ファイル、「Printing Lib」ファイル、「Adobe Printing Library」ファイル

Mac OS Xをお使いの方　MacOSをお使いの方は312ページをご覧ください。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］（Mac OS X 10.1.5以前では［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］）をダブルクリックします。

❷ プリンタ名を選択し、［削除］をクリックします。

❸ ［プリンタリスト］を閉じます。

❹ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❺ ［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックします。

❻ ［Driver］フォルダを開きます。

❼ ［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❽ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

❾ 「起動」画面で［続ける］をクリックします。

❿ 「使用許諾契約」画面で、［同意］をクリックします。

⓫ 「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。

⓬ ◆をクリックし、［アンインストール］を選択します。

⓭ ［アンインストール］をクリックします。
プリンタドライバのアンインストールが開始されます。

⓮ ［終了］をクリックします。

プリンタドライバを更新（アップデート）する

最新のプリンタドライバは沖データのホームページ（http://www.okidata.co.jp/）からダウンロードできます。

Windowsをお使いの方

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

プリンタドライバ更新の流れ

プリンタドライバを更新（アップデート）する

❶ Windowsを再起動します。
コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源をONにします。

❷ **WindowsXPをお使いの方**

［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］を選択します。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003をお使いの方

［スタート］-［設定］-［プリンタ］（Windows Server 2003では［プリンタとFAX］）をクリックします。

❸ ［OKI MICROLINE 9600PS（**）］（**はPSまたはPCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❹ **WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003をお使いの方**

［全般］タブの［テストページの印刷］をクリックします。

WindowsMe/98/95をお使いの方

［全般］タブの［印字テスト印刷］をクリックします。

❺ 確認画面が表示されたら、［OK］をクリックします。
テストページが印刷されます。

❻ プリンタの電源をOFFにします。

電源の切り方は別冊「プリンタ機能編」の「電源を切る」をご覧ください。

❼ プリンタドライバを削除します。
詳しくは、311ページをご覧ください。

ドライバのアップデートを確実に行うために、アップデートするプリンタドライバ（PSまたはPCL）と同じ種類のプリンタドライバをすべて削除してください。

6 知っていると役に立つ操作

❽ Windowsを再起動します。

❾ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
接続方法を確認し、別冊「セットアップ編ーWindowsをお使いの方ー」をご覧ください。

必ずプリンタの電源がOFFになっていることを確認してください。
WindowsXP/Server2003では、プリンタのインストールでセットアップします。

❿ ❶～❺の手順で「テストページ」を印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

WindowsXP/2000/Server2003をお使いの方

［このドライバが使う追加ファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsMe/98/95をお使いの方

［ドライバで使用されるファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsNT4.0をお使いの方

［このドライバが使うファイル］以下に記載されているバージョン

Windows XP
プリンタ テスト ページ

OKI MICROLINE 9600PS(PS) (MYCOMPUTER 上) が正しくインストールされました。

以下の情報は、プリンタ ドライバとポート設定の説明です。

受付時刻: 9:38:46 2005/03/25
コンピュータ名: MYCOMPUTER
プリンタ名: OKI MICROLINE 9600PS(PS)
プリンタ モデル: OKI MICROLINE 9600PS(PS)
カラー印刷: 有
ポート名: OKILPR00
データ形式: RAW
共有名:
ドライバ名: PSCRIPT5.DLL
データ ファイル: OK9600_1.PPD
構成ファイル: PS5UI.DLL
HLP
ドライバのバージョン: 5.02
NT x86
モニタ: Oki Common Language Monitor

このドライバが使う追加ファイル:
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥PSCRIPT.NTF
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥PSCRPTFE.NTF
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥OK9600_1.INI
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥OPNE0022.SCR
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥OK7232SJ.VER
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥OK038J0S.CCM
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥OPJOBINF.DLL (1.02)
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥OPHCWNXT.DLL (1.05)
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥OK72XJP1.DAT
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥OK72XFOM.DAT
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥OK72XOVP.DAT
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥OK723F_1.DAT
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥OKCCM033.BIN
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥OKCCM034.BIN
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥OKCCM035.BIN
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥OKCCM036.BIN
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥OKCCM037.BIN
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥MIredi01.ASP
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥OK72UI_1.DLL
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥OK72PS_1.DLL (1, 1, 4, 0)
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥OK72XX_1.HLP
C:¥WINDOWS¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥3¥OK026J3S.CAP

プリンタ テスト ページ終わり。

（例） WindowsXPの「テストページ」

テストページ上に記載される［ドライバのバージョン］（Windows Me/98/95の場合、［ドライバ　バージョン］）には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

MacOSをお使いの方

❶ プリンタドライバを削除します。詳しくは「プリンタドライバを削除する」（312ページ）をご覧ください。

❷ 新しいプリンタドライバをインストールします。詳しくは別冊「セットアップ編ーMacintosh、UNIX、Linuxをお使いの方ー」をご覧ください。

Mac OS Xをお使いの方

❶ ［プリントセンター］-［プリンタリスト］のプリンタ名を削除し、インストーラでプリンタソフトウェアをアンインストールします。詳しくは「プリンタドライバを削除する」（313ページ）をご覧ください。

❷ プリンタソフトウェアを再インストールします。詳しくは別冊「セットアップ編ーMacintosh、UNIX、Linuxをお使いの方ー」をご覧ください。

7 トラブルシューティング

印刷できないとき

最初に確認すること

プリンタを確認してください

電源は入っていますか？
　　電源ケーブル、スイッチを確認してください。別冊「プリンタ機能編」

操作パネルに「印刷できます」と表示していますか？
　　「オフライン」と表示している時は、オンラインボタンを押し、「印刷できます」と表示してください。
　　それ以外のメッセージを表示している時は、メッセージ一覧表を見て処置に従ってください。別冊「プリンタ機能編」

メニューマップ印刷ができますか？
　　メニューマップ印刷の方法は、別冊「プリンタ機能編」
　　できない時は、お客様相談センターへ連絡してください。

プリンタとコンピュータの接続を確認してください

規格に合ったケーブルを使っていますか？別冊「プリンタ機能編」

プリンタにケーブルが正しく差し込まれていますか？別冊「プリンタ機能編」

コンピュータにケーブルが正しく差し込まれていますか？別冊「プリンタ機能編」

コンピュータを確認してください

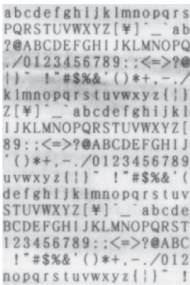
プリンタドライバをマニュアルにそった正しい手順でインストールしましたか？別冊「セットアップ編」
　　そうでない場合は、プリンタドライバを削除しインストールし直してください。311ページ

Windowsをお使いの方

プリンタドライバから、テスト印刷ができますか？ 314ページ
　　できない時はドライバをインストールし直してください。

プリンタアイコンが［通常使うプリンタ］になっていますか？
　　プリンタフォルダ内のML9600PSアイコンを選択して、右クリックで「通常使うプリンタに設定」にチェックしてください。

プリンタアイコンが一時停止になっていませんか？
　　プリンタフォルダ内のML9600PSアイコンを選択して、右クリックで［一時停止］のチェックを外してください。

プリンタドライバで出力ポートが正しく設定されていますか？
　　プリンタフォルダ内のML9600PSアイコンを選択して、右クリックでプロパティを選択します。
　　ネットワークで接続している場合は、出力ポートタブでOKILPRにチェックしてください。
　　USBで接続している場合は、出力ポートタブでUSBにチェックしてください。
　　パラレルで接続している場合は、出力ポートタブでLPT1: にチェックしてください。

それでも解決しないときは、319ページをご覧ください

それでも解決しないとき

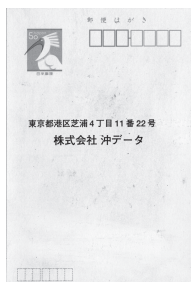
接続方法	考えられる原因	解決方法
共通	I-PRIMEの設定がコンピュータと合っていません。	プリンタの操作パネルでBoot MenuのI-PRIME設定を[3u SEC]または[5u SEC]に設定してください。
	プリントジョブアカウンティング(オプション)を使用している場合、使用制限にかかっているか、プリンタのログファイルがいっぱいです。	プリントジョブアカウンティング ユーザーズマニュアルをご覧ください。
ネットワーク接続	プリンタの電源を入れてから、ケーブルを接続した。	プリンタの電源を切り、ケーブルを差し込んでから電源を入れてください。
	ハブとの相性が合わない。	①プリンタの操作パネルで、[HUB LINK SETTING]を[10BASE-T HALF]に設定します。 ②ハブで動作モードを[10BASE-T HALF]に設定してください。(詳細はハブに付属のマニュアルをご覧ください。)
	プリンタとコンピュータのIPアドレスの設定が間違っている。	ネットワーク管理者に確認してください。
	OKI LPRユーティリティでプリンタが「停止中」になっている。	OKI LPRユーティリティでプリンタを選択し、「リモートプリント」メニューの「一時停止」のチェックを外してください。
	プリンタのメニューの[TCP/IP]の設定が無効になっている。(工場出荷時の設定では有効[Enable]になっています。)	プリンタメニューの[管理者用メニュー]-[Network Setup]-[Slot1:100/10 Base]-[TCP/IP]を[Enable]に設定してください。
USB接続	USBで動作する他のプリンタドライバがインストールされている。	他のプリンタドライバを削除してみてください。
	USBハブを使っている。	プリンタとコンピュータを直接接続してください。
	プリンタのBoot Menuの[USB]の設定が、無効になっている。(工場出荷時の設定では有効[Enable]になっています。)	Boot Menuの[USB Setup]-[USB]を[Enable]に設定してください。
パラレル接続	パラレルで動作する他のプリンタドライバがインストールされている。	他のプリンタドライバを削除してみてください。
	プリンタのBoot Menuの[Parallel]の設定が、無効になっている。(工場出荷時の設定では有効[Enable]になっています。)	Boot Menuの[Parallel Setup]-[Parallel]を[Enable]に設定してください。

印刷結果に関するトラブル

現　象	考えられる原因	処　置
縦方向に白いスジが入る。	LEDヘッドが汚れています。	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。(別冊「プリンタ機能編」)
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。(別冊「プリンタ機能編」)
	異物がつまっています。	イメージドラムカートリッジを交換してください。
縦方向にかすれる。	LEDヘッドが汚れています。	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。(別冊「プリンタ機能編」)
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。
	用紙がプリンタに適していません。	使用できる用紙の条件に合った用紙を使用してください。(332ページ)
印刷が薄い。	トナーカートリッジが正しくセットされていません。	トナーカートリッジを取り付け直してください。
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を含んでいます。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	用紙がプリンタに適していません。	使用できる用紙の条件に合った用紙を使用してください。(332ページ)
	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	プリンタのメニュー設定で[メディアウエイト]、[メディアタイプ]を適切な値にしてください。または、[メディアウエイト]を1つ厚い紙の値にしてください。
	再生紙を使用しています。	プリンタのメニュー設定で[メディアウエイト]を1つ厚い紙の値にしてください。
部分的にかすれる。ベタを印刷すると白い点や線が現れる。	用紙が湿気を含んでいるか、乾燥しています。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。

7 トラブルシューティング

現　象	考えられる原因	処　置
縦方向にスジが入る。	イメージドラムカートリッジに傷がついています。	イメージドラムカートリッジを交換してください。
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。
横方向にスジや点が周期的に入る。	約94mm周期の場合は、イメージドラム(緑の筒の部分)に傷または汚れがついています。	イメージドラムカートリッジのカバーをずらし、柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。傷がついていたら、イメージドラムカートリッジを交換してください。
	約94mm周期の場合は、イメージドラムカートリッジが光にさらされました。	イメージドラムカートリッジをプリンタの内部に戻し、数時間プリンタを使用しないでください。それでも直らない場合は、イメージドラムカートリッジを交換してください。
	約49mm周期の場合は、イメージドラムカートリッジ内にゴミが混入しています。	トップカバーの開閉を行い、イニシャル動作を繰り返してください。
	約88mm周期の場合は、定着器ユニットに傷がついています。	定着器ユニットを交換してみてください。
白地の部分が薄く汚れる	用紙が静電気を帯びています。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	厚い用紙を使用しています。	より薄手の用紙を使用してください。
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。(別冊「プリンタ機能編」)
	湿度が低く、トナーが過剰に帯電しています。	室内の湿度を高くしてください。 湿度50%が最適です。
文字の周辺がにじむ。	LEDヘッドが汚れています。	柔らかいティッシュペーパーで 拭いてください。(別冊「プリンタ機能編」)
	LEDヘッドの位置が正しくありません。	トップカバーを開閉してください。

現　象	考えられる原因	処　置
はがき、封筒または光沢紙に印刷すると全体的に薄く汚れる。 擦ると文字の周辺が汚れる。	はがき、封筒に印刷すると、全体的にトナーが付着（かぶり）することがあります。	プリンタの故障ではありません。
	光沢紙に印刷すると薄くトナーが付着（かぶり）することがあります。	プリンタの故障ではありません。事前にテストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。 高温度、高湿度環境を避けてください。温度23℃、湿度50%が最も適した環境です。
擦るとトナーがとれる。	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	プリンタのメニュー設定で[メディアウエイト]、[メディアタイプ]を適切な値にしてください。または、[メディアウエイト]を1つ厚い紙の値にしてください。
	再生紙を使用しています。	プリンタのメニュー設定で[メディアウエイト]を1つ厚い紙の値にしてください。
光沢にムラが出る。	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	プリンタのメニュー設定で[メディアウエイト]、[メディアタイプ]を適切な値にしてください。または、[メディアウエイト]を1つ薄い紙の値にしてください。
トナーが定着しないところがある。 トナーがはがれる。	定着器の温度が適切ではありません。	プリンタのトップカバーを開閉してください。
	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	プリンタのメニュー設定で[メディアウエイト]、[メディアタイプ]を適切な値にしてください。または、[メディアウエイト]を1つ厚い紙の値にしてください。
残像が印刷される。	印刷環境が適切ではありません。	高温度、高湿度環境を避けてください。

現　象	考えられる原因	処　置
思った色合いで印刷されない。	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。
	[黒の生成]の設定がアプリケーションに合っていません。	プリンタドライバの[黒の生成]で[CMYKトナーで生成]または、[黒トナーのみで生成]を選択してみてください。詳しくは「黒の部分の仕上がりを変更する」(146ページ)をご覧ください。
	カラー調整を変更しています。	プリンタドライバのカラーマッチングにしてください。詳しくは「簡単にカラーマッチングする」(127ページ)をご覧ください。
	カラーバランスがとれていません。	プリンタの操作パネルで濃度補正を実行してください。
	色ずれが起こっています。	トップカバーを開閉してください。または、プリンタの操作パネルで色ずれ補正調整をしてください。詳しくは別冊「プリンタ機能編」をご覧ください。
	特定の色が薄いまたは濃い。	「PSハーフトーン調整ユーティリティを使って印刷濃度を調整する」(154ページ)で調整します。または別冊「プリンタ機能編」をご覧ください。
モニタの色と印刷結果が合わない。 思った色がでない。	プリンタユーティリティのカラーが調整されていません。モニタとプリンタでは色の表現方法が異なるため、完全に一致した結果が得られない場合があります。	• プリンタ本体でカラーバランス調整を行います。(別冊「プリンタ機能編」) • カラー調整でユーティリティを使って調整します。(125ページ)
印刷結果が汚いまたは粗い。	ハーフトーン濃度が適切ではありません。	ハーフトーン調整を細かく設定してください。(154ページ)
汚れがでる。(トナーが飛び散る)	トナーやドラムが正しくセットされていません。	トナー・ドラムを取り付け直してください。 プリンタカバーを開き、汚れがあれば取り除きます。
文字化けする。	指定したフォントに問題があります。	フォントリスト印刷を行います。(別冊「プリンタ機能編」) 問題なく印刷される場合は、アプリケーションや指定したフォントを変えて印刷を確認し、問題がどこにあるか確認します。
PSエラーがでる。	プリンタのメモリが不足している場合があります。	詳細エラーリポートを印刷します。(308ページ) limitcheckエラーやVMエラーの場合はプリンタのメモリ不足です。頻繁にこのエラーが発生する場合には、増設メモリを追加すると改善される場合があります。

印刷時のトラブル

現　象	考えられる原因	解決するには
印刷に時間がかかる	プリンタのウォームアップに時間がかかっています。	省電力モードを長めに設定してください。パワーセーブモードに入る時間を短縮します。
	高解像度で印刷しています。	プリンタドライバの印刷品位で[はやい]を選択します。印刷結果は低解像度で印刷されるため粗くなりますが、印刷時間は短縮できます。
	重いデータを印刷しています。	データ量を少なくします。できるかぎりプリンタフォントを使って印刷します。画像データを圧縮してから印刷します。
	部分印刷用紙やカラー用紙などに印刷する場合、誤ってOHPと判断されています。	[管理者用メニュー]-[印刷設定]-[OHP検出]を[無効]に設定してください。
オンラインボタンを押すまで給紙しない	マルチパーパストレイを手差しとして扱っています。	マルチパーパストレイについての「手差しとして扱う」を設定せずに、印刷します。
他のトレイから給紙される	給紙方法が自動選択になっています。	給紙方法で、使用するトレイを指定し、印刷します。

印刷をキャンセルしたい

- プリンタの操作パネルのキャンセルボタンを押してください。
- コンピュータの［スタート］-［設定］-［プリンタ］フォルダを開きます。プリンタアイコンをダブルクリックします。キャンセルしたいジョブを選択し、［ドキュメント］-［キャンセル］を選択します。

WindowsXP Service Pack 2に関する制限事項

Windows ファイアウォールの設定による制限事項について

Windows XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載では、Windowsファイアーウォールの機能が強化されておりますが、それに伴いプリンタドライバ・ユーティリティに以下の制限事項が生じる場合があります。

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
プリンタドライバ全般	PCネットワーク共有時、印刷ができません。	サーバ側で[Windowsファイアウォール]-[例外]を開き、「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れてください。
AdminManager	プリンタ検索、NICの設定が行えません。	ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索、NICの設定ができなく なります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません。 ルータを超えるプリンタの検索、NICの設定を行う場合は、 [Windowsファイアウォール]-[例外]-[プログラムの追加]を開き、AdminManagerを追加し、チェックを入れてください。
OKILPRユーティリティ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、「プリンタの追加」や「プリンタの再設定」画面でIPアドレスを直接入力することで設定できます 。
OKI ストレージデバイスマネージャ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェッ クがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタ は問題ありません。プリンタの検索ができない場合でも、「プリンタ」-「プリンタの追加/削除」で、プリンタ名(任意)とIPアドレスを 入力し、OKボタンをクリックすることでプリンタウィンドウにプリンタが表示されます。
Print Job Accounting	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、ログ取得プリンタの追加ウィザードで「プリンタを接続先で指定する」を選択し、「接続先」で「 TCP/IPネットワーク」を選択し、IPアドレスを直接入力することで設定できます。
	ログ取得スケジュールに従ってログが取得されていません。また、「プリンタ」-「ログを直ちに取得」を行っても、「ログ取得 スケジュールに従って、ログを取得中のためできません。」が表示され、取得ができません。	WindowsXP Service Pack 1以前に、プリン トジョブアカウンティングにプリンタを登録し、ログの取得を開始している状態で、WindowsXP Service Pack2にアップデートを行うと、左 記の現象が発生する場合があります。このような場合は、Windowsを再起動します。
Print Super Vision	リモートPCからアクセスできません。	[Windowsファイアウォール]-[例外]-[ポートの追加]を開き、 PrintSuper Visionがインストールされているwebサイトのポート番号を追加してください。 ※設定方法は、[すべてのプログラム]-[沖データ]-[PrintSuperVision]-[お読みください]を参照してください。
	ポップアップウインドウがブロックされます。	※設定方法は、[すべてのプログラム]-[沖データ]-[PrintSuperVision]-[お読みください]を参照してください。
Web Driver Installer	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場 合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、グループの検索範囲の 4 桁目を*(例：192.168.0.*)にすると、検索できます。
	リモートPCからアクセスできません。	[Windowsファイアウォール]-[例外]-[ポートの追加]を開き、Web Driver Installerがインストールされているwebサイトのポート番号を追加し、[管理ツール]-[コンポーネント サービス]でWeb Driver Installer 用コンポーネントのアクセス権を変更してください。 ※設定方法は、[すべてのプログラム]-[沖データ]-[Web Driver Installer]-[お読みください]を参照してください。

※ 詳細は弊社ホームページ「http://www.okidata.co.jp/support/winXP/WinXPSP2.html」をご覧ください。

8 ユーザーサポート

お客様相談センターのご案内

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次ページの「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。なお、内容確認のため、録音をさせていただいております。

お客様相談センター　0120-654-632

（携帯電話からは03-5833-5710）

受付時間　9 : 00 ～ 20 : 00 月曜日～金曜日
9 : 00 ～ 17 : 00 土曜日
(但し、日曜、祝日、年末年始等を除く)

※ 月曜日～金曜日の17:30～20:00及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。
※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆プリンタのサポートサービスは、(株)沖電気カスタマアドテック（OCA）とそのグループ会社が担当しております。

（個人情報の取り扱いについて）

当社はお客様の個人情報を厳正に管理し、以下の場合を除き、第三者への開示や、提供はしないものとします。

a) 当社が指定する業務提携会社に対して、お客様の氏名・住所・電話番号など保守サービス等の業務を委託するために必要な限度でお客様情報を提供すること。
b) お客様情報を統計的に集計・分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成させていただき、製品開発、サービス向上の判断材料として利用すること。
c) 予め登録時に同意頂いたお客様に対して、当社または当社の提携会社より、サービス提供，アンケートその他の告知等のため電子メールや郵便物の郵送、または営業担当者からコンタクトを取らせて頂くこと。
d) 裁判所の発行する令状、捜査事項照会書その他法令に基づいてお客様情報を開示すること。

— お問い合わせに回答できない場合について —

1. UNIX環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5 プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境

機種名：＿＿＿＿＿＿＿＿　製造番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　購入月：＿＿＿年＿＿＿月

追加オプション：　なし　・　あり（　　　　　　　　　　）

コンピュータ環境

□ Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□ Mac OS　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

接続方法

□パラレル　□ USB　□ネットワーク（有線）　□ネットワーク（無線）　□ TCP/IP

□ IPX/SPX　□ EtherTalk　□ NetBEUI　□ Bonjour（Rendezvous）　□その他（　　　　）

プリンタドライバ

プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

アプリケーションソフト

アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

使用フォント名：＿＿＿＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）

コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

プリンタの操作パネルに表示される内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

その他

他のアプリケーションからの印刷：□正常　□印刷できない

他のコンピュータからの印刷　　：□正常　□印刷できない

最新プリンタドライバの入手方法

沖データホームページからダウンロードしてください。

http://www.okidata.co.jp

付　録

使用できる用紙

使用できる用紙の種類は、普通紙、はがき、封筒、ラベル紙、光沢紙、OHPフィルム、部分印刷用紙、カラー用紙です。推奨紙、サイズ、厚さなどはそれぞれの用紙の項目をご覧ください。
高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社推奨紙以外の用紙を使用すると、紙づまりなどの走行不良の原因となったり、印刷品位が低下する場合がありますので、事前に試し印刷を行い支障がないことを確認してから使用してください。

普通紙、カラー用紙、部分印刷用紙

推奨紙：　エクセレントホワイト（OKIカラーページプリンタ用紙）（A4、A3、A3ノビ）
推奨再生紙：　REFOREST 100（日本製紙製）、やしまR100（丸住製紙製）
推奨長尺紙：　エクセレントホワイト（OKIカラーページプリンタ用紙）（A4幅、A3ノビ幅）

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
A4	210×297	連量55～230kg (64～268g/m²) 両面印刷（オプション）する場合は、 連量55～103kg (64～120g/m²) 長尺紙の場合は、連量110kg (128g/m²)	電子写真プリンタ用紙、電子写真コピー用紙、カラー電子写真プリンタ用紙、カラー電子写真コピー用紙、電子写真プリンタ再生紙を使用してください。 カラー用紙の場合、用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で230℃に耐える用紙、かつ用紙特性が白色紙と同じ用紙 部分印刷用紙の場合、部分印刷に使用したインクが耐熱性で230℃に耐える用紙 両面印刷（オプション）できるカスタム用紙サイズは、幅100～328mm、長さ148～457.2mmです。
A5	148×210		
A6	105×148		
B4	257×364		
B5	182×257		
A3	297×420		
A3ノビ	328×453		
A3ワイド	320×450		
タブロイド	279.4×431.8(11×17)		
ﾀﾌﾞﾛｲﾄﾞｴｸｽﾄﾗ	304.8×457.2(12×18)		
レター	215.9×279.4(8.5×11)		
リーガル(13ｲﾝﾁ)	215.9×330.2(8.5×13)		
リーガル(13.5ｲﾝﾁ)	215.9×342.9(8.5×13.5)		
リーガル(14ｲﾝﾁ)	215.9×355.6(8.5×14)		
エグゼクティブ	184.2×266.7(7.25×10.5)		
カスタム	幅　76.2～328 長さ 90～1200		

以下の用紙は使用しないでください。
- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、表面が粗すぎる（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 保存状態の悪い用紙
- 絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- のり・薬品などで加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用紙、湿式PPC用紙、複写紙、和紙など

メモ

推奨紙エクセレントホワイト（OKIカラーページプリンタ用紙）をお求めの際は、別冊「プリンタ機能編」の「ユーザーサポート−消耗品、オプション、用紙のご案内」をご覧ください。

はがき

サイズ　単位：mm(インチ)		その他の条件
はがき	100×148	郵政公社製はがき、および折っていない郵政公社製往復はがきを使用してください。
往復はがき	148×200	

以下の用紙は使用しないでください。
・インクジェット用郵政公社製はがき
・2mm以上反りがあるはがき
・切手の貼ってあるはがき
・写真加工してあるはがき

封筒

推奨封筒：N4S-108（イムラ封筒製、長形4号）
　　　　　N3S-108（イムラ封筒製、長形3号）

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
長形3号	120×235	坪量85g/m^2	クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式PPC用紙で作られた封筒で、フラップ部が折れていないもの
長形4号	90×205		
角形2号	240×332		
角形3号	216×277		
角形8号	119×197		
洋形0号	120×235		
洋形4号	105×235		
Com-9	98.4×225.4(3.875×8.875)	24lb	クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式PPC用紙で作られた封筒で、フラップ部がきちんと折れているもの
Com-10	104.8×241.3(4.125×9.5)		
DL	110×220(4.33×8.66)		
C5	162×229(6.38×9.02)		
C4	229×324(9.02×12.76)		
Monarch	98.4×190.5(3.875×7.5)		

以下の用紙は使用しないでください。
・厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
・内袋のある二重封筒
・とめ金、ボタン、窓のある封筒
・フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
・シワや反りのある封筒
・切手の貼ってある封筒
・表面に絹目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒

ラベル紙

推奨ラベル紙：LBP-F7XXX（コクヨ製）

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
A4	210×297	0.1～0.2mm	電子写真プリンタ用または乾式PPC用のラベル紙を使用してください。 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しないラベル紙 印刷工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙
B5	182×257		
レター	215.9×279.4(8.5×11)		

OHPフィルム

推奨OHPフィルム：MLカラー OHPシート（A4サイズ）

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
A4	210×297	0.1～0.11mm	電子写真プリンタ用または乾式PPC用OHPフィルムをお使いください。 プリンタの熱定着工程で、融けたり、変質したり、反りが起きないOHPフィルム
レター	215.9×279.4(8.5×11)		

光沢紙

推奨光沢紙：エクセレントグロス（OKIカラーページプリンタ用紙）（A4、A3、A3ノビ）

サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ	その他の条件
A4	210×297	連量110kg（128g/m²）	室内温度25℃以下、湿度60%以下の環境でお使いください。
A3	297×420		
A3ノビ	328×453		

- 光沢紙に印刷する場合は、プリンタのメニューのメディアタイプを「光沢紙」に設定し、プリンタドライバの給紙方法を「光沢紙」を選択してください。
- 光沢紙は、推奨紙エクセレントグロスをご使用ください。その他の光沢紙はご利用になれません。
- 光沢紙の場合、白地に薄くトナーが付着する場合があります。

メモ　推奨紙OHPフィルム、MLカラー OHPシート、推奨光沢紙エクセレントグロス（OKIカラーページプリンタ用紙）をお求めの際は、別冊「プリンタ機能編」の「ユーザーサポートー消耗品、オプション、用紙のご案内」をご覧ください。

付録

用紙の給紙方法と排出方法の関係

◎ ：片面、両面印刷とも使用できます
○ ：片面印刷のみ使用できます
× ：使用できません

種　類	厚　さ	サイズ	給紙方法			排出方法	
			トレイ1	トレイ2〜5[*1]	マルチパーパストレイ／手差し	フェイスアップ(表排出)	フェイスダウン(裏排出)
普通紙	連量 55〜103kg	A3ノビ, A3, A4[*2], A5, A6 B4, B5[*2], レター[*2] リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	◎	◎	◎	◎	◎
		カスタム[*3]	◎[*7]	◎[*7]	○	○	×
	連量 104〜186kg	A3ノビ, A3, A4[*2], A5, A6 B4, B5[*2], レター[*2] リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	○	○	○	○	○
		カスタム[*3]	○[*7]	○[*7]	○	○	×
	連量 187〜230kg	A3ノビ, A3, A4[*2], A5, A6 B4, B5[*2], レター[*2] リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	×	×	○	○	×
		カスタム[*3]	×	×	○	○	×
はがき[*4]	―	はがき, 往復はがき	○	×	○	○	×
封筒[*4]	―	長形3号, 長形4号 角形2号, 角形3号 洋形0号, 洋形4号, 角形8号 Com-9, Com-10, DL C5, C4, Monarch	×	×	○	○	×
ラベル紙[*5]	―	A4, レター	×	×	○	○	×
光沢紙[*5][*6]	―	A4, A3ノビ, A3	◎	×	○	○	×
OHPフィルム[*5]	―	A4, レター	○	×	○	○	×

[*1]： トレイ2〜5はオプションです。
[*2]： 縦送りと横送りができます。
[*3]： カスタムサイズは幅76.2〜328mm、長さ90〜1200mmです。
[*4]： はがき、封筒の用紙サイズを設定すると印刷速度が遅くなります。
[*5]： ラベル紙、光沢紙、OHPフィルムのメディアタイプを設定すると印刷速度が遅くなります。
[*6]： メディアタイプの［光沢紙］は、光沢紙など表面に光沢のある印刷媒体に適したモードです。光沢紙は、推奨紙エクセレントグロスをご使用ください。その他の光沢紙はご利用になれません。光沢紙の場合、白地に薄くトナーが付着する場合があります。
[*7]： トレイ1〜5にセットできるカスタムサイズは幅100〜328mm、長さ148〜457mmです。

用紙の保管方法

用紙の保管が悪いと、湿気を吸収したり、変色、反りが発生します。このような用紙で印刷すると印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えますので注意が必要です。また実際にお使いになるまで包装紙は開けないでください。

次のような場所に保管してください

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度20℃、湿度50％ RHの環境

次のような場所はさけてください

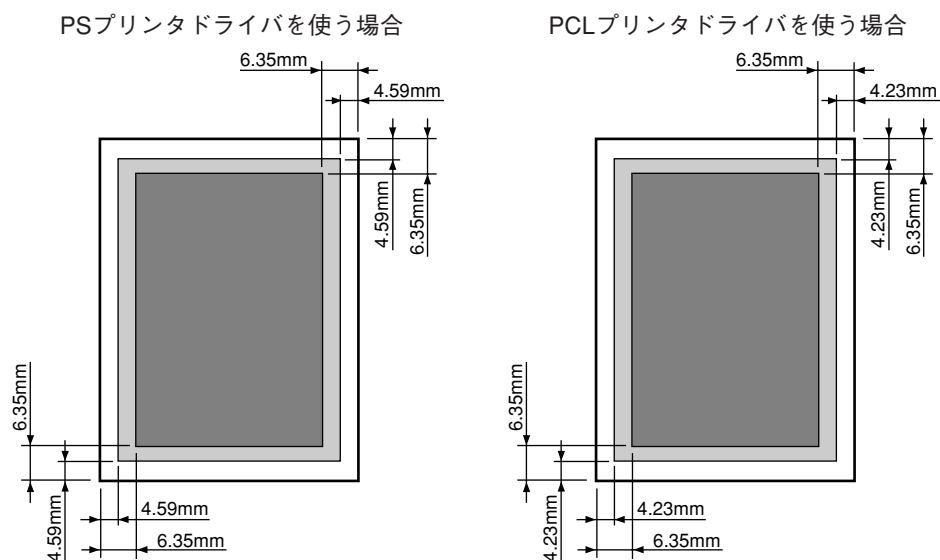
- 床の上に直接置く
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

長期間放置した用紙を使用した場合、正常に印刷できないことがあります。

付録

印刷範囲と印刷精度

印刷範囲

お使いになるプリンタドライバによって、印刷範囲が異なります。
また、お使いになるアプリケーションによって、実際の印刷範囲が異なることがあります。

印刷保証範囲

印刷品質が保証される範囲です。
この範囲に印刷することをお勧めします。

印刷可能範囲

印刷可能な範囲です。印刷品質が低下することがあります。

付録

印刷精度

- 書き出し位置±2mm、用紙の斜行±1mm/100mm、画像伸縮±1mm/100mm（連量70kgの用紙に印刷する場合）です。
- 両面印刷時の表裏の印刷精度は±2.5mmです。

文字コード表（PS/PCLモード）

PostScript3モード

- ***-83pv-RKSJ-Hは、主にMacintoshで使用します。(***はフォント名)
  -90ms-RKSJ-H、-RKSJ-Hおよび***-Ext-RKSJ-Hは、主にWindowsで使用します。(***はフォント名)
- プリンタの文字コード表にない文字は、出力できなかったり、文字化けするなど、思わぬ結果になることがあります。
- アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションソフトは独自の文字コード表を使用することがあります。
- 漢字コード表は「プリンタソフトウェアCD-ROM」の以下のフォルダにPDF形式で入っています。
  ［Windows］　［ML_COLOR］-［DOC］フォルダ
  ［Macintosh］　［ML_COLOR］-［漢字コード表］フォルダ
- 各PDFファイルが示すプリンタのフォントは以下のとおりです。

ファイル名（Windows）	プリンタフォント名
HG-83pv.pdf	HeiseiKakuGo-W5-83pv-RKSJ-H
HG-90ms.pdf	HeiseiKakuGo-W5-90ms-RKSJ-H
HGExRKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-Ext-RKSJ-H
HG-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-RKSJ-H
HM-83pv.pdf	HeiseiMin-W3-83pv-RKSJ-H
HM-90ms.pdf	HeiseiMin-W3-90ms-RKSJ-H
HMExRKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-Ext-RKSJ-H
HM-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-RKSJ-H

欧文標準

Low code / High code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
6	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	
8																
9																
A		¡	¢	£	⁄	¥	ƒ	§	¤	'	“	«	‹	›	ﬁ	ﬂ
B		–	†	‡	·		¶	•	‚	„	”	»	…	‰		¿
C		`	´	ˆ	˜	¯	˘	˙	¨		˚	¸		˝	˛	ˇ
D	—															
E		Æ		ª					Ł	Ø	Œ	º				
F		æ				ı			ł	ø	œ	ß				

Symbol

Low code / High code

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	∀	#	∃	%	&	∋	(	)	∗	+	,	−	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	≅	Α	Β	Χ	Δ	Ε	Φ	Γ	Η	Ι	ϑ	Κ	Λ	Μ	Ν	Ο
5	Π	Θ	Ρ	Σ	Τ	Υ	ς	Ω	Ξ	Ψ	Ζ	[	∴	]	⊥	_
6	‾	α	β	χ	δ	ε	φ	γ	η	ι	ϕ	κ	λ	μ	ν	ο
7	π	θ	ρ	σ	τ	υ	ϖ	ω	ξ	ψ	ζ	{	|	}	~	
8																
9																
A	€	ϒ	′	≤	⁄	∞	ƒ	♣	♦	♥	♠	↔	←	↑	→	↓
B	°	±	″	≥	×	∝	∂	•	÷	≠	≡	≈	…	⏐	⎯	↵
C	ℵ	ℑ	ℜ	℘	⊗	⊕	∅	∩	∪	⊃	⊇	⊄	⊂	⊆	∈	∉
D	∠	∇	®	©	™	∏	√	⋅	¬	∧	∨	⇔	⇐	⇑	⇒	⇓
E	◊	〈	®	©	™	∑	⎛	⎜	⎝	⎡	⎢	⎣	⎧	⎨	⎩	⎪
F		〉	∫	⌠	⎮	⌡	⎞	⎟	⎠	⎤	⎥	⎦	⎫	⎬	⎭	

付録

Wingdings-Regular

Low code (columns) / High code (rows)

High \ Low	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		🖉	✂	✁	👓	🕭	🕮	🕯	🕿	✆	🖂	🖃	📪	📫	📬	📭
3	📁	📂	📄	🗏	🗐	🗄	⌛	🖮	🖰	🖲	🖳	🖴	🖫	🖬	✇	✍
4	🖎	✌	👌	👍	👎	☜	☞	☝	☟	🖐	☺	😐	☹	💣	☠	🏳
5	🏱	✈	☼	💧	❄	🕆	✞	🕈	✠	✡	☪	☯	ॐ	☸	♈	♉
6	♊	♋	♌	♍	♎	♏	♐	♑	♒	♓	🙰	🙵	●	🔾	■	□
7	🞐	❑	❒	⬧	⧫	◆	❖	⬥	⌧	⮹	⌘	🏵	🏶	🙶	🙷	
8	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⓿	❶	❷	❸	❹
9	❺	❻	❼	❽	❾	❿	🙢	🙠	🙡	🙣	🙞	🙜	🙝	🙟	·	•
A	▪	⚪	🞆	🞈	◉	◎	🔿	▪	◻	🟂	✦	★	✶	✴	✹	✵
B	⯐	⌖	⟡	⌑	⯑	✪	✰	🕐	🕑	🕒	🕓	🕔	🕕	🕖	🕗	🕘
C	🕙	🕚	🕛	⮰	⮱	⮲	⮳	⮴	⮵	⮶	⮷	🙪	🙫	🙕	🙔	🙗
D	🙖	🙐	🙑	🙒	🙓	⌫	⌦	⮘	⮚	⮙	⮛	⮈	⮊	⮉	⮋	🡨
E	🡪	🡩	🡫	🡬	🡭	🡯	🡮	🡸	🡺	🡹	🡻	🡼	🡽	🡿	🡾	⇦
F	⇨	⇧	⇩	⬄	⇳	⬁	⬀	⬃	⬂	🢬	🢭	🗶	✓	🗷	🗹	⊞

ZapfDingbats

Low code (columns) / High code (rows)

High \ Low	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		✁	✂	✃	✄	☎	✆	✇	✈	✉	☛	☞	✌	✍	✎	✏
3	✐	✑	✒	✓	✔	✕	✖	✗	✘	✙	✚	✛	✜	✝	✞	✟
4	✠	✡	✢	✣	✤	✥	✦	✧	★	✩	✪	✫	✬	✭	✮	✯
5	✰	✱	✲	✳	✴	✵	✶	✷	✸	✹	✺	✻	✼	✽	✾	✿
6	❀	❁	❂	❃	❄	❅	❆	❇	❈	❉	❊	❋	●	❍	■	❏
7	❐	❑	❒	▲	▼	◆	❖	◗	❘	❙	❚	❛	❜	❝	❞	
8	❨	❩	❪	❫	❬	❭	❮	❯	❰	❱	❲	❳	❴	❵		
9																
A		❡	❢	❣	❤	❥	❦	❧	♣	♦	♥	♠	①	②	③	④
B	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼	❽	❾	❿
C	➀	➁	➂	➃	➄	➅	➆	➇	➈	➉	➊	➋	➌	➍	➎	➏
D	➐	➑	➒	➓	➔	→	↔	↕	➘	➙	➚	➛	➜	➝	➞	➟
E	➠	➡	➢	➣	➤	➥	➦	➧	➨	➩	➪	➫	➬	➭	➮	➯
F		➱	➲	➳	➴	➵	➶	➷	➸	➹	➺	➻	➼	➽	➾	

付録

PCLエミュレーションモード

アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションは独自の文字コード表を使用することがあります。

シンボルセット

WIN3.1J
PC-8
PC-8 Dan/Nor
PC-8 TK
PC-775
PC-850
PC-852
PC-855
PC-857 TK
PC-858
PC-864 L/A
PC-866
PC-869
PC-1004
Pi Font
Plska Mazvia
PS Math
PS Text
Roman-8
Roman-9
Roman Ext
Sebro Croat1
Sebro Croat2
Spanish
Ukrainian
VN Int1l
VN Math
VN US
Win 3.0
Win 3.1 Blt
Win 3.1 Cyr
Win 3.1 Grk
Win 3.1 Heb
Win 3.1 L1
Win 3.1 L2
Win 3.1 L5
Wingdings
Dingbats MS
Symbol
OCR-A
OCR-B
HP ZIP
USPSFIM
USPSSTP
USPSZIP
ISO Swedish1
ISO Swedish2
ISO Swedish3
ISO-2 IRV
ISO-4 UK
ISO-6 ASC
ISO-10 S/F
ISO-11 Swe
ISO-14 JASC
ISO-15 Ita
ISO-16 Por
ISO-17 Spa
ISO-21 Ger
ISO-25 Fre
ISO-57 Chi
ISO-60 Nor
ISO-61 Nor
ISO-69 Fre
ISO-84 Por
ISO-85 Spa
Kamenicky
Legal
Math-8
MC Text
MS Publish
PC Ext D/N
PC Ext US
PC Set1
PC Set2 D/N
PC Set2 US
Bulgarian
CWI Hung
DeskTop
German
Greek-437
Greek-437 Cy
Greek-737
Greek-928
Hebrew NC
Hebrew OC
IBM-437
IBM-850
IBM-860
IBM-863
IBM-865
ISO Dutch
ISO L1
ISO L2
ISO L5
ISO L6
ISO L9

PCL平成半角（WIN3.1J）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p				ｰ	ﾀ	ﾐ		
1			!	1	A	Q	a	q			｡	ｱ	ﾁ	ﾑ		
2			“	2	B	R	b	r			｢	ｲ	ﾂ	ﾒ		
3			#	3	C	S	c	s			｣	ｳ	ﾃ	ﾓ		
4			$	4	D	T	d	t			､	ｴ	ﾄ	ﾔ		
5			%	5	E	U	e	u			･	ｵ	ﾅ	ﾕ		
6			&	6	F	V	f	v			ｦ	ｶ	ﾆ	ﾖ		
7			‘	7	G	W	g	w			ｧ	ｷ	ﾇ	ﾗ		
8			(	8	H	X	h	x			ｨ	ｸ	ﾈ	ﾘ		
9			)	9	I	Y	i	y			ｩ	ｹ	ﾉ	ﾙ		
A			*	:	J	Z	j	z			ｪ	ｺ	ﾊ	ﾚ		
B			+	;	K	[	k	{			ｫ	ｻ	ﾋ	ﾛ		
C			,	<	L	¥	l	|			ｬ	ｼ	ﾌ	ﾜ		
D			-	=	M	]	m	}			ｭ	ｽ	ﾍ	ﾝ		
E			.	>	N	^	n	~			ｮ	ｾ	ﾎ	ﾞ		
F			/	?	O	_	o				ｯ	ｿ	ﾏ	ﾟ		

付録

Symbol

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	≅	Π	‾	π				°	ℵ	∠	◊	
1			!	1	A	Θ	α	θ			ϒ	±	ℑ	∇	〈	〉
2			∀	2	B	P	β	ρ			′	″	ℜ	®	®	∫
3			#	3	X	Σ	χ	σ			≤	≥	℘	©	©	⌠
4			∃	4	Δ	T	δ	τ			⁄	×	⊗	™	™	⎮
5			%	5	E	Y	ε	υ			∞	∝	⊕	∏	∑	⌡
6			&	6	Φ	ς	ϕ	ϖ			ƒ	∂	∅	√	⎛	⎞
7			∍	7	Γ	Ω	γ	ω			♣	•	∩	·	⎜	⎟
8			(	8	H	Ξ	η	ξ			♦	÷	∪	¬	⎝	⎠
9			)	9	I	Ψ	ι	ψ			♥	≠	⊃	∧	⎡	⎤
A			*	:	ϑ	Z	φ	ζ			♠	≡	⊇	∨	⎢	⎥
B			+	;	K	[	κ	{			↔	≈	⊄	⇔	⎣	⎦
C			,	<	Λ	∴	λ	|			←	…	⊂	⇐	⎧	⎫
D			−	=	M	]	μ	}			↑	⏐	⊆	⇑	⎨	⎬
E			.	>	N	⊥	ν	~			→	⎯	∈	⇒	⎩	⎭
F			/	?	O	_	ο				↓	↵	∉	⇓	⎪	

Wingdings

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　刑法　第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法　第1条、第2条　等

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
なお、オプションのフィニッシャを使用した場合、この装置はクラスA情報技術装置になり、この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波規制について

この装置は、「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

MICROLINEは株式会社沖データの商標です。
OKIは沖電気工業株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNTは、米国Microsoft Corporationの米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、MacOS、EtherTalk、LaserWriterおよびTrueTypeは、米国Apple Computer Inc.の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
PostScriptは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
Scalable FontはMonotype Imaging, Inc.からライセンスされています。
CG OmegaはMonotype Imaging, Inc.の製品です。
CG TimesはThe Monotype Corporationのライセンスをうけたtimes New Romanを基にしたMonotype Imaging, Inc.の製品です。
TaffyはAdobe Tekton Regularに対応するMonotype Imaging, Inc.の製品です。
CandidはAdobe Cartaに対応するMonotype Imaging, Inc.の製品です。
CG、Candid、TaffyはMonotype Imaging, Inc.の各国での登録商標または商標です。
Univers、Helvetica、Palatino、TimesはLinotype-Hell AGあるいはその子会社の各国での登録商標または商標です。
ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf DingbatsはInternational Typeface Corporationの各国での登録商標または商標です。
Arial、Times New Roman、Albertus、Gill SansはThe Monotype Corporation plc. の各国での登録商標または商標です。
WingdingsはMicrosoft Corporationの各国での登録商標または商標です。
Monotype Imaging, Inc.からライセンスされたMarigoldはArthur Bakerの各国での登録商標または商標です。
平成明朝体W3、平成角ゴシック体W5は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
この製品には、OpenSSL Toolkitでの使用のためにOpenSSL Projectによって開発されたソフトウェアが含まれます。(http://www.openssl.org)
その他各社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

重要。お客様へのお願い

プリンタに付属のCD-ROMに含まれているプログラム(ただし、Adobe Readerは除くものとする)およびドキュメンテーションは株式会社沖データ(以下、沖データという)が提供するものです。
パッケージを開封する前に本ソフトウエア使用許諾契約書を必ずお読みください。
お客様がこのパッケージを開封された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約の条項を承諾いただけない場合は、未開封のまま速やかにお客様が購入された販売店に返却してください。

1. 使用範囲
   お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを一部複製することができます。

2. 財産権および義務
   (1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
   (2) 第1条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
   (3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
   (4) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
   (1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
   (2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
   (3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
   (1) 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
      ・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
      ・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
      ・第三者の権利を侵害していないこと。
      ・特定の目的に適合していること。
   (2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
   沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる間接的、派生的、結果的、懲罰的、その他特別な損害、損失に対しても、沖データ及び沖データのライセンサーがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、訴訟方式がどのようなものであろうとも、適用法で認められる限り、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、この使用許諾契約における本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされる一切の請求は、お客様が本ソフトウェアに対して支払った対価を越えないことに同意するものとします。米国の州や司法管轄区域の中には、本使用許諾契約に定める責任の除外および/または限定の一部または全部を許さないところもあるため、上記の責任除外・限定は、お客様に適用がないかもしれません。

6. 準拠法及び輸出管理規制
本契約中のうち、アドビソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め、米国カリフォルニア州法を準拠法とし、アドビソフトウェアを除く本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。本契約は国際物品売買契約に関する国連条約には準拠しないものとし、その適用は明示的に排除されます。
もし、本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。
本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

7. 完全な合意
お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

8. Notice to U.S. Government End Users（米国政府機関のエンドユーザへの注意）
The Software is "Commercial Items," as that term is defined at 48 C.F.R. Section 2.101, consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. Section 12.212.
Consistent with 48 C.F.R. Section 12.212 or 48 C.F.R. Section 227.7202-1 through 227.7202-4,all US Government End Users acquired the Software with only those rights set forth herein.
本条項中で使用される"the Software"とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

9. 第三受益者
お客様は、本契約中アドビソフトウェアの使用許諾に関連した条項に関しては、アドビシステムズが本契約に対する第三受益者であるということをここに通知されたものとします。
この規定は、アドビシステムズの利益の為に、明確に規定されるもので、沖データに加えアドビシステムズも、アドビソフトウェアの使用許諾に関連した条項に関しては、権利行使ができるものとします。

※Adobe Reader の使用について
Adobe Readerは沖データがアドビシステム社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様はAdobe Readerに含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステム社からAdobe Readerの使用を許諾されることになります。

※商標について
Adobe、Adobe ReaderおよびPostScriptは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。
Windows、Windows NT は米国内及び各国で登録されたMicrosoft Corporationの登録商標です。
Macintoshは米国Apple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

索　引

索引

索引

索引

索引

[サ]

[シ]

[ス]

[セ]

[ソ]

[タ]

索引

[へ]

[ほ]

索引

オキカラーページプリンタ

MICROLINE 9600PS

ユーザーズマニュアル（応用編）

発行日　2007年 2月　第 3 版

発行者　株式会社 沖データ

42952901EE

このマニュアルは再生紙を使用しています。

株式会社 沖データ
お客様相談センター
0120-654-632
(携帯電話からは03-5833-5710)

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し 祝日を除く）